V603T 基本操作編

V603T 基本操作編

vodafone

This Manual includes an English Abridgement

V603T
基本操作編

はじめに

このたびは、「V603T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- V603Tをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V603Tのボーダフォンライブ！に関する説明は付属のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（☞18-18ページ）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V603Tは1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。
V603Tは、日本国外ではご使用になれません。

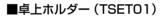
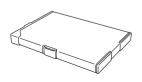
ご注意

・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（☞18-18ページ）までご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

付 属 品
（オプション品としてもお取り扱いしています）

■電池パック（TSBQ01）

■卓上ホルダー（TSET01）

■急速充電器（TSCN01）

■リール式イヤホンアンテナ（TSLT01）

■ビデオ出力ケーブル（TSPQ01）

- 上記の他に、ソフトケースやイヤホンマイク、室内用アンテナなどのオプション品が用意されています。詳しくは、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までお問い合わせください。
- V603Tは、**miniSD™メモリカード（以下メモリカードといいます）**を利用することができますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをお買い求めください。V603Tは、記憶容量が512MB（※2004年12月現在）までのメモリカードに対応していますが、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

目 次

16 オプションサービス

17 Abridged English Manual

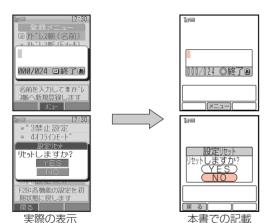
18 付録

本書の見かた

ディスプレイ表示について

- 本書で記載しているディスプレイ表示は説明用に簡略化しているため、実際のディスプレイ表示と異なります。
- 操作によっては、ディスプレイ表示を省略している場合があります。

例

実際の表示　　本書での記載

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

■表示の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱等の症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
禁止	⃠は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	❗は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータ等が変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

⚠ 危　険

分解・改造・修理しないこと
発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。電話機の改造は電波法違反になります。
故障したときの修理は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。

電話機・電池パックを火の中に入れたり、加熱しないこと
また、水にぬれた場合でも加熱用機器（電子レンジなど）で強制的に乾燥させないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

電話機・電池パックを火やストーブのそばなど、高温になる場所で充電・使用・放置しないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

電話機・充電用機器・電池パックを水、汗、海水などの液体でぬらさないこと
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。

電話機・充電用機器・電池パックを屋外や浴室など水などがかかる場所に置かないこと
また、周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと
ぬれると、感電・発熱・破裂・発火の原因となります。

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

電話機と電池パックの取り付けや電話機と充電用機器などの接続は、無理な取り付けまたは接続をしないこと
また、コード類などを使用して（＋）（－）を逆に接続しないこと
電池パックの液もれや破裂・発熱・発火・感電・故障の原因となります。

電池パックのコネクター（金属端子部分）に金属片（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないこと
電池パックがショートして、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックはこの電話機だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

電話機の電池を充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

⚠ 警　告

ぬれた電池パックを充電しないこと
発熱・破裂・発火・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、水などの液体がかかってしまった場合は、ただちに充電用機器のプラグを抜いてください。

自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・ビデオ・テレビなど）も使用しないこと
交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

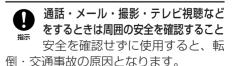
引火ガスが発生する場所で使用しないこと
ガスに引火し、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では電話機の電源を切り、充電もしないでください。

ストラップを持って電話機を振り回さないこと
けがなどの事故や破損の原因となります。

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること
電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。
医用電気機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

長時間使用しないときやお手入れをするときは、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

航空機内など使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
スケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切ること
電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。
航空機内での携帯電話機の使用は法律で禁止されています。

通話・メール・撮影・テレビ視聴などをするときは周囲の安全を確認すること
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指定の電源・電圧で使用すること
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。
急速充電器：家庭用交流100V
シガーライター充電器（オプション品）：直流12V・24V（マイナスアース車専用）

急速充電器のプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること
プラグやコンセントにほこりが付着していると、火災の原因となります。

車載用機器などは、次のことを守り設置、配線を行うこと
- **運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならないこと**
- **シートベルトの脱着部やドアなどの可動部に挟まないこと**

コード類が足や運転装置にからむと運転の妨げになり、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下に驚いて、急ブレーキや急ハンドルの操作により事故の原因となります。

電池パック内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。

⚠ 警　告

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに電話機の使用を中止すること
落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、使用を中止し、屋内などの安全な場所へ移動してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること
発熱・破裂・発火の原因となります。最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。

急速充電器を家庭用交流100Vコンセントに差し込むときは、プラグに金属製ストラップなどの金属類が触れないようにして、確実に差し込むこと
感電・ショート・火災の原因となります。

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

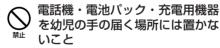
1. 充電中であれば、急速充電器またはシガーライター充電器(オプション品)を家庭用交流100Vコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
2. 電話機が熱くないことを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外してください。
   そのまま使用(充電)すると、電池パックが発熱・破裂・発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

1. 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切ってください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3. 医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には電話機を持ち込まない
   - 病棟内では、電話機の電源を切る
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う
   - スケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切る
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養等)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(不要電波問題対策協議会「平成9年4月」)に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人 電波産業会」)の内容を参考にしたものです。

⚠ 注　意

電話機・電池パックを直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないこと
発熱・発火・故障の原因となります。

電話機・電池パック・充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないこと
電池パック、メモリカード(市販)などを誤って飲み込んだり、けがなどの事故の原因となります。

充電用機器の端子(金属部分)に針金などの金属を接触させないこと
発熱・やけどの原因となります。

急速充電器やシガーライター充電器(オプション品)を家庭用交流100Vコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと
コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。
急速充電器やシガーライター充電器を持って抜いてください。

急速充電器やシガーライター充電器(オプション品)のコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないこと
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと
コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと
感電・故障の原因となります。

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと
電話機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと
落下して、けがや故障の原因となります。バイブレータ設定中は特に気をつけてください。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと
不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、コネクターにテープなどを貼り絶縁してから、個別回収にお出しになるか、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」までお持ちください。電池を分別回収している市町村の場合は、その条例に基づいて処分してください。

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないこと
汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器(オプション品)は、自動車のエンジンを切った状態で使用しないこと
自動車用バッテリー消耗の原因となります。

シガーライター充電器(オプション品)のヒューズが切れたときは、指定のヒューズと交換すること
指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。
ヒューズの交換については、シガーライター充電器(オプション品)の取扱説明書を参照してください。

電池パック内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりすることがあります。

⚠ 注　意

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること

指示

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース（ボタン操作部、メインディスプレイ側）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（電池部、サブディスプレイ側）	PPE樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装カバー（サブディスプレイ側、電池側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ボタン	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
メインディスプレイパネル、サブディスプレイカバー、モバイルカメラパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク
お知らせLEDランプ、充電ランプ	アクリル樹脂
モバイルフラッシュパネル	アクリル樹脂
外部接続端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
イヤホン端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
メモリカードスロットキャップ	PC・ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理、ポリエステルエラストマー樹脂
充電端子	ステンレス／金メッキ（下地ニッケル）
ネジ	鉄／ニッケルメッキ（下地銅）
ネジカバー（受話部）	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ネジカバー（メインディスプレイ下）	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク
ネジカバー（操作部）	ポリウレタン樹脂
赤外線ポート	アクリル樹脂
ストラッププレート	ステンレス／クロムメッキ
ネジキャップ（電池側）	ポリウレタン樹脂
ヒンジケース	PPE／アクリル系UV硬化塗装
ロック解除ボタン	ABS／アクリル系UV硬化塗装

スピーカーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること

指示

金属片が耳などにささるなどして、けがの原因となります。

心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に気をつけること

指示

驚いたりして、心臓に影響を与える可能性があります。

電話機を折りたたむときは、手や物をはさまないように気をつけること
また、電話機を開くときは、ヒンジ部（つなぎ目）に指を挟まないこと

指示

けがやディスプレイ（液晶）などの破損の原因となります。

モバイルフラッシュやペンライト機能を撮影や簡易ライト用途以外に使用しないこと

禁止

目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。

⚠ 注　意

禁止

充電中やテレビ・FMラジオ視聴中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないこと

やけど・故障の原因となります。

指示

リール式イヤホンアンテナ・イヤホンマイク（オプション品）の使用中は、音量を上げすぎないこと

大きな音で耳を刺激すると聴力に悪い影響を与えたり、音が外にもれてまわりの方の迷惑になることがあります。また、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

禁止

メモリカードスロットにメモリカード（市販）以外のものを入れないこと

発熱・感電・故障の原因となります。

通常はキャップをはめた状態でご使用ください。

禁止

メモリカード（市販）の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないこと
また、小さなお子様には触らせないこと

カードから指を急に離した際にカードが飛び出して、けがの原因となります。

禁止

メモリカード（市販）のデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないこと

データ消失・故障の原因となります。

禁止

メモリカード（市販）は対応品以外のものを使用しないこと

データ消失・故障の原因となります。

記憶容量が512MB（※2004年12月現在）までのメモリカードに対応しています。

禁止

ビデオ出力ケーブル・リール式イヤホンアンテナなどを子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所に保管しないこと

誤って、首などに巻きつけたりすると、けがの原因となります。

禁止

赤外線通信やリモコン機能を使用するときは、赤外線ポートを目に向けないこと

目に影響を与えることがあります。

禁止

モバイルフラッシュの発光部を人の目に近づけて発光させないこと

視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

お願いとご注意

■ご利用にあたって

- この電話機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話やテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やテレビ映像・音声が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。また劇場や乗り物等によっては、使用できない場所がありますのでご注意ください。
- この電話機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や画像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
- この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- この電話機は国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出してのご利用はできません。
  This product is exclusively for use in Japan.
- 以下の場合、登録された情報内容（アドレス帳、メール、画像など）が変化・消失することがあります。万一情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
  ・誤った使い方をしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・動作中に電源を切ったとき
  ・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
  ・故障したり、修理に出したとき
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。
- メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

■自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
- 駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

■航空機内でのご使用について

- 航空機内では、ご使用にならないでください。
  電源も入れないでください（スケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください）。
  航空機内で携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。

■お取り扱いについて

- この電話機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
  （周囲温度5℃～35℃、湿度85％までの範囲内でご使用ください。）
- この電話機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。電話機・電池パック・充電用機器・リール式イヤホンアンテナ・ビデオ出力ケーブル・TVアンテナ接続ケーブル（オプション品 ZTPH03）・イヤホンマイク（オプション品）などは防水仕様ではありません。
- ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。無理な力がかかるとディスプレイ（液晶画面）や内部の基板などが破損し、発熱・発火・故障の原因となります。
- 電池パックは電源を入れたままはずさないでください。故障の原因となります。
- 電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取りはずした電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックはコネクターを絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、「**ボーダフォンショップ**」またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

Li-ion

- この電話機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
- イヤホンマイク（オプション品）はしっかりとイヤホン端子に差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
- リール式イヤホンアンテナ・イヤホンマイク（オプション品）をご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、音が外にもれてまわりの方の迷惑になることがあります。
- 通常は、イヤホン端子キャップ、外部接続端子キャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
- リール式イヤホンアンテナ・ビデオ出力ケーブルなどを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
- ストラップ・リール式イヤホンアンテナ・ビデオ出力ケーブルなどをはさんだまま、電話機を折りたたまないでください。故障や破損の原因となります。
- この電話機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（☞1-7ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。
- 機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。

■モバイルカメラについて

- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン(結婚式など)を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 携帯電話のカメラを使って、撮影が許可されていない場所や書店などで、情報の記録を行うことはおやめください。

■モバイルフラッシュ、イルミネーションについて

- 高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。モバイルフラッシュの寿命が短くなることがあります。
- モバイルフラッシュおよびイルミネーション(お知らせランプ)には寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

■リモコンについて

- 電話機の赤外線ポートと操作する機器(テレビ・ビデオなど)のリモコン受信部の間にカーテン・ふすまなど信号をさえぎるものがあると動作しません。
- 直射日光や蛍光灯が操作する機器(テレビ・ビデオなど)のリモコン受信部に直接当たっている場合は、リモコン信号が受信されないことがあります。
- 電話機の赤外線ポートを操作する機器(テレビ・ビデオなど)のリモコン受信部に向けて送信してください。リモコン操作できる距離は、約5mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによりリモコン操作できる距離が変わります。
- 操作する機器に赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

■著作権などについて

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■肖像権などについて

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種V603Tの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機V603TのSARは、0.291W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

ご利用になる前に

機能一覧

・□は、お勧め機能です。
・□のご利用には市販のメモリカードが必要です。

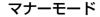
応答保留
かかってきた電話にすぐに出られないときは保留にすることができます。

P2-7

簡易留守録
電話に出られないときに相手からのメッセージを録音することができます。

P2-8/P15-11

音声メモ
通話中の相手の声を録音することができます。

P2-13

マナーモード
周囲に迷惑がかからないように、着信音量などを設定することができます。

P3-2

ユーザー辞書
特殊な読みかたをする漢字やよく使う略語などを登録することができます。

P4-17

アドレス帳
よく電話をかける相手を登録できます。
また、相手先ごとに着信音などを変えることができます。

P5-2

テレビ
メインディスプレイでテレビ映像を見たり、録画することができます。FMラジオを聴くこともできます。

P6-2

モバイルカメラ
V603T内蔵のカメラで写真やムービーを撮影することができます。

P7-2

ピクチャーつく〜る
画像を編集したり、4分割壁紙やアニメーションを作成することができます。

P7-35

壁紙／マイキャラクタ
待受画面上にお好みのイラストを表示させることができます。また、着信時などにも表示させることができます。

P8-2/P8-16

自作マルチメニュー
マルチメニュー画面のデザインをお好みにあわせて変更することができます。

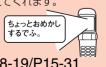
P8-4

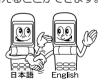
サブディスプレイ
V603Tを閉じた状態で日時を表示させます。また、着信時やメール受信時に相手を確認することができます。

P8-8

でか文字設定
着信時などに大きい文字で表示させることができます。

P8-15

待受くーまん／くーまんの部屋
待受画面などでキャラクターが動きながらコメントを伝えてくれます。

P8-19/P15-31

言語選択
画面上の表示を英語に切り替えることができます。

P8-22

着信音パターン
着信音をお好みのパターンに変えることができます。

P9-3

オリジナル着信音
あなただけの着信音を作ることができます。
和音演奏も楽しめます。

P9-10

メモリカード
各種データの保存や、パソコンなどとデータのやりとりができます。

P10-2

データフォルダ
保存した画像やサウンドなどの各種ファイルを確認・編集することができます。

P11-2

赤外線通信
赤外線通信を利用してデータのやり取りができます。

P12-2

リモコン
V603Tをテレビなど家電製品のリモコンとして利用することができます。

P12-8

シークレットモード
他人に知られたくないアドレス帳はシークレットメモリとして登録できます。

P13-9

サイドキー誤動作防止
カバンやポケットの中での誤動作を防ぎます。

P13-11

スケジュール
V603Tをスケジュール帳として利用することができます。

P14-2

1 ご利用になる前に

時間割
月曜日から土曜日までの時間割を作成できます。

P14-24

メモ帳
V603Tをメモ帳として利用することができます。

P14-30

辞書機能
国語、英和、和英辞書を利用したり、言葉を使ったゲームもできます。

P14-32

ポケットデータベース
作成したデータをもとにオリジナルのデータベースを作成できます。

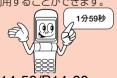
P14-35

目覚まし
V603Tを目覚まし時計として利用することができます。

P14-52

電卓
10桁までの演算や、割り勘電卓で計算することができます。

P14-56

キッチンタイマー/ストップウォッチ
V603Tをキッチンタイマーやストップウォッチとして利用することができます。

P14-59/P14-60

ボイスメモ
音声を録音できます。また、着信用の音声も録音できます。

P14-62

TV出力
テレビで静止画や動画を見たり、撮影時にファインダーとして利用することができます。

P14-76

カラオケ機能
V603Tでカラオケを楽しむことができます。

P14-77

イルミネーション（お知らせランプ）
着信時または未読メールや新着のステーションなどがある場合、お知らせランプで確認することができます。

P15-3

QRコード読み取り
QRコードを読み取って、URLやE-mailアドレスなどの情報を入手することができます。

P15-28

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P16-3

留守番電話サービス
電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。

P16-4

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けることができます。

P16-7

三者通話サービス
3人で同時に通話できます。また、相手を切り替えながら通話できます。

P16-8

各部の名称と機能

■本体

お買い上げ時はディスプレイ部分に保護フィルムが貼られています。保護フィルムは、必ずはがしてからご利用ください。

レシーバー（受話口）

メニューボタン
マルチメニュー（☞1-20ページ）を呼び出すときなどに使用します。

マルチファンクションボタン
機能設定メニューやアドレス帳を呼び出すときなどに使用します。また、カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。

ボタン
ボーダフォンライブ！のウェブやカメラを利用するときなどに使用します。

開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

スケジュール、文字、A/aボタン
文字を入力するときやスケジュールを確認するときなどに使用します。

＊、記号、ボタン
＊や記号を入力するときに使用します。また、カメラ利用時は画像表示をメインディスプレイとサブディスプレイで切り替えるときに使用します。

マイク（送話口）

外部接続端子
急速充電器や各種オプション類を接続するときに使用します。

メインディスプレイ
現在の状況やメッセージなどを表示します。

ボタン
メールやデータフォルダなどを利用するときに使用します。

電源、終了ボタン
電源のON／OFFや、通話を終了するとき、操作を終了し待受画面に戻るときに使用します。また、応答保留にするときにも使用します。

クリア、メモボタン
入力した電話番号や文字を消去するとき、ひとつ前の操作画面に戻るときに使用します。また、簡易留守録を設定するときなどに使用します。

ダイレクトキー
ショートカットメニューを呼び出すときなどに使用します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときなどに使用します。

#、ボタン
#を入力するときやマナーモードを設定するときなどに使用します。

フロントスピーカー
着信音などの音が鳴ります。また、通話中の声や音をレシーバーから切り替えて聞くことができます（☞9-18ページ）。

モバイルフラッシュ
夜間および室内などで、カメラ撮影時のフラッシュとして、また待受時にライトとして使用します。

イルミネーション（お知らせランプ）
電話の着信や未確認の不在着信履歴、未読のメールなどがある場合に点滅します（☞15-3ページ）。

ストラップ取り付け穴

モバイルカメラ
ここから撮影した画像がメインディスプレイやサブディスプレイに表示されます。

充電端子
卓上ホルダーで充電するときに使用します。

サブディスプレイ
撮影した画像を表示したり、電話の着信やメール、ウェブ、ステーションの受信などをお知らせします。

充電ランプ
充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。

内蔵アンテナ部分
V603Tの通信用アンテナは本体に内蔵されています（☞2-3ページの重要）。

ロック解除ボタン
V603Tをターンオーバースタイルに開くときに使用します（☞1-11ページ）。

赤外線ポート
赤外線でデータを送受信するときに使用します。

メモリカードスロット
メモリカードを差し込みます（☞10-2ページ）。

TVキー
テレビを起動するときに使用します。

上サイドキー
FMラジオの起動やモバイルフラッシュの設定に使用します。なお、キーの機能は変更できます（☞15-27ページ）。

接写スイッチ
カメラの通常モードと接写モードを切り替えるときに使用します。

下サイドキー（シャッター）
カメラ撮影時やマナーモードを設定するときに使用します。なお、キーの機能は変更できます（☞15-27ページ）。

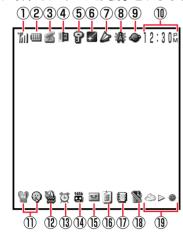
AV OUT／イヤホン端子
リール式イヤホンアンテナやビデオ出力ケーブル、オプション品のスイッチ付イヤホンマイクを差し込みます。

ストラップの取り付けかた

①ストラップを取り付け穴に通します。

②反対側を図のように輪になっているところへ通します。

■メインディスプレイ

メインディスプレイには、以下のアイコンが表示されます。

① （電波状態表示）
棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中
：弱　：微弱

（オフラインモードON表示）
オフラインモードをONにしているときに表示します（☞3-6ページ）。

（圏外表示）
この表示が出ている場所では通話できません。

（赤外線通信表示）
赤外線通信をしているときに表示します。

② （電池レベル表示）
電池の残量を表示します（☞1-13ページ）。
充電中は点滅表示します。また、テレビ／FMラジオ利用中に充電しているときは「」を表示します。

③ （通話中表示）
通話しているときに表示します。

（Vアプリ表示）
Vアプリ実行中に表示します。一時停止中のVアプリがあるときは「」を表示します（☞Vodafone live!編）。V603Tにあらかじめ登録されているVアプリ「TVnano」（電子番組表）を利用しているときは「」を表示します。

④ （メモリカード表示）
メモリカードが取り付けられているときに表示します（☞10-2ページ）。

⑤ （ロック表示）
シークレットモードをONに設定しているときに表示します（☞13-9ページ）。

⑥ （スーパーメール表示）
未読のスーパーメールがあるときに表示します。また、受信メッセージを保存するメモリが一杯になったときは、「」を表示します（☞Vodafone live!編）。

⑦ （メール、配信レポート表示）
未読のスカイメール、グリーティング、配信レポートがあるときに表示します。また、受信メッセージを保存するメモリが一杯になったときは、「」を表示します（☞Vodafone live!編）。

⑧ （ステーション表示）
未読の情報があるときに表示します。また、メインリストを更新中に点滅します（☞Vodafone live!編）。

⑨ （ウェブ表示）
未読の情報があるときに表示します（☞Vodafone live!編）。

⑩ ミニ時計表示
ミニ時計を設定しているときに表示します（☞8-7ページ）。
AM PM（午前・午後表示）
12時間制に設定されているときに表示します（☞8-8ページ）。

⑪ （サイレントモード表示）
サイレントモードでマナーモードを設定しているときに表示します（☞3-2ページ）。

（メザマシモード表示）
メザマシモードでマナーモードを設定しているときに表示します（☞3-2ページ）。

（オリジナルマナー表示）
オリジナルマナーでマナーモードを設定しているときに表示します（☞3-2ページ）。

⑫ （バイブレータ／サイレント表示）
着信設定（電話着信）のバイブレータ（☞9-5ページ）がOFF以外に設定されていると き、着信設定（電話着信）の着信音量（☞9-2ページ）がサイレントに設定されているとき、マナーモード（※）を設定しているときに表示します。

⑬ （目覚まし表示）
目覚ましの機能を設定しているときに表示します。また、繰返し通知を設定した目覚ましが起動しているときは「」を表示します（☞14-52ページ）。

⑭ （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターにメッセージが録音されているときに表示します（☞16-5ページ）。

⑮ （簡易留守録表示）
簡易留守録を設定しているときに表示します（☞15-11ページ）。また、未確認のメッセージがあるときは、「」、「」を表示し、録音できないときは、「」、「」を表示します。

⑯ （不在着信表示）
かかってきた電話に出なかったときなどに表示します。

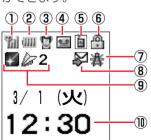
⑰ （スケジュール表示）
待受画面に表示されている日付に、スケジュールを入れているときに表示します（☞14-2ページ）。

⑱ （サイドキー誤動作防止表示）
サイドキー誤動作防止を設定しているときに表示します（☞13-11ページ）。

⑲ ▷ （お天気表示）
お天気アイコンを設定しているときに表示します（☞Vodafone live!編）。

※ オリジナルマナーでマナーモードを設定中の場合は、オリジナルマナー着信音（電話着信）のバイブレータがOFF以外に設定されているときや、オリジナルマナー着信音（電話着信）の着信音量がサイレントに設定されているときに表示されます。

■サブディスプレイ

V603Tを閉じている場合でも、サブディスプレイでさまざまな情報を確認することができます。

① (電波状態表示)
(オフラインモードON表示) オフラインモードをONにしているときに表示します。
(圏外表示) この表示が出ている場所では通話できません。
(赤外線通信表示) 赤外線通信をしているときに表示します。

② (電池レベル表示)

③ (メモリカード表示) メモリカードが取り付けられているときに表示します。
(マナーモード設定表示) マナーモードが設定されているときに表示します。

④ (簡易留守録表示) 簡易留守録を設定しているときに表示します。
(Vアプリ表示) Vアプリ実行中に表示します。

⑤ (不在着信表示) かかってきた電話に出なかったときなどに表示します。
(目覚まし表示) 目覚ましの機能を設定しているときに表示します。
(メッセージお預かり表示) 留守番電話センターにメッセージが録音されているときに表示します。

⑥ 不在着信件数
不在着信の件数を表示します。
(ダイヤル操作禁止表示) ダイヤル操作を禁止する設定にしているときに表示します。
(サイドキー誤動作防止表示) サイドキー誤動作防止を設定しているときに表示します。

⑦ (ステーション表示) 未読の情報があるときに表示します。

⑧ (配信レポート表示) 未読の配信レポートがあるときに表示します。

⑨ ▷ (お天気表示) お天気アイコンを設定しているときに表示します。
(スーパーメール表示) 未読のスーパーメールがあるときに表示します。
(メール表示) 未読のスカイメール、グリーティングがあるときに表示します。
未読メール件数
スーパーメールとスカイメールの未読件数の合計を表示します。

⑩ 時刻表示
AM PM (午前・午後表示) 12時間制に設定されているときに表示します。

待受中のとき

● 通常の待受画面の場合

● 不在着信などの情報がある場合

電話がかかってきたとき（着信）

● アドレス帳に登録されていない場合

03123XXXX1

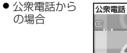
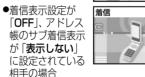
● アドレス帳に登録されている場合

田中

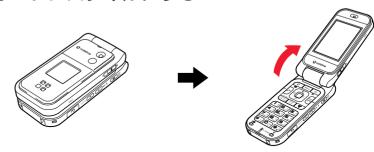
● 通知が不可能な場合

● 電話番号を通知していない相手からの場合

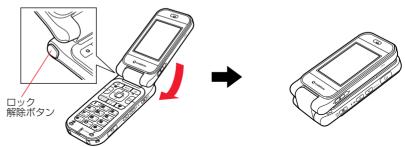
非通知設定

● 公衆電話からの場合

●着信表示設定が「**OFF**」、アドレス帳のサブ着信表示が「**表示しない**」に設定されている相手の場合

メインディスプレイの開きかた

V603Tでは、メインディスプレイを通常の開きかた（オープンスタイル）からさらに外側に開いた状態（ターンオーバースタイル）で使うことができます。
本書では、オープンスタイルを中心に操作の説明をします。

■オープンスタイルにする

通話するときや、メインディスプレイを見ながらボタン操作するときの開きかたです。

■ターンオーバースタイルにする

● **ロック解除ボタンを押しながら、ゆっくり外側に開いてください。**

メインディスプレイを外側にして、完全に2つ折りにした状態です。
主にテレビを横表示画面で見るときの開きかたです。テレビ利用時のボタン操作については、6-5ページを参照してください。

重 要

- メインディスプレイを開くときまたは通話中に、無理な力を加えないでください。
- ターンオーバースタイルのまま携帯しないでください。メインディスプレイを破損する場合があります。

補足

- ターンオーバースタイルのときはボタン操作が制限されます。ターンオーバースタイルで操作できない場合は、オープンスタイルに戻して操作してください。
- ターンオーバースタイルのときに電話がかかってきた場合は、オープンスタイルに戻して応答してください。ターンオーバースタイルでも通話は可能ですが、音声は伝わりにくくなります。

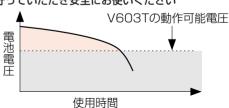
電池パックと充電器のお取り扱い

■電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■リチウムイオン電池の豆知識

リチウムイオン電池は次の注意事項を守っていただき安全にお使いください

非常に安定したイオン化合物としてリチウムを利用しています。「金属リチウム」は使用していません。

使用時間にともなって上図のように徐々に電圧が下がる性質があります。

高温・低温下では性能を十分発揮できません

・高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。
　また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
・低温下での充電は、十分な性能が得られません。
　充電は5℃～35℃の場所で行ってください。

保管する場合は次のことを守ってください

電池パック単体で保管する場合は、電池パックのコネクターがショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しい所で保管してください。

電池パックは自然放電します

電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。

注意事項

- **指定の急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器を使用して電池パックを充電してください**
- **衝撃を与えたり、落としたりしないでください**
- **充電端子および電池パックのコネクターなどを時々乾いた綿棒などで清掃してください**
  汚れていると接触不良の原因となる場合があります（☞1-14～1-17ページ）。

電池レベルについて

電池レベル表示は、ご使用の時間経過とともに変化します。ディスプレイの電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。
レベル2以下になるとテレビ／FMラジオを利用することはできません。レベル0になると電池アラーム音が鳴り、約15秒後（通話中は約30秒後）に電源が切れます。

レベル4：十分残っています
レベル3：中位残っています
レベル2：少なくなっています
レベル1：残りわずかです
レベル0：充電が必要です

■電池パックを取り付ける／取り外す

1 図のように電池カバーの溝に爪をかけてⒶの方へスライドさせる

2 電池カバーを外す

3 電池パックを取り付ける、または取り外す

取り付ける場合は、図のように、V603Tと電池パックの下部を合わせて取り付けます。
取り外す場合は、電池パックの引っかけ部に爪をかけて持ち上げます。

4 電池カバーを取り付ける

V603Tと電池カバーを図の位置に合わせてからⒷの方へカチッと音がするまでスライドさせます。

取り付ける

取り外す

引っかけ部

重要

- 必ず、電池パックおよび電池カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 電池パックは、電源を切ってから取り外してください。また、引っかけ部以外のところから持ち上げて外さないようにしてください。
- 充電する際に「**電池パックの装着状態を確認してください**」と表示されたときは、直ちに充電を中止し、電池カバーを外して電池パックをセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、急速充電器または卓上ホルダーの不良が考えられます。電池パック、急速充電器、卓上ホルダーと共に最寄りの「**ボーダフォンショップ**」へお持ちいただくか、「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。
- 電池パックには寿命があります。充電、放電を繰り返すうち、使用可能時間が短くなります。使用可能時間が短くなってきたら、新しい電池パックをお買い求めください。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取りはずした電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックはコネクターを絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、「**ボーダフォンショップ**」またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

補足

電池パックのお取り扱いについては1-13ページを参照してください。

■電池パックを充電する

急速充電器を利用して充電する

充電時間	約120分

1 V603Tに急速充電器のコネクターを取り付ける

V603T下部の外部接続端子キャップを開け、コネクターの刻印を上にして外部接続端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントに差し込む

装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

充電ランプ
家庭用交流100Vコンセント
外部接続端子
刻印
プラグ
急速充電器
コネクター
V603T
外部接続端子キャップ
リリースボタン

3 充電ランプが消灯したら急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントから抜く

充電が終了すると電池レベル表示が点灯し、充電ランプが消灯します。

4 V603Tから急速充電器のコネクターを取り外す

コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重要

- 「**充電器との接続を確認してください**」と表示されたときは、家庭用交流100Vコンセントから急速充電器のプラグを抜いて、V603Tから急速充電器のコネクターを取り外します。外部接続端子を乾いた綿棒などで清掃し、V603Tと急速充電器をセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、急速充電器の不良が考えられます。直ちに充電を中止し、家庭用交流100Vコンセントからプラグを抜いて、電池パック、急速充電器と共に最寄りの「**ボーダフォンショップ**」へお持ちいただくか、「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。
- V603Tを充電する際は、必ずV603Tに電池パックを取り付けた状態で行ってください。
- 電源をONにした状態でも充電することができます。このとき、ディスプレイに表示される電池レベルは、実際の電池レベルより高く表示されます。また、充電時間が長くなります。
- 充電中はV603Tと急速充電器が温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。
- 湿気の多いところでは充電しないでください。

補足

- 充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信時と同様に着信音やバイブレータとイルミネーション（お知らせランプ）の点滅でお知らせします。
- 充電中にテレビ／FMラジオを利用しているときは、電池レベル表示は点滅しません。
- 電池パックのお取り扱いについては1-13ページを参照してください。

卓上ホルダーを利用して充電する

充電時間	約120分

1 急速充電器のコネクターを卓上ホルダーに取り付ける

急速充電器のコネクターの刻印を上にして、卓上ホルダー背面の電源端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントに差し込む

3 V603Tを卓上ホルダーにセットする

図のように、まっすぐセットしてください。
装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

4 充電ランプが消灯したらV603Tを卓上ホルダーから取り外す

充電が終了すると電池レベル表示が点灯し、充電ランプが消灯します。

5 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントから抜く

重 要

「**充電器との接続を確認してください**」と表示されたときは、家庭用交流100Vコンセントから急速充電器のプラグを抜いて、卓上ホルダーから急速充電器のコネクターを取り外します。V603Tの充電端子、卓上ホルダーの電源端子および充電端子を乾いた綿棒などで清掃し、V603T、急速充電器、卓上ホルダーをセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、急速充電器または卓上ホルダーの不良が考えられます。直ちに充電を中止し、家庭用交流100Vコンセントからプラグを抜いて、電池パック、急速充電器、卓上ホルダーと共に最寄りの「**ボーダフォンショップ**」へお持ちいただくか、「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。

シガーライター充電器（オプション品）を利用して充電する

充電時間	約120分

1 V603Tにシガーライター充電器のコネクターを取り付ける

V603T下部の外部接続端子キャップを開け、コネクターを外部接続端子に接続します。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

シガーライターソケット
充電ランプ
V603T
プラグ
外部接続端子
シガーライター充電器
リリースボタン
コネクター
外部接続端子キャップ

3 充電ランプが消灯したらプラグをシガーライターソケットから抜く

充電が終了すると、電池レベル表示が点灯し、充電ランプが消灯します。

4 V603Tからシガーライター充電器のコネクターを取り外す

コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重 要

- 「**充電器との接続を確認してください**」と表示されたときは、シガーライターソケットからシガーライター充電器のプラグを抜いて、V603Tからシガーライター充電器のコネクターを取り外します。V603Tの外部接続端子、シガーライター充電器のプラグを乾いた綿棒などで清掃し、V603T、シガーライター充電器をセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、シガーライター充電器の不良が考えられます。直ちに充電を中止し、シガーライターソケットからプラグを抜いて、電池パック、シガーライター充電器と共に最寄りの「**ボーダフォンショップ**」へお持ちいただくか、「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。
- 車のバッテリーの消耗を防ぐため、必ずエンジンをかけてご使用ください。
- 運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。
- 車から離れる際はシガーライター充電器を外してください。キーを抜いてもシガーライターが使える車（キーを抜いても充電ランプが点灯する車）で使用した場合、車のバッテリーが消耗され、バッテリーがあがる原因となります。
- 充電中はV603Tとシガーライター充電器が温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

補 足

- 電源を入れると、以下の動作を行います。
  - ・ウェイクアップ音が鳴ります（☞9-6ページ）。
  - ・ウェイクアップ画面が表示されます（☞8-18ページ）。
  - ・充電ランプが点灯します。
  - ・メインディスプレイが点灯します。
  - ・イルミネーション（お知らせランプ）が点灯します。
- 初めてお使いになるときは、V603Tの時計を合わせてください（☞1-19ページ）。
- お買い上げ後、初めてV603Tの電源を入れて、[O]、[Menu]、[Mail]、[Yahoo]または[□●]を押すと、「**ネットワーク自動調整**」の画面が表示されます。「YES」を選択して[■]を押し、ネットワーク自動調整を行ってください。詳しくはVodafone live!編を参照してください。

電源を切る

電源を切る場合は、待受画面で[Power]を長く（約1秒以上）押してください。
パワーオフ画面（☞8-18ページ）が表示され、電源が切れます。

日付・時刻の設定

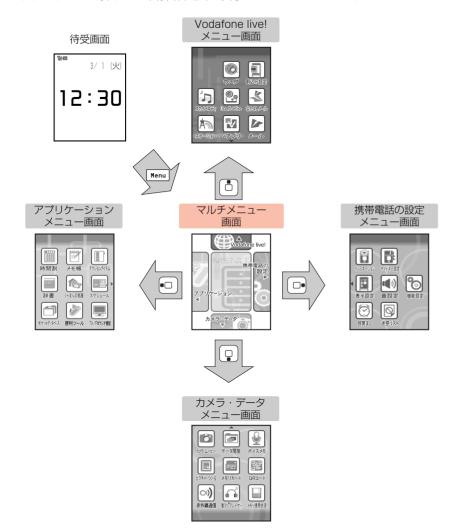
メインディスプレイとサブディスプレイの待受画面に表示される日付・時刻を設定します。時計表示は変更することができます（☞8-7、8-14ページ）。[時計設定]

補 足

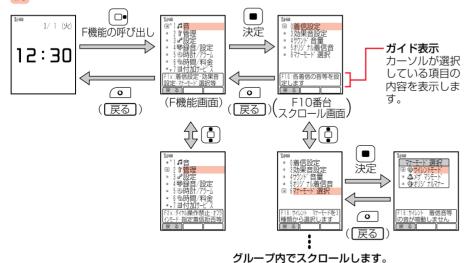
- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は24時間制で入力します。
- 時計の設定を行うと自動的に曜日が設定されます。また、12h/24h設定により表示を12時間制にすることができます（☞8-8ページ）。
- 入力できる日付は、2000年1月1日から2099年12月31日までです。
- 日付、時刻の入力中に[●□●]を押すと、カーソルを移動することができます。また、[◇]を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げたりすることができます。
- 時報（117番）をフロントスピーカー（☞9-18ページ）から聞きながら時刻を設定することができます。

機能の呼び出しかた

■マルチメニューから機能を呼び出す

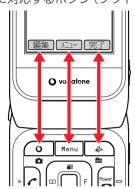
待受画面で[Menu]を押すと、マルチメニュー画面が表示されます。
このあと、[十字キー]で目的のアイコンを選択し[●]を押すか、対応する番号(☞1-21ページ)のダイヤルボタンを押すと、各操作画面を表示させることができます。

画　面	機能名	参照ページ
Vodafone live!	2 ウェブ	Vodafone live!編
	3 割込み設定	
	4 スカイメロディ	
	5 TOSHIBA User Club Site	
	6 なかよしメール	
	7 ステーション	
	8 Vアプリ	
	9 メール	
アプリケーション	1 時間割	14-24
	2 メモ帳	14-30
	3 アクションアイテム	14-18
	4 辞書	14-32
	5 くーまんの部屋	15-31
	6 スケジュール	14-2
	7 ポケットデータベース	14-35
	8 便利ツール	14-56
	9 TV／FMラジオ機能	6-7、6-20
携帯電話の設定	1 イルミネーション	15-3
	2 サイドキー設定	15-27
	4 表示設定	1-19、8章、15-3
	5 音設定	3章、9章
	6 機能設定	18-2
	7 目覚まし	14-52
	8 迷惑リスト	2-10、13-6、Vodafone live!編
カメラ・データ	1 カメラ・ムービー	7章
	2 データ閲覧	11章
	3 ボイスメモ	14-62
	4 ピクチャーつく～る	7-35
	5 メモリカード	10章
	6 QRコード	15-28
	7 赤外線通信	12-2
	8 着うた®プレイヤー	14-70
	9 メモリ使用状況	11-12、Vodafone live!編

■ファンクションメニューから機能を呼び出す

例 マナーモードの設定（☞3-2ページ）を行う場合

カーソルについて

カーソルとは、文字入力画面で表示される「▮」または「■」やF機能のメニュー画面などで表示される「　　　」をいいます。

■ソフトキーの使いかた

メインディスプレイの最下段に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタン（ソフトキー）を押してください。

- 編集 の操作を行う場合は、○ を押します。
- メニュー の操作を行う場合は、Menu を押します。
- 完了 の操作を行う場合は、✉ を押します。

補 足

- メインディスプレイに表示される内容は、利用する機能によって異なります。
- 本書ではソフトキーを押す場合の操作を ✉（完了）などと記載しています。

■マルチファンクションボタンの使いかた

マルチファンクションボタンは、上下左右、中央を押すことにより、アドレス帳の検索などが行えます。

操作		本書での表記		
	● F機能のメニューを呼び出すとき ● カーソルを右に移動させるとき ● 選択している項目を決定・実行するとき	右を押すとき	左右を押すとき	上下左右を押すとき
	● アドレス帳の検索画面を呼び出すとき ● カーソルを左に移動させるとき ● ひとつ前の画面に戻るとき	左を押すとき		
	● 着信履歴を呼び出すとき ● カーソルを上に移動させるとき ● 音量を大きくするとき	上を押すとき	上下を押すとき	
	● リダイヤルを呼び出すとき ● カーソルを下に移動させるとき ● 音量を小さくするとき	下を押すとき		
	● 選択している項目を決定・実行するとき ● 撮影するとき（シャッター）	中央を押すとき		

暗証番号

V603Tのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」が必要になります。

■操作用暗証番号について

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の番号で、以下の機能を使用するときに必要です。

- ダイヤル操作禁止の設定／解除
- 簡易ロック
- 設定リセット
- シークレットモード
- 指定着信拒否
- 累積通話時間表示のリセット
- オールリセット
- 国際ショートコードの設定
- メモリオールクリア
- 操作用暗証番号の変更
- 禁止設定
- 累積通話料金表示のリセット
- 迷惑リストの利用
- メモリカードのアドレス帳全消去
- スケジュールロックの設定／解除／変更／表示
- スケジュールのメール呼出（シークレットフォルダを選択した場合）
- 時間割全消去
- ユーザー辞書の全消去
- 引っ越し機能の利用
- 赤外線認証パスワード設定
- 赤外線フォルダ送信
- 赤外線一括送信
- 赤外線受信
- データフォルダのセキュリティ設定
- データフォルダのフォルダ消去
- データフォルダ全消去
- デジタルカメラフォルダ全消去
- 外部ビデオフォルダのフォルダ消去
- メモリカードの一括転送
- メモリカードのフォーマット
- メモリカードのオートラン消去
- ポケットデータベースのセキュリティ設定

重要

- 操作用暗証番号は、お忘れにならないようご注意ください。
- 事故の原因となりますので、操作用暗証番号は他人に知られないようご注意ください。

補足

- 操作用暗証番号はV603Tの操作で変更することができます（☞13-2ページ）。
- 入力した操作用暗証番号は「＊」で表示されます。

■交換機用暗証番号について

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4桁の番号です。オプションサービスを一般電話から操作するときや、ウェブ（☞Vodafone live!編）の有料情報の申し込み時に必要な番号です。

重要

交換機用暗証番号は、お忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。なお、交換機用暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

基本的な操作のご案内

電話をかける

間違えてダイヤルしたときは

を押すか、 を長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。 を短く押すと、入力した電話番号を右端から1桁ずつ消すことができます。

相手がお話し中のときは

「プープー…」という話中音が聞こえます。
を押して電話を切り、しばらくたってからもう一度かけ直してください。

国際電話の使いかた

V603Tから、国際電話サービスがご利用になれます。
詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。また、操作方法については15-23ページを参照してください。

電話番号を相手に通知するときは

発信者番号通知サービスを受けている場合は、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号を表示させることができます（☞16-2ページ）。

重 要

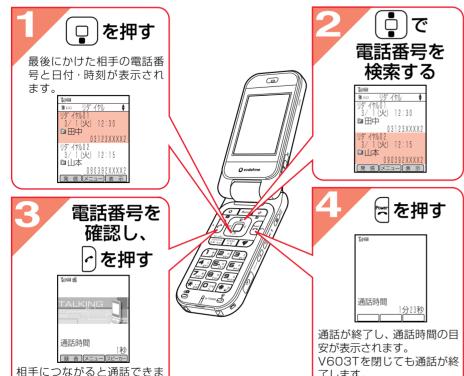
- V603Tの通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（☞1-7ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- リール式イヤホンアンテナやイヤホンマイク（オプション品）を本体に巻きつけないでください。また、リール式イヤホンアンテナやイヤホンマイクを内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。
- 通話中にレシーバー（受話口）を耳に強く押し付けると、ターンオーバースタイルになる場合がありますので、ご注意ください。
- 体の向きや通話している場所によって通話品質が変わることがあります。

補 足

リール式イヤホンアンテナを接続して通話する場合は、本体のマイクを近付けて通話してください。

■以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前にかけた電話の日時や電話番号を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。

重 要

シークレットメモリ（☞13-9ページ）に登録された番号に電話をかけた場合、リダイヤルには記憶されません。

補 足

- 操作1、2の画面で（発信）を押しても電話をかけることができます。
- 本体のアドレス帳に登録されている相手に電話をかけると、ディスプレイには名前が表示されます。
- リダイヤルの電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作1、2の画面で（表示）を押すと、選択している相手の電話番号を全桁（24桁まで）確認できます。
- リダイヤルの内容は電源を切っても消えません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- リダイヤルの件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中にリダイヤルを確認する場合は、を長く（約1秒以上）押します。
- リダイヤルを表示中にMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**アドレス帳登録**／**アドレス帳追加**／**アドレス帳呼出**／**メール作成**／**184発信**／**186発信**／**1件消去**／**全件消去**

電話を受ける

1 電源を入れておく

2 電話がかかってくる

着信音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

3 V603Tを開いて を押す

電話がつながり通話できます。

4 を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。
V603Tを閉じても通話が終了します。

重 要

- V603Tの通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（☞1-7ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- リール式イヤホンアンテナやイヤホンマイク（オプション品）を本体に巻きつけないでください。また、リール式イヤホンアンテナやイヤホンマイクを内蔵アンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。
- 通話中にレシーバー（受話口）を耳に強く押し付けると、ターンオーバースタイルになる場合がありますので、ご注意ください。
- 体の向きや通話している場所によって通話品質が変わることがあります。

補 足

- の他、0～9、＊、＃のいずれかのボタンを押しても電話が受けられるように設定できます（☞15-20ページ）。［エニーキーアンサー］
- かかってきた電話に出られなかった場合は、お知らせ一発メニューが表示されます（☞15-2ページ）。
- 本体のアドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。［発信者名表示］
  ただし、シークレットメモリ（☞13-9ページ）に登録している相手の場合は表示されません（シークレットモード中を除く）。
- 相手から電話番号の通知がなかった場合は以下のように表示されます。
  - 「?非通知設定」：相手が電話番号を通知してこなかった場合
  - 「公衆電話」：公衆電話からかかってきた場合
  - 「?発番通知不可」：電話番号の通知が不可能な電話からかかってきた場合
- 着信中に を押して、着信音量を調節することができます（☞9-2ページ）。

電話に出られないとき

■着信を保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、その電話を保留にすることができます。［応答保留］

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

2 を押す

「ピーッ」という応答保留音が鳴り、相手には現在電話に出られないことをアナウンスでお知らせします。

3 電話に出られるようになったら を押す

電話がつながり通話できます。

4 を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。
V603Tを閉じても通話が終了します。

重 要

- 応答保留中でも電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に を押すと、保留中の通話が終了します。
- 通話中の相手に対し保留にすることはできません。

補足

- 操作1の画面で[発信キー]（[保留]）を押しても保留にすることができます。
- 保留中の相手には「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけ直しください」などのアナウンスが流れます。
- 応答保留中は[通話キー]の他、[発信キー]（[応答]）を押しても電話が受けられます。
- 本体のアドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。[発信者名表示]
  ただし、シークレットメモリ（☞13-9ページ）に登録している相手の場合は表示されません（シークレットモード中を除く）。
- 着信中に[音量キー]を押して、着信音量を調節することができます（☞9-2ページ）。

■メッセージを録音する（簡易留守録）

電話に出られない場合、V603Tに相手のメッセージを録音することができます。録音は、音声メモ（☞2-13ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。

1 着信音が鳴る

2 [Clear メモ]を押す（約1秒以上）

相手には「ただいま電話に出ることができません　ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください」という応答メッセージが流れます。

相手が電話を切るか、約90秒経過すると録音は終了し、待受画面に「[アイコン]」が表示されます。
録音された内容を再生する場合は2-14ページを参照してください。

重要

録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「[アイコン]」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「[アイコン]」の表示が消えるまで消去（☞2-15ページ補足）してください。

補足

- [キー]（[留守録]）を押しても録音することができます。
- V603Tを閉じた状態で下サイドキーを長く（約1秒以上）押しても録音することができます。
- ターンオーバースタイル（☞1-11ページ）では、上サイドキーを長く（約1秒以上）押すと録音することができます。
- 応答メッセージ再生中およびメッセージの録音中に[キー]（[応答]）または[通話キー]を押すと、相手と通話することができます。この場合、録音中のメッセージは保存されません。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記憶されています。
- 電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりすることができます（☞16-4ページ）。

迷惑電話を防止する

本体のアドレス帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、着信音を約3秒間鳴らさないように設定することができます。[ワンコール無音設定]
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

補 足

- ワンコール無音を「ON」に設定した場合、着信から約3秒間は着信画面とイルミネーションの点滅で着信をお知らせします。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合や、公衆電話、通知が不可能な電話からかかってきた場合は、ワンコール無音を設定していても通常の着信となります。

着信を拒否する

かかってきた電話を拒否することができます。着信拒否を行うと、相手には話中音（プープー…）を返します。[着信拒否]

補 足

- 通話中に割込みの電話がかかってきたときも、割込通話サービスが設定されている場合は、同様の操作で着信を拒否することができます（☞16-7ページ）。
- かかってきた電話を自動的に拒否することもできます（☞13-5、13-6ページ）。
- [□■] [Clear メモ] の順に押して、かかってきた電話を拒否することもできます。

通話中の操作

■受話音量を調節する

レシーバーから聞こえる相手の声の大きさを5段階に調節することができます。
お買い上げ時は「**レベル5**」に設定されています。

補足

待受中に [上] または [下] を長く（約1秒以上）押したあと、[上下] で受話音量を調節することもできます。

■通話中に相手の声を録音する

通話中に相手の声を録音することができます。簡易留守録（☞2-8ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで録音することができます。［音声メモ］

重要

- 音声メモでは相手の声だけが録音され、自分の声は録音されません。
- 録音が一杯の場合は、音声メモを録音できません。音声メモおよび簡易留守録を消去（☞2-15ページ補足）してください。

補足

- 録音中に電話が切れると録音も終了し、録音されたところまでが保存されます。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記憶されています。
- 以下の操作で録音開始、停止を行うこともできます。
  - ・[Clear メモ] を長く押す（約1秒以上）：録音開始
  - ・[Clear メモ] を短く押す：録音停止

簡易留守録や音声メモを再生する

簡易留守録や音声メモに録音されているメッセージを再生します。

例 簡易留守録のメッセージを再生したあと消去する場合

補足

- 音声メモを再生する場合は、操作1の画面で「**音声メモ**」を選択してください。
- 音声メモでは名前および電話番号は表示されません。
- 再生中に電話がかかってくると、再生を中止して電話を受けることができます。
- 操作2の画面で Menu （メニュー）を押して、消去（**1件消去／全件消去**）の操作を行うことができます。
- **簡易留守録または音声メモをすべて消去する場合は…**
  4 1の順に押したあと「**留守録**」または「**音声メモ**」を選択し、(●)を2回押します。

■通話中にメモを登録する

ダイヤルボタンを使って通話中に電話番号などをメモすることができます。メモは3件まで自動的に登録されます。[ノートパッドメモリ]
また、登録された内容(ノートパッドメモリ)は、電話を切ったあとや通話中に確認したり、電話をかけることができます。

電話番号などをメモする

(「03123XXXX1」を入力した場合)

ノートパッドメモリを確認する

1 を押す(約1秒以上)

▶最新のノートパッドメモリが表示されます。

- メモした番号が、本体のアドレス帳に登録されている電話番号と一致した場合は、名前も表示されます。
- ノートパッドメモリの記録が1件もないときは元の画面に戻ります。

補足

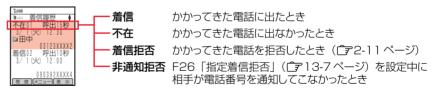
- 相手の電話番号が表示されているときにまたは(発信)を押すと、相手に電話をかけることができます。
- 自動的に登録されるのは、最後に入力した数字または記号から24桁分までです。
- すでに3件登録されている状態で更に登録すると、古いものから順に消去されます。
- ノートパッドメモリを表示中にMenu(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**アドレス帳登録/アドレス帳追加/アドレス帳呼出/メール作成/184発信/186発信/1件消去/全件消去**

着信履歴の確認

過去にかかってきた電話の履歴(日時や電話番号など)を最新の20件まで確認することができます。

着信履歴の見かた

着信	かかってきた電話に出たとき
不在	かかってきた電話に出なかったとき
着信拒否	かかってきた電話を拒否したとき(☞2-11ページ)
非通知拒否	F26「指定着信拒否」(☞13-7ページ)を設定中に相手が電話番号を通知してこなかったとき

補足

- 相手の電話番号が表示されているときにまたは(発信)を押すと、相手に電話をかけることができます。
- 本体のアドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。[発信者名表示]
  ただし、シークレットメモリ(☞13-9ページ)に登録している相手の場合は表示されません(シークレットモード中を除く)。
- 相手から電話番号の通知がなかった場合は以下のように表示されます。
  ・「非通知設定」 :相手が電話番号を通知してこなかった場合
  ・「公衆電話」 :公衆電話からかかってきた場合
  ・「発番通知不可」:電話番号の通知が不可能な電話からかかってきた場合
- 着信履歴の電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作1、2の画面で(表示)を押すと、全桁(24桁まで)確認できます。
- 着信履歴の内容は電源を切っても消えません。
- 着信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中に着信履歴を確認する場合は、を長く(約1秒以上)押します。
- 着信履歴を表示中にMenu(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**アドレス帳登録/アドレス帳追加/アドレス帳呼出/メール作成/184発信/186発信/迷惑リスト追加/1件消去/全件消去**

通話時間表示

通話時間を表示する

前回通話したときの通話時間を確認することができます。

重要

- 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話時間はリセットされます。

累積通話時間を表示する

現在までの通話時間の合計を確認することができます。

1 〔□●〕〔6〕〔2〕の順に押す

▶累積通話時間が表示されます。
待受画面に戻るときは、〔Power〕を押してください。

重要

- 表示される累積通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 累積通話時間では、電話をかけたときの通話時間が加算され、メールやウェブ（☞Vodafone live!編）の通信時間は含まれません。

補足

- 累積通話時間が999時間59分59秒を超えた場合、それ以上は加算されませんので累積通話時間をリセットしてください。
- 操作1の画面で〔Menu〕（〔メニュー〕）を押して、累積通話時間のリセットを行うことができます。

通話料金表示

通話料金を表示する

前回電話をかけたときの通話料金を確認することができます。

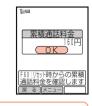
重要

- 表示される通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話料金はリセットされます。
- 三者通話サービス（☞16-8ページ）を行った場合は、両者を合わせた通話料金が表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断したり、国際電話をかけた場合は、通話料金は表示されません。

累積通話料金を表示する

現在までの通話料金の合計を確認することができます。

1 〔□●〕〔6〕〔0〕の順に押す

▶累積通話料金が表示されます。
待受画面に戻るときは、〔Power〕を押してください。

重要

- 表示される累積通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 累積通話料金では、電話をかけたときの通話料金が加算され、メールやウェブ（☞Vodafone live!編）の通信料金は含まれません。

補足

操作1の画面で〔Menu〕（〔メニュー〕）を押して、累積通話料金のリセットを行うことができます。

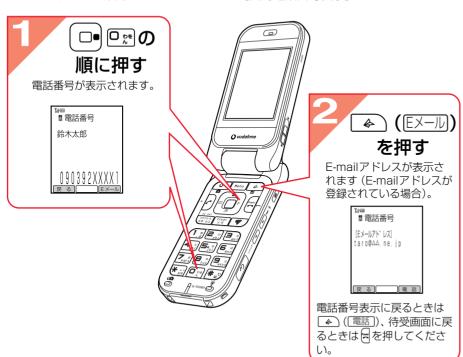
自分の電話番号とE-mailアドレスの確認

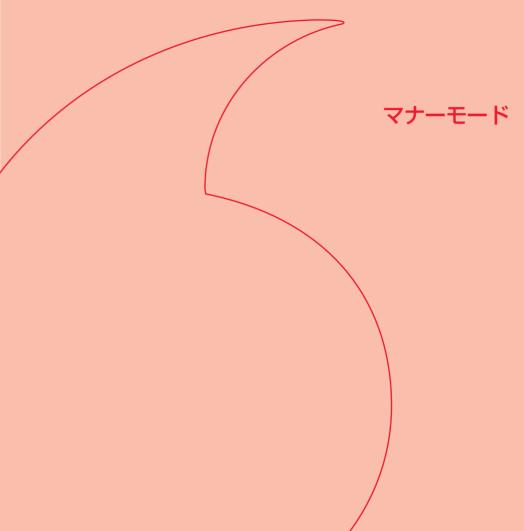
自分のV603Tの電話番号やF46「オーナー登録」(☞15-9ページ)で登録した名前、E-mailアドレスを確認することができます。[自局電話番号表示]

2 (Eメール) を押す

E-mailアドレスが表示されます(E-mailアドレスが登録されている場合)。

電話番号
[Eメールアドレス]
taro@△△.ne.jp
戻る 電話

電話番号表示に戻るときは(電話)、待受画面に戻るときはを押してください。

補 足

- 名前やE-mailアドレスは、F46「オーナー登録」(☞15-9ページ)で登録している場合に表示されます。登録がない場合、操作**2**は行えません。
- 通話中にの順に押しても、電話番号や名前、E-mailアドレスを確認することができます。

マナーモード

マナーモード設定

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑とならないように音やバイブレータの設定を切り替えることができます。

■マナーモードを設定／解除する

マナーモードにする

1 **#を押す（約1秒以上）**

▶マナーモードが設定されます。

マナーモードを解除する

1 **マナーモード設定中に#を押す（約1秒以上）**

▶マナーモードが解除されます。

補 足

マナーモードを設定しても、カメラ／ムービー利用時のシャッター音や電子音は鳴ります。

■マナーモードの種類を変更する

マナーモードは以下の種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**サイレントモード**」に設定されています。

項 目	内 容
サイレントモード	フロントスピーカーから音を一切鳴らさないモードです。
メザマシモード	目覚ましのアラーム以外は鳴らさないモードです。
オリジナルマナー	以下の項目を個別に設定することができます。 ・着信音（着信音量･バイブレータ） ・目覚まし（アラーム音量･バイブレータ） ・スケジュール（アラーム音量･バイブレータ） ・Vアプリ（Vアプリ音量･バイブレータ） ・サウンド音量 ・効果音 ・テレビ／FMラジオ ・簡易留守録

1 **メニュー 1 6 の順に押す**

2 **で変更したいマナーモードを選択し、■を押す**

▶マナーモードの種類が変更されます。

各モードの設定内容

機能設定		サイレントモード	メザマシモード	オリジナルマナー
着信音量	**電話着信**	サイレント	サイレント	3-4ページの設定による
	メール着信			
	スーパーメール着信			
	ウェブ着信			
	ステーション着信			
バイブレータ	**電話着信**	パターン1	パターン1	3-4ページの設定による
	メール着信			
	スーパーメール着信			
	ウェブ着信			
	ステーション着信			
	目覚まし	パターン1	14-54ページの設定による	3-4ページの設定による
	スケジュールアラーム	パターン1（※1）	パターン1（※1）	3-4ページの設定による
	Vアプリ	Vアプリのバイブ設定による（☞Vodafone live!編）（※2）	Vアプリのバイブ設定による（※2）	Vアプリのバイブ設定による（※3）
効果音	**ウェイクアップ音**	OFF	OFF	3-4ページの設定による（※4）
	パワーオフ音			
	ボタン確認音			
	オープン／クローズ音			
目覚まし		サイレント	14-54ページの設定による	3-4ページの設定による
スケジュールアラーム音		サイレント	サイレント	3-4ページの設定による
Vアプリ		サイレント	サイレント	3-4ページの設定による
サウンド音量（※5、6）		サイレント	サイレント	3-4ページの設定による
テレビ／FMラジオ		（※7）	（※7）	3-4ページの設定による（※7）
簡易留守録		15-11ページの設定による	15-11ページの設定による	3-4ページの設定による
電池アラーム音（※8）		サイレント	サイレント	サイレント
応答保留音		サイレント	サイレント	サイレント

※1 最大1分間振動します。
※2 待受設定しているVアプリ（☞Vodafone live!編）の起動中に着信があった場合は、「**パターン1**」で振動します。
※3 オリジナルマナーの設定でVアプリのバイブレータを「**OFF**」に設定している場合（☞3-4ページ）、待受設定しているVアプリの起動中はバイブレータは振動しません（着信時は、オリジナルマナーの着信音のバイブレータ設定に従います）。
※4 「**ON**」の場合は、効果音（☞9-6ページ）の設定に従います。
※5 サウンド音量とは、メール／ウェブ／ステーションを利用中にメロディなどを再生したときの音量です。
※6 サウンド再生時のバイブレータは「**SMAF連動**」（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）となり、サウンドに連動して振動します。
※7 設定内容の詳細は、6-4ページを参照してください。
※8 通話中のみレシーバーより聞こえます。

■オリジナルマナーの設定内容を変更する

オリジナルマナーでは、以下の項目を個別に設定することができます。

項　目	内　容
着信音	音量：サイレント／レベル1～5／ステップアップ／ステップダウン バイブレータ：パターン1～3／SMAF連動／OFF ※着信音では、電話着信、メール着信、スーパーメール着信、ウェブ着信、ステーション着信で個別に音量やバイブレータを設定できます。
目覚まし	
スケジュール	
Vアプリ	音量：サイレント／レベル1～5 バイブレータ：ON／OFF
サウンド音量	サイレント／レベル1～5
効果音	ON／OFF
テレビ／FMラジオ	ON／OFF
簡易留守録	設定／解除

例 「**スーパーメール着信**」の着信音量を変更する場合

1　次の操作でオリジナルマナー設定画面を呼び出す

① [□■] [1] [6] の順に押す

② [◇] で「**オリジナルマナー**」を選択し、[✎]（[変更]）を押す

2　[◇] で「着信音」を選択し、[■] を押す

▶着信音設定画面が表示されます。

3　[◇] で「スーパーメール着信」を選択し、[■] を押す

▶スーパーメール着信設定画面が表示されます。

4　[◇] で「着信音量」を選択し、[■] を押す

- [✎]（[確認]）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

5　[◇] で音量を調節し、[■] を押す

▶着信音量が設定されます。

6　[o]（[戻る]）を2回押す

7　[✎]（[完了]）を押す

▶オリジナルマナーの設定内容が変更されます。

補足

操作*6*のオリジナルマナー設定画面では、画面右側に設定内容が表示されます。表示の意味は以下のとおりです（効果音とテレビ／FMラジオ、簡易留守録を除く）。

表示＼設定	音　量	バイブレータ
音	サイレント以外	OFF
バイブ	サイレント	OFF以外
音／バイブ	サイレント以外	OFF以外
OFF	サイレント	OFF

3 マナーモード

電波の送受信を禁止する（オフラインモード）

電源を切らずに電波の送受信を禁止して、電話をかけることや受けること、メールの送受信、ウェブ、ステーション、Vアプリ（ネットワーク接続型のみ）の各サービスを利用できないようにします。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 [□■][2][4]の順に押す

- 一時停止中のVアプリやVアプリを待受画面に設定している場合、Vアプリの終了や待受Vアプリの解除確認画面が表示されます。「**YES**」を選択し、[■]を押してください。

2 [■]を押す

▶オフラインモード設定画面が表示されます。

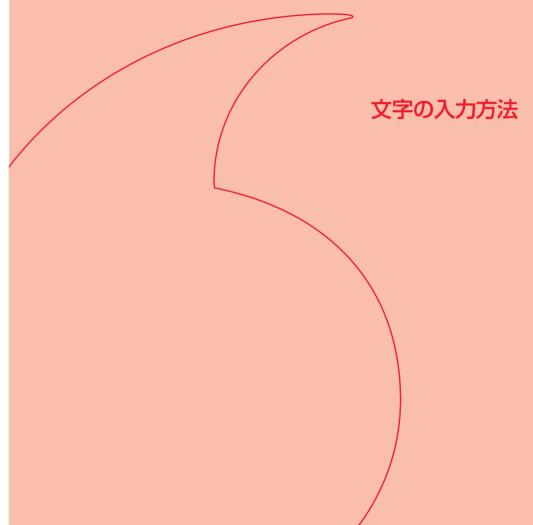
3 [◇]で「**ON**」を選択し、[■]を押す

▶オフラインモードが設定されます。
- 設定を解除するときは「**OFF**」を選択します。

重要

オフラインモードを「**ON**」に設定すると、電話を受けることなどができなくなりますので、設定の解除を忘れないようご注意ください。

補足

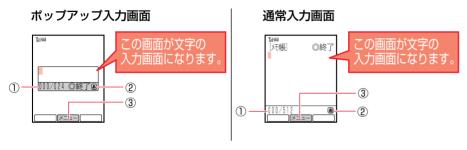
- メールの送受信などの通信中は、オフラインモードを設定できません。
- オフラインモードを設定した場合は、画面左上の「」が「」に変わり、待受画面に「**オフラインモード**」と表示されます。また、電源をOFFにしても設定は解除されません。
- オフラインモードを設定しても、テレビ／FMラジオは利用できます。

文字の入力方法

文字入力について

V603Tでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。
文字の入力方式には標準方式（あらかじめ設定されています）とポケベル方式（☞4-13ページ）の2種類があります。本書では主に標準方式での入力を例にとり、記載しています。

文字の入力画面

文字の入力画面は、ポップアップ入力画面と通常入力画面の2種類があります。
ポップアップ入力画面　：ひとつ前の操作画面の上に文字の入力画面が表示されます。
通常入力画面　　　　　：文字の入力画面が1画面で表示されます。

- **入力画面の種類は、機能により異なります。**
- **どちらの画面でも基本的な操作方法は同じですが、通常入力画面でのみ、入力予測（☞4-14ページ）、文書確認（☞4-26ページ）、辞書設定・学習設定（☞4-30ページ）、文字サイズ設定（☞4-32ページ）の各機能を使用することができます。**

①は、入力文字数／登録可能文字数が表示されます。登録可能文字数は、機能により異なります。各機能のページを参照してください。
②は、現在の入力モードが表示されます（☞4-3ページ）。
③が表示されているとき Menu （メニュー）を押すとエディタメニューの画面が表示され、入力画面での各操作や設定を行うことができます（☞4-19ページ）。

■文字入力モード

入力モードには9種類のモードと「**アドレス**」、「**絵文字**」、「**顔文字**」があり、文字の入力画面で スケジュール文字A/a を押したあと、方向キー を押して入力モードを切り替えることにより漢字や英字などの入力が行えます。

項　目	説　明	入力文字
あ	全角かな（漢字変換）入力モード	あいうアイウ阿伊宇…
A	全角英大入力モード	ＡＢＣ１２３…
a	全角英小入力モード	ａｂｃ123…
AB	半角英大入力モード	ABC123…
ab	半角英小入力モード	abc123…
1	全角数字入力モード	０１２３４５…
12	半角数字入力モード	012345…
ｱｲ	半角カタカナ入力モード	ｱｲｳ…（半角カタカナのみ）
あ	全角ひらがな入力モード	あいう…（全角ひらがなのみ）
アドレス	アドレスライブラリの入力	.ne.jp .co.jp…
絵文字	絵文字の入力	☕🍺🍴…
顔文字	顔文字の入力	笑う（(^-^) (^-^)v (o^-')b…）／あいさつ／おこる／驚く・あせ／泣く・眠い／なかま／うごき／こうげき／遊び・動物／かざり／ユーザー作成

・入力できないモードは表示されません。
・かな入力方式の設定（☞4-32ページ）で、標準方式とポケベル方式の切り替えができます。
　ポケベル方式に設定した場合は、アイコンの表示が「あ」→「あ」のように変わります。

■ダイヤルボタンの割り当て

標準方式

ダイヤルボタンには、次の文字や記号などが割り当てられています。

ボタン＼入力モード	全角かな（漢字変換）入力モード 全角ひらがな入力モード	半角カタカナ入力モード	全角英大入力モード 半角英大入力モード	全角英小入力モード 半角英小入力モード	全角数字入力モード 半角数字入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.@－_1	.@－_1	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC2	abc2	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF3	def3	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI4	ghi4	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL5	jkl5	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO6	mno6	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS7	pqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV8	tuv8	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ9	wxyz9	9
0	わをんー	ﾜｦﾝｰ	～※1／？！0	～※1／？！0	0
＊	だく点・半だく点（☞4-7ページ）英数字、記号（☞4-9、4-10ページ）絵文字（☞4-10ページ）	だく点・半だく点、英数字、記号	英数字、記号、絵文字		
＃	逆順に表示、改行（☞4-12ページ）				改行
■	入力中の文字を確定				入力中の文字を確定し、入力を終了
十字キー	カーソルの移動 ▢で未確定の文字を変換または改行※2	カーソルの移動	カーソルの移動 ▢で改行		
スケジュール 文字 A/a	大文字・小文字の切り替え（☞4-6ページ）				――――
Clear メモ	入力した文字の消去（☞4-7ページ）				

※1 半角英字入力モードでは ˜ と表示されます。

※2 未確定の文字がなくフレーズ予測（☞4-14ページ）の変換候補もない場合、▢で改行されます（全角ひらがな入力モードを除く）。

文字の入力方法

■漢字／ひらがな／カタカナを入力する

全角かな（漢字変換）入力モードで文字を入力して、漢字などに変換します。

例 アドレス帳の「名前」に「**須々木**」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- アドレス帳については5章を参照してください。

2 「すずき」を入力する

① 3を3回押し、「**す**」を入力する

② ▢でカーソルを右に移動する

③ 3を3回押したあと＊を押して、「**ず**」を入力する

④ 2を2回押し、「**き**」を入力する

- 一度に変換できる文字数は、最大40文字です。
- 英字、数字、カタカナに変換できるときは「英数カナ」が表示されます（☞4-9ページ）。
- 通常入力画面（☞4-2ページ）では入力予測の変換候補（☞4-14ページ）が表示され、▢（変換）を押すと、予測エリアの表示が通常の漢字変換に切り替わります（☞4-15ページ）。

3 ▢を押す

▶「**鈴木**」に変換されます。

- 「**001／006**」の「**006**」は候補数を表し、「**すずき**」に対して6種類の変換候補があることを表しています。
- 単漢字の候補があるときは「単漢」が表示されます（☞4-8ページ）。

4 ▢で「須々木」を選択し、■を押す

▶「**須々木**」が確定されます。

- 文字の入力を終了するときは、もう一度■を押します。
- 通常入力画面（☞4-2ページ）では、変換候補選択エリアに移ってから▢で「**須々木**」を選択し、■を押します。
- 文字変換候補を選択時に▢（意味）を押すと、選択している単語の意味を参照することができます。

重要

- アドレス帳の名前登録時は、名前が優先して変換候補に表示されます。そのため、メモ帳（☞14-30ページ）などの登録時と、変換候補の表示される順番が異なる場合があります。
- 確定した文字が登録可能文字数を超えると「オーバー」が表示されます。[Clear/メモ]を押して「オーバー」が消えるまで文字を消去してください（登録可能文字数は、機能により異なります）。

補足

全角かな（漢字変換）入力モードでは、入力した文字が単語や熟語、文節単位で変換されますが、目的の漢字に変換されない場合は、[◀▶]で文字の範囲をもう一度指定してから[▼]で変換します。例えば「**こみやまさとし**」と入力して[▼]で変換すると、「**小宮山敏**」が表示されます。「**こみや**」と「**まさとし**」の組み合わせにするときは、右の画面で[◀▶]を押し、カーソルを「**こみや**」に指定してから[▼]を押し、[▲▼]で変換候補を選択します。

小文字（a、っ、ッなど）を入力する

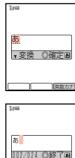
各入力モード（数字入力モードは除く）ではカーソル上の文字（未確定）を大文字または小文字に切り替えることができます（対応している文字のみ有効）。ただし、各入力モードで文字が未入力または確定済みの場合は、入力モードの切り替えになります。

例「**あ**」を小文字に切り替える場合

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [1]を押す

「**あ**」を入力します。

3 [スケジュール/文字 A/a]を押し、[■]を押す

▶「**ぁ**」が確定されます。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

全角かな（漢字変換）入力モード、全角ひらがな入力モードではカーソル上の文字（未確定）を濁音や半濁音に変えることができます（対応している文字のみ有効）。

例「**が**」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [2]を押す

「**か**」を入力します。

3 [＊ ゛゜記号]を押し、[■]を押す

▶「**が**」が確定されます。
- 「**は**」に半だく点（゜）を入力する場合は、[＊]を2回押します。

補足

- カーソル上に濁音や半濁音に対応していない文字があるとき、またはカーソルが文字（未確定）の右側にあるときに[＊]を押すと、読点（、）、句点（。）、長音（―）を入力することができます。
- 半角カタカナ入力モードではカーソル上に文字（未確定）があるときに[＊]を押すと、文字の右側に（ﾞﾟ、｡-）の記号を入力することができます。
- カタカナの「**ヴ**」は、「**う**」と入力してから英数カナ変換（☞4-9ページ）で変換することができます。

■入力した文字を修正する

1 文字の入力画面を呼び出し、文字を入力する

2 [◀▲▼▶]でカーソルを修正したい文字の上に移動し、[Clear/メモ]を押す

▶文字が消去されます。
- [Clear/メモ]を短く押す：カーソル位置の文字を1文字消去
- [Clear/メモ]を長く押す（約1秒以上）：カーソル位置を含む右側の文字をすべて消去

3 正しい文字を入力する

補足

カーソル上に文字がなく、カーソルより左側に文字がある場合、[Clear/メモ]を短かく押すとカーソルの左側の文字が1文字消去され、[Clear/メモ]を長く押す（約1秒以上）とカーソルの左側のすべての文字が消去されます。

単漢字で変換する

全角かな（漢字変換）入力モード（☞4-5ページ）で目的の漢字が表示されない場合、同じ読みの漢字（1文字単位）の変換候補を表示させてから、選択することができます。

例 「鱸」（すずき）を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、「すずき」と入力し、[変換]を押す

▶「[単漢]」が表示されます。

● 入力画面に「[単漢]」が表示されていない場合は行えません。

2 [✉]（[単漢]）を押す

▶「鱸」が表示されます。

● 変換候補が複数ある場合は、[十字キー]を押して目的の漢字を検索します。また、変換候補が1画面で表示しきれない場合は、[o]（[前ページ]）、[✉]（[次ページ]）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 [■]を押す

▶「鱸」が確定されます。

補足

全角かな（漢字変換）入力モードで以下の表に示す「読み」をひらがなで入力し、[変換]で変換してから[✉]（[単漢]）で単漢字変換に切り替えると、以下の表にある特殊な文字を表示することができます。

読み	文字（記号）
いっぱん	＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝
がくじゅつ	＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀√∫
かっこ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】
ぎりしゃ	ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψω
たんい	°′″℃￥＄¢£％
ろしあ	АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя
きじゅつ	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥
きごう	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
けいせん	─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂

英字／数字／カタカナに変換する

全角かな（漢字変換）入力モードから入力モードを変更しなくても、そのボタンに割り当てられている英字や数字、カタカナに変換することができます。

例 全角かな（漢字変換）入力モードで「TOM」（半角）と入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

2 文字の割り当てられたボタンを押す

① [8]を1回押す

② [6]を3回押す

③ [▢•]を押す

④ [6]を1回押す

▶「**やふは**」と表示されます。

● 入力画面に「[英数ｶﾅ]」が表示されていない場合は行えません。

3 [✉]（[英数ｶﾅ]）を押す

● 入力した文字の中に対応する英字が割り当てられていない場合（☞4-4ページ）は、数字とカタカナのみの変換となります。

4 [十字キー]で「TOM」を選択し、[■]を押す

▶「TOM」が確定されます。

重要

英数カナ変換は、全角かな（漢字変換）入力モード以外では行えません。

■英数字を入力する

全角かな（漢字変換）入力モードでは全角／半角英数字を、全角ひらがな入力モードでは全角英数字を入力することができます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 ＊を3回押す

▶英数字ウィンドウが表示されます。
● O（前ページ）、◆（次ページ）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 ◎で入力したい英数字を選択し、■を押す

▶選択した英数字が確定されます。
● 続けて英数字を入力する場合は、操作3を繰り返し行ってください。

4 Menu（閉じる）を押す

▶文字の入力画面に戻ります。

■記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号を入力する

各入力モードでは記号（全角147種類、半角41種類）を入力することができます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 ＊を押す

▶記号ウィンドウが表示されます。
● O（前ページ）、◆（次ページ）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 ◎で入力したい記号を選択し、■を押す

▶記号が確定され、文字の入力画面に戻ります。
● 続けて記号を入力する場合は、■の代わりにMenu（連続）を押してください。
● 一度確定した記号は、記号ウィンドウの破線上の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの記号を選択して入力することもできます。

補 足

メモ帳や定型文の入力時、メール（☞Vodafone live!編）の文字入力時などでは、「⏎」も表示されます。ただし、半角入力時も「⏎」は全角で表示されます。

絵文字を入力する

各入力モードでは文字が未入力または確定済みのときに、絵文字を入力することができます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 ＊を2回押す

▶絵文字ウィンドウが表示されます。
● O（前ページ）、◆（次ページ）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 ◎で入力したい絵文字を選択し、■を押す

▶絵文字が確定され、文字の入力画面に戻ります。
● 続けて絵文字を入力する場合は、■の代わりにMenu（連続）を押してください。
● 一度確定した絵文字は、絵文字ウィンドウの破線上の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの絵文字を選択して入力することもできます。

顔文字を入力する

顔文字入力モードに切り替えて、顔文字を入力することができます。10種類のカテゴリには各10個ずつの顔文字があります。また、オリジナルの顔文字を作成することもできます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 スケジュール文字A/aを押す

▶文字モード変更画面が表示されます。

3 ◎で「顔文字」を選択し、■を押す

4 ◎でカテゴリを選択し、■を押す

▶顔文字選択画面が表示されます。
● 顔文字を作成する場合は、「**ユーザー作成**」を選択し■を押します。続いて未登録の項目を選択し、■を押したあと顔文字を作成します。

5 ◎で入力したい顔文字を選択し、■を押す

▶顔文字が確定されます。

補 足

● 全角かな（漢字変換）入力モードで「**かお**」と入力し、通常の漢字変換（☞4-5ページ）で以下の顔文字に変換することができます。

＼(^o^)／　(T_T)　m(_ _)m　(^0^)v　(>_<)　(^0^)/
Oo。(^0^)y-°°　(^_^)／~　(-_-;)　(^_^;)　(#^0^#)　(^^ゞ

● 全角かな（漢字変換）入力モードで「**わらう**」や「**あいさつ**」などの文字を入力して、◎で顔文字に変換することもできます。

スペースを入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [□●]を押してスペース分だけカーソルを進める

▶スペースが入力されます。

- 確定済みの文字の前にスペースを入れるときは、記号ウィンドウから入力します(☞4-10ページ)。

改行する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 文字を入力し、改行したい位置で[#]を押す

▶改行マークが表示されます。

- 入力する画面によっては表示されない場合もあります。
- 「↵」の位置で改行表示しないように設定することもできます(☞4-33ページ)。

文字を逆順で表示する

各入力モード(数字入力モードは除く)で文字が未確定のとき、[#]を押すたびにカーソル上の文字がダイヤルボタン割り当て一覧(☞4-4ページ)の逆の順番で表示されます。

例 か→き→く→け→こ ⇒ か→こ→け→く→き

■メールアドレス／URLの一部を簡単に入力する

アドレスライブラリを利用すると、E-mailアドレスやURLの一部を簡単に入力することができます。

例 E-mailアドレスの一部「**.co.jp**」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- アドレス帳については5章を参照してください。

2 [スケジュール 文字 A/a]を押す

- 入力モードの使いかたについては4-3ページを参照してください。

3 [◎]で「アドレス」を選択し、[■]を押す

▶アドレスライブラリが表示されます。

- アドレスライブラリで選択できる内容は以下のとおりです。

.ne.jp .co.jp .ac.jp .or.jp .com .net http:// www. .html .png

4 [◎]で「.co.jp」を選択し、[■]を押す

▶「**.co.jp**」が入力されます。

■ポケベル方式で入力する

文字の入力方式(☞4-32ページ)を「**ポケベル方式**」に変更したときの文字の入力方法を説明します。ポケベル方式の入力は、2つの数字を組み合わせてひとつの文字にします。

数字の組み合わせは、次の表を参照してください。

先に押すボタン＼後に押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー※	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&			
8	や	(	ゆ	)	よ	＊	#			
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

※ 半角入力時は-(ハイフン)と表示されます。

・■は入力後に[スケジュール 文字 A/a]を押すと、大文字↔小文字と切り替わります。

・[ABp]、[abp]、[ｱp]の場合はすべて半角文字になります。

・[アp]、[ABp]、[ap]、[abp]、[ｱp]の場合、ひらがなはカタカナになります。

・[ap]、[abp]の場合、英字は小文字で入力されます。

例 「**よしお**」を入力する場合

1 [8 や tuv][5 な jkl]を押す

▶「**よ**」が入力されます。

2 [3 さ def][2 か abc]を押す

▶「**し**」が入力されます。

3 [1 あ .@][5 な jkl]を押す

▶「**お**」が入力されます。

文字の変換機能

※モバイル ルポ™は、株式会社 東芝の商標です。

V603Tでは、東芝のかな漢字変換エンジン「モバイル ルポ™」を搭載しています。モバイル ルポ™では、「本を買う」、「犬を飼う」のように前後の言葉のつながりから最適な変換をするAI変換を採用しています。さらに、**入力予測**（☞下記）や**パーソナル辞書**（☞4-16ページ）を利用することで、長文メールも簡単にはやく入力することができます。
また、**ユーザー辞書**（☞4-17ページ）に特殊な読みかたをする漢字やよく使う略語などを登録しておくと、文字入力時に簡単に呼び出すことができます。

■入力予測を利用する

入力予測は、全角かな（漢字変換）入力モードで入力した文字から予測される変換候補を表示します。フレーズ予測は、一度確定した文章からフレーズ（句）を学習し、先頭のフレーズをもう一度入力することにより、あとに続くフレーズの候補を表示します。入力予測を利用することで、目的の語句を簡単にはやく入力することができます。フレーズ予測は、入力予測が「ON」に設定されているときに利用できます。

入力予測

フレーズ予測

一度確定した文章「**渋谷でライブ**」をもう一度入力する場合

入力予測　フレーズ予測　フレーズ予測

一度確定した語句は、次回からの入力予測に反映されます。使い込む程に言葉が学習され、入力予測の精度があがっていきます。

例 入力予測を利用してアドレス帳の「住所」に「**東京**」を入力する場合

1 文字の入力画面（通常入力画面☞4-2ページ）を呼び出す

- アドレス帳については5章を参照してください。

2 [4]を5回押す

▶予測エリアに、「**と**」から予測される変換候補のリストが表示されます。
- 変換候補は最大10件表示されます。入力予測の変換候補がない場合は、予測エリアに通常の漢字変換（☞4-5ページ）の変換候補が表示されます。

3 [▽]を押す

▶予測エリア内の先頭の語句が選択されます。
- [Clear/メモ]を押すと、操作**2**の画面に戻ります。
- 「01／10」の「10」は候補数を表し、「**と**」の入力予測として10種類の変換候補があることを表しています。

4 [◇]で「東京」を選択し、[■]を押す

▶「**東京**」が入力されます。
- 文字の入力を終了するときは、もう一度[■]を押します。

重 要

ポップアップ入力画面（☞4-2ページ）では、入力予測は利用できません。

補 足

- 予測エリアに変換候補が1件のみの場合は、操作**2**の画面で[◇]を押すと、その候補が確定されます。
- 操作**2**の画面で[○]（[変換]）を押すと、予測エリアの表示が通常の漢字変換（☞4-5ページ）の変換候補に切り替わります。
- 入力予測の設定は解除することもできます（☞4-30ページ）。
- 入力予測機能で学習した内容は消去することができます（☞4-31ページ）。

パーソナル辞書について

パーソナル辞書とは、メール作成時(☞Vodafone live!編)に利用できる入力予測機能です。アドレス帳にパーソナル辞書を設定しておくと、メールを作成するときに相手先別によく使う言葉が学習され、変換候補に反映されます。例えば、友人と会社の人への言葉を使い分けることなどが簡単にできます。
パーソナル辞書を利用する場合は、以下の準備を行います。

準備1：パーソナル辞書の使い分けを決める(名称を変更する)(☞4-31ページ)
パーソナル辞書は辞書1〜5まであり、それぞれ名前を変更することができます。

例「**辞書1**」は「**友達**」、「**辞書2**」は「**会社**」など

準備2：アドレス帳ごとに**準備1**で決めたパーソナル辞書を設定する(☞5-10ページ)

準備3：**準備2**で設定した相手をメール作成時のアドレスに設定する(☞Vodafone live!編)

これで準備は完了です。メッセージを作成するたびに、設定した辞書ごとに語句が学習され、変換候補に反映されます。

例「**お**」を入力した場合の変換候補の表示例

パーソナル辞書を設定していない場合

辞書1(友達)に設定して学習していた場合

辞書2(会社)に設定して学習していた場合

補足
パーソナル辞書で学習した内容は、辞書別に消去することができます(☞4-31ページ)。

■よく使う言葉を登録する(ユーザー辞書)

ユーザー辞書とは、特殊な読みかたをする漢字やよく使う略語などを登録しておく機能です。登録は最大100語です。ユーザー辞書に登録した語句を呼び出す場合は、文字入力画面でユーザー辞書に登録した読みがなを入力し、変換します。

ユーザー辞書に登録する

例「**アポイント**」を「**あぽ**」として登録する場合

1 [□●] [4] [3] **の順に押す**

2 [◎] **で「新規登録」を選択し、**[●] **を押す**

▶新規登録画面が表示されます。

3 [◎] **で「登録語句」を選択し、**[○] **(**[編集]**)を押す**

▶登録語句入力画面が表示されます。

4 登録したい語句を入力し、[●] **を押す**

- 文字の入力方法については4-5ページを参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角12文字、全角7文字です。
- 絵文字や記号も入力できます。

5 [◎] **で「読みがな」を選択し、**[○] **(**[編集]**)を押す**

▶読みがな入力画面が表示されます。

6 読みがなを入力し、[●] **を押す**

- 登録可能文字数は、最大で全角7文字です。
- ひらがなと一部の記号のみ入力できます。

7 [↩] **(**[完了]**)を押す**

▶ユーザー辞書に登録されます。

補足
同じ読みがなの語句は、最大4件登録できます。

登録した語句を編集する

例 「**アポイント**」(読みがな：**あぽ**)を「**予約**」(読みがな：**あぽ**)に変更する場合

1 **[□] [4] [3]の順に押す**

▶ユーザー辞書設定画面が表示されます。

2 **[◇]で「登録語編集」を選択し、[■]を押す**

● 同じ行に登録された読みがなが2つ以上ある場合は、画面上段に「⇕」のアイコンが表示されます。

3 **[◇]で編集したい語句を選択し、[■]を押す**

▶登録語編集画面が表示されます。

4 **[◇]で「アポイント」を選択し、[■]を押す**

▶登録語句編集画面が表示されます。

5 **語句を編集し、[■]を押す**

● 文字の入力方法については4-5ページを参照してください。

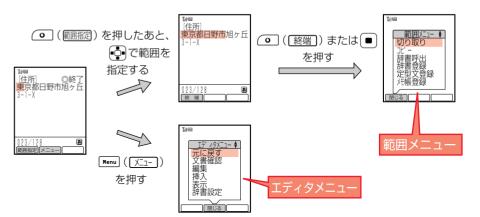
6 **[↩]([完了])を押す**

▶編集した内容で更新されます。

補 足

● 登録内容をすべて消去する場合は、操作**2**で「**登録全消去**」を選択します。
● 操作**2**のあと[Menu]([メニュー])を押して、登録した語句の消去の操作を行うことができます。

文字の編集

アドレス帳、メモ帳やメール(☞Vodafone live!編)などの文字入力画面から範囲メニューやエディタメニューを呼び出し、文字の編集を行うことができます。

■範囲メニューの項目(操作のしかたは、4-21ページ参照)

項 目	内 容
切り取り	範囲指定(※1)した文字を切り取り(画面上から消去)、クリップボード(※2)に記憶する。
コピー	範囲指定した文字をコピー(画面上に残す)し、クリップボードに記憶する。
辞書呼出	範囲指定した文字の意味を表示する。
辞書登録	範囲指定した文字や絵文字をユーザー辞書(☞4-17ページ)に登録する。
定型文登録	範囲指定した文字を定型文(☞15-10ページ)に登録する。
メモ帳登録	範囲指定した文字をメモ帳(☞14-30ページ)に登録する。
アドレス帳登録	範囲指定した数字や英字をアドレス帳(☞5-2ページ)に新規登録する。
アドレス帳追加	範囲指定した数字や英字をアドレス帳(☞5-2ページ)に追加登録する。
一括変換	一度確定した文字を漢字などに再変換する。
置き換え	範囲指定した文字をクリップボードの内容に置き換える。
削除	範囲指定した文字を削除する。

※1 範囲指定とは、[○]([範囲指定])を押したあと、[◇]を押して文字範囲をカーソルで指定し、[○]([終端])を押すことをいいます(☞4-21ページ)。
※2 クリップボードについて
・クリップボードとは、文字の切り取りやコピー(☞上記)を行った内容や画像、メロディのコピー(☞Vodafone live!編)を行った内容をファイル形式として一時的に記憶しておく場所です。クリップボードに記憶された文字データは、それぞれの文字入力画面で使用することができます。また、クリップボードに記憶されたファイルは、データフォルダ内に貼り付けることができます。
・クリップボードには最大50件または最大100Kバイトのデータを記憶することができます。

■エディタメニュー「元に戻す」の項目（操作のしかたは、4-26ページ参照）

項　目	内　容
元に戻す	ひとつ前の画面（操作）に戻す。

■エディタメニュー「文書確認」の項目（操作のしかたは、4-26ページ参照）

項　目	内　容
文書確認	入力した内容を確認する。

■エディタメニュー「編集」の項目（操作のしかたは、4-27ページ参照）

項　目	内　容
コピー	カーソルの位置からコピーする範囲を指定し、クリップボードに記憶する。
削除	全文削除：文字入力画面上にある文字をすべて削除する。
	カーソル以降：文字入力画面上にあるカーソル以降の文字をすべて削除する。
	カーソル以前：文字入力画面上にあるカーソル以前の文字をすべて削除する。

■エディタメニュー「挿入」の項目（操作のしかたは、4-28ページ参照）

項　目	内　容
定型文	定型文（☞15-10ページ）に登録している単語や文章を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メール定型文	メールの定型文（☞Vodafone live!編）を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メモ帳	メモ帳（☞14-30ページ）に登録している内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
署名	署名（☞Vodafone live!編）に登録している内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メールボックス	メールボックス（☞Vodafone live!編）に登録しているメッセージを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
アドレス帳	アドレス帳（☞5-2ページ）に登録している相手先の名前や電話番号（※）、E-mailアドレスなどを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
アドレス送信履歴	アドレス送信履歴（☞Vodafone live!編）に登録されている内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
QRコード読取り	QRコード読み取り動作に移り、そこで読み取ったデータを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける（☞15-28ページ）。
オーナー情報	オーナー登録（☞15-9ページ）に登録している名前や電話番号（※）、E-mailアドレスなどを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
電話番号	自分の電話番号（※）を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
位置情報	自分の位置情報を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。

※スーパーメールの件名・メッセージ、スカイメール・グリーティングのメッセージ、ユーザー作成定型文（☞Vodafone live!編）、スケジュール、アクションアイテムに電話番号を挿入した場合、番号の先頭に「TEL:」が挿入されます。

■エディタメニュー「表示」の項目（操作のしかたは、4-29ページ参照）

項　目	内　容
最後へジャンプ	カーソルを最後の文字の右に移動する。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の文字に移動する。

■エディタメニュー「辞書設定」の項目（操作のしかたは、4-30ページ参照）

項　目	内　容
入力予測	入力された文字から予測される変換候補をリスト表示させる（初期値は「ON」）。
学習設定	名称編集：パーソナル辞書の名称を変更する（初期値は「辞書1～5」）。
	辞書リセット（予測辞書／パーソナル辞書）：入力した文字から予測される変換候補をお買い上げ時の状態に戻す。

■エディタメニュー「ユーザー設定」の項目（操作のしかたは、4-29、4-32ページ参照）

項　目	内　容
辞書登録	ユーザー辞書登録（☞4-17ページ）の画面を呼び出す。
かな入力方式	標準方式／ポケベル方式：文字を入力するときの方式を選択する（初期値は「**標準方式**」）。
文字のサイズ	大きい文字／小さい文字：文字入力画面で表示される文字のサイズを選択する（初期値は「**小さい文字**」）。
改行制御	入力した文字を「↵」の位置で改行して表示する（初期値は「ON」）。

■範囲を指定する

文字の範囲を指定して切り取りやコピーなどを行うことができます。

1　文字の入力画面を呼び出す

2　[十字キー]で範囲指定したい先頭の文字にカーソルを移動し、[o]（[範囲指定]）を押す

- [o]（[範囲指定]）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。

3　[十字キー]で範囲指定したい最後の文字にカーソルを移動し、[o]（[終端]）を押す

▶範囲が指定され、範囲メニューが表示されます。
- [o]（[終端]）の代わりに[■]を押しても同様の操作が行えます。

■指定した文字を削除する

範囲指定した文字を削除することができます。

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [○]で「削除」を選択し、[■]を押す

▶範囲指定した文字が削除されます。

■切り取り／コピー／貼り付けをする

範囲指定した文字、絵文字を切り取ったり、コピーしてクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容は文字入力画面でカーソル位置の前に貼り付けること（ペースト）ができます。
- **クリップボードについては4-19ページを参照してください。**

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [○]で「切り取り」を選択し、[■]を押す

▶範囲指定した文字が画面上から消去され、クリップボードに記憶されます。
- 文字をコピーする場合は、「**コピー**」を選択してください。コピーした場合は、範囲指定した文字を画面上に残してクリップボードに記憶します。
- クリップボードに貼り付け可能なデータがある場合、「[ペースト]」が表示されます。

3 [○]で貼り付ける位置を選択し、[◇]（[ペースト]）を押す

▶貼り付け可能なクリップボードのデータが表示されます。
- [◇]（[表示]）を押すと、選択している内容を確認することができます。

4 [○]で貼り付ける文字を選択し、[■]を押す

▶選択した文字が貼り付けられます。

補足
「**コピー**」の操作は、エディタメニューの「**編集**」からでも行えます（☞4-27ページ）。

■その他の範囲メニュー機能

辞書を呼び出す

範囲指定した文字の意味を検索（☞14-32ページ）することができます。

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [○]で「辞書呼出」を選択し、[■]を押す

▶候補の単語が表示されます。
- 意味を表示する場合は、このあと単語を選択し、[◇]（[詳細]）を押します。

補足
- 文字変換候補を選択時（☞4-5ページの操作*4*）に[○]（[意味]）を押すと、選択している単語の意味を参照することができます。
- 一致した単語が国語辞書にない場合は「**該当する単語はありません**」と表示されます。

ユーザー辞書に登録する（辞書登録）

範囲指定した文字、絵文字をユーザー辞書（☞4-17ページ）に登録することができます。

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [○]で「辞書登録」を選択し、[■]を押す

▶範囲指定した内容が登録語句に入力されます。
このあと、4-17ページの操作*5*以降を行います。

定型文／メモ帳に登録する

範囲指定した文字を定型文（☞15-10ページ）やメモ帳（☞14-30ページ）に登録することができます。

例 範囲指定した文字を定型文に登録する場合

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [キー]で「**定型文登録**」を選択し、[キー]を押す

▶未登録の項目にカーソルがあたります。
- 登録されている内容を上書きする場合は、続けて上書きする項目を選択します。
- メモ帳に登録する場合は、「**メモ帳登録**」を選択します。

3 [キー]を押す

▶範囲指定した内容が定型文に登録されます。

アドレス帳に登録する

範囲指定した電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録することができます。

1 文字の入力画面を呼び出し、[キー]を押す

- 範囲指定したい電話番号やE-mailアドレスの先頭の文字にカーソルを移動します。

2 [キー]（範囲指定）を押す

- [キー]（範囲指定）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。

3 [キー]で電話番号やE-mailアドレスの最後の文字にカーソルを移動し、[キー]（終端）を押す

▶範囲メニューが表示されます。

4 [キー]で「**アドレス帳登録**」を選択し、[キー]を押す

▶アドレス帳登録画面に選択した電話番号やE-mailアドレスが入力されます。
- アドレス帳の登録のしかたについては5-3ページを参照してください。

重 要

- 範囲指定した内容が数字のときは、電話番号に登録され、@を含む半角英数字のときは、E-mailアドレスに登録されます。
- 範囲指定した数字の間に「－・（ ）」が含まれていても、電話番号として認識されます。ただし、「－」などの記号は電話番号として登録されません。
- 電話番号（数字）とE-mailアドレス（@を含む半角英数字）以外の文字を範囲指定しても、本機能で登録することはできません。

補 足

アドレス帳に追加登録する場合は…
操作*4*で「**アドレス帳追加**」を選択し、[キー]を押します。続いて、追加したいアドレス帳を選択し、[キー]を押します。

確定した文字を再変換する（一括変換）

一度確定した文字を範囲指定して漢字などに再変換することができます。

例 半角文字を全角文字に変換する場合

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [キー]で「**一括変換**」を選択し、[キー]を押す

3 [キー]で「**全角変換**」を選択し、[キー]を押す

▶全角に変換されます。

重 要

- 漢字、絵文字は、一括変換できません。
- 「**かな漢字変換**」はひらがな以外は変換できません。
- 「**全角変換**」、「**半角変換**」はカタカナ、英字、数字、記号以外は変換できません。
- 「**大文字変換**」、「**小文字変換**」は英字以外は変換できません。

クリップボードの内容に置き換える

範囲指定した文字をクリップボードの内容に置き換えることができます。
- **クリップボードについては4-19ページを参照してください。**

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。
- 範囲指定のしかたについては4-21ページを参照してください。

2 [キー]で「**置き換え**」を選択し、[キー]を押す

▶クリップボードが表示されます。
- [キー]（表示）を押すと、選択している内容を確認することができます。

3 [キー]で置き換えたい内容を選択し、[キー]を押す

▶クリップボードの内容に置き換えられます。

■入力した文字を確認する

入力した内容を全角12文字×10行で表示させて確認することができます。

例 アドレス帳の住所に入力した内容を確認する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- アドレス帳については5章を参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

3 で「文書確認」を選択し、■を押す

▶内容が確認できます。

- 長いメッセージの場合は「」などが表示されますので、を押して確認してください。
- 文字入力画面に戻る場合は、（編集）を押します。

補 足

文書確認中に■を押すと、文字の入力を終了します。

■入力した文字を編集する

元に戻す

一度確定した文字や挿入した文字を取り消したり、Clearを押して削除した文字を元に戻すことができます。

1 文字の入力画面を呼び出し、文字を入力する

- 文字の入力方法については4-5ページを参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

3 で「元に戻す」を選択し、■を押す

▶操作1で確定した文字が取り消されます。

重 要

- 削除した文字が元に戻るのは、カーソルを移動せずにClearを押して削除した文字で、最後に削除した文字から32文字までです。
- 以下の場合は元に戻せません。
  - ・範囲メニューの「**削除**」を行って削除した文字
  - ・エディタメニュー「**編集**」の「**削除**」を行って削除した文字
  - ・範囲メニューの「**置き換え**」を行って置き換えた文字
  - ・Clearを長く（約1秒以上）押して削除した文字

コピーをする

文字をコピーしてクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶された内容は、文字入力画面でカーソル位置の前に貼り付けることができます（☞4-22ページ）。

- **クリップボードについては4-19ページを参照してください。**

1 文字の入力画面を呼び出し、を押す

- コピーしたい先頭の文字にカーソルを移動します。

2 Menu（メニュー）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

3 で「編集」を選択し、■を押す

4 で「コピー」を選択し、■を押す

5 でコピーしたい最後の文字にカーソルを移動し、（終端）を押す

▶選択した文字がコピーされます。

- 貼り付けを行う場合は、4-22ページの操作3以降を行います。

補 足

「**コピー**」の操作は、範囲メニューからでも行えます（☞4-22ページ）。

削除する

入力した文字をすべて削除したり、カーソル位置から後ろや前の文字を削除することができます。

1 文字の入力画面を呼び出し、[◎]を押す

- 削除したい先頭の文字にカーソルを移動します。
  カーソル位置から前の文字を削除する場合は、削除したい最後の文字にカーソルを移動します。

2 [Menu]（[メニュー]）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

3 [◎]で「編集」を選択し、[■]を押す

▶編集選択画面が表示されます。

4 [◎]で「削除」を選択し、[■]を押す

5 [◎]で削除したい範囲を選択し、[■]を押す

▶削除確認画面が表示されます。

6 [◎]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶指定した範囲の文字が削除されます。

■文字を挿入する

定型文やメモ帳などに登録している内容を文字入力画面のカーソル位置の前に挿入することができます。

例 定型文で登録されている内容を挿入する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

2 [◎]で「挿入」を選択し、[■]を押す

3 [◎]で「定型文」を選択し、[■]を押す

▶定型文選択画面が表示されます。
- [✎]（[表示]）を押すと定型文の内容を確認することができます。

4 [◎]で挿入したい内容を選択し、[■]を押す

▶定型文が挿入されます。

■文頭／文末へカーソルを移動させる

文字入力画面で、カーソルの位置を最後の文字の右へ移動させたり、先頭の文字へ移動させることができます。

1 文字の入力画面を呼び出し、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

2 [◎]で「表示」を選択し、[■]を押す

3 [◎]で移動したい位置を選択し、[■]を押す

▶選択した位置にカーソルが移動します。

■文字入力中のその他の機能

ユーザー辞書の登録を行う（辞書登録）

文字入力時にユーザー辞書（☞4-17ページ）の新規登録ができます。

1 文字の入力画面を呼び出し、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

2 [◎]で「ユーザー設定」を選択し、[■]を押す

ユーザー設定画面

3 [○]で「辞書登録」を選択し、[■]を押す

▶ユーザー辞書の新規登録画面が表示されます。
このあと、4-17ページの操作**3**以降を行います。

入力予測を設定する

通常入力画面で入力予測機能（☞4-14ページ）を利用するかどうか設定できます。
お買い上げ時は、入力予測、フレーズ予測、変換候補とも「ON」（利用する）に設定されています。

例 通常の漢字変換の変換候補を表示するかどうか設定する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶エディタメニューが表示されます。

2 [○]で「辞書設定」を選択し、[■]を押す

辞書設定画面

3 [○]で「入力予測」を選択し、[■]を押す

▶入力予測の設定確認画面が表示されます。

4 [○]で「ON」を選択し、[■]を押す

5 [○]で「変換候補」を選択し、[■]を押す

▶設定確認画面が表示されます。
● フレーズ予測を設定する場合は、「**フレーズ**」を選択します。

6 [○]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶入力予測設定画面が表示されます。

7 [✎]（[完了]）を押す

▶変換候補の表示が設定されます。

● ポップアップ入力画面（☞4-2ページ）では、入力予測の設定はできません。
● フレーズ予測と変換候補表示機能は、操作**4**で入力予測を「ON」に設定した場合のみ利用可能となります。

パーソナル辞書の名称を変更する

1 辞書設定画面（☞4-30ページ）より、[○]で「学習設定」を選択し、[■]を押す

2 [○]で「名称編集」を選択し、[■]を押す

▶パーソナル辞書選択画面が表示されます。

3 [○]で名称を変更したい辞書を選択し、[■]を押す

4 パーソナル辞書名を入力し、[■]を押す

▶パーソナル辞書名が変更されます。
● 文字の入力方法については4-5ページを参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角6文字、全角3文字です。

補 足

名称を変更した場合は、アドレス帳オプション設定の「**パーソナル辞書**」（☞5-10ページ）の名称も変更されます。

候補リストをリセットする

入力予測機能（☞4-14ページ）とパーソナル辞書（☞4-16ページ）で学習した内容を消去し、変換候補をお買い上げ時の状態に戻します。

例 一般辞書（※）、パーソナル辞書すべての入力予測機能の変換候補リストをリセットする場合

1 辞書設定画面（☞4-30ページ）より、[○]で「学習設定」を選択し、[■]を押す

2 [○]で「辞書リセット」を選択し、[■]を押す

▶辞書リセット選択画面が表示されます。

3 [↕]で「予測辞書」を選択し、[■]を押す

4 [↕]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶入力予測機能の変換候補リストがお買い上げ時の状態に戻ります。

重要

ポップアップ入力画面（☞4-2ページ）では、変換候補リストのリセットはできません。

補足

操作3で「**パーソナル辞書**」を選択したあと[■]を押して、辞書別（一般辞書（※）、辞書1～5）に変換候補リストをリセットすることができます。
※一般辞書とは、パーソナル辞書（☞4-16ページ）で学習した内容以外で、文字入力時に変換して学習した内容が登録される辞書です。

かな入力方式を設定する

文字の入力方式を標準方式（☞4-4ページ）とポケベル方式（☞4-13ページ）から選択することができます。
お買い上げ時は「**標準方式**」に設定されています。

1 ユーザー設定画面（☞4-29ページ）より、[↕]で「かな入力方式」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で設定したい入力方式を選択し、[■]を押す

▶入力方式が設定されます。

文字のサイズを変更する

通常入力画面で表示される文字のサイズを変更することができます。
お買い上げ時は「**小さい文字**」に設定されています。

1 ユーザー設定画面（☞4-29ページ）より、[↕]で「文字のサイズ」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で設定したい文字サイズを選択し、[■]を押す

▶文字のサイズが設定されます。

重要

ポップアップ入力画面（☞4-2ページ）では、文字のサイズは変更できません。

補足

文字のサイズを設定した場合、文字入力画面（改行制御が「**ON**」の場合）では以下のように表示されます。
（例）メモ帳に入力した場合

「**小さい文字**」
に設定した場合
（全角11文字×10行表示）

「**大きい文字**」
に設定した場合
（全角9文字×9行表示）

改行制御を設定する

入力した文字を「↵」の位置で改行して表示させることができます。
お買い上げ時は「**ON**」（改行する）に設定されています。

1 ユーザー設定画面（☞4-29ページ）より、[↕]で「改行制御」を選択し、[■]を押す

▶設定確認画面が表示されます。

2 [↕]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶改行制御が設定されます。

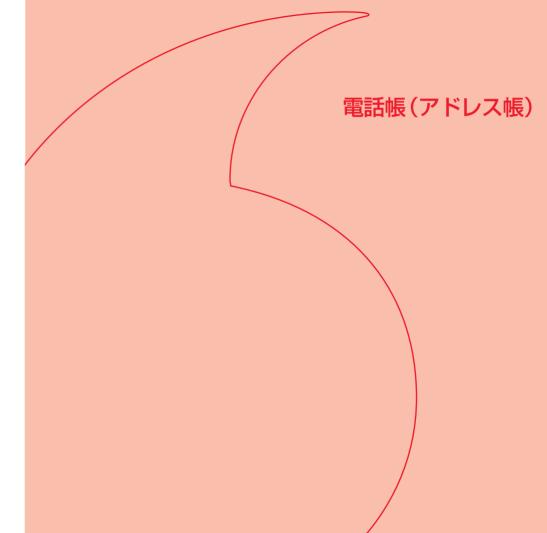
補 足

- 改行制御を設定した場合、文字入力画面（大きい文字の場合）では以下のように表示されます。
（例）メモ帳に入力した場合

「ON」（改行する）
に設定した場合

「OFF」（改行しない）
に設定した場合

- 改行制御を「ON」に設定している場合は、メモ帳の登録中などに最後の行で[●]を押すと「↵」が表示され、改行されます。
- 改行制御を「OFF」に設定している場合でも、メール（☞Vodafone live!編）を送信した場合、相手には「↵」の部分で改行されて表示されます。ただし、相手には「↵」は表示されません。

電話帳（アドレス帳）

アドレス帳登録

V603Tに電話番号や名前などを登録し、電話帳のように利用することができます。電話帳（以降、本書では「アドレス帳」と記載）を活用すれば、簡単に電話をかけたりメールを出したりすることができます。また、相手先別に本体内蔵の着信音、着信画像や本体（データフォルダ）、メモリカードに登録したメロディ、画像などを設定することができます。アドレス帳は最大500件登録できます。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

■アドレス帳に登録できる項目

アドレス帳には、以下の項目を登録することができます。

項　目	内　容	登録方法
名前	最大で半角24文字、全角12文字まで登録できます。	☞5-3ページ
グループ	個々のアドレス帳は、グループ別に登録できます。 [グループ登録] グループは検索（☞5-21ページ）に役立つ他、グループごとの着信設定などもできます（☞5-13ページ）。	☞5-5ページ
メモリ番号	自動的に割り振られますが、変更することもできます。 メモリ番号は、検索（☞5-22ページ）やスピードダイヤル（☞5-24ページ）、スイッチ付イヤホンマイクでのワンタッチ発信（☞15-25ページ）などで使用します。	☞5-5ページ
ヨミガナ	名前を入力すると自動的に入力されます。変更することもできます。ヨミガナは検索に使われます（☞5-19〜5-21ページ）。	☞5-3ページ
顔写真	モバイルカメラで撮影した画像や本体（データフォルダ）、メモリカードに保存した画像を設定できます。	☞5-4ページ
電話番号	3件まで（それぞれ最大24桁まで）登録できます。	☞5-3ページ
Eメールアドレス	3件まで（それぞれ最大で半角60文字まで）登録できます。	☞5-4ページ
オプション	相手先別に着信音パターンや着信画像などを設定できます。	☞5-7ページ
メモ	最大で半角128文字、全角64文字まで入力できます。	☞5-3ページ
住所	最大で半角128文字、全角64文字まで入力できます。	☞5-3ページ
誕生日	生年月日を入力できます。	☞5-3ページ

大切なデータを失わないために
アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■アドレス帳に登録する

アドレス帳の登録画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 **[スケジュール/文字 A/a]を押す（約1秒以上）**

2 **[↕]で「アドレス帳（名前）」を選択し、[■]を押す**

▶名前の入力画面が表示されます。

3 **名前を入力し、[■]を押す**

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- メモリ番号（右の画面では「**No.000**」）は、登録されていないメモリ番号の中で最も小さい番号が表示されます。
- ヨミガナは、名前を入力すると自動入力されます。修正する場合は、ヨミガナ（右の画面では「**タナカ**」）を選択し、[o]（[編集]）を押します。

アドレス帳登録画面

4 **[↕]で各項目を選択し、[■]を押す**

- 登録できる項目については5-2ページを参照してください。

5 **[✎]（[完了]）を押す**

▶アドレス帳に登録されます。

電話番号を入力する

1 **アドレス帳登録画面（☞上記）より、[↕]で「電話番号」を選択し、[o]（[編集]）を押す**

2 **電話番号を入力し、[■]を押す**

▶電話番号が設定されます。

- 登録可能桁数は、最大24桁です。
- 続けて「**メモ**」、「**住所**」、「**誕生日**」を入力する場合は、操作***1***〜***2***と同様に操作を行ってください。
- 誕生日を入力する場合は、年は西暦の4桁、月、日は、それぞれ2桁で入力してください。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[✎]（[完了]）を押してください。

E-mailアドレスを入力する

1 **アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）より、[十字キー]で「Eメールアドレス」を選択し、[o]（[編集]）を押す**

2 **E-mailアドレスを入力し、[■]を押す**

▶E-mailアドレスが設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- E-mailアドレスの文字入力画面では、半角文字の英数字、記号以外の文字は入力できません。
- 登録可能文字数は、最大で半角60文字です。
- [*記号]を押すと、以下の記号を入力できます。

. @ − _ / ! ” # $ % & ’ ( ) ¥ + , : ; < = > ? [¥] ^ ` { | } ~

ただし、■は、E-mailアドレスに使用できません。（, < > は網掛け）
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[◇]（[完了]）を押してください。

顔写真を設定する

1 **アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す**

▶サブメニューが表示されます。
- 表示されるサブメニューの項目は、アドレス帳登録画面上でのカーソルの位置によって異なります。

2 **[十字キー]で「顔写真設定」を選択し、[■]を押す**

3 **[十字キー]で「撮影」を選択し、[■]を押す**

▶撮影画面が表示されます。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

4 **撮影したい画像をメインディスプレイに表示する**

- カメラの利用方法については7章を参照してください。

5 **[■]を押す**

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像がメインディスプレイに表示されます。
- 下サイドキーを押しても同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear]を押したあと、「**破棄する**」を選択し、[■]を押します。

6 **[◇]（[登録]）を押す**

▶本体（データフォルダ）のピクチャーフォルダに画像が登録されたあと、アドレス帳の登録画面に顔写真が設定されます。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[◇]（[完了]）を押してください。

重 要

操作*3*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、画像サイズが横104ドットまたは縦116ドット以外の場合は、トリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。

補 足

データフォルダのピクチャーフォルダが一杯の場合は、撮影した画像を登録できません。登録する場合は、操作*6*のあと続けて「**YES**」を選択し、不要なファイルを消去してください（☞11-20ページ）。

グループとメモリ番号を変更する

1 **アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）より、[十字キー]で「名称なし」を選択し、[■]を押す**

- グループ番号は0〜9の10種類です。グループ名は変更することができます（☞5-14ページ）。

2 **[十字キー]で変更したいグループを選択し、[■]を押す**

▶グループが設定されます。

3 **[十字キー]でメモリ番号を選択し、[■]を押す**

4 **新しいメモリ番号を入力し、[■]を押す**

▶メモリ番号が設定されます。
- メモリ番号は000〜499の3桁で入力してください。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[◇]（[完了]）を押してください。

補足

- 指定したメモリ番号にすでに登録がある場合は、入れ替えの操作が必要となります。入れ替える場合は、操作4のあと続けて「YES」を選択し、■を押します。
- 指定したメモリ番号がシークレットメモリ(☞13-9ページ)に登録されている場合は、他のメモリ番号を入力するか、表示されているメモリ番号で登録を行ったあと、シークレットモード(☞13-9ページ)を「ON」にしてから編集の操作を行ってください。

■リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

リダイヤル(☞2-4ページ)や着信履歴(☞2-17ページ)をアドレス帳に登録することができます。

例 リダイヤルを登録する場合

1 〔キー〕を押す

▶リダイヤル画面が表示されます。

- 着信履歴を表示する場合は、〔キー〕を押します。

2 〔キー〕で登録したい電話番号を選択し、Menu(メニュー)を押す

3 〔キー〕で「アドレス帳登録」を選択し、■を押す

▶アドレス帳登録画面に電話番号が入力されます。
このあと、5-3ページの操作4以降を行います。

補足

受信メールの電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録することもできます(☞Vodafone live!編)。

■アドレス帳の登録状況を確認する

アドレス帳の使用率と登録件数を確認することができます。

1 〔キー〕3 1の順に押す

▶メモリ確認画面が表示されます。

2 〔キー〕で「アドレス帳使用率」を選択し、■を押す

▶アドレス帳の使用率が表示されます。

- 〔キー〕(件数)を押すと、アドレス帳の登録件数を確認することができます。

アドレス帳登録時のオプション設定

アドレス帳ごとに以下の指定着信音などを設定することができます。

項目		内容	設定方法
着信イルミ		着信時の着信イルミネーションを設定できます(☞15-4ページ)。	☞下記
着信音	電話着信	着信時やメール受信時の着信音パターン(☞9-3ページ)やバイブレータ(☞9-5ページ)を設定できます。[指定着信音]	☞5-8ページ
	メール着信		
電話着信画像	メインディスプレイ	電話着信時にメイン／サブディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞5-9ページ
	サブディスプレイ		
メールフォルダ		受信したメールの保存先フォルダを設定できます。メールフォルダについては、Vodafone live!編を参照してください。	☞5-10ページ
パーソナル辞書		メールのメッセージ作成で使用する辞書を設定できます。パーソナル辞書については、4-16ページを参照してください。	☞5-10ページ
宛先名称		スーパーメール送信時の宛先名称を設定できます。スーパーメールについては、Vodafone live!編を参照してください。	☞5-11ページ
相手PINコード		PINコードは、スカイメールやグリーティングを特定の人からのみ受信するための4桁の番号です。PINコードについては、Vodafone live!編を参照してください。	☞5-11ページ
サブ着信表示		電話着信時とメール受信時に、アドレス帳に登録してある名前をサブディスプレイに表示するかどうか設定できます。	☞5-12ページ

着信イルミネーションを設定する

1 次の操作で着信イルミ設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面(☞5-3ページ)を表示する
② 〔キー〕で「**オプション**」を選択し、■を押す
③ 〔キー〕で「**着信イルミ**」を選択し、■を押す

2 〔キー〕で設定したいイルミネーションを選択し、■を押す

▶オプション設定画面が表示されます。

3 〔キー〕(決定)を押す

▶着信イルミネーションが設定されます。

- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと〔キー〕(完了)を押してください。

電話着信音／メール着信音を設定する

例 電話着信音とバイブレータを設定する場合

1 次の操作で着信音設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する

② [↕]で「**オプション**」を選択し、[■]を押す

③ [↕]で「**着信音**」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で「電話着信」を選択し、[■]を押す

● メールを受信したときの着信音パターンを設定する場合は、「**メール着信**」を選択してください。

3 [↕]で「着信音パターン」を選択し、[■]を押す

▶着信音パターン設定画面が表示されます。

4 [↕]で「固定メロディ」を選択し、[■]を押す

▶固定メロディ選択画面が表示されます。

● メロディを再生する場合は、[✉]（[確認]）を押します。続いて[✉]（[再生]）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、[■]を押してください。
停止する場合は、[✉]（[停止]）を押します。

● 着うた®を再生する場合は、[✉]（[確認]）を押したあと、[o]（[再生]）を押してください。停止する場合は、[o]（[停止]）を押します。

● 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているメロディを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

5 [↕]で設定したいメロディを選択し、[■]を押す

▶電話着信音設定画面が表示されます。

6 [↕]で「バイブレータ」を選択し、[■]を押す

▶バイブレータ選択画面が表示されます。

● 「**パターン1〜3**」を選択すると、選択したパターンでバイブレータが約5秒間振動します。

● 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

7 [↕]で設定したいパターンを選択し、[■]を押す

▶電話着信音設定画面が表示されます。

8 [o]（[戻る]）を2回押し、[✉]（[決定]）を押す

▶電話着信音とバイブレータが設定されます。

● アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[✉]（[完了]）を押してください。

補足

● 操作4のメロディ確認時の音量は、着信設定の電話着信の音量（☞9-2ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で鳴ります。

● 電話着信音とメール着信音は、グループ単位で設定することもできます（☞5-15ページ）。ただし、個別の設定が優先されます。

● サブディスプレイの電話着信画像（☞下記、5-16、8-9ページ）にビデオファイル（☞11-3ページ）を設定している場合は、着うた®を電話着信音に設定することはできません。設定する場合は、「**解除する**」を選択し、[■]を押してください。

メインディスプレイ／サブディスプレイの電話着信画像を設定する

● **メインディスプレイ着信画像に顔写真を設定する場合は、あらかじめアドレス帳に顔写真を設定してください（☞5-4ページ）。**

例 メインディスプレイの着信画像を設定する場合

1 次の操作で電話着信画像設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する

② [↕]で「**オプション**」を選択し、[■]を押す

③ [↕]で「**電話着信画像**」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で「メインディスプレイ」を選択し、[■]を押す

● サブディスプレイの着信画像を設定する場合は、「**サブディスプレイ**」を選択してください。

3 [↕]で設定したい着信画像を選択し、[■]を押す

▶選択した画像が表示されます。

● [*]、[#]で他の画像に切り替え表示します。

● 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

4 [✉]（[決定]）を押す

▶電話着信画像設定画面が表示されます。

5 [o]（[戻る]）を押し、[✉]（[決定]）を押す

▶メインディスプレイの着信画像が設定されます。

● アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[✉]（[完了]）を押してください。

重 要

- オプションで設定した着信画像を表示するには、8-9ページや8-17ページの電話着信画像を「OFF」以外に設定してください。
- 操作*3*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、静止画では最大で横240ドットまたは縦320ドットまでの画像を選択できます。また、以下の設定サイズ以外の静止画は、操作*3*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。
  - ・**メインディスプレイ着信画像**：横240×縦144ドット
  - ・**サブディスプレイ着信画像**　：横112×縦92ドット（静止画）
横128×縦96ドット（動画）

補 足

- 着信画像は、グループ単位で設定することもできます（☞5-16ページ）。ただし、個別の設定が優先されます。
- 電話着信音（☞5-8、5-15、9-3ページ）に着うた®を設定している場合は、サブディスプレイの電話着信画像にビデオファイル（☞11-3ページ）を設定することはできません。設定する場合は、「**解除する**」を選択し、■を押してください。

メールフォルダを設定する

- **メールフォルダについては、Vodafone live!編を参照してください。**

1 次の操作でメールフォルダ設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する
② ◯で「**オプション**」を選択し、■を押す
③ ◯で「**メールフォルダ**」を選択し、■を押す

2 ◯で設定したいフォルダを選択し、■を押す

▶オプション設定画面が表示されます。

3 ◯（決定）を押す

▶メールフォルダが設定されます。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと◯（完了）を押してください。

パーソナル辞書を設定する

- **パーソナル辞書についての詳細と利用方法については、4-16ページを参照してください。**

1 次の操作でパーソナル辞書設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する
② ◯で「**オプション**」を選択し、■を押す
③ ◯で「**パーソナル辞書**」を選択し、■を押す

2 ◯で設定したい辞書を選択し、■を押す

▶オプション設定画面が表示されます。

3 ◯（決定）を押す

▶パーソナル辞書が設定されます。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと◯（完了）を押してください。

宛先名称を設定する

- **宛先名称については、Vodafone live!編を参照してください。**

1 次の操作で宛先入力画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する
② ◯で「**オプション**」を選択し、■を押す
③ ◯で「**宛先名称**」を選択し、■を押す

2 宛先名称を入力し、■を押す

▶オプション設定画面が表示されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。

3 ◯（決定）を押す

▶宛先名称が設定されます。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと◯（完了）を押してください。

相手PINコードを設定する

- **PINコードについては、Vodafone live!編を参照してください。**

1 次の操作で相手PINコード設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する
② ◯で「**オプション**」を選択し、■を押す
③ ◯で「**相手PINコード**」を選択し、■を押す

2 相手PINコードを入力し、■を押す

▶オプション設定画面が表示されます。

3 ◯（決定）を押す

▶相手PINコードが設定されます。
- アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと◯（完了）を押してください。

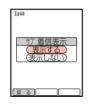
サブ着信表示を設定する

お買い上げ時は「**表示する**」に設定されています。

1 次の操作でサブ着信表示設定画面を呼び出す

① アドレス帳登録画面（☞5-3ページ）を表示する

② [ナビ]で「**オプション**」を選択し、[■]を押す

③ [ナビ]で「**サブ着信表示**」を選択し、[■]を押す

2 [ナビ]で「表示する」または「表示しない」を選択し、[■]を押す

3 [✎]（[決定]）を押す

▶サブ着信表示が設定されます。

● アドレス帳の登録を完了する場合は、このあと[✎]（[完了]）を押してください。

補 足

● サブ着信表示を「**表示しない**」に設定すると、電話着信時とメール受信時、サブディスプレイに名前は表示されず、それぞれ「**着信**」、「**受信完了**」のみ表示されます。

● サブディスプレイの着信表示設定を「**OFF**」に設定している場合（☞8-10ページ）、サブ着信表示が「**表示する**」に設定されていても、相手の名前などは表示されません。

グループ設定

グループごとに着信イルミネーションや電話／メール着信音、メイン／サブディスプレイの電話着信画像を変更することができます。また、アドレス帳のグループ名やグループアイコンを変更することもできます。

■設定できる項目

項　目		内　容	設定方法
グループアイコン		30種類のアイコンから選択できます。	☞5-14ページ
グループ名		名称を変更できます（グループ0「**名称なし**」は変更できません）。	☞5-14ページ
着信イルミ		着信時の着信イルミネーションを設定できます（☞15-4ページ）。	☞5-14ページ
着信音	電話着信	着信時やメール受信時の着信音パターン（☞9-3ページ）やバイブレータ（☞9-5ページ）を設定できます。	☞5-15ページ
	メール着信		
電話着信画像	メインディスプレイ	電話着信時にメインディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞5-16ページ
	サブディスプレイ	電話着信時にサブディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞5-16ページ
メールフォルダ		受信したメールの保存先フォルダを設定できます。メールフォルダについては、Vodafone live!編を参照してください。	☞5-17ページ

・「**着信イルミ**」（☞5-7ページ）、「**着信音**」（☞5-8ページ）、「**電話着信画像**」（☞5-9ページ）の設定は、アドレス帳ごとに設定することもできます。その場合、アドレス帳ごとの設定が優先されます。

■グループ設定の各項目を設定する

グループ設定画面で設定したい項目を選択し、内容を設定したあと設定を保存します。

1 [□●][3][7]の順に押す

▶グループの選択画面が表示されます。

● グループ番号は0～9の10種類です。

2 [ナビ]で設定したいグループを選択し、[■]を押す

▶選択したグループの設定画面が表示されます。

グループ設定画面

3 で各項目を選択し、■を押す

● 設定できる項目については5-13ページを参照してください。

4 （完了）を押す

▶内容が設定されます。

グループアイコンとグループ名を設定する

1 グループ設定画面（☞5-13ページ）より、で「グループアイコン」を選択し、■を押す

2 で設定したいアイコンを選択し、■を押す

▶グループ設定画面が表示されます。

3 で「グループ名」を選択し、■を押す

▶グループ名の入力画面が表示されます。

4 設定したいグループ名を入力し、■を押す

▶グループアイコンとグループ名が設定されます。
● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
● グループ設定を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

着信イルミネーションを設定する

1 グループ設定画面（☞5-13ページ）より、で「着信イルミ」を選択し、■を押す

2 で設定したいイルミネーションを選択し、■を押す

▶着信イルミネーションが設定されます。
● グループ設定を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

電話着信音／メール着信音を設定する

例 電話着信音とバイブレータを設定する場合

1 グループ設定画面（☞5-13ページ）より、で「着信音」を選択し、■を押す

▶着信音設定画面が表示されます。

2 で「電話着信」を選択し、■を押す

● メールを受信したときの着信音パターンを設定する場合は、「**メール着信**」を選択してください。

3 で「着信音パターン」を選択し、■を押す

▶着信音パターン設定画面が表示されます。

4 で「固定メロディ」を選択し、■を押す

▶固定メロディ選択画面が表示されます。
● メロディを再生する場合は、（確認）を押します。続いて（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、■を押してください。
停止する場合は、（停止）を押します。
● 着うた®を再生する場合は、（確認）を押したあと、（再生）を押してください。停止する場合は、（停止）を押します。
● 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているメロディを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

5 で設定したいメロディを選択し、■を押す

▶電話着信設定画面が表示されます。

6 で「バイブレータ」を選択し、■を押す

▶バイブレータ選択画面が表示されます。
● 「**パターン1〜3**」を選択した場合は、選択しているパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
● 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

7 で設定したいパターンを選択し、■を押す

▶電話着信音とバイブレータが設定されます。
● グループ設定を完了する場合は、このあと（戻る）を2回押し、続いて（完了）を押してください。

補足

- グループ単位で着信音パターンを設定していても、相手から電話番号が通知されてこない場合は、着信設定の電話着信の着信音パターンに従います（☞9-3ページ）。
- 操作*4*のメロディ確認時の音量は、着信設定の電話着信の音量（☞9-2ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で鳴ります。
- サブディスプレイの電話着信画像（☞下記、5-9、8-9ページ）にビデオファイル（☞11-3ページ）を設定している場合は、着うた®を電話着信音に設定することはできません。設定する場合は、「**解除する**」を選択し、■を押してください。

メインディスプレイ／サブディスプレイの電話着信画像を設定する

例 メインディスプレイの着信画像を設定する場合

1 **グループ設定画面（☞5-13ページ）より、**
◎で「電話着信画像」を選択し、■を押す

2 **◎で「メインディスプレイ」を選択し、■を押す**

- サブディスプレイの着信画像を設定する場合は、「**サブディスプレイ**」を選択してください。

3 **◎で設定したい着信画像を選択し、■を押す**

▶画像が表示されます。
- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

4 **✉（決定）を押す**

▶メインディスプレイの着信画像が設定されます。
- グループ設定を完了する場合は、このあと⊙（戻る）を押し、続いて✉（完了）を押してください。

重要

- グループ設定で設定した着信画像を表示するには、8-9ページや8-17ページの電話着信画像を「OFF」以外に設定してください。
- 操作*3*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、静止画では最大で横240ドットまたは縦320ドットまでの画像を選択できます。また、以下の設定サイズ以外の静止画は、操作*3*のあとでトリミング（画像の表示したい範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。
  - ・**メインディスプレイ着信画像**：横240×縦144ドット
  - ・**サブディスプレイ着信画像**：横112×縦92ドット（静止画）
横128×縦96ドット（動画）

補足

電話着信音（☞5-8、5-15、9-3ページ）に着うた®を設定している場合は、サブディスプレイの電話着信画像にビデオファイル（☞11-3ページ）を設定することはできません。設定する場合は、「**解除する**」を選択し、■を押してください。

メールフォルダを設定する

1 **グループ設定画面（☞5-13ページ）より、**
◎で「メールフォルダ」を選択し、■を押す

2 **◎で設定したいフォルダを選択し、■を押す**

▶メールフォルダが設定されます。
- グループ設定を完了する場合は、このあと✉（完了）を押してください。

アドレス帳の利用

■アドレス帳の検索画面について

[●□]を押してアドレス帳の検索画面を呼び出し、[◆]を押して検索を行います。

[●□]を押す

50音順に前の行を表示します（その他、わ行、ら行…）。

[□●]を押す

50音順に次の行を表示します（あ行、か行、さ行…）。

（「か」行がない場合）

[◆]※を押す

※[◆]を押す代わりに、[1]～[5]を押して選択することもできます。

以下は、「あ行」の画面で操作を行った場合

・[1]：「**あ**」から始まる名前にカーソルが移動します。
・[2]：「**い**」から始まる名前にカーソルが移動します。
・[3]：「**う**」から始まる名前にカーソルが移動します。
・[4]：「**え**」から始まる名前にカーソルが移動します。
・[5]：「**お**」から始まる名前にカーソルが移動します。

補 足

- 待受画面で[0]～[9]、[＊]を長く（約1秒以上）押して、ボタンに割り当てられた行の検索画面を呼び出すこともできます。
- メモリ番号から検索した場合（☞5-22ページ）や電話番号から検索した場合（☞5-23ページ）の検索画面は以下のように表示されます。

メモリ番号での検索画面

電話番号での検索画面

- 検索画面に「[📞]」が表示されているときは、[↗]を押すと電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録した番号に電話がかかります）。

■アドレス帳の各種検索方法

アドレス帳の検索方法を以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**2タッチ**」に設定されています。

検索方法	内 容	参照ページ
かな一覧	アドレス帳のかな一覧から検索できます。	☞下記
2タッチ	ヨミガナの頭文字を2タッチで入力して検索できます。	☞5-20ページ
ヨミガナ	ヨミガナを入力して検索できます。	☞5-21ページ
グループ	グループを選択して検索できます。	☞5-21ページ
メモリ番号	メモリ番号を入力して検索できます。	☞5-22ページ
電話番号	電話番号を入力して検索できます。	☞5-23ページ
アルファベット一覧	アドレス帳のアルファベット一覧から検索できます。	☞5-24ページ

かな一覧で検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 **[●□]を押す**

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。
- 右の画面が表示されない場合は、[✉]（[検索方法]）を押して、「**かな一覧**」を選択し、[■]を押してください。「**あ行**」の検索結果画面が表示されます。

2 **[◆]で「太田」を選択する**

- [●□●]で他の行の検索結果画面を表示できます。

3 **[■]を押す**

▶アドレス帳確認画面が表示されます。

4 **[◆]で電話番号を選択し、[↗]を押す**

▶選択した番号に電話がかかります。

補 足

操作**2**の画面で[↗]を押しても電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に電話がかかります）。

2タッチで検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 [□]を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。
● 右の画面が表示されない場合は、[ ]（[検索方法]）を押して、「**2タッチ**」を選択し、[■]を押してください。

2 [1] [5]の順に押す

▶押したキーに対応するヨミガナの頭文字を含むアドレス帳が表示されます。
● 各キーに割り当てられている頭文字については、下記の補足を参照してください。

3 [■]を押す

▶アドレス帳確認画面が表示されます。

4 [ ]で電話番号を選択し、[ ]を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補 足

● 頭文字入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。
例えば「**よ**」から始まるヨミガナのアドレス帳を呼び出す場合は、[8] [5]の順に押します。

		後に押すボタン				
		1	2	3	4	5
先に押すボタン	1	あ	い	う	え	お
	2	か	き	く	け	こ
	3	さ	し	す	せ	そ
	4	た	ち	つ	て	と
	5	な	に	ぬ	ね	の
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ
	7	ま	み	む	め	も
	8	や	―	ゆ	―	よ
	9	ら	り	る	れ	ろ
	0	わ	を	ん	―	―

・「その他」を呼び出す場合は、[＊]を押します。

● 未登録のアドレス帳を検索した場合、「**登録はありません**」と表示されます。
● 操作**2**の画面で[ ]を押しても電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

ヨミガナから検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 [□]を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。
● 右の画面が表示されない場合は、[ ]（[検索方法]）を押して、「**ヨミガナ**」を選択し、[■]を押してください。

2 ヨミガナを入力する

● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● ヨミガナの頭文字だけでも検索できます。
● 入力可能文字数は、最大で半角8文字です。

3 [■]を押す

▶「**太田**」が選択されます。

4 [■]を押す

▶アドレス帳確認画面が表示されます。

5 [ ]で電話番号を選択し、[ ]を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補 足

● ヨミガナの検索では、アドレス帳に登録されているヨミガナが使用されます。
● 操作**3**の画面で[ ]を押しても電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

グループから検索する

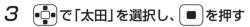
例 「**グループ1**」の「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 [□]を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。
● 右の画面が表示されない場合は、[ ]（[検索方法]）を押して、「**グループ**」を選択し、[■]を押してください。

2 ⇕で「グループ1」を選択し、■を押す

▶「**グループ1**」に登録されたヨミガナのアドレス帳が表示されます。

● ⇕を押すかわりに、ボタン入力でも選択できます。

0：名称なし
1：グループ1
⋮
9：グループ9

3 ✥で「太田」を選択し、■を押す

▶アドレス帳確認画面が表示されます。

4 ⇕で電話番号を選択し、☏を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補足

● 操作*2*の画面で☏を押しても電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。
● グループ名を変更する場合は、操作*1*の画面でグループを選択し[Menu]（[メニュー]）を押します（ただしグループ番号0の「**名称なし**」は除く）。

メモリ番号から検索する

例 メモリ番号「001」を呼び出して電話をかける場合

1 ■□を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。

● 右の画面が表示されない場合は、[↗]（[検索方法]）を押して、「**メモリ番号**」を選択し、■を押してください。

2 メモリ番号を入力する

● メモリ番号は3桁で入力してください。

3 ■を押す

▶入力したメモリ番号以降のリストが表示されます。

● 右の画面で3桁のメモリ番号を入力して、メモリ番号を検索することもできます。

4 ■を押す

▶アドレス帳確認画面が表示されます。

5 ⇕で電話番号を選択し、☏を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補足

● メモリ番号の検索は、アドレス帳登録時のメモリ番号が使用されます。
● 操作*3*の画面で■□■を押すと、50件単位で表示を切り替えることができます。
● 操作*3*の画面で☏を押しても電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

電話番号から検索する

電話番号からアドレス帳を検索することができます。

1 ■□を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。

● 右の画面が表示されない場合は、[↗]（[検索方法]）を押して、「**電話番号**」を選択し、■を押してください。

2 電話番号を入力し、■を押す

▶入力した電話番号と一致したアドレス帳が表示されます。

3 ☏を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補足

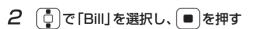
● 電話番号の検索は、アドレス帳に登録されている電話番号が使用されます。
● 入力した電話番号と一致するアドレス帳がない場合は、「**登録はありません**」と表示されます。

アルファベット一覧で検索する

例 「Bill」を呼び出して電話をかける場合

1 **を押す**

▶前回検索時に設定された検索方法の画面が表示されます。
- 右の画面が表示されない場合は、（検索方法）を押して、「**アルファベット一覧**」を選択し、■を押してください。「**A〜C**」の検索結果画面が表示されます。
- で他の英字の検索結果画面を表示できます。

2 **で「Bill」を選択し、■を押す**

▶アドレス帳確認画面が表示されます。

3 **で電話番号を選択し、を押す**

▶選択した番号に電話がかかります。

補 足

操作*1*の画面でを押しても電話をかけることができます（アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に電話がかかります）。

■スピードダイヤルで電話をかける

本体アドレス帳に登録されているメモリ番号（000〜099）の下2桁とを押すだけで電話をかけることができます。

1 **メモリ番号の下2桁を入力する**

2 **を押す**

▶入力したメモリ番号の相手に電話がかかります。

重 要

スピードダイヤルと国際ショートコード（☞15-23ページ）の機能を組み合わせて利用することはできません。

補 足

- メモリ番号000〜009に登録されている相手の場合、下1桁のメモリ番号とを押すだけで電話をかけることができます。
- メモリ番号の下2桁または1桁に該当するアドレス帳に、2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に電話がかかります。
- 簡易宛先設定でメールの送信先に割り当てた番号とは異なります。簡易宛先設定については、Vodafone live!編を参照してください。

■番号を追加して発信する

アドレス帳や着信履歴などから呼び出した電話番号に、番号を追加入力して電話をかけることができます。

例 アドレス帳から呼び出した電話番号「177」に追加番号「**03**」をつなげて、発信する場合

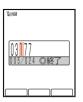
1 **アドレス帳確認画面を呼び出す**

- アドレス帳確認画面の呼び出しかたについては5-18ページを参照してください。

2 **で電話番号を選択し、（編集）を押す**

▶電話番号の編集画面が表示されます。

3 **追加する番号「03」を入力する**

- 追加番号はアドレス帳に登録されている電話番号の前に追加されます。

4 **を押す**

▶「**03**」を追加した番号に電話がかかります。

補 足

- 着信履歴（☞2-17ページ）、リダイヤル（☞2-4ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-16ページ）でも同様の操作が行えます。
- 操作*3*の画面で■を押したあと（完了）を押すと、アドレス帳を更新することができます。

アドレス帳の編集

登録したアドレス帳は、個別に編集、消去を行うことができます。また、電話番号とE-mailアドレスをそれぞれ3件まで登録することができます。

■アドレス帳を修正する

アドレス帳確認画面

アドレス帳確認画面(左の画面)で各項目を選択し、●(編集)または(変更)を押すと、登録した名前や電話番号、メモリ番号(☞5-5ページ)、オプション(☞5-7ページ)などを変更することができます。また、Menu(メニュー)を押すと、以下の操作を行うことができます。

操　作	内　容	カーソル位置
顔写真設定	顔写真を変更します。	全項目
名前消去	名前を消去します。	名前
全項目消去	選択しているアドレス帳を消去します。	名前
ヨミガナ消去	ヨミガナを消去します。	ヨミガナ
メール作成	メールを作成します(☞Vodafone live!編)。	電話番号
国際発信	国際ショートコードを付加します(☞15-23ページ)。	電話番号
電話番号消去	電話番号を消去します。	電話番号
アイコン変更	電話番号のアイコンを変更します。	電話番号
メール作成	メールを作成します(☞Vodafone live!編)。	Eメールアドレス
Eメール消去	E-mailアドレスを消去します。	Eメールアドレス
アイコン変更	E-mailアドレスのアイコンを変更します。	Eメールアドレス
オプションクリア	オプションの設定内容がすべて解除されます。	オプション
メモ消去	メモを消去します。	メモ
住所消去	住所を消去します。	住所
誕生日消去	誕生日を消去します。	誕生日
vCardで保存	vCardファイルとして保存します(☞11-17ページ)。	全項目
SDへコピー	メモリカードへコピーします(☞10-13ページ)。	全項目
SDへ移動	メモリカードへ移動します(☞10-13ページ)。	全項目
赤外線1件送信	赤外線送信します(1件のみ)(☞12-4ページ)。	全項目
アドレス帳切替	本体とメモリカードのアドレス帳確認画面を切り替えます(☞10-9ページ)。	全項目

補足

アドレス帳検索画面(☞5-18ページ)でMenu(メニュー)を押すと、以下の操作を行うことができます。

・**消去**(☞5-27ページ)/**シークレット登録**(☞13-9ページ)/**vCardで保存**(☞11-17ページ)/**赤外線1件送信**(☞12-4ページ)/**アドレス帳切替**(☞10-9ページ)

■アドレス帳を消去する

選択したアドレス帳を消去することができます。

1 消去するアドレス帳を検索する

● アドレス帳の検索方法については5-18ページを参照してください。

2 Menu(メニュー)を押す

3 ◎で「消去」を選択し、●を押す

▶消去確認画面が表示されます。

4 ◎で「YES」を選択し、●を押す

▶アドレス帳が1件消去されます。

補足

アドレス帳確認画面(☞5-26ページ)で名前を選択したあとMenu(メニュー)を押し、「**全項目消去**」を選択して消去することもできます。

■電話番号やE-mailアドレスを追加登録する

例 電話番号を追加登録する場合

1 待受画面で、電話番号を入力する

● 登録可能桁数は、最大24桁です。
● 電話番号を間違えて入力した場合はClearを短く押すと、最後の1桁が消去されます。Clearを長く(約1秒以上)押すと待受画面に戻ります。
● リダイヤル(☞2-4ページ)または着信履歴(☞2-17ページ)の電話番号を追加登録することもできます。リダイヤル/着信履歴画面で◎を押して、登録したい電話番号を選択します。

2 Menu(メニュー)を押す

3 ◎で「アドレス帳追加」を選択し、●を押す

▶アドレス帳検索画面が表示されます。

4 登録したいアドレス帳を検索する

- アドレス帳の検索方法については5-18ページを参照してください。

5 [■]を押す

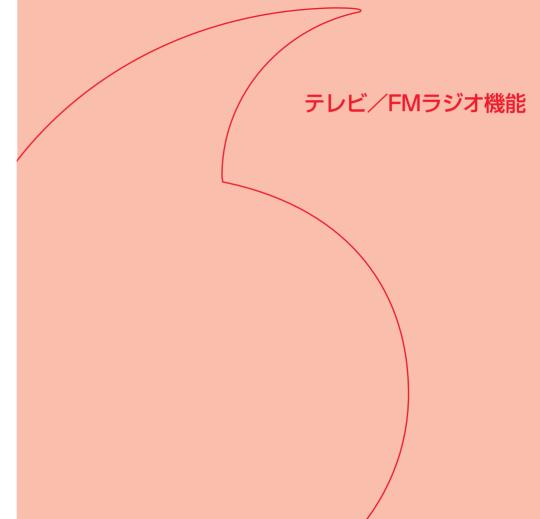
▶すでに登録されていた電話番号「09098…」に続き、電話番号「03123…」が追加されます。

- 続けてE-mailアドレスを追加登録することもできます。E-mailアドレスの入力方法については5-4ページを参照してください。

6 [↩]（[完了]）を押す

▶アドレス帳が更新されます。

補 足

受信したメールや、ウェブ・ステーションの情報画面に含まれる電話番号やE-mailアドレスを、アドレス帳に登録することもできます（☞Vodafone live!編）。

テレビ／FMラジオ機能

テレビ／FMラジオをご利用になる前に

V603Tではテレビ映像を見たり、FMラジオを聴くことができます。テレビ映像を横表示に切り替えると、より大きな画面で楽しめます。音声は、スピーカーまたは付属のリール式イヤホンアンテナで聞くことができます。また、映像を録画して見たり、静止画やアニメーションとして登録する（キャプチャ）こともできます。

■テレビ／FMラジオ利用時のご注意

- **テレビやFMラジオの利用時は、電波を十分に受信できるようにリール式イヤホンアンテナ（☞6-3ページ）またはTVアンテナ接続ケーブル（オプション品）を必ず取り付けてください。**
- V603Tに磁石を近づけないでください。オープンスタイルにした状態で磁石を近づけると、テレビが自動起動することがあります。
- リール式イヤホンアンテナを使用して、テレビやFMラジオの受信チャンネルを探している間に電波状態が変化すると、突然大きな音（ノイズや放送音声）が聞こえることがありますのでご注意ください。
- 本テレビとFMラジオは日本国内専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、テレビやFMラジオを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- テレビやFMラジオの利用中にメールを受信すると、テレビやFMラジオの映像や音声に影響を与えることがあります。

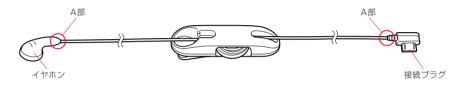
テレビ／FMラジオ放送の電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

・放送局から遠い地域または極端に近い地域
・山間部やビルの陰
・移動中の電車、車、地下街、トンネルの中など
・高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
・その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

テレビ使用時のチャンネルとアンテナの関係

受信チャンネル	アンテナ（接続機器）
VHF/UHF/FM	・リール式イヤホンアンテナを接続してください。 ・TV アンテナ接続ケーブル（オプション品）を利用する場合はアンテナ入力端子を外部のアンテナへ接続してください。
CATV	・TV アンテナ接続ケーブル（オプション品）のアンテナ入力端子を外部のアンテナへ接続してください。

リール式イヤホンアンテナの使いかた

引き出しかた

イヤホンと接続プラグの先端を持ち上げたあと、両手でA部を持ち、左右均等にゆっくりと引き出してください。必ず最後まで引き出してロックさせてからご使用ください。

収納のしかた

両手でA部を持って軽く引っ張ってください。ロックが解除され巻き取られます。

片側を引き出してコードが絡まった場合は…

1 リールを手で数回、時計回りに回転させる

- 引き出していない方を引き出さないでください。

2 両側をゆっくり引き出す

▶両側ともすべてコードを引き出せたら、通常の状態に戻ります。すべて引き出せない場合は、操作*1*、*2*を繰り返してください。
- コードを強く引っ張らないでください。

重要

- コードの片側だけ引っ張ると、コードが絡まったり、破損の原因となります。
- コードを完全に引き出さないと、テレビやFMラジオの電波を十分に受信できないことがあります。
- A部を引っ張ったあと急に手を離すと、コードが勢いよく巻き取られることがありますのでご注意ください。

リール式イヤホンアンテナ／TVアンテナ接続ケーブル（オプション品）の取り付けかた

1 V603Tのイヤホン端子キャップを開ける

2 接続プラグをイヤホン端子に差し込む

重要

- リール式イヤホンアンテナはV603T専用品です。他の携帯電話には使用できません。
- テレビまたはFMラジオをご利用中に、リール式イヤホンアンテナを本体や急速充電器、卓上ホルダーに巻きつけたり、急速充電器のコードと束ねたりすると、テレビ視聴や発着信ができなくなる場合があります。
- テレビをご利用中に、リール式イヤホンアンテナを抜き差ししないでください。選択されていたチャンネルが受信できなくなることがあります。

補足

- TVアンテナ付ステレオイヤホンマイク（V401T付属品）を使用する場合は、イヤホンアンテナ設定（☞15-26ページ）を行ってください。
- テレビとFMラジオの音声出力はモノラルです。

充電について

- テレビ・FMラジオ視聴中やテレビ録画中の充電は、充電が完了しない場合があります。
- 充電中に充電コードをアンテナに近づけると、映像が乱れることがあります。

無信号状態について

選択したチャンネルに映像、音声の信号が無い状態を無信号状態といいます。

補足

TVアンテナ接続ケーブル（オプション品）を接続していない状態でCATVのチャンネルを選択した場合、音声は無音となります。

マナーモード中の音量について

マナーモード中にテレビやFMラジオをご利用になる場合、音量は以下のようになります。

音声出力先＼マナーモード設定	サイレントモード	メザマシモード	オリジナルマナー
スピーカー	消音（※）	消音（※）	テレビ／FMラジオOFF時：消音（※） テレビ／FMラジオON時：テレビ、FMラジオの音量設定に従います。
イヤホン	テレビ、FMラジオの音量設定に従います。	テレビ、FMラジオの音量設定に従います。	テレビ、FMラジオの音量設定に従います。

※ テレビ、FMラジオ起動中に音量を上げると音声の出力が可能になります。

重要

マナーモード中に設定した音量は、テレビ、FMラジオ終了時には保持されません。

縦横表示について

テレビ映像画面で［スケジュール 文字 A/a］を押すたびに、縦横の表示を切り替えることができます。ただし、録画は横表示のみとなります。

縦表示画面

横表示画面

ボタンの使いかた

テレビ／FMラジオの各機能で使用するボタンはメインディスプレイの開きかた（☞1-11ページ）によって異なります。以下の表を参照してください。

・基本操作となるオープンスタイルについては各操作手順に従ってください。
・ボタンの方向については、縦横表示に関わらず、V603Tを縦向きにした状態で記載しています。
・長押し：約1秒以上押します。

テレビ視聴中（☞6-7ページ）

ボタン	ボタンの押しかた	オープンスタイル（横）	ターンオーバースタイル
■	通常／長押し	キャプチャ	キャプチャ
Clear メモ	通常／長押し	テレビ終了	－
◎	通常／長押し	録画開始	－
上	通常	音量を下げる	－
	長押し	消音	－
下	通常／長押し	音量を上げる	－
左右	通常	チャンネル切り替え	－
	長押し	オート選局	－
終話	通常／長押し	テレビ終了	－
上下サイドキー	通常	チャンネル切り替え	チャンネル切り替え
	長押し	音量を上げる／下げる	音量を上げる／下げる
TVキー	通常	TVメニュー	TVメニュー
	長押し	テレビ終了	テレビ終了

録画中（☞6-12ページ）

ボタン	ボタンの押しかた	オープンスタイル（横）	ターンオーバースタイル
■、Clear/メモ	通常／長押し	録画終了	－
○	通常	録画終了	－
上	通常	音量を下げる	－
	長押し	消音	－
下	通常／長押し	音量を上げる	－
終話	通常	録画終了	－
上下サイドキー	長押し	音量を上げる／下げる	音量を上げる／下げる
TVキー	通常／長押し	録画終了	録画終了

TVメニュー利用中（☞6-9ページ）

ボタン	ボタンの押しかた	オープンスタイル（横）	ターンオーバースタイル
■	通常／長押し	決定	－
Clear/メモ	通常	TVメニュー終了	－
	長押し	テレビ終了	－
十字	通常／長押し	カーソルを上下左右に移動	－
終話	通常／長押し	テレビ終了	－
上下サイドキー	通常／長押し	カーソルを左右に移動	カーソルを左右に移動
TVキー	通常	決定	決定
	長押し	TVメニュー終了	TVメニュー終了

FMラジオ聴取中（☞6-20ページ）

ボタン	ボタンの押しかた	ターンオーバースタイル	サブディスプレイ表示※1
上サイドキー	通常	周波数を上げる	音量調節画面：音量を上げる（※2） 周波数切替画面：周波数を上げる（※2）
	長押し		FMラジオ終了
下サイドキー	通常	周波数を下げる	音量調節画面：音量を下げる（※2） 周波数切替画面：周波数を下げる（※2）
	長押し		音量調節画面／周波数切替画面の切り替え
TVキー	長押し	テレビ起動	テレビ起動

※1 サブディスプレイの表示方向を「逆方向」に設定（☞8-12ページ）すると、上下サイドキーは逆になります。

※2 音量調節画面／周波数切替画面は下サイドキーの長押しで切り替えます。

テレビを見る

V603Tでは、日本国内で放送している地上波（アナログ放送）のテレビを見ることができます。

テレビを起動する

1 リール式イヤホンアンテナを取り付ける（☞6-3ページ）

2 Menu □の順に押す

3 十字で「TV／FMラジオ機能」を選択し、■を押す

▶TV／FMラジオ起動設定画面が表示されます。

4 上下で「TV起動」を選択し、■を押す

- 待受画面でTVキーを長く（約1秒以上）押してテレビを起動することもできます。
- 2回目以降のご利用の場合は、テレビ映像画面（☞下記）になります。

受信地域を設定する

地域によって受信できるチャンネルが異なりますので、初めてテレビをご利用になる場合には、受信を行う地域を設定する必要があります。

1 「テレビを起動する」（☞上記）の操作4のあと■を押す

2 次の操作で受信地域を設定する

① 上下で地域を選択し、■を押す

② 上下で都道府県を選択し、■を押す

③ 上下で地区を選択し、■を押す

▶テレビ映像画面が表示されます。

- 位置情報（☞Vodafone live!編）が取得されている場合は、該当する地域があらかじめ選択されます。

テレビ映像画面

重 要

位置情報が更新された場合は、そのたびに受信地域を設定してください。

チャンネルや音量を調節する

テレビ映像を表示中に、チャンネルを選択したり、音量を調節することができます。
お買い上げ時のチャンネルは「**VHF1CH**」、音量は「**レベル1**」に設定されています。

1 テレビ映像画面（☞6-7ページ）より、
0～9、*、#、または●□●でチャンネルを選択する

- ●□または□●を長く（約1秒以上）押してオート選局をすることもできます。

2 ◇で音量を調節する

- 音量は5段階まで調節できます。□を長く（約1秒以上）押すと、消音になります。

3 Powerを押す

▶テレビを終了し、待受画面に戻ります。
- TVキーを長く（約1秒以上）押しても同様の操作が行えます。

重 要

- 以下の場合はテレビを起動することはできません。
  - ・電池残量が残りわずかなとき
  - ・通話中
  - ・通信中（Vアプリを除く）
  - ・カメラ、ムービー、ボイスメモ、アニメつく～る、自作マルチメニュー起動中
  - ・ピクチャーつく～るのメニュー項目（**画像編集**／**4分割壁紙作成**／**フレーム作成**／**スタンプ作成**）起動中
- 電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、テレビを自動的に終了します。
- CATV（ケーブルテレビ）をご利用になるには、CATVの放送会社とのご契約が必要です。

補 足

- TVアンテナ接続ケーブル（オプション品）を接続していない状態でCATVのチャンネルを選択した場合、音声は無音となります。
- 受信地域ごとに割り当てたチャンネルは、2004年11月1日現在の情報を基に設定してあります。地域ごとの放送チャンネルに変更があった場合は、手動設定（☞6-14ページ）をしてください。
- オート起動設定（☞6-19ページ）を「**ターンオーバーに連動**」に設定している場合は、V603Tをターンオーバースタイルにすると、テレビが自動的に起動します。
- V603Tをターンオーバースタイルにして、右のように卓上ホルダーに置いてテレビを見ることができます。

TVメニューの利用

テレビ映像を表示中に、TVメニューを利用して以下の操作を行うことができます。

機　能	内　容	参照ページ
EPG	電子番組表を表示します。	☞下記
録画	表示中のテレビ映像を録画します。	☞6-12ページ補足
キーガイド	横表示画面でのボタン操作方法を表示します。	☞6-10ページ
イヤホン出力／スピーカー出力	音声の出力先をイヤホンとスピーカーで切り替えます。	☞6-15ページ下段の補足
チャンネル	テレビのチャンネルを選択します。	☞6-10ページ
FMラジオ	テレビ映像を表示中に、FMラジオに切り替えます。	☞6-20ページ補足

重 要

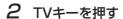
TVメニューで設定中にV603Tを閉じると、TVメニューを終了し、テレビ映像画面に戻ります。

電子番組表を利用する

テレビ映像を表示中にVアプリ（☞Vodafone live!編）を起動し、電子番組表（EPG）から見たいテレビ番組を選択することができます。

1 次の操作でテレビ映像画面を呼び出す

① Menu ●□の順に押す
② ◇で「**TV／FMラジオ起動**」を選択し、■を押す
③ ◇で「**TV起動**」を選択し、■を押す

2 TVキーを押す

TVメニュー画面

3 ◇で「EPG」を選択し、■を押す

▶電子番組表が起動します。
以降は画面に従って操作してください。
- 操作1の画面で（EPG）を押しても同様の操作が行えます。
- ネットワークの自動接続設定（☞Vodafone live!編）を「**OFF**」に設定している場合は、ネットワーク接続確認画面が表示されます。

補 足

- 電子番組表は、縦横どちらの表示画面から起動しても縦表示になります。
- ターンオーバースタイルで電子番組表を起動した場合、ボタン操作が制限されますので、オープンスタイルに変更してから操作を続けてください。

キーガイド表示を利用する

ターンオーバースタイルでテレビ映像を表示しているときのボタン操作方法を確認することができます。

1 TVメニュー画面(☞6-9ページ)より、[方向キー]で「キーガイド」を選択し、[■]を押す

● TVキーを長く(約1秒以上)押すと、テレビ映像画面に戻ります。

チャンネルを選択する

1 TVメニュー画面(☞6-9ページ)より、[方向キー]で「チャンネル」を選択し、[■]を押す

▶チャンネル選局画面が表示されます。

2 [方向キー]で見たいチャンネルを選択し、[■]を押す

▶選択したチャンネルのTV映像画面が表示されます。

重 要

TVメニューで選択できるチャンネルは、現在設定されている地域の番組です。他の地域の番組を見る場合は、チャンネルパターン設定(☞6-14ページ)を行ってください。

映像のキャプチャ

テレビ映像を静止画やアニメーションとして登録する(キャプチャ)ことができます。キャプチャ枚数を「**9枚**」に設定(☞6-15ページ)すると、1回の操作で9枚の静止画を連続してキャプチャすることができます。

例 連続してキャプチャした画像でアニメーションを作成する場合

1 テレビ映像画面(☞6-7ページ)より、[■]を押す

▶キャプチャを開始します。
[○]([中止])または[Clear/メモ]を押すと、キャプチャを中止します。

▶キャプチャした9枚の画像が表示されます。

● [○]([登録])を押すと、キャプチャした9枚の画像すべてがデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

2 [Menu]([メニュー])を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 [方向キー]で「アニメーション作成」を選択し、[■]を押す

▶作成したアニメーションがデータフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

● 登録したアニメーションのファイル名は、作成日時になります。

重 要

● キャプチャした画像をメールに添付したり、壁紙／マイキャラクタに設定することはできません。
● キャプチャした画像を編集することはできません。

補 足

● 縦横どちらの表示画面でキャプチャを行っても、サムネイル表示での表示方向は縦表示になります。
● キャプチャした画像サイズは、キャプチャ時の縦横表示の設定に関係なく、W240×H320となります。
●「**キャプチャ設定**」で「**1枚**」を選択している場合は、操作*1*のあと自動的にデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
● キャプチャした画像を登録するフォルダを設定することができます(☞6-15ページ)。

映像の録画

表示中のテレビ映像を録画することができます。録画できる時間は、データフォルダの空き容量により異なります。

1 テレビ映像画面（☞6-7ページ）より、
[o]（[録画]）を押す

▶横表示に切り替わり、録画を開始します。

2 TVキーを押す

▶録画を終了し、データフォルダのビデオフォルダに登録されます。

● 登録したファイル名は、録画日時になります。

重 要

● テレビ録画中に電話がかかってきた場合は録画を中断し、それまでに録画した映像は自動的にデータフォルダに登録されます。通話終了後は自動的にテレビを起動しますが、録画は継続して行われません。
● テレビ録画中に電話をかけることはできません。
● テレビ録画中に本体を閉じると録画は終了します。
● 録画中に「**オートオフ設定**」（☞6-18ページ）で設定した時間になっても、録画を終了するまでテレビは終了しません。
● テレビ録画中にチャンネルを切り替えたり、一時停止をすることはできません。
● 録画した映像をメールに添付したり、壁紙／マイキャラクタに設定することはできません。
● 録画した映像をパソコンで確認することはできません。
● 登録したテレビ録画ファイルのファイル名や拡張子をパソコンで変更したり、同じフォルダ内のファイルを編集、消去しないでください。テレビ録画ファイルを確認することができなくなります。
● テレビ録画中に電池残量が残りわずかになった場合や、本体（データフォルダ）が一杯になった場合は、警告画面を表示し、録画を中断します。それまでに録画した映像は自動的に本体（データフォルダ）に登録されます。
● 保存先をメモリカードに設定し、録画開始時にメモリカードが一杯の場合は、警告画面を表示し、保存先を一時的に本体（データフォルダ）に切り替えて録画を開始します。

補 足

● 録画できる画像サイズはW320×H240のみとなります。縦表示で録画を開始した場合でも、開始した時点で横表示となります。
● オープンスタイルで録画中に、ターンオーバースタイルに切り替えた場合も、録画を継続します。
● 録画するテレビ映像によって録画可能な時間が異なる場合があります。
● メモリカードのビデオフォルダには、最大2,000件まで登録することができます。
● 録画した映像を登録するフォルダを設定することができます（☞6-16ページ）。
● TVメニューから録画する場合は、TVメニュー画面（☞6-9ページ）を表示したあと「**録画**」を選択し、[■]を押します。

テレビ設定

テレビ利用時に以下の設定を行うことができます。

・**チャンネル設定**（☞下記）
・**キャプチャ設定**（☞6-15ページ）
・**バックライト設定**（☞6-17ページ）
・**オートオフ設定**（☞6-18ページ）
・**オート起動設定**（☞6-19ページ）
・**音声出力切替**（☞6-15ページ）
・**録画保存先**（☞6-16ページ）
・**TV中割込み**（☞6-17ページ）
・**アンプ設定**（☞6-19ページ）
・**FMラジオ切替**（☞6-20ページ）

受信チャンネルについて

受信チャンネルに設定できるのは、V1CH（VHF1ch）～V12CH（VHF12ch）、U13CH（UHF13ch）～U62CH（UHF62ch）、C13CH（CATV13ch）～C63CH（CATV63ch）のいずれかのチャンネルです。
表示チャンネルには「1」～「63」の数字を設定できます。
ダイヤルボタン、受信チャンネル、表示チャンネルの組み合わせ（パターン）は5通りに設定することができます（☞6-14ページ）。
よく利用するチャンネルをパターン別に設定しておくと、簡単な操作でチャンネルを選択することができます。
お買い上げ時は「**パターン2～5**」はすべて以下のように設定されています。
「**パターン1**」には、テレビ起動時に設定した地域のチャンネルが設定されています。

ダイヤルボタン	受信チャンネル	表示チャンネル
1	V1CH（VHF1ch）	1
2	V2CH（VHF2ch）	2
3	V3CH（VHF3ch）	3
4	V4CH（VHF4ch）	4
5	V5CH（VHF5ch）	5
6	V6CH（VHF6ch）	6
7	V7CH（VHF7ch）	7
8	V8CH（VHF8ch）	8
9	V9CH（VHF9ch）	9
*	V10CH（VHF10ch）	10
0	V11CH（VHF11ch）	11
#	V12CH（VHF12ch）	12

受信チャンネルのパターンを設定する

ダイヤルボタンに割り当てる受信チャンネルと表示チャンネルを設定します。感度の良い受信チャンネルを自動的に設定させるには、自動設定を行います。感度にかかわらず、お好みの受信チャンネルを設定したいときは、手動設定を行います。

例 受信チャンネルを手動で設定する場合

1 次の操作でチャンネル設定画面を呼び出す

① テレビ映像画面(☞6-7ページ)を表示する

② Menu (メニュー) を押す

③ ◆で「**チャンネル設定**」を選択し、■を押す

2

▶パターン切換選択画面が表示されます。

3 ◆で設定したいパターンを選択し、■を押す

▶チャンネル設定画面が表示されます。

4 ◆で編集する設定を選択し、■を押す

5 ◆で「受信チャンネル」を選択し、■を押す

▶現在設定されているチャンネルの映像が表示されます。

6 ◆でチャンネルを選択し、✉(決定)を押す

▶受信チャンネルが設定されます。

● ◆または◆を長く(約1秒以上)押してオート選局をすることもできます。

7 設定を確認し、✉(決定)を押す

▶設定されたダイヤルボタンの割り当てが一覧表示されます。

● 引き続き設定する場合は、操作*4*～*7*を繰り返します。

8 ✉(完了)を押す

▶チャンネル設定が完了します。

補足

● **自動で変更する場合は…**
操作*3*のあと Menu (メニュー) を押し、「**自動設定**」を選択して■を押します。

● 操作*4*の画面で「**表示チャンネル**」を選択して、チャンネル表示の変更の操作を行うことができます。

● ✉(完了)を押す前に割込み(☞6-17ページ)によってテレビが中断した場合は、割込み終了後、受信/表示チャンネル設定画面または元の画面に戻ります。

音声出力を切り替える

音声の出力先を「**イヤホン**」または「**スピーカー**」に切り替えることができます。
お買い上げ時は「**スピーカー**」に設定されています。

1 次の操作で音声出力切替画面を呼び出す

① テレビ映像画面(☞6-7ページ)を表示する

② Menu (メニュー) を押す

③ ◆で「**音声出力切替**」を選択し、■を押す

2 ◆で「スピーカー」または「イヤホン」を選択し、■を押す

▶音声の出力先が設定されます。

重要

リール式イヤホンアンテナの抜き差しでは、音声の出力先は切り替わりません。

補足

TVメニューから音声出力を切り替える場合は、TVメニュー画面(☞6-9ページ)を表示したあと「**イヤホン出力**」または「**スピーカー出力**」を選択し、■を押します。TVメニュー画面には、切り替えることができる出力先が表示されます。

キャプチャ設定をする

キャプチャ枚数(1枚または9枚)やキャプチャした画像を登録するフォルダを設定することができます。
お買い上げ時は「**1枚**」、保存先は「**ピクチャー**」フォルダに設定されています。

● **データフォルダについては11章を参照してください。**

1 次の操作でキャプチャ設定画面を呼び出す

① テレビ映像画面(☞6-7ページ)を表示する

② Menu (メニュー) を押す

③ ◆で「**キャプチャ設定**」を選択し、■を押す

2 で「キャプチャ枚数」を選択し、を押す

▶キャプチャ枚数選択画面が表示されます。

3 でキャプチャしたい枚数を選択し、を押す

▶キャプチャ枚数が設定されます。

4 で「保存先」を選択し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。

5 で保存先のフォルダを選択し、（決定）を押す

▶キャプチャ枚数と保存先が設定されます。

重 要

キャプチャした画像をメモリカードに保存することはできません。

録画保存先を設定する

録画したファイルを登録するフォルダを「**ビデオ**」フォルダとビデオフォルダ内に作成した自作フォルダから設定することができます。
お買い上げ時は「**ビデオ**」フォルダ（第1階層）に設定されています。

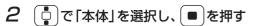
- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

1 **次の操作で録画保存先選択画面を呼び出す**

① テレビ映像画面（☞6-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**録画保存先**」を選択し、を押す

2 で「本体」を選択し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

3 で保存先のフォルダを選択し、（決定）を押す

▶保存先が設定されます。

補 足

メモリカードの保存先は「**ビデオ**」フォルダ固定となります。

バックライトを設定する

テレビ映像の明るさを3段階に調節することができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

1 **次の操作でバックライト設定画面を呼び出す**

① テレビ映像画面（☞6-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**バックライト設定**」を選択し、を押す

2 で明るさを選択し、を押す

▶バックライトが設定されます。

補 足

- テレビ映像の明るさ調節は、メインディスプレイのパネル照明（☞8-20ページ）と連動しません。ただし、割込みによってテレビを中断した場合のディスプレイの明るさは、パネル照明の設定に従います。
- キーバックライトの点灯は、「キーバックライト」（☞15-20ページ）の設定に従います。

テレビ起動中の割込みを設定する

テレビをご利用中に電話を受けたり、メール、レポート、ウェブの着信を禁止（オフラインモード）したり、メール、レポート、ウェブの着信の割込み方法を設定することができます。
お買い上げ時は「**バックグラウンド**」（☞Vodafone live!編）に設定されています。

例 視聴中のメール着信を「**割込（表示有）**」に設定する場合

1 **次の操作でTV中割込み選択画面を呼び出す**

① テレビ映像画面（☞6-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**TV中割込み**」を選択し、を押す

2 で「視聴中」を選択し、を押す

▶視聴中選択画面が表示されます。

3 で「メール着信」を選択し、を押す

▶メール着信選択画面が表示されます。

4 [↕]で「割込(表示有)」を選択し、[■]を押す

▶視聴中の割込みが設定されます。
● 「**割込み設定**」についてはVodafone live!編を参照してください。

重要
- F24「オフラインモード」(☞3-6ページ)を「**ON**」に設定している場合は、「**TV中割込み**」を設定することができません。
- 割込み設定を「**バックグラウンド**」に設定中にメール、レポート、ウェブを受信した場合、縦表示画面では画面上部にアイコンを表示してお知らせしますが、横表示画面ではアイコンを表示しません。

補足
- **テレビをご利用中に電話がかかってきた場合は…**
  オープンスタイルにして[通話]を押してください。リール式イヤホンアンテナを接続しているときは、V603Tのマイクで話し、イヤホンで聞きます。また、リール式イヤホンアンテナを外すと、通常の通話ができます。
- テレビご利用中に割込み設定を変更した場合、割込み設定(☞Vodafone live!編)の設定も変更されます。

オートオフを設定する

テレビ機能が自動的に終了するまでの時間を設定できます。設定した時間になると、終了時間になったことをお知らせしたあと、テレビを終了します。
お買い上げ時は「**30分**」に設定されています。

1 次の操作でオートオフ設定画面を呼び出す

① テレビ映像画面(☞6-7ページ)を表示する
② [Menu]([メニュー])を押す
③ [↕]で「**オートオフ設定**」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で設定時間を選択し、[■]を押す

▶オートオフが設定されます。

補足
- オートオフの設定にかかわらず、以下の場合にもテレビを終了します。
  ・テレビ起動中に[終話]または[Clear/メモ]を押したとき
  ・電池残量が残りわずかになったとき
- オートオフまでの時間は、テレビ終了時にリセットされます。ただし、中断時はタイマーのカウントを継続して行います。
- オートオフの設定時間を「**60分**」に設定し、30分経過後に設定時間を「**30分**」に変更した場合は、テレビは終了します。

アンプ設定を手動で切り替える

電波の強い場所(テレビ塔の近くなど)で映りが悪い場合は、アンプを「**OFF**」に設定してください。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

1 次の操作でアンプ設定画面を呼び出す

① テレビ映像画面(☞6-7ページ)を表示する
② [Menu]([メニュー])を押す
③ [↕]で「**アンプ設定**」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶アンプ設定が切り替わります。

補足
- アンプ設定は、TVアンテナ接続ケーブル(オプション品)を接続した場合は自動的に「**OFF**」に設定され、抜いた場合は自動的に「**ON**」に設定されます。
- リール式イヤホンアンテナ使用時にアンプ設定を「**OFF**」に設定した場合、テレビを終了すると自動的に「**ON**」に戻ります。

オート起動を設定する

V603Tをターンオーバースタイルにしたときに、テレビを自動的に起動するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「**ターンオーバーに連動**」に設定されています。

1 次の操作でオート起動設定画面を呼び出す

① テレビ映像画面(☞6-7ページ)を表示する
② [Menu]([メニュー])を押す
③ [↕]で「**オート起動設定**」を選択し、[■]を押す

2 [↕]で「ターンオーバーに連動」または「連動しない」を選択し、[■]を押す

▶オート起動が設定されます。

重要
ダイヤル操作禁止中(☞13-3ページ)はターンオーバースタイルにしてもテレビは起動しません。

補足
待受Vアプリ(☞Vodafone live!編)を設定中にターンオーバースタイルにした場合は、待受Vアプリを一時停止してテレビを起動します。

テレビからFMラジオに切り替える

テレビ映像を表示中に、FMラジオに切り替えることができます。

1 次の操作でFMラジオ画面を呼び出す

① テレビ映像画面（☞6-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**FMラジオ切替**」を選択し、■を押す

▶FMラジオ画面が表示されます。

補足

TVメニューからFMラジオに切り替える場合は、TVメニュー画面（☞6-9ページ）を表示したあと「**FMラジオ**」を選択し、■を押します。

FMラジオを聴く

V603Tでは、FM放送を聴くことができます。
お買い上げ時の受信周波数は「**76.0MHz**」、音量は「**レベル1**」に設定されています。

1 リール式イヤホンアンテナを取り付ける（☞6-3ページ）

2 Menu の順に押す

3 で「TV／FMラジオ機能」を選択し、■を押す

▶TV／FMラジオ起動設定画面が表示されます。

4 で「FMラジオ起動」を選択し、■を押す

▶FMラジオ画面が表示されます。

- 待受画面で上サイドキーを長く（約1秒以上）押してFMラジオを起動することもできます。ただし、サイドキー設定（☞15-27ページ）に従います。

FMラジオ画面

5 で選局する

- を押すと約0.1MHz、長く（約1秒以上）押すと2MHz受信周波数が上がります。
  を押すと約0.1MHz、長く（約1秒以上）押すと2MHz受信周波数が下がります。
- プリセット登録（☞6-22ページ）をすると0～9、*、#を押して選局することもできます。

6 で音量を調節する

- 音量は5段階まで調節できます。を長く（約1秒以上）押すと、消音になります。

7 を押す

▶FMラジオを終了し、待受画面に戻ります。

重要

- FMラジオを聴くときは、V603Tを閉じた状態でご利用ください。
- 以下の場合はFMラジオを起動することはできません。
  - ・電池残量が残りわずかなとき
  - ・通話中
  - ・通信中
  - ・カメラ、ムービー、ボイスメモ、アニメつく～る、自作マルチメニュー起動中
  - ・ピクチャーつく～るのメニュー項目（**画像編集**／**4分割壁紙作成**／**フレーム作成**／**スタンプ作成**）起動中
- 電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、FMラジオを自動的に終了します。

Now On Airを利用する

ウェブ（☞Vodafone live!編）を利用して放送中の曲名、アーティスト名、放送局名などの情報を確認することができます。Now On Airをご利用になるには、あらかじめ受信エリア設定（☞下記）の操作を行ってください。

受信エリアを設定する

各地域の番組表を表示するために、受信エリアを設定します。

1 次の操作で受信エリア設定画面を呼び出す

① FMラジオ画面（☞6-20ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**受信エリア設定**」を選択し、■を押す

2 で地域を選択し、■を押す

▶都道府県選択画面が表示されます。

3 で都道府県を選択し、■を押す

▶FMラジオ画面が表示されます。

Now On Airに接続する

1 FMラジオ画面(☞6-20ページ)より、[o]([Now On Air])を押す

▶Now On Air接続確認画面が表示されます。

2 [上下キー]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶情報が表示されます。

重要
番組によっては、情報が提供されない場合があります。

FMラジオ設定

FMラジオ利用時に以下の設定を行うことができます。

- **プリセット登録**(☞下記)
- **プリセット編集**(☞6-23ページ)
- **音声出力切替**(☞6-24ページ)
- **FM中割込み**(☞6-24ページ)
- **オートオフ設定**(☞6-25ページ)
- **アンプ設定**(☞6-26ページ)
- **TV切替**(☞6-26ページ)

プリセットに登録する

FMラジオの周波数を[1]～[9]、[*]、[0]、[#]に登録しておくことができます(プリセット)。登録が完了すると、割り当てたキーを押して選局することができます。

1 次の操作でプリセット登録を行う

① FMラジオ画面(☞6-20ページ)を表示する
② [左右キー]で登録したい周波数を選択し、[Menu]([メニュー])を押す
③ [上下キー]で「**プリセット登録**」を選択し、[■]を押す

▶プリセット登録が完了します。

- [1]～[9]、[*]、[0]、[#]の順に登録されます。
- 登録が完了すると、「**FMラジオ1～12**」の名称で登録されます。

補足

- FMラジオ画面で[ガイドキー]([ガイド])を押すと、プリセット登録の内容などを確認することができます。
- プリセット登録をした受信周波数を選択すると、FMラジオ画面上に割り当てたキーと名称が表示されます。

プリセット登録した内容を編集する

プリセットに登録した内容は、個別に編集、消去を行うことができます。

名称を変更する

プリセットに登録した名称を変更することができます。

1 次の操作でプリセット編集画面を呼び出す

① FMラジオ画面(☞6-20ページ)を表示する
② [Menu]([メニュー])を押す
③ [上下キー]で「**プリセット編集**」を選択し、[■]を押す

プリセット編集画面

2 [上下キー]で編集したい名称を選択し、[Menu]([メニュー])を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 [上下キー]で「名称編集」を選択し、[■]を押す

▶現在の登録名が表示されます。

4 名称を修正し、[■]を押す

▶プリセット編集画面が表示されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。

5 [ガイドキー]([完了])を押す

▶名称が変更されます。

補足

操作**4**のあと[Menu]([メニュー])を押して「**オールアンドゥ**」を選択すると、編集した内容を編集前の状態に戻すことができます。

登録したプリセットを別のキーに割り当てる

1 プリセット編集画面(☞上記)より、[上下キー]で移動したいプリセットを選択し、[Menu]([メニュー])を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [上下キー]で「移動」を選択し、[■]を押す

▶プリセット編集画面が表示されます。

3 [◆]で新しく割り当てるキーを選択し、[■]を押す

4 [✎]（[完了]）を押す

▶移動が完了します。

補足

すでに設定が登録されているキーに上書きする場合は、操作*3*のあと「**YES**」を選択し、[■]を押してください。

音声出力を切り替える

音声の出力先を「**イヤホン**」または「**スピーカー**」に切り替えることができます。
お買い上げ時は「**スピーカー**」に設定されています。

1 次の操作で音声出力切替画面を呼び出す

① FMラジオ画面（☞6-20ページ）を表示する
② [Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◆]で「**音声出力切替**」を選択し、[■]を押す

2 [◆]で「スピーカー」または「イヤホン」を選択し、[■]を押す

▶音声の出力先が設定されます。

重要

リール式イヤホンアンテナの抜き差しでは、音声の出力先は切り替わりません。

FMラジオ起動中の割込みを設定する

FMラジオをご利用中に電話を受けたり、メール、レポート、ウェブの着信を禁止（オフラインモード）したり、メール、レポート、ウェブの着信の割込み方法を設定することができます。
お買い上げ時は「**バックグラウンド**」（☞Vodafone live!編）に設定されています。

例 メール着信を「**割込（表示有）**」に設定する場合

1 次の操作でFM中割込み選択画面を呼び出す

① FMラジオ画面（☞6-20ページ）を表示する
② [Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◆]で「**FM中割込み**」を選択し、[■]を押す

2 [◆]で「割込み設定」を選択し、[■]を押す

▶割込み設定画面が表示されます。

3 [◆]で「メール着信」を選択し、[■]を押す

▶メール着信選択画面が表示されます。

4 [◆]で「割込（表示有）」を選択し、[■]を押す

▶割込みが設定されます。

● 「**割込み設定**」についてはVodafone live!編を参照してください。

重要

F24「オフラインモード」（☞3-6ページ）を「**ON**」に設定している場合は、「**FM中割込み**」を設定することができません。

補足

● **FMラジオをご利用中に電話がかかってきた場合は…**
オープンスタイルにして[↩]を押してください。リール式イヤホンアンテナを接続しているときは、V603Tのマイクで話し、イヤホンで聞きます。また、リール式イヤホンアンテナを外すと、通常の通話ができます。
● FMラジオご利用中に割込み設定を変更した場合、割込み設定（☞Vodafone live!編）の設定も変更されます。
● 割込み設定を「**バックグラウンド**」に設定中にメール、レポート、ウェブを受信した場合は、画面上部にアイコンを表示してお知らせします。

オートオフを設定する

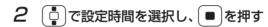
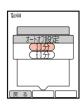
FMラジオが自動的に終了するまでの時間を設定できます。設定した時間になると、終了時間になったことをお知らせしたあと、FMラジオを終了します。
お買い上げ時は「**30分**」に設定されています。

1 次の操作でオートオフ設定画面を呼び出す

① FMラジオ画面（☞6-20ページ）を表示する
② [Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◆]で「**オートオフ設定**」を選択し、[■]を押す

2 [◆]で設定時間を選択し、[■]を押す

▶オートオフが設定されます。

6 テレビ/FMラジオ機能

補 足

- オートオフの設定にかかわらず、FMラジオは以下のようなときにも終了します。
  ・FMラジオ起動中に[終話]または[Clear/メモ]を押したとき
  ・電池残量が残りわずかになったとき
- オートオフまでの時間は、FMラジオ終了時にリセットされます。ただし、中断時はタイマーのカウントを継続して行います。
- オートオフの設定時間を「**60分**」に設定し、30分経過後に設定時間を「**30分**」に変更した場合は、FMラジオは終了します。

アンプ設定を手動で切り替える

電波の強い場所（電波塔の近くなど）でFM放送にノイズが入って聞こえにくい場合は、アンプを「**OFF**」に設定してください。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

1 次の操作でアンプ設定画面を呼び出す

① FMラジオ画面（☞6-20ページ）を表示する
② [Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◎]で「**アンプ設定**」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶アンプ設定が切り替わります。

補 足

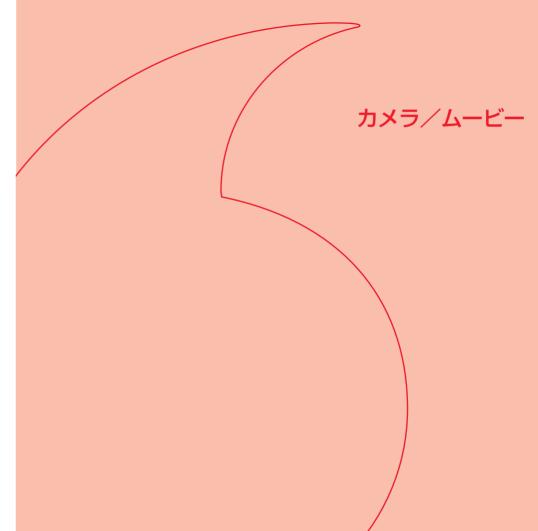
- アンプ設定は、TVアンテナ接続ケーブル（オプション品）を接続した場合は自動的に「**OFF**」に設定され、抜いた場合は自動的に「**ON**」に設定されます。
- リール式イヤホンアンテナ使用時にアンプ設定を「**OFF**」に設定した場合、FMラジオを終了すると自動的に「**ON**」に戻ります。

FMラジオからテレビに切り替える

FMラジオ利用時に、テレビに切り替えることができます。

1 次の操作でテレビ映像画面を呼び出す

① FMラジオ画面（☞6-20ページ）を表示する
② [Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◎]で「**TV切替**」を選択し、[■]を押す

▶テレビ映像画面が表示されます。

カメラ／ムービー

カメラ／ムービーをご利用になる前に

内蔵のモバイルカメラで、7種類のモードを使い静止画と動画を撮影し、保存することができます。また、QRコードを読み取ることもできます（☞15-28ページ）。

■カメラ利用時のご注意

- 撮影した静止画は「JPEG形式」で保存され、動画は「MPEG形式」で保存されます。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となりますので、V603Tが動かないようにしっかり持って撮影をするか、タイマー機能を利用して撮影を行ってください。
- レンズカバーに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなります。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
- 撮影する場合は、レンズに指やストラップなどがかからないように注意してください。
- ピントが合わない場合は、接写スイッチを確認してください。

撮影向きについて

撮影するときは、モードによってV603Tの向きを替えてください。

・写メールモード
・特撮モード
・サブ液晶ムービー
・ムービー写メールモード

（縦向き）

・デジタルカメラモード
・ハンディビデオ（MPEG）

（横向き）

ディスプレイ表示

カメラ／ムービーを起動中、メインディスプレイ／サブディスプレイには以下のアイコンが表示されます。

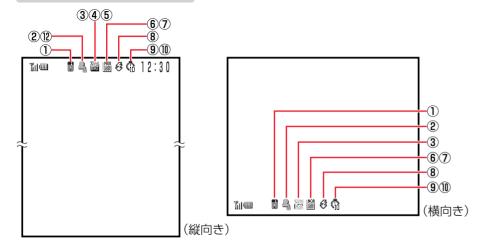
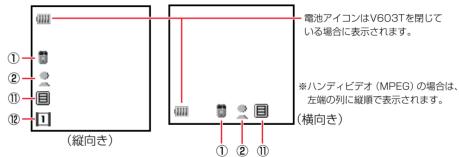
メインディスプレイ

（縦向き）　（横向き）

サブディスプレイ

（縦向き）　（横向き）

電池アイコンはV603Tを閉じている場合に表示されます。

※ハンディビデオ（MPEG）の場合は、左端の列に縦順で表示されます。

①保存先設定
：本体　：メモリカード

②接写スイッチ
（サブディスプレイは）：通常モード　（サブディスプレイは）：接写モード

③カメラモード
：写メールモード　：デジタルカメラモード
：バーチャルウィッグモード　：バーチャルトリップモード

④連写モード
：高速　：中速　：低速

⑤ムービー変装（写メールモード、ムービー写メールモードのみ）
：起動中

⑥JPEG設定（カメラモード）
：ファイン　：ノーマル　：エコノミー

⑦録画設定（サブ液晶ムービーを除くムービーモード）
：音あり　：音なし

⑧フラッシュ
：ON（OFFは表示なし）

⑨タイマー（カメラモード）
：2秒　：5秒　：10秒

⑩再生音量（サブ液晶ムービーを除くムービーモード）
：0　：1　：2　：3　：4　：5

⑪残量警告
：本体／メモリカードの容量が残り少なくなったとき（カメラモードのみ）
：本体／メモリカードの容量が残りわずかになったとき
：本体／メモリカードの容量がなくなったとき

⑫連写モードコマ数
連写撮影中、現在の撮影枚数を表示

■撮影画面での共通操作

メインディスプレイとサブディスプレイを切り替える

[*]を押すと、画像の表示をメインディスプレイとサブディスプレイで切り替えることができます（特撮モードを除く）。
また、撮影画面を表示しているときにV603Tを閉じても、画像の表示をサブディスプレイに切り替えることができます。

補 足

サブディスプレイに切り替えているときは、左右が反転している画像が表示され、撮影すると左右が反転していない画像が表示されます。

モードを切り替える

[o]（[撮影切替]）を押し、[◇]で撮影モードを切り替えることができます。
また、ダイヤルボタン操作によって撮影モードを切り替えることもできます。
各モードとダイヤルボタンの割り当ては以下のとおりです。

ボタン	撮影モード	ボタン	撮影モード
[1]	写メールモード	[5]	ムービー写メールモード
[2]	デジタルカメラモード	[6]	ハンディビデオ（MPEG）
[3]	バーチャルウィッグモード	[7]	サブ液晶ムービー
[4]	バーチャルトリップモード	[8]	QRコード読取り

画像の明るさを調節する

[◇]を押すと、明るさを調節することができます。

重 要

蛍光灯の下など、撮影環境によってはカメラ画像にしま模様が出る場合がありますが、明るさ調整により軽減させることができます。

補 足

- 明るさの調節は、[▲]または[▼]を1回押したときに現在値を表示します。
- V603Tを横向きに切り替えた場合は、横向きの状態で[◇]を押します。

ズームを利用する

[◇]を押すと、倍率を切り替えることができます。
各撮影モードの倍率については7-7、7-12ページの表を参照してください。

補 足

- ズームで撮影すると、画質は粗くなります。
- ズームの切り替えは、[◀]または[▶]を1回押したときに現在値を表示します。
- V603Tを横向きに切り替えた場合は、横向きの状態で[◇]を押します。

フラッシュを利用する

上サイドキー（ϟ）を押すと、フラッシュのON／OFFを切り替えることができます。

補 足

電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、フラッシュを自動的にOFFにします。

情報表示を切り替える

[0]を押すと、ディスプレイの撮影部分以外、背景デザインを含むすべての情報表示のON／OFFを切り替えることができます。

接写スイッチを切り替える

接写スイッチ（通常側↔接写側）で通常モード／接写モードを切り替えることができます。

ガイド表示を利用する

[ガイドキー]（ガイド）を押すと、撮影画面でのボタン操作方法が表示されます。
[戻るキー]（戻る）を押すと、撮影画面に戻ります。

写メールモードの場合

静止画の撮影

内蔵のモバイルカメラで、静止画を撮影することができます。
静止画の撮影には写メールモード、デジタルカメラモード、特撮モードがあります（☞7-7ページ）。写メールモードでは通常・旅・連写の3モード、特撮モードではバーチャルウィッグ・バーチャルトリップの2モードから選択できます。フレーム、タイマー、シャッター音、画像効果の設定などができ、撮影した画像はJPEG形式（パソコンで主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存されます。また、顔写真を撮影してアドレス帳に登録したり、ピクチャーつく〜る（☞7-35ページ）や、アニメつく〜る（☞11-14ページ）を利用することもできます。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

■静止画撮影モード

撮影モード	撮影可能サイズ	最大ズーム	保存先フォルダ（初期状態）
写メールモード： 壁紙設定や写メールを送信する場合の写真撮影モードです。ワンタッチフォトメール（☞7-8ページ）で簡単に送れます。	11行：待受1 5行：着信画像 3行：発信イラスト 設定イラスト	4倍	ピクチャー
	W144×H176	6.6倍	
	W120×H160 サブ液晶サイズ 顔写真	8倍	
デジタルカメラモード： パソコンなどの外部接続機器に表示する場合の写真撮影モードです。	SXGA（W1280×H960） VGA（W640×H480）	VGA（W640×H480）のみ2倍	デジタルカメラ
特撮モード　**バーチャルウィッグモード：** 自作フレームと写真を合成する場合の写真撮影モードです。	W240×H320	4倍	フレーム：オリジナルフレーム 合成画像：ピクチャー
特撮モード　**バーチャルトリップモード：** 背景と切り抜いた画像を合成する場合の写真撮影モードです。	W240×H320	4倍	ピクチャー

■静止画を撮影する

例　写メールモードで撮影する場合

1 **[Menu][カメラキー]の順に押す**

- 待受画面で[カメラキー]を長く（約1秒以上）押してカメラを起動することもできます。初回は写メールモードで起動し、2回目以降は前回終了時の撮影モード（QRコード読取りを含む）で起動します。ただし、バーチャルウィッグ／バーチャルトリップモードで終了した場合は、写メールモードで起動します。

2 **[十字キー]で「カメラ・ムービー」を選択し、[決定キー]を押す**

撮影モード設定画面

3 **[上下キー]で「写メールモード」を選択し、[決定キー]を押す**

- 撮影画面での操作については7-4ページを参照してください。
- デジタルカメラモードで撮影する場合は、「**デジタルカメラモード**」を選択します。

撮影画面

4 撮影したい画像をディスプレイに表示し、■を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。
- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあと「**破棄する**」を選択し、■を押します。

5 ■を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重 要
- 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えてきます。明るい場所で撮影するか、モバイルフラッシュ（☞7-5ページ）を使用することをおすすめします。
- 撮影した画像をメモリカードに登録中にメモリカードを抜いた場合、撮影した画像は本体（データフォルダ）に登録されます。

補 足
- データフォルダが一杯の場合は、撮影した画像を登録できません。登録する場合は、操作*5*のあと「**ファイルを消去**」を選択して、不要なファイルを消去するか（☞11-20ページ）、「**メモリカードに保存**」を選択して、メモリカードに登録してください。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- 操作*4*のあとMenu（メニュー）を押して、保存先変更の操作を行うことができます（撮影した画像にのみ有効）。
- カメラ／ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

撮影した静止画を写メールで送る

撮影した画像をボタンひとつでデータフォルダに登録し、スーパーメールに添付することができます（ワンタッチフォトメール）。

1 静止画を撮影する

- 静止画の撮影については7-7ページの操作*1*～*4*を参照してください。

2 ✉（写メール）を押す

▶データフォルダ登録後、画像が添付されたスーパーメール作成画面が表示されます。
- 送信方法についてはVodafone live!編を参照してください。

重 要
自動登録の設定（☞7-29ページ）が「**ON**」に設定されている場合は、ワンタッチフォトメールは利用できません。

補 足
添付する画像サイズがW240×H320を超えたり、ファイルサイズが約6Kバイトを超える場合は、操作*2*のあと添付方法を選択して送信することができます（☞Vodafone live!編）。

■特撮モードで撮影する

特撮モードには、自作フレームと撮影画像を合成するバーチャルウィッグモードと、背景画像と撮影画像を合成するバーチャルトリップモードの2種類のモードがあります。

バーチャルウィッグモードで撮影する

輪郭抽出により撮影画像を切り抜いてフレームを作成し、そのフレームに合わせて静止画を撮影して、はめ込み画像を作成することができます。
- **プライバシーの侵害とならないよう適切なご使用を心がけてください。**

1 撮影モード設定画面（☞7-7ページ）より、◇で「特撮モード」を選択し、■を押す

- ✉（ヘルプ）を押すと、選択している特撮モードの操作ガイドが表示されます。◇で操作手順が確認でき、○（戻る）を押すと右の画面へ戻ります。

2 ◇で「バーチャルウィッグ」を選択し、■を押す

バーチャルウィッグ撮影画面

- 撮影ガイドは画像を切り抜く範囲を表します。＊、＃で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- ○（－）、✉（＋）でズームの操作ができます。
- Menu（メニュー）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞7-22ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞7-23ページ）することができます。

3 フレームとして撮影したい画像をディスプレイに表示する

4 ◇で撮影ガイドの位置を指定し、■を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像が表示されます。
- Menu（メニュー）を押したあと、「**ガイド移動幅**」を選択し、■を押すと、ガイドの移動幅を以下から選択することができます。
  ・30ドット／10ドット／1ドット
- 下サイドキーでもシャッター操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあと「**破棄する**」を選択し、■を押します。

7 カメラ／ムービー

5 (決定)を押す

▶切り抜き画像をデータフォルダのオリジナルフレームフォルダに登録後、撮影画面が表示されます。
このあと、切り抜かれた部分に撮影したい画像を表示し、7-8ページの操作**4**以降を行います。

補 足

- **切り抜きの位置を変更する場合は…**
  操作**4**の画面で (修正)を押したあと で撮影ガイドの位置を指定し直し、 (再実行)を押します。
- 操作**4**の画面で (修正)を押したあと Menu (メニュー)を押して、切り抜きの修正（**撮影ガイド変更**／**切り抜き精度**）の操作を行うことができます。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- カメラ·ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

バーチャルトリップモードで撮影する

背景画像を選択し、背景に合わせた位置で撮影したあと切り抜き、背景と合成させた画像を作成します。あたかもそこで撮影したかのような画像を作成することができます。
背景は2種類から選択できます。また「 **データフォルダ**」から選択することもできます。

1 **撮影モード設定画面（☞7-7ページ）より、で「特撮モード」を選択し、を押す**

▶特撮モード選択画面が表示されます。
- (ヘルプ)を押すと、選択している特撮モードの操作ガイドが表示されます。
  で操作手順が確認でき、 (戻る)を押すと特撮モード選択画面へ戻ります。

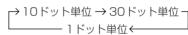
2 **で「バーチャルトリップ」を選択し、を押す**

▶背景設定画面が表示されます。
- (確認)を押すと、選択している背景が確認できます。

3 **で設定したい背景を選択し、を押す**

▶背景画像が表示されます。
- 、で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- Menu (メニュー)を押して、撮影ガイドの形を変更（☞7-22ページ）したり、背景を変更することができます。

4 **で撮影ガイドの位置を指定し、 (決定)を押す**

▶撮影（切り抜き）画面が表示されます。
- を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

5 **撮影したい画像を撮影ガイド内に表示し、を押す**

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- で切り抜き画像の位置を移動することができます。
- 撮影をやり直す場合は、 Clear を押したあと「**破棄する**」を選択し、を押します。

6 (確定)を押し、を押す

▶合成画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

補 足

- 操作**5**の画面で Menu (メニュー)を押して、合成した画像の編集（**切り抜き修正**／**背景変更**／**JPEG設定**）の操作を行うことができます。
- 撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- カメラ／ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

■静止画撮影で利用できる機能

機能設定	写メールモード	写メールモード（旅モード）	写メールモード（連写モード）	デジタルカメラモード	バーチャルウィッグモード	バーチャルトリップモード
連写（☞7-17ページ） 連続して9枚の写真撮影を行います。	—	—	○	—	—	—
サムネイル表示（自動登録設定OFF時） 9つの画像を一度に表示します。	—	—	○	—	—	—
ワンタッチフォトメール（☞7-8ページ） 撮影した写真をカンタンに送ります。	○	○	—	○	○	○
フラッシュ（☞7-5ページ） 暗い場所でも撮影できます。	○	○	○	○	○	○
ズーム（☞7-5ページ） 撮影画像の倍率を切り替えます。	○	○	○	○※	○	○
アニメーション作成（☞7-18ページ） 連写撮影した画像を選択してアニメーションを作ります。	—	—	○	—	—	—
輪郭抽出（☞7-9ページ） 自作フレームで撮影合成したり、背景と切り抜いた画像を合成します。	—	—	—	—	○	○
らくがき（☞7-21ページ） 撮影した画像にスタンプや文字を貼り付けます。	○	○	—	—	○	○

※撮影サイズがW640×H480の場合のみ2倍ズームが可能です。

動画の撮影

内蔵のモバイルカメラのハンディビデオ(MPEG)で、最大約3分の録画ができます。ムービー写メールモードでは、最大約10秒の録画を行い、スーパーメールに添付することができます。サブ液晶ムービーモードでは、サブディスプレイに表示させるための録画(音なし)を行い、電話着信時の動画として設定できます(☞8-9ページ)。
撮影した動画は本体(データフォルダ)やメモリカードに保存されます。
また、ムービー写メールモードでは録画の際、ムービー変装(☞7-25ページ)を利用することができます。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

■動画撮影モード

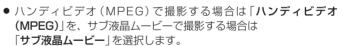
撮影モード	撮影可能サイズ	最大ズーム	保存先フォルダ(初期状態)
ムービー写メールモード: MPEG形式で撮影してムービー写メールを送信する場合の動画撮影モードです。最大撮影時間はW80×H60で約10秒、W128×H96で約5秒です。	W128×H96 (ムービー変装含む)	6.6倍	ムービー
	W80×H60	10倍	
ハンディビデオ(MPEG): 最大約3分(本体に保存する場合)の動画撮影モードです。ビデオの切り出しやキャプチャなどの編集も行えます(☞7-48ページ)。	W320×H240	4倍	ビデオ
サブ液晶ムービー: 最大約5秒の動画撮影モードです。サブディスプレイの電話着信画像に設定できます(☞8-9ページ)。	W128×H96	6.6倍	ムービー

■動画を撮影する

例 ムービー写メールモードで撮影する場合

1 撮影モード設定画面(☞7-7ページ)より、[上下キー]で「ムービー写メールモード」を選択し、[■]を押す

- ハンディビデオ(MPEG)で撮影する場合は「**ハンディビデオ(MPEG)**」を、サブ液晶ムービーで撮影する場合は「**サブ液晶ムービー**」を選択します。

- 撮影画面での操作については7-4ページを参照してください。

撮影画面

2 撮影したい画像をディスプレイに表示し、[■]を押す

▶電子音が鳴り、録画が開始されます。
- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- ハンディビデオ(MPEG)で撮影する場合は、[メールキー]([一時停止])を押すと録画が一時停止します。[メールキー]([再開])を押すと録画を再開します。
- ハンディビデオ(MPEG)の画面右下に表示される録画残り時間は、データフォルダの残量と被写体の圧縮率からの予想時間です。撮影したデータによっては圧縮率が予想と異なり、残り時間表示よりも早く撮影が終了する場合がありますので、残り時間は目安としてご使用ください。

3 [カメラキー]([■停止])を押す

▶撮影が終了すると、撮り始めの画像が表示されます。
- ハンディビデオ(MPEG)で録画した画像は、ビデオフォルダに登録されます。
- 撮影をやり直す場合は、[Clear]を押したあと「**破棄する**」を選択し、[■]を押します(※)。
- [カメラキー]([▶再生])を押すと、録画内容が再生されます(※)。
- [メールキー]([写メール])を押すと、録画した画像をデータフォルダに登録し、スーパーメールに添付することができます(※)。
  ※ハンディビデオ(MPEG)では操作できません。

4 [■]を押す

▶録画した画像がデータフォルダのムービーフォルダに登録されます。
- 登録した動画のファイル名は、撮影日時になります。

重要

- 保存先をメモリカードに設定して録画した場合、録画終了後、登録する前にメモリカードを抜くと、それまでの録画内容は破棄される可能性があります。
- 保存先をメモリカードに設定して録画した場合、ハンディビデオ(MPEG)は256MBの容量で保存できる時間以上を録画することはできません。
- 電話着信画像(☞8-9ページ)に設定後、電話を受けた場合を除き、映像はサブディスプレイでは再生できません。

補足

- データフォルダが一杯の場合は録画できません。録画する場合は、データフォルダの不要なファイルを消去するか（☞11-20ページ）、保存先をメモリカードに変更してください。
- 録画した画像を自動登録したり、登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- 操作*1*の画面や登録後の撮影画面で、Menu（メニュー）を押したあと「**データ閲覧**」を選択して、閲覧可能なファイルを消去することができます。
- 操作*3*のあとMenu（メニュー）を押して、保存先変更の操作を行うことができます（録画した画像にのみ有効）。ハンディビデオ（MPEG）では変更できません。
- カメラ／ムービー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

■動画撮影で利用できる機能

機能設定	内　容	参照ページ
フレーム撮影	ビデオ用フレームを設定できます。	☞7-23ページ
画像効果	画像の色調を設定できます。	☞7-28ページ
フラッシュ	暗い場所でも撮影できます。	☞7-5ページ
ズーム	撮影画像の倍率を切り替えます。	☞7-5ページ

カメラ／ムービー設定

■カメラ設定

モバイルカメラ利用時の各種設定を行うことができます。

- **フレーム撮影**（☞下記）
- **旅モード**（☞7-16ページ）
- **アニメーション作成**（☞7-18ページ）
- **JPEG設定**（☞7-19ページ）
- **らくがき**（☞7-21ページ）
- **切り抜き精度**（☞7-23ページ）
- **日付スタンプ**（☞7-15ページ）
- **連写モード**（☞7-17ページ）
- **タイマー撮影**（☞7-19ページ）
- **シャッター音**（☞7-20ページ）
- **撮影ガイド変更**（☞7-22ページ）

フレームを設定する

写メールモードでは、画像の枠に貼り付ける飾りを設定して撮影することができます。撮影サイズについては7-27ページを参照してください。
フレームは10種類から選択できます。また「**データフォルダ**」※から選択することもできます。
※データフォルダの「**ピクチャー**」、「**etc**」と自作フォルダからV603T専用のウェブサイト（☞Vodafone live!編）やウェブからダウンロードしたフレームを選択できます。また、「**オリジナルフレーム**」からバーチャルウィッグやピクチャーつく～るのフレーム作成で作成したフレームを選択できます。
お買い上げ時は「**フレームなし**」に設定されています。

1 **次の操作でフレーム設定画面を呼び出す**

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押す
③ ◎で「**フレーム撮影**」を選択し、■を押す

2 **◎で設定したいフレームを選択し、✉（確認）を押す**

▶フレームが表示されます。
- ＊、＃または◎で他のフレームに切り替え表示します。

3 **■を押す**

▶撮影画面にフレームが設定されます。

重要

- 旅モード（☞7-16ページ）、日付スタンプ（☞下記）を設定している場合は、フレームの設定はできません。
- フレーム設定は、撮影サイズが11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。
- メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。
- メモリカードからフレームを設定することはできません。

補足

フレーム設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**フレームなし**」に戻ります。

日付スタンプを設定する

写メールモードでは、撮影画像に日付スタンプを入れることができます。スタンプの文字の種類は8種類から選択することができます。日付スタンプ設定をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞1-19ページ）の操作を行ってください。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 **次の操作で日付スタンプ設定画面を呼び出す**

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押す
③ ◎で「**日付スタンプ**」を選択し、■を押す

2 **◎で「ON」を選択し、■を押す**

3 で設定したい文字の種類を選択し、■を押す

▶撮影画面の右下に日付が表示されます。

重要

- 旅モード（☞下記）、フレーム（☞7-14ページ）を設定している場合は、日付スタンプの設定はできません。
- 日付スタンプ設定は、撮影サイズが、11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。

補足

日付スタンプ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

旅モードで撮影する

写メールモードでは、旅モード設定により日付と位置情報を画像に貼り付けることができます。

1 撮影画面（☞7-7ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 で「旅モード」を選択し、■を押す

▶旅モード設定画面が表示されます。

3 で「ON」を選択し、■を押す

▶旅モード撮影画面が表示されます。

- 通常モードに戻すには操作*1*、*2*のあと「**OFF**」を選択し、■を押します。
- 撮影画面での操作については7-4ページを参照してください。

4 撮影したい画像をディスプレイに表示し、■を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像と日時・位置情報が表示されます。

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、Clearメモを押したあと「**破棄する**」を選択し、■を押します。

5 ■を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重要

- 旅モード設定は、撮影サイズが11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外では設定できません。
- ステーションの位置情報（☞Vodafone live!編）を取得していない場合は、位置情報は表示されません。位置情報は自動的に更新されますが、正しく表示されない場合は、手動で更新してください。
- メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。

補足

- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞7-29ページ）。
- カメラ起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。
- 旅モード設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

連写モードで撮影する

写メールモードでは、連写モードに切り替えることにより、連続して9枚の画像を撮影することができます。また、連写モードでは連続して撮影される時間の間隔（連写スピード）を3種類の中から選択することができます。

1 次の操作で連写モード設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**連写モード**」を選択し、■を押す

2 で設定したい連写モードを選択し、■を押す

▶連写撮影画面が表示されます。

3 撮影したい画像をディスプレイに表示し、■を押す

▶シャッター音が鳴り、画像が連続して撮影されます。

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- ◎（中止）または下サイドキーを押すと、撮影を中止します。

▶撮影した画像が表示されます。

- 撮影をやり直す場合は、Clearメモを押したあと「**破棄する**」を選択し、■を押します。

7 カメラ／ムービー

4 [◎]で不要な画像を選択し、[✐]（[チェック]）を押す

▶選択した画像のチェック（☑）がはずれます。

- もう一度[✐]（[チェック]）を押すと画像がチェックされます。
- [■]を押すと、画像を実際のサイズで確認できます。

5 [○]（[登録]）を押す

▶チェック（☑）している画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

- 各画像のファイル名には、撮影日時のあとに番号（撮影順に1～9）が付きます。

補足

- 操作*5*で登録を行うと、チェック（☑）した画像以外に撮影した枚数の画像を縮小して1枚にまとめた画像も同時に登録されます。登録した画像をデータフォルダで確認すると、右のように表示されます。

9枚撮影した場合

- 連写モードを解除する場合は、操作*1*の画面で「**連写OFF**」を選択したあと[■]を押します。また、カメラを終了しても解除されます。

アニメーションを作成する

連写で撮影した画像からアニメーションを作成することができます。

1 連写撮影をする

- 連写撮影については7-17ページの操作*1*～*3*を参照してください。

2 [◎]で不要な画像を選択し、[✐]（[チェック]）を押す

▶選択した画像のチェック（☑）がはずれます。

3 [Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

4 [◎]で「アニメーション作成」を選択し、[■]を押す

▶アニメーション作成の確認画面が表示されます。

5 [◎]で「YES」を選択し、[■]を2回押す

▶作成したアニメーションがデータフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

補足

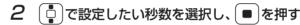
アニメーションを登録した場合は、チェック（☑）した画像と、撮影した枚数の画像を縮小して1枚にまとめた画像もデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

タイマーを設定する

セルフタイマーを設定すると、設定時間経過後に撮影をします。手ぶれを防いだり、自分が入って撮影するときに便利です(バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードを除く)。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 次の操作でタイマー撮影設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する
② [Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◎]で「**タイマー撮影**」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で設定したい秒数を選択し、[■]を押す

▶タイマーが設定されます。

補足

- タイマー設定中にシャッターを押すと、イルミネーション（お知らせランプ）が赤く点滅し、設定時間経過後に撮影します。
- タイマー動作中に[○]（[戻る]）または[Clear]を押すと撮影を中止します。
- タイマー設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

画質を設定する

撮影した画像を保存するときの画質を設定することができます（保存形式はJPEG形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズは大きくなります。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

ファイン（FINE）←― **ノーマル**（NOR）―→ **エコノミー**（ECO）

高画質　ファイルサイズ：大

低画質　ファイルサイズ：小

カメラ／ムービー

1 次の操作で撮影画面を呼び出す

① Menu ［□］の順に押す
② ［◎］で「**カメラ・ムービー**」を選択し、［■］を押す
③ ［◎］で「**写メールモード**」を選択し、［■］を押す

2 Menu（［メニュー］）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 ［◎］で「カメラ設定」を選択し、［■］を押す

● デジタルカメラモードの場合は、「**デジタルカメラ設定**」を選択します。

カメラ設定画面

4 ［◎］で「JPEG設定」を選択し、［■］を押す

5 ［◎］で設定したい画質を選択し、［■］を押す

▶画質が設定されます。

重 要

JPEG設定は、撮影サイズがサブ液晶サイズの場合は設定できません。「**ファイン**」固定となります。

補 足

画質の設定は、カメラモード切り替え時または終了時も保持されます。

シャッター音を設定する

撮影時のシャッター音を4種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**カシャ！**」に設定されています。

1 カメラ設定画面（☞上記）より、［◎］で「シャッター音」を選択し、［■］を押す

● ［◈］（［再生］）を押すと、選択しているシャッター音が確認できます。

2 ［◎］で設定したいシャッター音を選択し、［■］を押す

▶シャッター音が設定されます。

重 要

連写撮影時（☞7-17ページ）、シャッター音は設定できません。

補 足

● マナーモードを設定していてもシャッター音は鳴ります。
● シャッター音の設定は、カメラモード切り替え時または終了時も保持されます。

らくがき機能を利用する

撮影した画像にスタンプやテキスト、フレームなどを貼り付けることができます（デジタルカメラモードを除く）。

スタンプを貼り付ける

スタンプは大、中、小、それぞれ10種類から選択できます。また「**スタンプ**」※から選択することもできます。
※ピクチャーつく～るのスタンプ作成（☞7-46ページ）で作成したスタンプを選択できます。

1 静止画を撮影する

● 静止画の撮影については7-7ページの操作*1*～*4*を参照してください。

2 ［◎］（［らくがき］）を押す

▶らくがきメニューが表示されます。

3 ［◎］で「スタンプ貼付」を選択し、［■］を押す

● 「**テキスト貼付**」については7-40ページを、「**フレーム貼付**」については7-38ページを参照してください。「**オールアンドゥ**」は今まで貼り付けたスタンプ、テキスト、フレームをすべて消去します。

4 ［◎］でスタンプのサイズを選択し、［■］を押す

▶スタンプ選択画面が表示されます。

5 ［◎］で貼り付けたいスタンプを選択し、［■］を押す

▶画面中央にスタンプが表示されます。

6 でスタンプを貼り付ける位置を指定し、■を押す

▶スタンプが貼り付けられます。
- ◎を押すたびにスタンプの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→

- 続けてスタンプを貼り付ける場合は、この操作を繰り返してください。
- Menu（メニュー）を押して貼り付けたスタンプの消去（**直前アンドゥ**／**オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
- Menu（メニュー）を押してスタンプを変更することができます。

7 （決定）を押し、■を押す

▶データフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

重 要

らくがきのフレーム貼付は、撮影サイズによっては貼り付けできない場合があります。

撮影ガイドを変更する

特撮モードでは、切り抜き用の枠のサイズや形を変更することができます。
撮影ガイドは10種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**丸**」に設定されています。

例 バーチャルウィッグモードの撮影ガイドを変更する場合

1 **バーチャルウィッグ撮影画面（☞7-9ページ）より、Menu（メニュー）を押す**

▶サブメニューが表示されます。

2 **で「撮影ガイド変更」を選択し、■を押す**

▶撮影ガイド変更画面が表示されます。

3 **で設定したい撮影ガイドを選択し、■を押す**

▶撮影ガイドが表示されます。
- ＊、＃で撮影ガイドのサイズ変更ができます。

補 足

撮影ガイドは、カメラモード切り替え時または終了時「**丸**」に戻ります。

切り抜きの精度を調整する

特撮モードでは、撮影ガイドの形に合わせた輪郭抽出（切り抜き）を行うことができます。被写体により、切り抜き範囲が変わります。パターンA～Dのいずれかに変更して切り抜きを行います。
切り抜き精度は5種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**パターンA**」に設定されています。

例 バーチャルウィッグモードの切り抜き精度を設定する場合

1 **バーチャルウィッグ撮影画面（☞7-9ページ）より、Menu（メニュー）を押す**

▶サブメニューが表示されます。

2 **で「切り抜き精度」を選択し、■を押す**

3 **で設定したい切り抜き精度を選択し、■を押す**

▶切り抜き精度が設定されます。

重 要

設定したパターンにより、画像処理時間が変わります。

補 足

- 「**枠で切り抜く**」を選択した場合は、撮影ガイドの形で切り抜きます。
- 切り抜き精度は、カメラモード切り替え時または終了時「**パターンA**」に戻ります。

■ムービー設定

ムービー利用時の各種設定を行うことができます。
・**フレーム撮影**（☞下記）　・**録画設定**（サブ液晶ムービーを除く）（☞7-24ページ）

フレームを設定する

ハンディビデオ（MPEG）、ムービー写メールモード（W128×H96）、サブ液晶ムービーでは、画像の枠に貼り付ける飾りを設定して録画することができます。
フレームは3種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**フレームなし**」に設定されています。

1 次の操作でフレーム撮影画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-13ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**フレーム撮影**」を選択し、■を押す

2 で設定したいフレームを選択し、（確認）を押す

▶フレームが表示されます。

● ＊、＃またはで他のフレームに切り替え表示します。

3 ■を押す

▶撮影画面にフレームが設定されます。

補 足

フレーム設定は、ムービーモード切り替え時または終了時「**フレームなし**」に戻ります。

音声あり／なしを設定する

ハンディビデオ（MPEG）、ムービー写メールモードでは、音声の有無を設定することができます。
お買い上げ時は「**音あり**」に設定されています。
・ハンディビデオ（MPEG）の録画時間は、データフォルダの空き容量に応じて表示されます。

1 次の操作でムービー設定画面を呼び出す

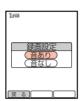
① 撮影画面（☞7-13ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**ムービー設定**」を選択し、■を押す

● ハンディビデオ（MPEG）の場合は、「**ビデオ設定**」を選択します。

● ハンディビデオ（MPEG）の場合は、「**自動登録**」は表示されません。

2 で「録画設定」を選択し、■を押す

3 で音声の有無を選択し、■を押す

▶音声の有無が設定されます。

補 足

録画設定は、ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

■共通設定

カメラ／ムービー利用時の各種設定を行うことができます。

- **ムービー変装**※1（☞下記）
- **撮影サイズ**※3（☞7-27ページ）
- **自動登録**※4（☞7-29ページ）
- **連写中割込み**※5／**録画中割込み**（☞7-30ページ）
- **撮影モード**（☞7-26ページ）
- **画像効果**※2（☞7-28ページ）
- **保存先設定**※2（☞7-29ページ）
- **警告表示**（☞7-31ページ）

※1 写メールモード、ムービー写メールモード以外は利用できません。
※2 バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時は利用できません。
※3 特撮モードは利用できません。また、ムービーモードでは、ムービー写メールモード以外は利用できません。
※4 ハンディビデオ（MPEG）、バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードは利用できません。
※5 写メールモード以外は利用できません。

ムービー変装を利用する

写メールモード、ムービー写メールモードの撮影画面で、例えば顔を表示して、そこに猫の耳や眼鏡などの画像を載せて合成撮影をすることができます。
アイテムは10種類から選択できます。また「**ムービー変装**」※から選択することもできます。
※ウェブからダウンロードしたアイテムを選択できます。

例 写メールモードで合成撮影をする場合

1 次の操作でアイテム選択画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**ムービー変装**」を選択し、■を押す

2 で設定したいアイテムを選択し、■を押す

▶アイテムが表示されます。

● ＊、＃またはで他のアイテムに切り替え表示します。

3 ■を押す

▶撮影画面にアイテムが表示されます。

● （認識）を押すと、認識された場所にアイテムがセットされます。また、サブディスプレイで撮影する場合は、上サイドキーを長く（約1秒以上）押すと、認識の操作が行えます。

このあと、7-8ページの操作**4**以降を行います。

重 要

- ムービー変装を起動すると、撮影モード（☞下記）、撮影サイズ（☞7-27ページ）、フレーム撮影（☞7-14、7-23ページ）、画像効果（☞7-28ページ）の各設定は解除されます。
- 保存したムービー写メールの最後の画面が、撮影終了時の画面と異なる場合があります。これは、ムービー変装を行ったことにより、ファイルサイズが変わったためです。サイズが大きくなった場合、ムービー写メールサイズまでしか保存できません。

補 足

- 操作*3*の画面で［◆］（［変更］）を押して、アイテム変更の操作を行うことができます。
- 操作*3*の画面で［Menu］（［メニュー］）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**アイテム変更**／**ムービー変装終了**／**データ閲覧**（☞7-32ページ）／**カメラ設定**（☞7-20ページ）／**ムービー設定**（☞7-24ページ）
- **アイテムが撮影対象に載らない場合は…**
  撮影画面の8割程度の大きさになるように、大きめに撮影してみてください。

ムービー変装はN-VisionのVirtual Accessoryエンジンを利用しています。

撮影モードを設定する

撮影する場所に適した色合いを以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

項 目	内 容
ノーマル	標準の撮影モードです。
太陽光	晴天下での撮影に適した色合いにします。
くもり	曇天下での撮影に適した色合いにします。
蛍光灯	蛍光灯下での撮影に適した色合いにします。
白熱灯	白熱灯下での撮影に適した色合いにします。
ナイトモード※	暗い場所での撮影に適したモードです。
あざやか	彩度を上げ、鮮やかな色調にします。
あっさり	彩度を落として、落ち着いた色調にします。

※ムービーモードでは設定できません。

例 写メールモードの「**撮影モード**」を設定する場合

1 次の操作で撮影モード選択画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する
② ［Menu］（［メニュー］）を押す
③ ［◎］で「**撮影モード**」を選択し、［■］を押す

2 ［◎］で設定したいモードを選択し、［■］を押す

▶撮影モードが設定されます。

重 要

「**ナイトモード**」に設定している場合は、連写撮影はできません。

補 足

撮影モードをノーマル以外に設定中に画像効果（☞7-28ページ）を設定した場合は、撮影モードの設定は「**ノーマル**」に戻ります。

撮影サイズを設定する

写メールモードでは、撮影する画像のサイズを以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**11行：待受1**」に設定されています。

撮影サイズ（横×縦）	11行：待受1（240×320ドット）	5行：着信画像（240×144ドット）	3行：発信イラスト（240×86ドット）	設定イラスト（182×58ドット）
メインディスプレイ				
サブディスプレイ				
撮影サイズ（横×縦）	**顔写真（104×116ドット）**	**サブ液晶サイズ（112×112ドット）**	**W144×H176（144×176ドット）**	**W120×H160（120×160ドット）**
メインディスプレイ				
サブディスプレイ				

1 次の操作で撮影サイズ設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**撮影サイズ**」を選択し、■を押す

2 で設定したい撮影サイズを選択し、■を押す

▶撮影サイズが設定されます。

重 要

旅モード（☞7-16ページ）に設定している場合は、撮影サイズを11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外に設定すると旅モードは解除されます。

補 足

- 撮影サイズ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**11行：待受1**」に戻ります。
- 撮影後のサイズ変更については7-37ページを参照してください。
- 撮影サイズを「**顔写真**」に設定し、撮影を行ったあと画像を登録すると右の画面が表示されます。アドレス帳に登録する場合は、「**アドレス帳登録**」または「**アドレス帳追加**」を選択し、■を押します。以降の登録操作は、5-3ページまたは5-27ページを参照してください。

- デジタルカメラモードの撮影サイズは、「**SXGA**」（W1280×H960）、「**VGA**」（W640×H480）から選択できます。ムービー写メールモードの撮影サイズは、「**W128×H96**」、「**W80×H60**」から選択できます。

画像の色調を変更する

撮影する画像の色調を以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

項　目	内　容
セピア	古い写真のように表現します。
白黒	白黒写真のように表現します。
OFF	ノーマルな状態です。

例 写メールモードの「**画像効果**」を設定する場合

1 次の操作で画像効果設定画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**画像効果**」を選択し、■を押す

2 で設定したい色調を選択し、■を押す

▶画像効果が設定されます。

補 足

- 画像効果を設定中に撮影モード（☞7-26ページ）をノーマル以外に設定した場合は、画像効果の設定は「**OFF**」に戻ります。
- 画像効果設定は、カメラ／ムービーモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

自動登録を設定する

撮影時、シャッターを押すと撮影した画像が自動的にデータフォルダに登録されるように設定することができます（ハンディビデオ（MPEG）、バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードを除く）。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 写メールモードの「**自動登録**」を設定する場合

1 カメラ設定画面（☞7-20ページ）より、で「自動登録」を選択し、■を押す

▶自動登録設定画面が表示されます。

2 で「ON」を選択し、■を押す

▶自動登録が設定されます。

補 足

- 自動登録を「**ON**」に設定した場合の画像の登録先は、保存先の設定（☞下記）に従います。
- 自動登録設定は、カメラ／ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

保存先を設定する

撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます。
お買い上げ時はカメラモードは「**ピクチャー**」フォルダ、デジタルカメラモードは「**デジタルカメラフォルダ**」、ムービーモードは「**ムービー**」フォルダ、ハンディビデオ（MPEG）は「**ビデオ**」フォルダに設定されています。

例 写メールモードの「**保存先設定**」を設定する場合

1 カメラ設定画面（☞7-20ページ）より、で「保存先設定」を選択し、■を押す

2 で「本体」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

3 で保存先にしたいフォルダを選択し、(決定)を押す

▶保存先が設定されます。

重要

保存先設定をメモリカードに設定すると、連写撮影はできません。

補足

- メモリカードの保存先は、カメラモードは「**ピクチャー**」フォルダ、デジタルカメラモードは「**デジタルカメラフォルダ**」、ムービーモードは「**ムービー**」フォルダ、ハンディビデオ(MPEG)は「**ビデオ**」フォルダ固定となります。
- 保存先をメモリカードに設定している場合、メモリカードを取り付けていなかったり、撮影画面以外(サブメニュー表示中や撮影後画面など)でメモリカードを取り付けたときは、一時的に保存先を本体(データフォルダ)に切り替えます。
- 保存先設定は、カメラ/ムービーモード終了時も保持されます。

連写中/録画中の割込みを設定する

連写モードやムービーで撮影中に電話、メール、ウェブの着信を禁止すること(オフラインモード)やメール、ウェブ着信の割込み方法を設定することができます。
お買い上げ時はオフラインモードが「**OFF**」に設定されています。

例 「**連写中割込み**」の「**オフラインモード**」を設定する場合

1 カメラ設定画面(☞7-20ページ)より、
で「連写中割込み」を選択し、■を押す

- 「**割込み設定**」についてはVodafone live!編を参照してください。

2 で「オフラインモード」を選択し、■を2回押す

▶オフラインモード設定画面が表示されます。

3 で「ON」を選択し、■を押す

▶オフラインモードが設定されます。

補足

- 設定を変更しても、F24「オフラインモード」(☞3-6ページ)の設定は変更されません。
- 連写モードで撮影中の割込み設定を変更した場合、割込み設定(☞Vodafone live!編)の「**カメラ連写中**」の設定も変更されます。
- 「**録画中割込み**」で割込み設定を変更した場合、マルチメニューの割込み設定(☞Vodafone live!編)の「**ムービー録画中**」の設定も変更されます。
- オフラインモードの設定は、カメラモード終了時、ムービーモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。
- 割込み設定は、カメラ/ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

警告表示を設定する

データフォルダに保存可能な容量が残り少なくなった場合、メインディスプレイにメッセージを表示させることができます。サブディスプレイには、アイコンのみが表示されます。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

画面表示	データフォルダの残り容量の目安
データフォルダ/メモリカードが残り少しです※1	容量が残り少なくなったとき
データフォルダ/メモリカードが残りわずかです	容量が残りわずかになったとき
データフォルダ/メモリカードが一杯です※2	容量がなくなったとき

※1　ムービーモードでは表示されません。
※2　ハンディビデオ(MPEG)では「**録画に必要な容量がありません**」と表示されます。

例 写メールモードの「**警告表示**」を設定する場合

1 カメラ設定画面(☞7-20ページ)より、
で「警告表示」を選択し、■を押す

▶警告表示設定画面が表示されます。

2 で「ON」または「OFF」を選択し、■を押す

▶警告表示が設定されます。

補足

警告表示設定は、カメラ/ムービーモード切り替え時または終了時も保持されます。

撮影した画像の確認

本体（データフォルダ）やメモリカードに保存した画像を確認する場合、撮影画面から確認する方法とデータフォルダから確認する方法があります。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

撮影画面から画像を確認する

カメラ／ムービーを起動中にデータフォルダに保存した画像を確認することができます。確認を終了すると、確認前の設定状態でカメラ／ムービーが起動します。

例 写メールモードを起動中にデータを確認する場合

1 次の操作でデータ閲覧先選択画面を呼び出す

① 撮影画面（☞7-7ページ）を表示する

② Menu（メニュー）を押す

③ で「**データ閲覧**」を選択し、■を押す

2 で「本体」を選択し、■を押す

- メモリカードのデータを確認する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

3 で確認したいデータフォルダを選択し、■を押す

- 以降の操作については11-4ページを参照してください。

重要

- ムービーモードの場合は、「**デジタルカメラフォルダ**」を確認することはできません。
- フォルダ／ファイルのサブメニューは、各フォルダ／ファイルにより一部選択できません。

補足

確認できるフォルダは、「**ピクチャー**」、「**デジタルカメラフォルダ**」、「**ムービー**」、「**ビデオ**」、「**etc**」と自作フォルダです。

撮影した動画を確認する

ハンディビデオ（MPEG）で撮影した動画をさまざまな方法で確認することができます。「ファイルを送る／戻す」（☞7-35ページ）については、ムービー写メールモード、サブ液晶ムービーで撮影した動画でも利用することができます。
撮影した画像をターンオーバースタイルで確認するときのボタン操作は、以下の表を参照してください。

ボタン	ボタンの押しかた	オープンスタイル	ターンオーバースタイル
上サイドキー	通常／長押し	停止中：ファイル戻し 再生中：音量を上げる	停止中：ファイル送り 再生中：音量を上げる
下サイドキー	通常／長押し	停止中：ファイル送り 再生中：音量を下げる	停止中：ファイル戻し 再生中：音量を下げる
TVキー	通常	停止中：再生 再生中：停止	停止中：再生 再生中：停止
	長押し	停止中： （ファイルの先頭：ひとつ前の画面に戻る、ファイルの先頭以外：ファイルの先頭に戻る） 再生中：停止	停止中： （ファイルの先頭：ひとつ前の画面に戻る、ファイルの先頭以外：ファイルの先頭に戻る） 再生中：停止

・長押し：約1秒以上押します。
・ターンオーバースタイルで特殊再生は利用できません。

縦／横画面を切り替える

1 ビデオ再生画面を呼び出す

- 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 （縦→横）を押す

▶横画面に切り替わります。

- （）を押すと縦画面に戻ります。

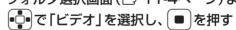
しおり機能を利用する

前回の再生を途中で終了したとき、次回再生時に続きから再生することができます。

1 フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、

で「ビデオ」を選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

7 カメラ／ムービー

2 [十字キー]で再生したいファイルを選択し、[■]を押す

3 [上下キー]で再生開始位置を選択し、[■]を押す

▶再生開始位置からビデオが再生されます。

特殊再生を利用する

ビデオの停止中、再生中に早送りや巻き戻しなどの操作ができます。

1 ビデオ再生画面を呼び出す

● 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 [○] ([▶再生]) を押す

▶ビデオが再生されます。

3 [▢•]を押し続け、再生したい位置で離す

▶早送りが終了し、再生が継続されます。

● 特殊再生のタイミングと操作は以下のとおりです。
- ・再生中に[•▢]を長く押す：巻き戻し
- ・停止中に[▢•]を押す：コマ送り
- ・停止中に[•▢]を押す：コマ戻し
- ・停止中に[▢•]を長く押す：スロー再生

● [•▢•]を押している間、再生画面には以下の表示がでます。
[▢•]：▶▶FWD（早送り中）／[•▢]：◀◀REV（巻き戻し中）

ビデオを途中から再生する

ビデオの再生開始位置を3区間から選択することができます。

1 ビデオ再生画面を呼び出す

● 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 [Menu] ([メニュー]) を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 [上下キー]で「ジャンプ」を選択し、[■]を押す

● 録画時間が12秒未満の場合、「**ジャンプ**」は選択できません。

4 [上下キー]でジャンプしたい位置を選択し、[■]を押す

▶ジャンプ先の再生画面が表示されます。

ファイルを送る／戻す

フォルダ内に2件以上のファイルが保存されている場合、次のファイルに送ったり、前のファイルに戻したりすることができます。

1 フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、
[十字キー]でフォルダを選択し、[■]を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

2 [■]を押す

▶先頭のファイルが表示されます。

3 上下サイドキーで再生したいファイルを選択する

▶再生画面が表示されます。

撮影した静止画の編集

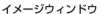
撮影後、データフォルダに登録した画像のサイズを変更したり、回転や変形などの編集を行うことができます。また、画像にフレームを合成したり、スタンプや文字などを貼り付けることもできます。さらに、画面を4つに分割してそれぞれに好きな画像を設定し、1枚の壁紙を作成したり、自分でフレームやスタンプを作成することができます。[ピクチャーつく～る]
デジタルカメラフォルダに保存した画像の一部を切り出すこともできます。

● **データフォルダについては11章を参照してください。**

- ・**画像サイズ変更**（☞7-37ページ）
- ・**スタンプ貼付**（☞7-39ページ）
- ・**マーカースタンプ**（☞7-42ページ）
- ・**4分割壁紙作成**（☞7-43ページ）
- ・**スタンプ作成**（☞7-46ページ）
- ・**フレーム合成**（☞7-38ページ）
- ・**テキスト貼付**（☞7-40ページ）
- ・**画像アレンジ**（☞7-42ページ）
- ・**フレーム作成**（☞7-44ページ）
- ・**切出し保存**（☞7-47ページ）

画像の編集画面について

画像編集時の画面は以下のように表示されます。

重要

- 各種設定（☞11-13ページ）で設定済みの画像は上書き保存することはできません。
- メモリカード内の画像を編集中にメモリカードを抜いた場合、編集内容はすべて破棄されます。

補足

編集が可能な画像は以下のとおりです（W：横、H：縦）。
・画像サイズ：・本体（データフォルダ）やメモリカードのピクチャーファイルの場合
16W×16Hドット〜240W×320Hドットまたは320W×240Hドット
・本体やメモリカードのデジタルカメラフォルダまたはデータフォルダのDCF規格（☞11-4ページ補足）に準拠したピクチャーファイルの場合
320W×320Hドット〜960W×1280Hドットまたは1280W×960Hドット
（480W×640Hドットまたは640W×480Hドットに収まるように、自動的にサイズを変更します）
※画像サイズにより一部編集機能が異なります。
・ファイル形式：JPEGまたはPNG形式

画像編集画面を呼び出す

1 Menu ◯ の順に押す

2 ◯で「ピクチャーつく〜る」を選択し、■を押す

3 ◯で「画像編集」を選択し、■を押す

▶画像選択先画面が表示されます。

4 ◯で「本体」を選択し、■を押す

▶データ閲覧先選択画面が表示されます。
- メモリカードの画像を編集する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

5 ◯で「データフォルダ」または「デジタルカメラフォルダ」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには編集可能なフォルダのみが表示されます。
- 「**デジタルカメラフォルダ**」を選択した場合は、このあと操作**7**を行います。

6 ◯で「ピクチャー」を選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。
- ◯（確認）を押すと、選択している画像が確認できます。

7 ◯で編集したい画像を選択し、■を押す

▶画像編集画面が表示されます。

画像編集画面

画像のサイズを変更する

データフォルダに登録している画像のサイズを変更し、変更したサイズに合わせて拡大・縮小（リサイズ）することができます。

画像サイズ変更
画像サイズは以下から選択することができます。
・**240W×320Hドット／144W×176Hドット／120W×160Hドット／ユーザー指定※**
※ユーザー指定を選択した場合は、縦16〜320ドット、横16〜240ドットの範囲でサイズを調節できます。

リサイズ方法

項　目	内　容
等倍	上記で選択した画像サイズに合わせて、画像を切り取ります。（拡大・縮小は行いません）
横に合わせる	上記で選択した画像サイズの横幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比はそのままです）
縦に合わせる	上記で選択した画像サイズの縦幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比はそのままです）
サイズに合わせる	上記で選択した画像サイズの横×縦の幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比が変わる場合があります）

1 画像編集画面（☞上記）より、
◯で「画像サイズ変更」を選択し、■を押す

7 カメラ／ムービー

2 で変更したい画像サイズを選択し、■を押す

▶リサイズ方法の設定画面が表示されます。
- イメージウィンドウに、選択した画像のサイズが点線で表示されます。
- 「**ユーザー指定**」を選択した場合は、■を押したあと画像サイズを入力します。

3 でリサイズ方法を選択し、■を押す

▶サイズを変更した画像が表示されます。
- 選択した方法と画像サイズが一致しない場合は、で画像の位置を調整し、■を押します。
- を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→(10ドット単位)

4 （決定）を押し、（完了）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元のサイズに戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

5 で保存方法を選択し、■を押す

▶サイズを変更した画像が保存されます。
- 「**別ファイルに保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、■を押します。

補 足

データフォルダが一杯の場合は、編集した画像を登録できません。登録する場合は、操作*5*のあと「**ファイルを消去**」を選択して、不要なファイルを消去するか（☞11-20ページ）、「**メモリカードに保存**」を選択して、メモリカードに登録してください。

フレームを合成する

画像の枠に飾りを貼り付けることができます。
フレームは特大（デジタルカメラ画像のみ）、大、中、小、それぞれ10種類から選択できます。また、「**データフォルダ**」から選択することもできます。

1 画像編集画面（☞7-37ページ）より、
で「フレーム合成」を選択し、■を押す

2 でフレームのサイズを選択し、■を押す

▶フレーム選択画面が表示されます。
- イメージウィンドウに、選択しているフレームが表示されます。

3 で合成したいフレームを選択し、（全画面）を押す

▶フレームで合成した画像が表示されます。
- フレームのサイズと画像のサイズが異なる場合は、で画像とフレームの位置関係を調整できます。を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→(10ドット単位)

4 （決定）を押し、（完了）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

5 で保存方法を選択し、■を押す

▶フレームを合成した画像が保存されます。
- 「**別ファイルに保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、■を押します。

補 足

フレームが画像より大きい場合、フレーム合成後の画像サイズは、フレームのサイズになります。フレームが画像より小さい場合、フレーム合成後も画像サイズは変わりません。

画像にスタンプを貼り付ける

画像にスタンプを貼り付けることができます。
スタンプは大、中、小、それぞれ10種類から選択できます。また「**スタンプ**」※から選択することもできます。
※ピクチャーつく～るのスタンプ作成（☞7-46ページ）で作成したスタンプを選択できます。

1 画像編集画面（☞7-37ページ）より、
で「スタンプ貼付」を選択し、■を押す

2 でスタンプのサイズを選択し、■を押す

▶スタンプ選択画面が表示されます。

3 で貼り付けたいスタンプを選択し、■を押す

▶画面中央にスタンプが表示されます。

4 **[◎]でスタンプを貼り付ける位置を指定し、[■]を押す**

▶スタンプが貼り付けられます。

- [○]を押すたびにスタンプの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→

- 続けてスタンプを貼り付ける場合は、この操作を繰り返してください。
- [Menu]（[メニュー]）を押して貼り付けたスタンプの消去（**直前アンドゥ**／**オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
- 画像サイズが480W×640Hドットまたは640W×480Hドットの場合は、[Menu]（[メニュー]）を押したあと「**縮小表示**」を選択し、[■]を押すと、画面全体のイメージを確認することができます。
- [Menu]（[メニュー]）を押してスタンプを変更することができます。

5 **[✎]（[決定]）を押し、[✎]（[完了]）を押す**

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

6 **[◎]で保存方法を選択し、[■]を押す**

▶スタンプを合成した画像が保存されます。

- 「**別ファイルに保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[■]を押します。

重要

操作*5*で[✎]（[決定]）を押したあとスタンプを消去することはできません。

画像に文字を貼り付ける

画像に文字を入力して貼り付けることができます。
2種類のフォント、4種類の文字のサイズ、8種類の文字種から選択できます。

- 文字のサイズは画像サイズによっては選択できない場合があります。

1 **画像編集画面（☞7-37ページ）より、[◎]で「テキスト貼付」を選択し、[■]を押す**

2 **[◎]で貼り付けたい文字の種類を選択し、[■]を押す**

▶画面の左上に「I」が表示されます。

3 **[◎]で文字を貼り付ける先頭位置に「I」を移動し、[■]を押す**

▶文字の入力画面が表示されます。

- [○]を押すたびに「I」の移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→

4 **文字を入力する**

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 一度に貼り付けることができる文字数は、「I」の位置と文字のサイズによって変わります。
- 「**丸ゴシック**」では絵文字（☞4-10ページ）や顔文字（☞4-11ページ）を入力することもできます。

5 **[■]を押す**

▶文字が貼り付けられます。

- 続けて文字を貼り付ける場合は、操作*3*〜*5*を行ってください。
- [Menu]（[メニュー]）を押して貼り付けた文字の消去（**直前アンドゥ**／**オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
- 画像サイズが480W×640Hドットまたは640W×480Hドットの場合は、[Menu]（[メニュー]）を押したあと「**縮小表示**」を選択し、[■]を押すと、画面全体のイメージを確認することができます。

6 **[✎]（[決定]）を押し、[✎]（[完了]）を押す**

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

7 **[◎]で保存方法を選択し、[■]を押す**

▶文字を貼り付けた画像が保存されます。

- 「**別ファイルに保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[■]を押します。

重要

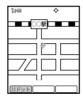
- 「**極小文字**」設定時に「**ギャル字**」フォントは選択できません。
- 「**ギャル字**」フォントでは絵文字や顔文字の入力、漢字変換などはできません。
- 操作*6*で[✎]（[決定]）を押したあと文字を消去することはできません。

補足

操作*2*のあと[Menu]（[メニュー]）を押して、文字の種類の変更（**フォント選択**／**文字のサイズ**／**文字種選択**）の操作を行うことができます。

画像にマーカースタンプを貼り付ける

画像に記号（⌖）を貼り付けて、印を付けることができます。

1 画像編集画面（☞7-37ページ）より、[上下]で「マーカースタンプ」を選択し、[■]を押す

2 [十字]で記号を書き込む位置に「⌖」を移動し、[■]を押す

▶記号が書き込まれます。

- [○]を押すたびにマーカーの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→（繰り返し）

- 続けて記号を書き込む場合は、[十字]でマーカーを移動し、[■]を押します。

3 [✎]（[決定]）を押し、[✎]（[完了]）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

4 [上下]で保存方法を選択し、[■]を押す

▶マーカースタンプを追加した画像が保存されます。

- 「**別ファイルに保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[■]を押します。

画像をアレンジする

画像を回転させたり、横幅を変更することができます。また、アレンジでは以下の項目が選択できます。

項　目	内　容
やせる※	画像の横幅だけを5%縮小します。
ふとる※	画像の横幅だけを5%拡大します。
90°回転	画像を右に90°回転します。
180°回転	画像を右に180°回転します。
270°回転	画像を右に270°回転します。

※画像サイズによっては選択できない場合があります。

1 画像編集画面（☞7-37ページ）より、[上下]で「画像アレンジ」を選択し、[■]を押す

2 [上下]で設定したいアレンジ項目を選択し、[✎]（[決定]）を押す

▶アレンジした画像が確定されます。

- イメージウィンドウに、選択している項目にアレンジした画像が表示されます。
- 操作*1*の画面で[○]（[全画面]）を押すと、実際のサイズで画像を確認できます。

3 [✎]（[完了]）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

4 [上下]で保存方法を選択し、[■]を押す

▶アレンジした画像が保存されます。

- 「**別ファイルに保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[■]を押します。

アレンジする前の画像が横20ドット未満の場合は、操作**2**で「**やせる**」、「**ふとる**」は選択できません。

画像を組み合わせて壁紙を作成する

4つの画像を組み合わせて、1枚の壁紙を作成することができます（壁紙の設定方法については、8-2ページを参照してください）。

1 次の操作で作成サイズ選択画面を呼び出す

① [Menu][□]の順に押す
② [十字]で「**ピクチャーつく～る**」を選択し、[■]を押す
③ [上下]で「**4分割壁紙作成**」を選択し、[■]を押す

2 [上下]で作成サイズを選択し、[■]を押す

3 [十字]で「1」を選択し、[■]を押す

▶画像選択先画面が表示されます。

4 [◆]で「本体」を選択し、[●]を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには選択可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードの画像を設定する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

5 [◆]でフォルダを選択し、[●]を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

6 [◆]で設定したい画像を選択し、[●]を押す

▶「**1**」の画像が設定されます。
- 設定できる画像のサイズは、作成サイズが240W×320Hの場合は120W×160H、480W×640Hの場合は240W×320Hです。また、画像のサイズが上記以外の場合は、7-38ページの操作***3***を行い、[✉]（[決定]）を押してサイズを変更してください。

7 「2」～「4」に画像を設定する

操作***4***～***6***を繰り返します。
- [Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押したあと[●]を押すと設定している画像を解除できます。

8 [✉]（[完了]）を押す

▶保存先選択画面が表示されます。

9 [◆]で「本体」を選択し、[●]を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

10 [◆]で保存先のフォルダを選択し、[✉]（[決定]）を押す

▶ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成した壁紙がデータフォルダに登録されます。

フレームを作成する

画像を切り抜いて、フレームを作成することができます。
- **プライバシーの侵害とならないよう適切なご使用を心がけてください。**

1 次の操作で画像選択先画面を呼び出す

① [Menu][◆]の順に押す

② [◆]で「**ピクチャーつく～る**」を選択し、[●]を押す

③ [◆]で「**フレーム作成**」を選択し、[●]を押す

2 [◆]で「本体」を選択し、[●]を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには選択可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードの画像を編集する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

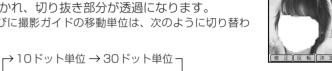
3 [◆]でフォルダを選択し、[●]を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

4 [◆]で編集したい画像を選択し、[●]を押す

- [＊]、[＃]で撮影ガイドのサイズ変更ができます。ただし、画像のサイズと撮影ガイドの形によっては変更できない場合があります。
- [Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞7-22ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞7-23ページ）することができます。

5 [◆]で撮影ガイドの位置を指定し、[●]を押す

▶画像が切り抜かれ、切り抜き部分が透過になります。
- [○]を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

- [Menu]（[反転]）を押すと切り抜き部分が現れ、周りが透過になります。

6 [✉]（[決定]）を押す

▶ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成したフレームがデータフォルダのオリジナルフレームフォルダに登録されます。

補足
- **切り抜きの位置を変更する場合は…**
  操作***5***の画面で[○]（[修正]）を押したあと[◆]で撮影ガイドの位置を指定し直し、[✉]（[再実行]）を押します。
- 操作***5***の画面で[○]（[修正]）を押したあと[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、切り抜きの修正（**撮影ガイド変更**／**切り抜き精度**）の操作を行うことができます。

スタンプを作成する

画像を切り抜いて、スタンプを作成することができます。

1 次の操作で画像選択先画面を呼び出す

① Menu の順に押す
② で「**ピクチャーつく～る**」を選択し、を押す
③ で「**スタンプ作成**」を選択し、を押す

2 で「本体」を選択し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには選択可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードの画像を編集する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

3 でフォルダを選択し、を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

4 で編集したい画像を選択し、を押す

- 、で撮影ガイドのサイズ変更ができます。ただし、画像のサイズと撮影ガイドの形によっては変更できない場合があります。
- Menu（メニュー）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞7-22ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞7-23ページ）することができます。

5 で撮影ガイドの位置を指定し、を押す

▶画像が切り抜かれ、背景が透過になります。
- を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→（繰り返し）

- Menu（反転）を押すと背景画像が現れ、切り抜き部分が透過になります。

6 （決定）を押す

▶ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成したスタンプがデータフォルダのスタンプフォルダに登録されます。

補 足

切り抜きの位置を変更する場合は…
操作*5*の画面で（修正）を押したあとで撮影ガイドの位置を指定し直し、（再実行）を押します。

デジタルカメラ画像を切り出す

デジタルカメラ画像の一部をトリミングして保存することができます。

1 次の操作でファイル選択画面を呼び出す

① Menu の順に押す
② で「**データ閲覧**」を選択し、を押す
③ で「**デジタルカメラフォルダ**」を選択し、を押す

2 で編集したいファイルを選択し、を押す

▶画像が表示されます。
- 、で他のファイルに切り替え表示します。

3 で画面内に表示したい部分を移動する

- （－）、（＋）でズームの操作ができます。

4 Menu（メニュー）を押す

5 で「切出し保存」を選択し、を押す

▶保存先選択画面が表示されます。

6 で「本体」を選択し、を押す

▶ファイル名の入力画面が表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

7 ファイル名を入力し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

8 で保存先のフォルダを選択し、（決定）を押す

▶切り出した画像がデータフォルダに登録されます。

補足

操作4で以下の操作を行うことができます。
- **実寸表示／全画面表示／画像回転／移動幅変更／1件消去／プロパティ／メール添付／画像編集／[SD]へコピー／[SD]へ移動／[SD]へ切替／赤外線1件送信**

撮影した動画の編集

ムービーモードで撮影した動画の一部分を切り出したり、静止画として保存するなどの編集を行うことができます。
- **切出し**※（☞下記）
- **キャプチャ**（☞7-49ページ）
- **ムービー写メール変換**※（☞7-50ページ）
- **1件消去**（☞7-51ページ）

※ムービー写メールモード、サブ液晶ムービーでは利用できません。

ビデオを切り出す

ビデオファイルの一部分を、区間を指定して切り出すことができます。

1 ビデオ再生画面を呼び出す
- 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 [Menu]（[メニュー]）を押す
▶サブメニューが表示されます。

3 [◆]で「切出し」を選択し、[■]を押す
▶再生画面が表示されます。

4 [o]（[▶再生]）を押し、開始位置で[o]（[■停止]）を押す
▶開始画面が表示されます。

5 [✎]（[切出し]）を押す
▶開始位置を指定します。
- 開始位置の指定をやり直す場合は、[Menu]（[メニュー]）を押したあと「**始点クリア**」を選択し、[■]を押します。

6 [o]（[▶再生]）を押し、終了位置で[o]（[■停止]）を押す
▶終了画面が表示されます。
- 切り出し開始位置以降は、再生時間の色が変化します。

7 [✎]（[終点]）を押す
▶指定した区間のファイルが切り出されます。
- [o]（[▶再生]）を押して、確認することができます。

8 [✎]（[完了]）を押す
▶ファイル名の入力画面が表示されます。

9 ファイル名を入力し、[■]を押す
▶元のファイルと同じフォルダに登録されます。

重要

メモリカードに保存されているビデオファイルを切り出す場合は、メモリカードの空き容量にかかわらず、最大切り出し可能時間は40分までです。

ビデオをキャプチャする

指定した位置の再生画面を静止画として保存する（キャプチャ）ことができます。

1 ビデオ再生画面を呼び出す
- 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 [o]（[▶再生]）を押し、キャプチャしたい位置で[o]（[■停止]）を押す

3 [Menu]（[メニュー]）を押す
▶サブメニューが表示されます。

4 [◆]で「キャプチャ」を選択し、[■]を押す
▶保存先選択画面が表示されます。

5 [◆]で「本体」を選択し、[■]を押す
▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

6 [◆]で保存先のフォルダを選択し、[✎]（[決定]）を押す
▶データフォルダに登録されます。

重要

プロパティ（☞11-11ページ）でコピー／転送が「**不可**」と表示されているファイルはキャプチャできません。

ムービー写メールに変換する

画像サイズがW320×H240のビデオファイルをメール添付可能なムービーファイルに変換し、スーパーメールに添付することができます。

1 ビデオ再生画面を呼び出す

● 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 で「ムービー写メール変換」を選択し、■を押す

4 で変換したい画像サイズを選択し、■を押す

▶再生画面が表示されます。
このあと、ビデオを切り出す（☞7-48ページ）の操作*4*～*8*を行います。

● 切り出し可能な時間は、W128×H96で5秒、W80×H60で10秒までです。

5 ファイル名を入力し、■を押す

▶保存先選択画面が表示されます。

6 で「本体」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。

● データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。
● メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

7 で保存先のフォルダを選択し、（決定）を押す

▶データフォルダに登録後、ムービーが添付されたスーパーメール作成画面が表示されます。

● 送信方法についてはVodafone live!編を参照してください。

重要

ハンディビデオ（MPEG）での録画時間が短い（約4秒以下）ファイルは、ムービー写メール変換は利用できません。

ファイルを消去する

1 ビデオ再生画面を呼び出す

● 呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

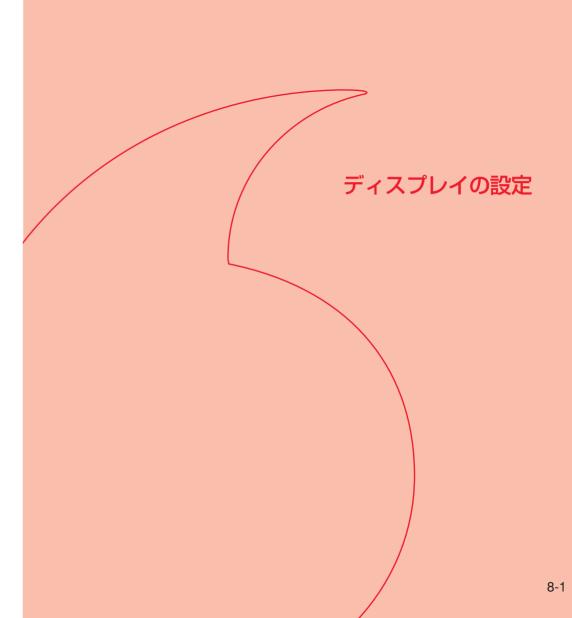
▶サブメニューが表示されます。

3 で「1件消去」を選択し、■を押す

▶消去確認画面が表示されます。

4 で「YES」を選択し、■を押す

▶ファイルが消去されます。

7 カメラ／ムービー

ディスプレイの設定

メインディスプレイの壁紙設定

待受画面に本体内蔵のアニメーションやモバイルカメラで撮影した画像、本体（データフォルダ）、メモリカードに登録した画像などを表示することができます。また、スケジュール（☞14-2ページ）やアクションアイテム（☞14-18ページ）を表示することもできます。
壁紙は以下から選択することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

項　目	内　容
イラスト	3種類から選択できます。また、本体（データフォルダ）とメモリカードから選択することもできます。
スケジュール／時間割	スケジュールの表示スタイルを設定することができます。また、時間割（☞14-24ページ）を設定することもできます。スケジュールと時間割は、背景イラストを設定できます。背景イラストは、オリジナル、本体（データフォルダ）、メモリカードから選択できます。
アクションアイテム	未消化のアクションアイテム（☞14-18ページ）を最大4件表示できます。
イラストチェンジ	設定した画像が、2時、4時、6時…と、2時間ごとに切り替わります。画像が切り替わる時刻にV603Tを閉じていた場合は、開いたときに画像が切り替わります。画像は4枚まで設定できます。
OFF	壁紙を表示しません。

例 メインディスプレイの壁紙にイラストを設定する場合

1 □ 4 9 **の順に押す**

▶壁紙／マイキャラクタ設定画面が表示されます。

2 ◎**で「メインディスプレイ」を選択し、**■**を押す**

3 ◎**で「壁紙／マイキャラクタ」を選択し、**■**を押す**

壁紙／マイキャラクタ画面

4 ◎**で「通常壁紙」を選択し、**■**を押す**

5 ◎**で「イラスト」を選択し、**■**を押す**

▶イラスト設定画面が表示されます。

6 ◎**で設定したいイラストを選択し、**■**を押す**

▶画像が表示されます。

- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。
- 壁紙を「**本体**」に設定している場合は、✉（確認）を押すと、設定している画像を確認できます。

7 ✉（決定）**を押す**

▶壁紙が設定されます。

重　要

- 操作*6*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- 壁紙に設定できる画像やアニメーションのサイズは、横240ドットまたは縦320ドットまでです。
- アニメーションファイルを壁紙に設定した場合は電池の消費が大きくなり、通話時間や待受時間が短くなります。
- ディスプレイ省電力（☞15-18ページ）の待受中の時間設定を行っている場合は、待受中に無操作の状態で設定時間が経過するとディスプレイの表示が消えます。

補　足

- スケジュール／時間割やアクションアイテムに設定した場合は、時計表示（☞8-7ページ）が自動的に「**1行時計**」に設定されます。
- **「イラストチェンジ」に設定する場合は…**
  操作*5*で「**イラストチェンジ**」を選択し、■を押します。続けて1コマ目～4コマ目に画像を登録し（画像登録のしかたは、11-14ページの操作*5*～*8*を行い、✉（決定）を押します）、✉（完了）を押します。
- 操作*3*の画面で✉（一括）を押すと、すべての項目（割込みフレームの「語尾替え」を除く）を一括して「**ノーマル**」または「**くーまん**」に設定する操作を行うことができます。

マルチメニュー／待受アイコンの設定

待受中に表示されるアイコンやマルチメニューのアイコンを変更することができます。お買い上げ時はマルチメニューイラスト「**ノーマル**」、待受アイコン「**ノーマル**」に設定されています。

■マルチメニューのデザインを変更する

1 壁紙／マイキャラクタ画面（☞8-2ページ）より、[◎]で「マルチメニュー」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で設定したいイラストを選択し、[■]を押す

▶画像が表示されます。

- [*]、[#]で他の画像に切り替え表示します。

3 [✉]（[決定]）を押す

▶マルチメニューイラストが設定されます。

■自作マルチメニューを作成する

マルチメニュー画面（☞1-20ページ）の全体の絵柄（フレーム）、各機能のアイコン選択時の枠（フォーカス）のデザイン、各メニュー画面の背景（イラスト）をそれぞれお好みにあわせて変更することができます。

例 フレームを「**ドット1**」、イラストに本体（データフォルダ）の画像を設定する場合

1 壁紙／マイキャラクタ画面（☞8-2ページ）より、[◎]で「マルチメニュー」を選択し、[■]を押す

▶マルチメニューイラスト設定画面が表示されます。

2 [◎]で「自作マルチメニュー」を選択し、[■]を押す

▶作成確認画面が表示されます。

- 自作マルチメニューをもう一度作成する場合は、[✉]（[編集]）を押します。

3 [◎]で「YES」を選択し、[■]を押す

4 [◎]で「フレーム設定」を選択し、[■]を押す

- 「**フォーカス設定**」を選択した場合も操作*5*、*6*と同様の手順で設定を行ってください。

5 [◎]で「ドット1」を選択し、[■]を押す

▶フレームが表示されます。

- [*]、[#]で他の画像に切り替え表示します。

6 [✉]（[決定]）を押す

▶フレームが設定されます。

- イラストが設定されている場合は[完了]が表示されます。このとき、[✉]（[完了]）を押すと自作マルチメニューの設定を完了します。
  イラストが未設定の場合は、以降の操作でイラストを設定します。

7 [◎]で「イラスト設定」を選択し、[■]を押す

8 [◎]で画像を設定する位置を選択し、[■]を押す

9 [◎]で「本体」を選択し、[■]を押す

▶フォルダの選択画面が表示されます。

- 本体（データフォルダ）には選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。
- カメラで撮影した画像を設定する場合は、「**写真撮影**」を選択します。
- カメラの利用方法については7章を参照してください。
- メモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

10 [◎]で設定したい画像のフォルダを選択し、[■]を押す

▶ピクチャー選択画面が表示されます。

- [✉]（[確認]）を押すと、選択されている画像が確認できます。

11 [◎]で設定したい画像を選択し、[■]を押す

▶選択した画像が表示されます。

12 [✎]（[決定]）を押す

▶イラストが設定されます。

13 5枚すべてを設定する

操作*8*～*12*を繰り返します。

● イラストは5枚すべて設定しないと、設定を完了することはできません。

14 [✎]（[完了]）を2回押す

▶自作マルチメニューが設定されます。

重要

● 操作*9*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
● 自作マルチメニューに設定できる画像のサイズは、横240ドット×縦320ドットまでです。
● イラストにアニメーションを設定することはできません。

■アイコンのデザインを変更する

お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

1 壁紙／マイキャラクタ画面（☞8-2ページ）より、[◎]で「待受アイコン」を選択し、[■]を押す

▶待受アイコン設定画面が表示されます。

2 [◎]で設定したいアイコンを選択し、[■]を押す

▶待受アイコンが設定されます。

補足

アイコンデザインを変更すると、メインディスプレイとサブディスプレイに表示される電波状態表示や不在着信表示などのアイコン（☞1-8、1-10ページ）が変わります。

メインディスプレイの時計表示設定

メインディスプレイの時計表示の字体を6種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。

● **日付と時刻の設定については、1-19ページを参照してください。**

1 [□•][5][9]の順に押す

2 [◎]で「待受時計」を選択し、[■]を押す

▶待受時計の表示設定画面が表示されます。

3 [◎]で設定したい字体を選択し、[■]を押す

▶待受時計が設定されます。

● 「**1行時計**」または「**2行時計**」を選択した場合は、続けて文字色を選択し、[■]を押します。

補足

● 壁紙が設定されている場合は、壁紙に重なって時計が表示されます。
● 「**アナログ時計**」に設定した場合、通常壁紙（☞8-2ページ）を「**文字盤**」のイラストに設定することをおすすめします。

ミニ時計を設定する

画面右上に小さな時計を表示させることができます。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

1 次の操作でミニ時計設定画面を呼び出す

① [□•][5][9]の順に押す
② [◎]で「**ミニ時計**」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶ミニ時計が設定されます。

8 ディスプレイの設定

表示を12時間／24時間制に切り替える

時計表示の時間制を切り替えることができます。
お買い上げ時は「**24h**」(24時間制) に設定されています。

1　次の操作で12h/24h設定画面を呼び出す

① [□■] [5] [9] の順に押す
② [◎] で「**12h/24h設定**」を選択し、[■] を押す

2　[◎] で「12h」または「24h」を選択し、[■] を押す

▶選択した時間制に設定されます。
● サブディスプレイの時間制も設定されます。

サブディスプレイ設定

サブディスプレイにお好みのイラストを表示したり、表示方向やメール閲覧などを設定することができます。

■壁紙／マイキャラクタを設定する

サブディスプレイに本体内蔵のアニメーションやモバイルカメラで撮影した画像、本体 (データフォルダ)、メモリカードに登録した画像などを表示させることができます。また、電話着信時などにも表示させることができます。
● **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

壁紙／マイキャラクタで設定できる項目は以下のとおりです。

項　目	内　容
通常壁紙	待受画面で表示される壁紙をイラスト、スケジュール、アクションアイテムから選択することができます。 イラストは7種類から選択することができます。また、本体 (データフォルダ) とメモリカードから選択することもできます。 お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。
目覚まし	目覚まし起動時に表示される画面 (タイムアップ画面) をオリジナル、本体 (データフォルダ)、メモリカードから選択することができます。 お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
スケジュール	スケジュールのアラーム起動時に表示される画面 (タイムアップ画面) をオリジナル、本体 (データフォルダ)、メモリカードから選択することができます。 お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
アクションアイテム	アクションアイテムのアラーム起動時に表示される画面 (タイムアップ画面) をオリジナル、本体 (データフォルダ)、メモリカードから選択することができます。 お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
電話着信画像	電話着信時に表示される画像を2種類から選択することができます。また、本体 (データフォルダ) とメモリカードから選択することもできます。 お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。
シーズン壁紙	待受画面で表示される壁紙を、祝祭日などに自動的に変化する壁紙に設定することができます。 お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

壁紙／マイキャラクタで設定できる画像のサイズは以下のとおりです。

種　類	サイズ (横×縦)
通常壁紙	112×112ドット
目覚まし	112×92ドット
スケジュール	
アクションアイテム	
電話着信画像	静止画　:112×92ドット 動画　　:128×96ドット

例　電話着信画像を設定する場合

1　[□■] [4] [9] の順に押す

▶壁紙／マイキャラクタ設定画面が表示されます。

2　[◎] で「サブディスプレイ」を選択し、[■] を押す

3 で「電話着信画像」を選択し、■を押す

4 で設定したい画像を選択し、■を押す

▶選択した画像が表示されます。

- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。
- 電話着信画像を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

5 （決定）を押す

▶電話着信画像が設定されます。

重要

- 操作*4*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、静止画では最大で横240ドットまたは縦320ドットまでの画像を選択できます。また、設定サイズ（☞8-9ページ）以外の静止画は、操作*4*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。
- 電話着信音（☞5-8、5-15、9-3ページ）に着うた®を設定している場合は、サブディスプレイの電話着信画像にビデオファイル（☞11-3ページ）を設定することはできません。設定する場合は、「**解除する**」を選択し、■を押してください。

■着信表示を設定する

電話着信時やメール受信時に、サブディスプレイに相手の電話番号やメールアドレスを表示させることができます。
お買い上げ時はすべて「ON」に設定されています。

例 電話着信を設定する場合

1 Menu □の順に押す

2 で「表示設定」を選択し、■を押す

▶表示設定画面が表示されます。

3 で「サブディスプレイ」を選択し、■を押す

▶サブディスプレイ設定画面が表示されます。

サブディスプレイ設定画面

4 で「着信表示設定」を選択し、■を押す

5 で「電話着信」を選択し、■を押す

▶設定確認画面が表示されます。

6 で「ON」または「OFF」を選択し、■を押す

▶着信表示が設定されます。

補足

- アドレス帳に登録されている相手のときは、名前が表示されます（着信表示が「ON」に設定されている場合）。
- 着信表示を「OFF」に設定すると、電話着信時やメール受信時に「**着信**」や「**受信完了**」と表示され、相手の名前などは表示されません。
- 個々のアドレス帳のオプション設定で、サブ着信表示を設定することもできます（☞5-12ページ）。
- 着信時の表示については、1-10ページを参照してください。

■メールの内容を表示する

サブディスプレイでメールの内容を確認することができます。[メール閲覧設定]
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 サブディスプレイ設定画面（☞上記）より、で「メール閲覧設定」を選択し、■を押す

▶設定確認画面が表示されます。

2 で「ON」または「OFF」を選択し、■を押す

▶メール閲覧が設定されます。

補 足

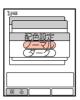
サブディスプレイでのメールの確認方法については、Vodafone live!編を参照してください。

■配色を変更する

サブディスプレイの配色を2種類から選択することができます。[配色設定]
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

1 サブディスプレイ設定画面(☞8-11ページ)より、で「画面設定」を選択し、■を押す

▶画面設定画面が表示されます。

2 で「配色設定」を選択し、■を押す

3 で設定したい配色を選択し、■を押す

▶配色が設定されます。

■表示方向を設定する

お買い上げ時は「**正方向**」に設定されています。

1 サブディスプレイ設定画面(☞8-11ページ)より、で「画面設定」を選択し、■を押す

▶画面設定画面が表示されます。

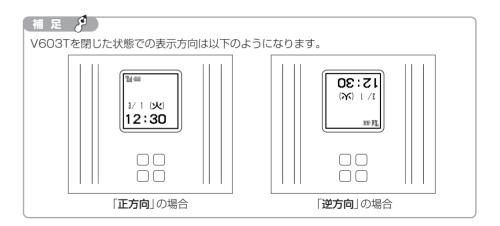
2 で「表示反転設定」を選択し、■を押す

3 で設定したい表示方向を選択し、■を押す

▶表示方向が設定されます。

補 足

V603Tを閉じた状態での表示方向は以下のようになります。

「**正方向**」の場合　　「**逆方向**」の場合

■照明設定

コントラストを調節する

サブディスプレイの濃淡(コントラスト)を17段階で調整することができます。
お買い上げ時は標準濃度に設定されています。

1 サブディスプレイ設定画面(☞8-11ページ)より、で「画面設定」を選択し、■を押す

▶画面設定画面が表示されます。

2 で「コントラスト調整」を選択し、■を押す

3 V603Tを閉じる

▶サブディスプレイにコントラスト調整画面が表示されます。

4 上下サイドキーでコントラストを調整し、V603Tを開いて ([完了])を押す

▶コントラストが設定されます。

8 ディスプレイの設定

点灯時間を設定する

V603Tを閉じている状態でサイドキーを押したときに点灯する、サブディスプレイの照明点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時は「**5秒**」に設定されています。

1　次の操作でサブ点灯時間設定画面を呼び出す

① □● 3 4 の順に押す
② ◇ で「**サブ点灯時間**」を選択し、■ を押す

2　◇ で設定したい点灯時間を選択し、■ を押す

▶点灯時間が設定されます。

重要

点灯時間を長くすると、電池の消費が大きくなり通話時間や待受時間が短くなります。

■時計表示を設定する

サブディスプレイの時計表示を7種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**ゴシック**」に設定されています。

1　次の操作でサブ液晶時計設定画面を呼び出す

① □● 5 9 の順に押す
② ◇ で「**サブ液晶時計**」を選択し、■ を押す

2　◇ で設定したい字体を選択し、■ を押す

▶時計表示が設定されます。

補足

- 表示を12時間制に切り替える場合は、8-8ページを参照してください。
- 「**アナログ時計**」、「**デジアナ時計**」に設定した場合、通常壁紙（☞8-9ページ）をそれぞれ「**アナログ文字盤**」、「**デジアナ文字盤**」のイラストに設定することをおすすめします。
- 通常壁紙にスケジュールまたはアクションアイテムを設定すると、時計表示の設定はすべて「**1行時計**」に変更されます。また、「**時計OFF**」に設定していても「**1行時計**」の表示になります。
- 「**時計OFF**」を設定していても、ディスプレイ省電力（☞15-18ページ）で設定している時間が経過すると日付、時刻を表示します。

フォント変更

メインディスプレイに表示される文字の大きさや太さを変更することができます。

■文字の大きさを変更する

電話をかけるときに表示される数字やアドレス帳に登録されている名前を、大きな文字で表示させることができます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1　Menu □● の順に押す

2　◇ で「表示設定」を選択し、■ を押す

▶表示設定画面が表示されます。

3　◇ で「メインディスプレイ」を選択し、■ を押す

4　◇ で「画面設定」を選択し、■ を押す

▶画面設定画面が表示されます。

5　◇ で「でか文字設定」を選択し、■ を押す

▶でか文字設定画面が表示されます。

6　◇ で「ON」を選択し、■ を押す

▶でか文字が設定されます。

重要

でか文字設定を「**ON**」に設定すると、発信イラスト（☞8-16ページ）や電話着信画像（☞8-17ページ）は表示されません。

補足

でか文字設定を「**ON**」に設定すると、電話をかけるときの数字が大きな文字で表示されます。
また、以下の場合にアドレス帳に登録されている名前が大きな文字で表示されます。
・発信画面（☞2-2ページ）
・リダイヤル画面（☞2-4ページ）
・着信画面（☞2-6ページ）
・ノートパッドメモリ画面（☞2-16ページ）
・着信履歴画面（☞2-17ページ）
・アドレス帳の検索画面（☞5-18ページ）
・スピードダイヤル画面（☞5-24ページ）

■文字の太さを変更する

メニューの項目など操作中の画面に表示される文字の太さを変更することができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**太文字**」です。

1 次の操作でメインディスプレイ設定画面を呼び出す

① Menu □の順に押す
② で「**表示設定**」を選択し、■を押す
③ で「**メインディスプレイ**」を選択し、■を押す

2 で「画面設定」を選択し、■を押す

▶画面設定画面が表示されます。

3 で「表示文字設定」を選択し、■を押す

▶表示文字設定画面が表示されます。

4 で変更したい文字の種類を選択し、■を押す

▶文字設定画面が表示されます。

5 で変更したい文字の太さを選択し、■を押す

▶文字の太さが設定されます。

メインディスプレイのマイキャラクタ設定

電源のON／OFF時や発信、着信時などにお好みのイラストを表示させることができます。また、設定を完了したときの画面や警告画面で表示されるイラストを変更することもできます。

■発信／通話中／設定イラストを設定する

発信時や通話中、設定完了時や警告画面に表示されるイラストを以下のとおりに設定することができます。
お買い上げ時はすべて「**ノーマル**」に設定されています。

項　目	内　容	サイズ（横×縦）
発信イラスト	2種類から選択することができます。また、本体（データフォルダ）とメモリカードから選択することもできます。	240×86ドット
通話中イラスト		
設定イラスト	3種類から選択できます。「**カスタム**」では、完了画面、警告画面のイラストを個別に本体（データフォルダ）やメモリカードから選択できます。	182×58ドット

● **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

1 壁紙／マイキャラクタ画面（☞8-2ページ）より、で「発信イラスト」を選択し、■を押す

2 で設定したいイラストを選択し、■を押す

▶選択した画像が表示されます。
● 、で他の画像に切り替え表示します。
● 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているイラストを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。
● 発信イラストまたは通話中イラストを「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 （決定）を押す

▶発信イラストが設定されます。

重 要

● 操作*2*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、設定できるサイズ（☞8-16ページ）以外の画像の場合は、操作*2*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。
● 発信イラストを設定しても、でか文字設定（☞8-15ページ）を「**ON**」に設定している場合は、でか文字設定が優先され、発信時に発信イラストは表示されません。

補 足

通話中イラストや設定イラストを設定する場合は、操作*1*で「**通話中イラスト**」または「**設定イラスト**」を選択してください。

■電話着信画像を設定する

電話着信時に表示される画像を2種類から選択できます。また、本体（データフォルダ）とメモリカードから選択することもできます。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

1 壁紙／マイキャラクタ画面（☞8-2ページ）より、で「電話着信画像」を選択し、■を押す

2 で設定したい着信画像を選択し、■を押す

▶選択した画像が表示されます。
- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。
- 電話着信画像を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 （決定）を押す

▶電話着信画像が設定されます。

重要
- 操作*2*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- 電話着信画像に設定できる画像サイズは、横240ドット×縦144ドットまでです。設定できるサイズ以外の場合は、操作*2*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。
- 電話着信画像を設定してもでか文字設定（☞8-15ページ）を「**ON**」に設定している場合は、でか文字設定が優先され、着信時に電話着信画像は表示されません。

■ウェイクアップ／パワーオフ画面を設定する

電源ON時に表示される画面（ウェイクアップ画面）と電源OFF時に表示される画面（パワーオフ画面）を、本体（データフォルダ）またはメモリカードから選択することができます。また、ウェイクアップ画面を自作のメッセージ表示画面にすることもできます。
お買い上げ時はすべて「**オリジナル**」に設定されています。

例 ウェイクアップ画面を「**メッセージ**」に設定する場合

1 □ 4 9の順に押す

▶壁紙／マイキャラクタ設定画面が表示されます。

2 で「メインディスプレイ」を選択し、■を押す

3 で「ウェイクアップ」を選択し、■を押す

4 で「メッセージ」を選択し、■を押す

▶メッセージ入力画面が表示されます。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。
- ウェイクアップ画面を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

5 メッセージを入力し、■を押す

▶ウェイクアップ画面が設定されます。
- お好きな文字を入力して表示させることができます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角90文字、全角45文字です。

重要
- 操作*4*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- ウェイクアップ画面、パワーオフ画面に設定できる画像サイズは、横240ドット×縦320ドットまでです。設定できるサイズ以外の場合は、操作*4*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。

補足
パワーオフ画面を設定する場合は、操作*3*で「**パワーオフ**」を選択してください。

待受くーまんの設定

3Dアニメーションのキャラクター「くーまん」が待受画面に表示されます。
くーまんは、季節、地域、一日の時間帯などの条件に応じて、さまざまな姿や身振りでコメントをお伝えします。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。
- **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞1-19ページ）の操作を行ってください。**
- **キャラクターが表示する情報は、ステーション（☞Vodafone live!編）で配信される情報を基にしています。**

1 □ 4 9の順に押す

▶壁紙／マイキャラクタ設定画面が表示されます。

2 で「メインディスプレイ」を選択し、■を押す

3 [キー]で「待受くーまん」を選択し、[キー]を押す

▶設定確認画面が表示されます。

4 [キー]で「ON」を選択し、[キー]を押す

▶待受くーまんが設定されます。

重 要

以下の場合は、待受くーまんを設定できません。
・Vアプリ待受設定中（☞Vodafone live!編）
・通常壁紙（☞8-2ページ）にアニメーションが設定されている場合

メインディスプレイの照明設定

電源ON時やボタン操作を行ったとき、V603Tを開いたときなどに点灯するメインディスプレイの照明の明るさや点灯時間を設定することができます。

明るさを調節する

メインディスプレイの照明の明るさを3段階で調節することができます。
お買い上げ時は「**明るさ3**」に設定されています。

1 [キー][3][4]の順に押す

2 [キー]で「明るさ調整」を選択し、[キー]を押す

3 [キー]で明るさを調節し、[キー]を押す

▶明るさが設定されます。

点灯時間を設定する

メインディスプレイの照明点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時は「**10秒**」に設定されています。

1 [キー][3][4]の順に押す

▶パネル照明設定画面が表示されます。

2 [キー]で「メイン点灯時間」を選択し、[キー]を押す

3 [キー]で点灯時間を選択し、[キー]を押す

▶点灯時間が設定されます。

重 要

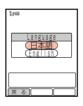
メインディスプレイの照明が点灯した状態での操作が多い場合は電池の消費が大きくなり、通話時間や待受時間が短くなります。

補 足

「**OFF**」に設定した場合でも、電源ON時には約10秒間点灯します。また、V603Tを開いたときや着信時、着信音の設定中などにも点灯します。

英語表示に切り替える

ディスプレイの表示を英語表示にすることができます。
お買い上げ時は「**日本語**」に設定されています。

1 　□■ 3 5 の順に押す

2 　◇で「English」を選択し、■を押す

▶表示言語が設定されます。
● 日本語表示にする場合は「**日本語**」を選択します。

表示言語を「**English**」に設定した場合、次の機能は利用できません。
・メール定型文（☞Vodafone live!編）
・割込みフレームの語尾替え（☞Vodafone live!編）
・時刻読上げ（☞14-5、14-20、14-54、15-28ページ）
・待受くーまん（☞8-19ページ）
・くーまんの部屋（☞15-31ページ）

8 ディスプレイの設定

音の設定

着信音量の設定

着信音の大きさを5段階に調節したり、音が鳴らないようにすることができます。
また、音量レベルを徐々に上げたり（ステップアップ）、下げたり（ステップダウン）することができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

例 電話着信の着信音量を設定する場合

1 **の順に押す**

2 **で「電話着信」を選択し、を押す**

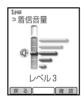
▶電話着信設定画面が表示されます。

3 **で「着信音量」を選択し、を押す**

- （確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

4 **で音量を調節し、を押す**

▶着信音量が設定されます。

重要

- マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）、着信音は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーで設定されている音量で鳴ります。
- イヤホンマイク（オプション品）使用時は、イヤホンの音量も同時に調節されます。ただし、着信音量を「**サイレント**」に設定した場合は、イヤホンからのみ「**レベル1**」で鳴ります。

補足

- 着信中にを押して、着信音量を調節することもできます。ただし、「**ステップアップ**」と「**ステップダウン**」は選択できません。
- 電話着信の着信音量を「**サイレント**」に設定すると、待受画面に「」が表示されます。この場合、イルミネーション（お知らせランプ）とディスプレイ表示で着信をお知らせします。

着信パターンの設定

着信音は固定パターン、固定メロディ、本体（データフォルダ）、メモリカードの中から、お好みにあわせて変更することができます。
また、着信音量の調節、バイブレータの設定や解除を行うこともできます。
着信設定は、以下の表の項目について、個別に設定することができます。
お買い上げ時はすべて着信音パターン「**パターン1**」、着信音量「**レベル3**」、バイブレータ「**OFF**」、鳴動時間（電話着信を除く）「**4秒**」に設定されています。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

項　目	内　容
電話着信	電話がかかってきたときの着信音
メール着信	スーパーメール以外のメールを受信したときの着信音
スーパーメール着信	スーパーメールを受信したときの着信音
ウェブ着信	ウェブを受信したときの着信音
ステーション着信	ステーションを受信したときの着信音

・メール、スーパーメール、ウェブ、ステーションについては、Vodafone live!編を参照してください。

■着信音を設定する

例 電話着信を固定メロディに変更する場合

1 **の順に押す**

▶着信設定画面が表示されます。

2 **で「電話着信」を選択し、を押す**

▶電話着信設定画面が表示されます。

3 **で「着信音パターン」を選択し、を押す**

4 **で「固定メロディ」を選択し、を押す**

▶固定メロディ設定画面が表示されます。

- メロディを再生する場合は、（確認）を押します。続いて（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、を押してください。
停止する場合は、（停止）を押します。
- 着うた®を再生する場合は、（確認）を押したあと、（再生）を押してください。停止する場合は、（停止）を押します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているメロディを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

5 **で設定したいメロディを選択し、を押す**

▶電話着信音が設定されます。

9 音の設定

補 足

- 操作*2*で「**メール着信**／**スーパーメール着信**／**ウェブ着信**／**ステーション着信**」を選択した場合は、着信音が鳴る時間（鳴動時間）を設定することができます。ただし、着信音パターンを「**固定パターン**」に設定した場合は4秒に設定され、変更することはできません。
- 鳴動時間は1秒から99秒の間または1周期（曲の最初から最後までを一度だけ演奏）に設定することができます。
- 操作*4*のメロディ確認時の音量は、各着信設定の音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で鳴ります。
- 着信音パターンを「**固定パターン**」から選択した場合、「**電話着信**」と「**メール着信**／**スーパーメール着信**／**ウェブ着信**／**ステーション着信**」では、同じ「**パターン1～4**」でも鳴り方が異なります。
- サブディスプレイの電話着信画像（☞5-9、5-16、8-9ページ）にビデオファイル（☞11-3ページ）を設定している場合は、着うた®を電話着信音に設定することはできません。設定する場合は、「**解除する**」を選択し、■を押してください。

あらかじめ登録されているメロディについて

V603Tには、あらかじめ以下の内容が登録されています。

・**固定パターン**：パターン1～4
・**固定メロディ**

メロディ	
曲名	**作曲者名**
トロイメライ	SCHUMANN ROBERT ALEXANDER
ハープ協奏曲	HAENDEL GEORG FRIEDRICH
ボレロ	RAVEL MAURICE JOSEPH
歌劇「カルメン」よりハバネラ	BIZET GEORGES
「マイスタージンガー」前奏曲	WAGNER RICHARD WILHELM
黒電話	―
ニュース速報	―
電子音	―
お電話です	―
メールをご覧ください	―
Phone Call	―
You've got mail!	―
目覚まし時計	―
鳩時計	―
衝撃の事実	―

■着信をバイブレータでお知らせする

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときに、バイブレータを振動させることができます。

例 電話着信のバイブレータを設定する場合

1 次の操作でバイブレータ選択画面を呼び出す

① ▢■ 1 ▢ の順に押す
② ◎で「**電話着信**」を選択し、■を押す
③ ◎で「**バイブレータ**」を選択し、■を押す

2 ◎で設定したいパターンを選択し、■を押す

▶バイブレータが設定されます。

- 「**パターン1～3**」を選択した場合は、選択しているパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時や受信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

重 要

- マナーモード設定中のバイブレータの振動パターンは、マナーモードの設定に従います（☞3-2ページ）。
- アドレス帳のオプションのバイブレータ設定（☞5-8ページ）またはグループ設定のバイブレータ設定（☞5-15ページ）を「**個別設定なし**」以外に設定している場合は、その設定に従います。
- バイブレータを設定しても、割込通話（☞16-7ページ）のときは、バイブレータは振動しません。
- 充電中に着信があった場合もバイブレータでお知らせします。

補 足

- 電話着信のバイブレータを設定すると、待受画面に「≋」が表示されます。
- 着信音量を「**サイレント**」に設定している場合は、バイブレータの振動のみで着信をお知らせします。

各種効果音の設定

電源をONまたはOFFにしたときの音やボタンを押したときの音、V603Tを開閉したときの音などを設定することができます。音の選択では本体内蔵のメロディや本体（データフォルダ）、メモリカードに登録したメロディを設定できます。また、音の大きさを3段階に調節したり、音が鳴らないようにすることもできます。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

■電源ON／OFF時の確認音を設定する

電源ON時の音（ウェイクアップ音）および電源OFF時の音（パワーオフ音）を設定することができます。
お買い上げ時はウェイクアップ音「**オリジナル1**」、パワーオフ音「**オリジナル**」、音量すべて「**レベル1**」に設定されています。

音を選択する

例 ウェイクアップ音を設定する場合

1 **□● 1 3 の順に押す**

▶効果音設定画面が表示されます。

2 **◎で「ウェイクアップ音」を選択し、■を押す**

- パワーオフ音を設定する場合は「**パワーオフ音**」を選択してください。

3 **◎で「音選択」を選択し、■を押す**

▶音選択画面が表示されます。

- メロディを再生する場合は、✎（確認）を押します。続いて✎（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、■を押してください。
停止する場合は、✎（停止）を押します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているメロディを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

4 **◎で設定したいメロディを選択し、■を押す**

▶ウェイクアップ音が設定されます。

補 足

着うた®はウェイクアップ音／パワーオフ音に設定することはできません。

音量を調節する

例 ウェイクアップ音の音量を設定する場合

1 **次の操作で音量設定画面を呼び出す**

① □● 1 3 の順に押す
② ◎で「**ウェイクアップ音**」を選択し、■を押す
③ ◎で「**音量**」を選択し、■を押す

- ✎（確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります。
- 音を鳴らないようにする場合は、「**OFF**」を選択します。

2 **◎で音量を調節し、■を押す**

▶ウェイクアップ音の音量が設定されます。

重 要

マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います（☞3-2ページ）。

■ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときの確認音を設定することができます。
お買い上げ時は音選択「**オリジナル**」、音量「**レベル1**」に設定されています。

例 ボタン確認音を固定メロディから選択して設定する場合

1 **次の操作でボタン確認音設定画面を呼び出す**

① □● 1 3 の順に押す
② ◎で「**ボタン確認音**」を選択し、■を押す

2 **◎で「音選択」を選択し、■を押す**

▶音選択画面が表示されます。

- 音量を設定する場合は、「**音量**」を選択したあと■を押し、上記の操作*2*を行ってください。

3 **◎で「固定メロディ」を選択し、■を押す**

▶固定メロディ選択画面が表示されます。

- メロディを再生する場合は、✎（確認）を押します。続いて✎（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、■を押してください。
停止する場合は、✎（停止）を押します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているメロディを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

4 で設定したいメロディを選択し、を押す

▶ボタン確認音が設定されます。

重要

マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います（3-2ページ）。

補足

- ボタン確認音を「**固定メロディ**」、「**本体**」、「**メモリカード**」から選択して設定した場合は、ボタンを押すと設定した音が約1秒間鳴ります。
- 着うた®はボタン確認音に設定することはできません。

■オープン音／クローズ音を設定する

V603Tを開閉したときの音を設定することができます。
お買い上げ時は音選択「**オリジナル**」、音量「**OFF**」に設定されています。

例 オープン音を固定メロディから選択して設定する場合

1 **次の操作でオープン音設定画面を呼び出す**

① の順に押す

② で「**オープン音**」を選択し、を押す

- クローズ音を設定する場合は、「**クローズ音**」を選択します。

2 で「音選択」を選択し、を押す

▶音選択画面が表示されます。

- 音量を設定する場合は、「**音量**」を選択し、を押したあと、音量を調節する（9-7ページ）の操作**2**を行ってください。

3 で「固定メロディ」を選択し、を押す

▶固定メロディ選択画面が表示されます。

- メロディを再生する場合は、（確認）を押します。続いて（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、を押してください。
停止する場合は、（停止）を押します。
- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録しているメロディを設定する場合は、「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

4 で設定したいメロディを選択し、を押す

▶オープン音が設定されます。

重要

マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います（3-2ページ）。

補足

- オープン音やクローズ音を「**固定メロディ**」、「**本体**」、「**メモリカード**」から選択して設定した場合は、V603Tを開くまたは閉じると、設定した音が約2秒間鳴ります。
- 着うた®はオープン音／クローズ音に設定することはできません。

オリジナル着信音の作成

自分で曲を作成し、データフォルダに登録することができます。データフォルダに登録した曲は、着信音パターン（☞9-3ページ）に設定したり、メール（☞Vodafone live!編）に添付することができます。

- **データフォルダについては11章を参照してください。**
- **オリジナル着信音はメモリカードに登録できません。**

オリジナル着信音の作成画面

オリジナル着信音は、メインメロディ（主旋律）、サブメロディ1～2（副旋律）の3つの旋律から構成されており、それぞれに異なった音階を入力することで、和音演奏を楽しむことができます。また、音符や休符、テンポ、タイなどを入力でき、約4オクターブの音域で最大256音入力することができます。
オリジナル着信音の入力画面は、以下のように表示されます。

メロディ作成画面

音階の入力方法

音階入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。

ボタン	ボタンの説明	
[1]	「ド」／「ド#」の入力	[1]、[2]、[4]～[6]の各音符は、ボタンを押す回数によって全音と半音が切り替わります。例えば、「ド」の半音「ド#」を入力する場合は、[1]を2回押します。
[2]	「レ」／「レ#」の入力	
[3]	「ミ」の入力	
[4]	「ファ」／「ファ#」の入力	
[5]	「ソ」／「ソ#」の入力	
[6]	「ラ」／「ラ#」の入力	
[7]	「シ」の入力	
[8]	音符や休符の変更	音符（[1]～[7]）や休符（[9]、[0]）の入力後に、[8]を押すと以下のように切り替わります。 8分音符→4分音符→2分音符→16分音符 8分休符→4分休符→2分休符→16分休符
[9]	休符の上書き	カーソルの位置に休符を上書きします。
[0]	休符の挿入	カーソルの前に休符を挿入します。
[#]	テンポの切り替え	カーソルのある位置からテンポを切り替えます。「96」「108」「120」「144」から選べます（起動時は「120」）。テンポは、切り替わりの位置にのみ表示されます。[#]を押すたびにテンポが切り替わります。
[再生]	音楽再生選択の呼び出し	音階の入力画面で、入力中の音階を再生することができます（※1）。
上サイドキー	前画面へ移動	前の画面へ移動します。
下サイドキー	次画面へ移動	次の画面へ移動します。
[Clear/メモ]	音符、休符などの消去	カーソルの部分を消去します。
[■]	入力の終了	表示している旋律の入力を終了します。
[上下]	オクターブの切り替え	音符のオクターブ音域を切り替えます。
[左右]	カーソルの左右移動	カーソルの位置を左右に移動します。
[範囲指定]	範囲の指定	入力中の音階の範囲を指定するときに使用します（※2）。
[文字/英字 A/a]	タイの入力	カーソルのある位置に「タイ（同じ音を途切れなくする）」を付けます。
[Menu]（[メニュー]）	サブメニューの呼び出し	サブメニューを呼び出します（※3）。
[開始]	旋律の切り替え	旋律の入力画面を切り替えます。
[終了]	操作の終了	作業を中断します。

※1 再生のしかたについては9-15ページを参照してください。
※2 指定した音階は、切り取ったり、コピーしたりすることができます（☞9-13ページ）。
※3 サブメニューでは以下の操作を行うことができます。

項　目	内　容
ペースト	[範囲指定]で指定した範囲を貼り付けることができます（☞9-13ページ）。
音色設定	表示している旋律の音色を変更することができます（☞9-14ページ）。
全削除	表示している旋律の音階をすべて消去します。
最後へジャンプ	カーソルを最後の音符の右に移動します。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の音符に移動します。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。ボタンとその役割を確認することができます。もとの画面に戻すには、[Clear]を押します。

新規に作成する

例 「**音楽その1**」を作成し、データフォルダのメロディフォルダに登録する場合

1 **□ 1 5の順に押す**

▶オリジナル着信音選択画面が表示されます。

2 **で「新規」を選択し、■を押す**

▶オリジナル着信音設定画面が表示されます。

3 **で「曲名なし」を選択し、■を押す**

▶曲名入力画面が表示されます。

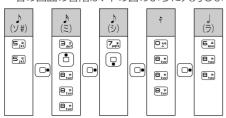
4 **曲名を入力し、■を押す**

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

5 **で「メインメロディ」を選択し、■を押す**

▶メインメロディ作成画面が表示されます。

6 **音階を入力する**

- 音階の入力方法については9-11ページを参照してください。
- 右の画面の音階は、下の図のように入力します。

7 **■を押す**

▶メインメロディが設定され「メイン」のアイコンが表示されます。
- サブメロディ1～2（副旋律）を入力する場合は、各副旋律を選択し、操作*6*～*7*を繰り返します。
- 「**サブメロディ1**」、「**サブメロディ2**」を設定した場合は「サブ1」、「サブ2」のアイコンが表示されます。

8 **（完了）を押す**

▶データフォルダには登録可能なフォルダのみ表示されます。

9 **で「メロディ」を選択し、（決定）を押す**

▶データフォルダに登録されます。

補足

- 入力できる音符、休符は最大256音です。
- 音階入力中は、ボタン入力に従って確認音が鳴ります。音量はF14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
- 操作*6*の音階の入力画面では、以下の操作が行えます。
  - ・入力中の音階を再生する（☞9-15ページ）
  - ・入力中の音階をコピー（切り取り）する／貼り付ける（☞下記）
  - ・入力中の音階の音色を設定する（☞9-14ページ）
  - ・入力中の音階を消去する（☞9-15ページ）
  - ・カーソルを最後の音符の右に移動する（☞9-15ページ）
  - ・カーソルを先頭の音符に移動する（☞9-15ページ）
  - ・ヘルプの機能を呼び出す（☞9-15ページ）
- 音階などの入力中に着信があった場合は着信を優先します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定（☞Vodafone live!編）に従います。
- 着信や電池切れなどにより操作が中断された場合でも、入力中の内容は記憶されています。電池切れなどで中断直前の画面が表示されない場合は、操作*1*の画面を呼び出したあと、「**継続**」を選択し■を押すと、続きの操作が行えます。
- 曲名を入力しない場合、データフォルダには「**曲名なし**」で登録されます。
- データフォルダが一杯の場合は、作成したメロディを登録できません。登録する場合は、操作*9*のあと続けて「**YES**」を選択し、不要なファイルを消去してください（☞11-20ページ）。
- メールに、作成したメロディを添付することもできます。添付する方法については、11-23ページまたはVodafone live!編を参照してください。

切り取り／コピー／貼り付けのしかた

1 **メロディ作成中にを押す**

- コピー（切り取り）したい先頭または最後の音符にカーソルを移動します。

2 **（範囲指定）を押し、で範囲を指定する**

コピー（切り取り）する範囲を指定します。
- （範囲指定）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。
- タイ、テンポの切り替えもコピー（切り取り）の対象になります。

3 (終端)を押す

● を押しても、同様の操作が行えます。

4 で「コピー」を選択し、を押す

▶ メロディ作成画面が表示されます。
● 指定した範囲の音符を切り取る場合は、「**切り取り**」を選択してください。

5 で貼り付ける位置を指定し、Menu(メニュー)を押す

● 貼り付けの開始位置の指定は、末尾以外でも可能です。

6 で「ペースト」を選択し、を押す

▶ コピーした範囲が操作***5***で指定したカーソルの位置から貼り付けられます。

補足

コピーした範囲を合わせて256音を超える場合は、貼り付けを行うことができません。もう一度、コピー範囲を指定してください。

音色変更のしかた

旋律ごとに音色を変えることができます。また、音色は175種類の中から選択することができます。
メロディの新規作成時は「**ピアノ**」に設定されています。

1 メロディ作成中にMenu(メニュー)を押す

▶ サブメニューが表示されます。

2 で「音色設定」を選択し、を押す

▶ 音色の種別選択画面が表示されます。

3 で音色の種別を選択し、を押す

▶ 音色選択画面が表示されます。

4 で音色を選択し、を押す

▶ 音色が設定されます。
● メロディを再生(☞9-15ページ)すると、設定した音色で流れます。

重要

音色の種類によっては、メロディで使用している音符や音程により音が聞き取りにくくなる場合があります。

補足

操作***2***では、以下の項目を選択することもできます。

項目	内容
全削除	表示している旋律の音階をすべて削除します。
最後へジャンプ	カーソルを最後の音符の右に移動します。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の音符へ移動します。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。ボタンとその役割を確認することができます。

音色の種類について

音色はピアノ(ピアノ、ブライトピアノなど8種類)、鉄琴(チェレスタ、グロッケンなど8種類)など、全175種類の中から選択することができます。

種別	音色の種類	種別	音色の種類	種別	音色の種類
ピアノ	8種類	**リード**	8種類	**ドラムセット**	8種類
鉄琴	8種類	**笛**	8種類	**ドラム**	8種類
オルガン	8種類	**シンセリード**	8種類	**シンバル**	5種類
ギター	8種類	**シンセパッド**	8種類	**ラテンドラム**	7種類
ベース	8種類	**シンセエフェクト**	8種類	**ラテンパーカッション**	8種類
弦楽器	7種類	**エスニック**	8種類	**ベル/ブロック**	8種類
ストリング	8種類	**パーカッション**	9種類	**その他**	3種類
ブラス	8種類	**効果音**	8種類		

曲の再生のしかた

例 範囲を指定して再生する場合

1 メロディ作成中にを押す

● 範囲指定したい先頭または最後の音符にカーソルを移動します。

2 (再生)を押す

3 で「範囲指定」を選択し、を押す

● タイ、テンポの切り替えも再生対象になります。

4 [●□●]で再生する最後の音符を指定し、[o]（[終端]）を押す

▶曲が再生されます。

補足

- 操作3では、以下の項目を選択することもできます。

項目	内容
先頭〜カーソル	音階の先頭からカーソルの位置までを再生します。
カーソル〜最後	カーソルの位置から音階の最後までを再生します。
和音再生	メインメロディ（主旋律）とサブメロディ1〜2（副旋律）の音階を先頭から最後まで同時に再生します。

- 操作4のメロディ再生時の音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

曲名／音階を編集する

1 [□●][1][5]の順に押す

▶オリジナル着信音設定画面が表示されます。

2 [◎]で「データフォルダ」を選択し、[■]を押す

▶データフォルダの編集可能なフォルダが表示されます。

3 [◎]でフォルダを選択し、[■]を押す

▶編集可能なファイルが表示されます。

- メロディを再生する場合は、[✉]（[確認]）を押します。続いて[✉]（[再生]）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、[■]を押してください。
停止する場合は、[✉]（[停止]）を押します。

4 [◎]で編集したいメロディファイルを選択し、[■]を押す

- 以降の操作は、9-12ページの操作3以降を参照してください。

補足

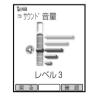
- 操作3のメロディ確認時の音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
- データフォルダに登録したオリジナル着信音を消去する場合は、ファイルを消去する（☞11-20ページ）を参照してください。
- 旋律を消去する場合は、操作4の画面で旋律を選択したあと、[Menu]（[メニュー]）を押します。

サウンド（メロディ）ファイルの再生音量の調節

作成中のオリジナル着信音やデータフォルダ内のメロディファイルなどを再生する音量を、5段階に調節することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。
サウンド音量を設定すると、以下の項目の音量がすべて設定されます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

機能	設定される音量
基本機能	オリジナル着信音作成時または再生時（☞9-15ページ）の音量
データフォルダ	メロディファイル再生時（☞11-6ページ）の音量
カメラ・ムービー	再生音量（☞7-3ページ）
	編集中の再生音量（☞7-48ページ）
個別アプリ	ボイスメモ／着信用ボイスの録音内容を再生する音量（☞14-67ページ）
	フォーチュン（☞14-60ページ）の起動時に再生する音量
	ミニゲーム（☞14-61ページ）利用時のサウンド音量
	着うた®プレイヤーを再生する音量（☞14-71ページ）
	くーまんの部屋を利用時のサウンド音量（☞15-31ページ）
メール（☞Vodafone live!編）	受信メールの添付ファイル／メロディを自動再生する音量
	ファイルメニューからサウンドファイルを再生する音量
	スカイメールに添付するメロディ作成中の音量、再生時の音量
	メッセージ作成時に添付ファイル／メロディを再生する音量
ウェブ/ステーション（☞Vodafone live!編）	情報画面表示中にサウンドを自動再生する音量
	ファイルメニューからサウンドファイルを再生する音量

1 [□●][1][4]の順に押す

- [✉]（[確認]）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります。

2 [◎]で音量を調節し、[■]を押す

▶サウンド音量が設定されます。

重要

- マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量に従います。
- 各機能の設定画面で個別に音量を変更することもできますが、サウンド音量の設定は変更されません。

スピーカーの利用

通話中の相手の声（または音）をレシーバーからフロントスピーカー（☞1-7ページ）に切り替えて聞くことができます。時報（117番）や自動音声応答サービス（157番）などを使用するときに便利です。

1 電話番号を入力する

2 [通話]を押す

3 [✉]（[スピーカー]）を押す

▶ フロントスピーカーに切り替わります。

● レシーバーから聞こえるようにする場合は、[✉]（[オフ]）を押します。

重 要

● フロントスピーカーに切り替えているときは、自分の声は相手に聞こえません。
● スイッチ付イヤホンマイク（オプション品）の使用中は、フロントスピーカーに切り替えることができません。

補 足

● フロントスピーカーの音量を調節する場合は、フロントスピーカーに切り替えているときに[↕]を押します。
● フロントスピーカーに切り替えているときでも、プッシュトーンを送ることができます（☞15-14ページ）。

miniSD™はSDアソシエーションの商標です。

メモリカードをご利用になる前に

V603Tでは、miniSD™メモリカードを利用することができます。V603Tで撮影した画像や動画、ダウンロードしたさまざまなデータを保存することができます。

- 本書では、miniSD™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- V603Tでは記憶容量が512MB（※2004年12月現在）までのメモリカードに対応していますが、256MBを超えるメモリカードの撮影時間制限は、256MBまでです。また、すべてのメモリカードの動作確認は行っておらず、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。

■メモリカードを取り付ける／取り外す

メモリカードの取り付けかた

メモリカードを取り付けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。メモリカードのデータ消失の原因となります。

1 メモリカードスロットのキャップを開ける

Ⓐの部分に爪をかけてキャップを引き出します。

※V603T裏面

2 メモリカードをロックするまで押し込む

メモリカードをカチッと音がするまでゆっくり奥に押し込みます。

ラベル面を下に

※キャップにメモリカードの挿入方向表示「」が付いています。

3 メモリカードスロットのキャップを閉じる

重 要

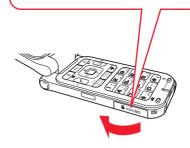
キャップを開くとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損してしまう場合があります。

メモリカードの取り外しかた

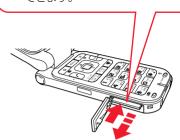
メモリカードを取り外すときは、必ず電源を切った状態で行ってください。メモリカードのデータ消失の原因となります。

1 メモリカードスロットのキャップを開ける

2 メモリカードを軽く押し込む

メモリカードを軽く押し込んで手を離すと、メモリカードが飛び出てきます。

3 メモリカードを取り出す

まっすぐゆっくり引き抜いてください。メモリカードを取り出したあと、キャップを閉じます。取り出すときは、メモリカードにある溝をご利用ください。

重 要

- キャップを開くとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損してしまう場合があります。
- メモリカードを取り外すとき、メモリカードが本体から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

メモリカードの利用

メモリカードに保存した画像や動画などのデータを確認したり編集することができます。また、V603Tのデータフォルダやアドレス帳などのデータをメモリカードに移し替えることができます。

- **電池残量が少ないとデータの読み込みや書き込みができない場合があります。**
- **データの読み込み中や書き込み中にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したりしないでください。**
- **データの読み込み中や書き込み中は通話、メールなどのご利用はできません。**
- **データの種類によっては各種処理に時間がかかる場合があります。**
- **メモリカード内のデータは誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なデータはバックアップをとっておかれることをおすすめします。**
- **データフォルダについては11章を参照してください。**

メモリカードに保存できるデータについて

メモリカードに保存できるデータは、以下のとおりです。また、引っ越し機能(☞10-18ページ)を利用してV603Tの各種設定を保存することもできます。

保存できるデータ	説　明	保存可能なファイル形式	拡張子	参照ページ
アドレス帳	アドレス帳を保存できます。	vCardファイル	.vcf	☞10-13、10-14ページ
スケジュール/アクションアイテム	スケジュール/アクションアイテムを保存できます。	vCalendarファイル	.vcs	
メモ帳	メモ帳を保存できます。	vNoteファイル	.vnt	
		テキストファイル	.txt	
受信メールボックス	受信メールを保存できます。	vMessageファイル	.vmg	
送信メールボックス	送信メールを保存できます。			
送信トレイ	送信トレイのメールを保存できます。			
デジタルカメラフォルダ	デジタルカメラモード(☞7-7ページ)で撮影した画像を保存できます。データは、メモリカードのデジタルカメラフォルダへ保存されます。	JPEGファイル	.jpg	
データフォルダ	画像やメロディなどのファイルを保存できます。データは、データフォルダ内の以下のフォルダへ保存されます。 ピクチャー／メロディ／アニメーション／ムービー／オーディオ／ビデオ／ボイス／ポケットデータベース／etc	JPEGファイル	.jpg、.jpe、.jpz、.jpeg	
		PNGファイル	.png、.pnz	
		メロディファイル	.smd、.smz	
		SMAFファイル／40・64和音SMAFファイル	.mmf	
		MNGファイル	.mng	
		PNG/JPEGアニメーションファイル	.mtn	
		ボイスファイル	.tvv、.tvs	
		MP4ファイル	.3gp	
		オーディオファイル	.mp4	
		ビデオファイル	—	
		データベースファイル	.bin、.ctl	
		テキストファイル	.txt	

保存できるデータ	説　明	保存可能なファイル形式	拡張子	参照ページ
Vアプリライブラリ	Vアプリライブラリ(☞Vodafone live!編)を保存できます。データは、メモリカードのJAVAフォルダへ保存されます。	JAVAファイル	.jav	☞10-13、10-14ページ
メッセージフォルダ	メッセージフォルダ(☞Vodafone live!編)を保存できます。データは、メモリカードのウェブフォルダへ保存されます。	HTMLファイル	.html	
ブックマーク	ブックマーク(☞Vodafone live!編)を保存できます。データは、メモリカードのウェブフォルダへ保存されます。	vBookmarkファイル	.vbm	
保存情報	保存情報(☞Vodafone live!編)を保存できます。データは、メモリカードのステーションフォルダへ保存されます。	CBCファイル	.cbc	

重 要

著作権で保護されているデータをコピー(☞10-13ページ)することはできません。

補 足

保存されたデータは、miniSD™メモリカード対応のボーダフォン携帯電話やパソコンなどに取り付けてご利用になることができます。
※保存されたデータをパソコンなどで確認する際は、別途「miniSD™ アダプタ(市販)」や「SD™ メモリカードアダプタ(市販)」が必要になる場合があります。

■メモリカードをフォーマット(初期化)する

V603Tでメモリカードを初期化することができます。

- **データの読み込み中や書き込み中にメモリカードを抜くと、データの消失やカードの破損の原因となります。**
- **メモリカードをフォーマットするときは、必ずV603Tで行ってください。他の機器でフォーマットしたメモリカードは、V603Tでは正常に使用できない場合があります。**
- **メモリカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますので、十分にご注意ください。**

1 Menu 〔□〕の順に押す

2 〔◎〕で「メモリカード」を選択し、〔■〕を押す

3 で「フォーマット」を選択し、■を押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する

▶フォーマット確認画面が表示されます。
- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

5 で「YES」を選択し、■を押す

▶フォーマット中の使用制限説明画面が表示されます。

6 ■を押す

▶メモリカードが初期化されます。

■保存されているデータを確認する

メモリカード内のデータを確認することができます。また、V603Tの各機能からメモリカード内のデータを確認することもできます。

データフォルダのデータを確認する

1 次の操作でデータ閲覧先選択画面を呼び出す

① Menu の順に押す
② で「**メモリカード**」を選択し、■を押す
③ で「**データ閲覧**」を選択し、■を押す

データ閲覧先選択画面

2 で「データフォルダ」を選択し、■を押す

3 でフォルダを選択し、■を押す

▶フォルダ内のデータが表示されます。

4 で確認したいデータを選択し、■を押す

▶データを確認できます。

重 要

メモリカードに保存したビデオファイル（ハンディビデオ（MPEG）で撮影）をパソコンで確認する場合は、同じフォルダ内のファイルを編集したり、消去しないでください。誤って操作してしまい、ビデオファイルが確認できなくなった場合は、外部ビデオフォルダにファイル名を変更して保存（☞10-8ページ補足）することにより、確認できるようになります。

補 足

- 操作*2*、*3*のあと Menu（メニュー）を押すと、フォルダやファイルを編集することができます。データフォルダについては11章を参照してください。
- サムネイルデータなしのファイルは、操作*3*のあと Menu（メニュー）を押して「**サムネイル作成**」を選択し、■を押すと、サムネイル画像が表示されます（ピクチャーファイル／アニメーションファイルのみ）。

デジタルカメラフォルダのデータを確認する

1 データ閲覧先選択画面（☞10-6ページ）より、で「デジタルカメラフォルダ」を選択し、■を押す

2 でフォルダを選択し、■を押す

▶フォルダ内のデータが表示されます。

3 で確認したいデータを選択し、■を押す

▶画像を確認できます。
- *、#で他の画像に切り替え表示します。

重 要

V603Tで撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、V603Tで再表示できなくなる場合があります。

補 足

操作*2*のあと Menu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**1件消去／プロパティ／メール添付／画像編集／へコピー／へ移動／赤外線1件送信／へ切替**

10 メモリカード

外部ビデオフォルダのデータを確認する

メモリカードに保存したビデオカメラのデータやパソコンからメモリカードに保存したビデオデータなどは外部ビデオフォルダで確認することができます。

1 データ閲覧先選択画面（☞10-6ページ）より、[↕]で「外部ビデオフォルダ」を選択し、[■]を押す

2 [✣]でフォルダを選択し、[■]を押す

▶フォルダ内のデータが表示されます。

3 [✣]で確認したいファイルを選択し、[■]を押す

▶ビデオ画像が表示されます。

4 [○]（[▶再生]）を押す

▶ビデオデータを確認できます。

重要

- 外部ビデオフォルダに保存したビデオデータを再生する場合は、しおり機能（☞7-33ページ）は利用できません。
- ビデオデータによっては特殊再生（☞7-34ページ）を利用できないことがあります。また、ビデオデータを録画した機器によっては再生できないことがあります。

補足

- V603Tで確認できるデータのファイル形式は「.3GP」、「.3G2」、「.SDV」です。
- 外部のビデオデータをメモリカードに保存する場合、メモリカード内に以下のフォルダを作成する必要があります。下記フォルダを作成したあと「PRL」フォルダ内にビデオデータ「MOL」を保存することにより、外部ビデオフォルダからデータを確認することができます。
  - 第1階層 ：「SD_VIDEO」
  - 第2階層 ：「PRL＊＊＊」
  - ファイル ：「MOL＊＊＊.3gp」、「MOL＊＊＊.3g2」、「MOL＊＊＊.sdv」

  （＊：0～9、A～Fを使用できます。ただし、PRL000、MOL000は使用できません。）

外部ビデオフォルダ
第1階層 SD_VIDEO
第2階層 フォルダは複数作成可 PRL＊＊＊ PRL＊＊＊ PRL＊＊＊
第3階層 MOL＊＊＊.3gp MOL＊＊＊.3g2 MOL＊＊＊.sdv

- 操作2のあと[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・1件消去／プロパティ

V603Tの各機能からメモリカードのデータを確認する

データフォルダ、デジタルカメラフォルダ、外部ビデオフォルダ以外のデータを確認する場合は、V603Tの各機能からメモリカードに切り替えて、メモリカードのデータを確認します。

V603Tとメモリカード間のデータ表示の切り替えは、各機能の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、「**アドレス帳切替**」、「**[SD]へ切替**」、「**[本体]へ切替**」が表示される機能や画面でできます。

例 V603Tのアドレス帳から、メモリカード内にあるアドレス帳を確認する場合

1 アドレス帳検索画面で[Menu]（[メニュー]）を押す

- アドレス帳については5章を参照してください。

2 [↕]で「アドレス帳切替」を選択し、[■]を押す

3 [↕]で「アドレス帳1」を選択し、[■]を押す

▶メモリカード内のアドレス帳検索画面が表示されます。

補足

- メモリカード内にコピー／移動したアドレス帳がない場合は、「**登録はありません**」と表示されます。また、メモリカード内の一括転送／個別（カスタム）転送したアドレス帳を閲覧しようとしても「**登録はありません**」と表示され、閲覧できません。
- 操作3で「**アドレス帳1**」を選択したあとに[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**名称編集／アドレス帳消去／新規アドレス帳／登録件数確認**
- メモリカードからV603Tへ切り替える場合は、操作3で「**アドレス帳**」を選択します。

■ローカルコンテンツを表示する

メモリカード内のHTMLファイルを表示して、メモリカード内のファイルやインターネットにアクセスすることができます。

1 次の操作でローカルコンテンツ画面を呼び出す

① [Menu][↓]の順に押す

② [✣]で「**メモリカード**」を選択し、[■]を押す

③ [↕]で「**ローカルコンテンツ**」を選択し、[■]を押す

10 メモリカード

2 で表示したい内容を選択し、を押す

▶選択したローカルコンテンツが表示されます。

重要

ウェブ禁止設定（☞Vodafone live!編）を「ON」に設定している場合は表示できません。

補足

操作1のあと Menu（メニュー）を押して、ローカルコンテンツの消去の操作を行うことができます。

■メモリカードの情報を更新する

メモリカードを他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどでデータ編集や追加、消去などのデータ編集をした場合、メモリカードの情報（アドレス帳／Vアプリ）を更新する必要があります。

1 次の操作でメモリカード手動シンクロ画面を呼び出す

① Menu の順に押す

② で「**メモリカード**」を選択し、を押す

③ で「**メモリカード手動シンクロ**」を選択し、を押す

2 で更新したい内容を選択し、を押す

▶更新中の使用制限説明画面が表示されます。

3 を押す

▶メモリカードの情報が更新されます。

補足

- メモリカードの情報を更新しないと、メモリカードが正しく動作しない場合があります。
- メモリカード内のファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- メモリカードのアドレス帳の情報を更新すると、「アドレス帳切替」（☞10-9ページ）で編集したアドレス帳名は初期状態に戻ります。

■データを暗号化して保存する

V603Tのデータをメモリカードにまとめて転送する場合、アドレス帳やメール（受信メールボックス／送信メールボックス／送信トレイ）、スケジュールを暗号化して保存することができます。

暗号化してメモリカードに保存されたデータは、ご利用のV603Tでのみ正しく表示され、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで表示させることはできません。

お買い上げ時はすべて「**OFF**」に設定されています。

1 次の操作でデータ一括転送画面を呼び出す

① Menu の順に押す

② で「**メモリカード**」を選択し、を押す

③ で「**データ一括転送**」を選択し、を押したあと、操作用暗証番号を入力する

- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

2 で「暗号化設定」を選択し、を押す

3 で暗号化したい内容を選択し、を押す

▶暗号化確認画面が表示されます。

4 で「ON」を選択し、を押す

▶暗号化が設定されます。

■自動的にHTMLファイルを表示する（オートラン機能）

オートラン機能とは、メモリカード内にオートランファイルがある場合、メモリカードを取り付けると、オートランファイルで指定されたローカルコンテンツ対応のHTMLファイルが自動的に表示される機能です。

オートランファイルで指定されたHTMLファイルを手動で表示させることもできます。

手動でオートランファイルで指定されたコンテンツを表示する

1 次の操作でオートラン設定画面を呼び出す

① Menu の順に押す

② で「**メモリカード**」を選択し、を押す

③ で「**オートラン**」を選択し、を押す

オートラン設定画面

2 で「手動オートラン」を選択し、を押す

▶オートランファイルで指定されたコンテンツが表示されます。

重要

ウェブ禁止設定（☞Vodafone live!編）を「ON」に設定している場合は表示できません。

10 メモリカード

オートランファイルを消去する

1 **オートラン設定画面（☞10-11ページ）より、[↕]で「オートラン消去」を選択し、[■]を押す**

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **操作用暗証番号を入力する**

▶消去確認画面が表示されます。
- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 **[↕]で「YES」を選択し、[■]を押す**

補足
- オートランファイルを消去すると、自動的にHTMLファイルを表示したり、手動でオートラン機能を実行することはできません。
- オートランファイルを消去してもローカルコンテンツ対応のHTMLファイルは消去されません。ローカルコンテンツを表示する操作（☞10-9ページ）を行うとHTMLファイルを表示することができます。

■メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用率と空き容量を確認することができます。

1 **次の操作でメモリカード使用状況画面を呼び出す**

① [Menu][↓]の順に押す
② [✣]で「**メモリカード**」を選択し、[■]を押す
③ [↕]で「**メモリカード使用状況**」を選択し、[■]を押す

2 **[↕]で確認したい内容を表示する**

データの転送

V603Tとメモリカード間で、各種データをコピー／移動／転送することができます。

項　目	内　容
コピー／移動	指定したデータを、メモリカードにコピー／移動します。コピー／移動できるデータは以下に示すデータです。 ・アドレス帳／データフォルダ（ピクチャー※／メロディ／アニメーション／ムービー／オーディオ※／ビデオ※／ボイス／etc／ユーザー作成フォルダ）、デジタルカメラデータ／Vアプリライブラリ※／ウェブのメッセージフォルダ※／ウェブのブックマーク／ステーションの保存情報※
一括転送	データの種類ごとに、すべてのデータをメモリカードに転送します。一括転送できるデータは上記のコピー／移動できる各データ（デジタルカメラデータを除く）と以下に示すデータです。 ・スケジュール/アクションアイテム／メモ帳／受信メールボックス／送信メールボックス／送信トレイ／ポケットデータベース

※ピクチャーのテレビキャプチャファイル、オーディオ、ビデオのテレビ録画ファイル、Vアプリライブラリ、ウェブのメッセージフォルダ、ステーションの保存情報はコピーできません。

■指定したデータをコピー／移動する

V603Tの各機能から指定したデータをコピー／移動することができます。
V603Tとメモリカード間のデータのコピー／移動は、各機能の画面で[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、「**コピー**」、「**移動**」、「**SDへコピー**」、「**SDへ移動**」、「**本体へコピー**」、「**本体へ移動**」が表示される機能や画面で行えます。

例 V603Tのアドレス帳をメモリカードにコピーする場合

1 **アドレス帳確認画面で[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押す**

- アドレス帳については5章を参照してください。
- 右の画面は、アドレス帳確認画面で名前を選択しているときに[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押した場合です。

2 **[↕]で「SDへコピー」を選択し、[■]を押す**

▶アドレス帳選択画面が表示されます。
- アドレス帳を移動する場合は、「**SDへ移動**」を選択します。

3 **[↕]で「アドレス帳1」を選択し、[■]を押す**

▶登録されていないメモリ番号の中で最も小さい番号が表示されます。
- メモリ番号を変更したい場合は、[Clear]で現在表示されているメモリ番号を消去したあと、変更したいメモリ番号を入力してください。

4 **[■]を押す**

▶選択したアドレス帳が、メモリカードのアドレス帳にコピーされます。

重 要

アドレス帳を移動した場合、移動したデータは移動元から消去されます。

補 足

- 本体(データフォルダ)からメモリカードにファイルを移動する場合は、11-22ページを参照してください。
- アドレス帳の以下のデータは、コピー／移動できません。
  - ・顔写真や電話着信画像に設定している著作権データやアニメーションデータ
  - ・サブディスプレイの電話着信画像にムービーファイルが設定されているデータ
  - ・コピー／移動先のメモリ番号がシークレット登録されている場合
- コピー／移動したデータはvファイル(☞11-17ページ)形式で保存されます。

■メモリカードへ転送する

メモリカードへ転送できるデータの種類と、転送後のファイルの状態は以下のとおりです。

項　目	内　容
ひとつのファイルにまとめて保存	以下の各機能では、機能内のデータをひとつの**バックアップファイル**としてメモリカードへ保存します。 ・アドレス帳／スケジュール/アクションアイテム／受信メールボックス／送信メールボックス／送信トレイ／ウェブのブックマーク
個別のファイルに保存	以下の各機能では、機能内のデータが個別にメモリカードに保存されます。 ・ピクチャー／メロディ／アニメーション／ムービー／オーディオ／ビデオ／ボイス／etc.／ユーザー作成フォルダ／Vアプリライブラリ／ウェブのメッセージフォルダ／ステーションの保存情報／メモ帳
ファイルを追加して保存	ポケットデータベースのデータは、最大100件までメモリカードに追加保存することができます。

メモリカードへ一括転送／個別転送する

例 V603Tからメモリカードへ個別転送する場合

1 Menu [↓]の順に押す

2 [◆]で「メモリカード」を選択し、[■]を押す

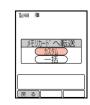
3 [↕]で「データ一括転送」を選択し、[■]を押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する

- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

データ一括転送画面

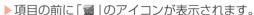
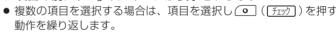
5 [↕]で「メモリカードへ転送」を選択し、[■]を押す

6 [↕]で「カスタム」を選択し、[■]を押す

▶カスタム選択画面が表示されます。

- 一括転送する場合は、「**一括**」を選択し、[■]を押したあと操作**9**へ進みます。

7 [↕]で個別に転送する項目を選択し、[o]（[チェック]）を押す

▶項目の前に「☑」のアイコンが表示されます。

- 複数の項目を選択する場合は、項目を選択し[o]（[チェック]）を押す動作を繰り返します。

8 [✉]（[完了]）を押す

▶転送中の使用制限説明画面が表示されます。

9 [■]を押す

▶選択した項目がメモリカードへ転送されます。

重 要

- データの内容によっては、メモリカードへ転送できないデータもあります。
- この機能は、個人データのバックアップや機種交換時の個人データの移動などを目的としているため、メモリカードへ一括転送／個別(カスタム)転送したアドレス帳の内容は、V603Tで閲覧することはできません。転送したデータをボーダフォン携帯電話に戻すことにより、アドレス帳を利用することができます。
- パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応するソフトウェアが必要となります。
- 著作権で保護されている(コピー不可)データをメモリカードに一括転送した場合、メモリカードにのみ保存され、V603Tからは削除されます(著作権で保護されているデータはコピーできません)。

補足

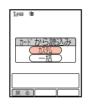
- V603Tからメモリカードへ転送したあと「**××件中××件転送しました**」と表示されます。この表示件数は目安であり、実際に転送された件数とは異なる場合があります。
- アドレス帳をチェックした場合は、操作*8*のあとに画像転送確認画面が表示されます。転送する場合は「**YES**」を選択し、■を押します。
- スケジュール／アクションアイテムが含まれている場合は、操作*8*のあと転送範囲「**全データ／過去を除く全データ**」を選択し、■を押します。

■メモリカードから読み込む

V603Tから転送したメモリカードのデータを、もう一度V603Tへ一括／個別に読み込むことができます。

メモリカードから一括読み込み／個別読み込みする

例 メモリカードからV603Tへ個別読み込みする場合

1 データ一括転送画面（☞10-15ページ）より、◎で「カードから読込み」を選択し、■を押す

2 ◎で「カスタム」を選択し、■を押す

▶カスタム選択画面が表示されます。
- 一括読み込みする場合は、「**一括**」を選択し、■を押したあと操作*5*へ進みます。

3 ◎で個別に転送する項目を選択し、◯（チェック）を押す

▶項目の前に「☑」のアイコンが表示されます。
- 複数の項目を選択する場合は、項目を選択し◯（チェック）を押す動作を繰り返します。

4 ◯（完了）を押す

▶読み込み中の使用制限説明画面が表示されます。

5 ◎ですべての内容を確認し、■を押す

▶選択した項目がV603Tへ転送され自動的に電源を入れ直します。

補足

- バックアップファイル（☞10-14ページ）を読み込む場合は、操作*5*のあと登録方法「**追加して登録／全て削除して登録**」を選択し、■を押します。複数のバックアップファイルを転送する場合は、操作*5*のあと■を押します。続いて転送するデータを選択し、■を押したあと、登録方法を選択してください。
- メモリカードからV603Tへ転送したあと「**××件中××件転送しました**」と表示されます。この表示件数は目安であり、実際に転送された件数とは異なる場合があります。
- 他の携帯電話で作成したバックアップファイルは一部読み込めない場合があります。

■転送したデータを消去する

V603Tから転送したメモリカードのデータを、一括／個別に消去することができます。

転送データを一括消去／個別消去する

例 メモリカードのデータを個別消去する場合

1 データ一括転送画面（☞10-15ページ）より、◎で「転送データ消去」を選択し、■を押す

2 ◎で「個別消去」を選択し、■を押す

- 一括消去する場合は、「**一括消去**」を選択し、■を押したあと操作*5*へ進みます。

3 ◎で消去する項目を選択し、■を押す

▶データ選択画面が表示されます。

4 ◎で消去するファイルを選択し、■を押す

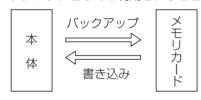
▶消去確認画面が表示されます。

5 ◎で「YES」を選択し、■を押す

▶選択した転送データが消去されます。
- 続けて個別消去する場合は、操作*3*～*5*を繰り返してください。

10 メモリカード

■各機能で設定したデータを転送する（引っ越し機能）

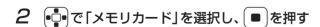
V603Tの各機能で設定したデータをメモリカードとの間でやりとりをすることができます。個人データのバックアップとしてご利用されることをおすすめします。

引っ越しデータの項目は以下から選択できます。

・**グループ設定**（着信イルミ／着信音パターン／電話着信画像を除く）
・**メールフォルダ設定**
・**マナーモード設定**
・**ユーザー辞書**
・**オーナー登録**
・**迷惑リスト**
・**スケジュールオプション**（タイムアップ画面を除く）
・**目覚まし**（アラーム音を除く）

補 足

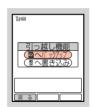
休日設定（☞14-12ページ）もバックアップされます（曜日指定のみ）。

1 Menu □の順に押す

2 ◎で「メモリカード」を選択し、■を押す

3 □で「引っ越し機能」を選択し、■を押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

引っ越し機能画面

5 □で「へバックアップ」を選択し、■を押す

6 □で「カスタム」を選択し、■を押す

▶カスタム選択画面が表示されます。

● すべてのデータを引っ越しする場合は、「**一括**」を選択し、操作**9**へ進みます。

7 □で個別に引っ越ししたい項目を選択し、○（チェック）を押す

▶項目の前に「☑」のアイコンが表示されます。

● 複数のデータを選択する場合は、ファイルを選択し○（チェック）を押す操作を繰り返します。

8 ✉（完了）を押す

▶ファイル暗証番号入力の確認画面が表示されます。

9 ■を押し、ファイルの暗証番号を入力する

▶バックアップ中の使用制限説明画面が表示されます。

● ファイルの暗証番号は、お好きな4桁の番号を入力してください。入力した番号は本体へデータを書き込むときに必要になります。

10 □ですべての内容を確認し、■を押す

▶選択したファイルがメモリカードに登録されます。

重 要

● メモリカードに引っ越ししたファイルをパソコンなどで参照したり、書き替えたりしないでください。データが破損する恐れがあります。
● ファイルの暗証番号はお忘れにならないようご注意ください。また、他人に知られないようご注意ください。

補 足

F23「禁止設定」の「メモリ使用禁止設定」（☞13-5ページ）が「ON」の場合でも引っ越しすることができます。

データを書き込む

1 引っ越し機能画面（☞10-18ページ）より、[↕]で「 へ書き込み」を選択し、[■]を押す

2 [✥]で引っ越ししたいファイルを選択し、[■]を押す

▶ファイル暗証番号入力画面が表示されます。

3 バックアップ時に入力したファイルの暗証番号を入力する

▶書き込み中の使用制限説明画面が表示されます。
- 間違ったファイルの暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

4 [↓]ですべての内容を確認し、[■]を押す

▶V603Tへの書き込みが完了し、自動的に電源を入れ直します。

補足

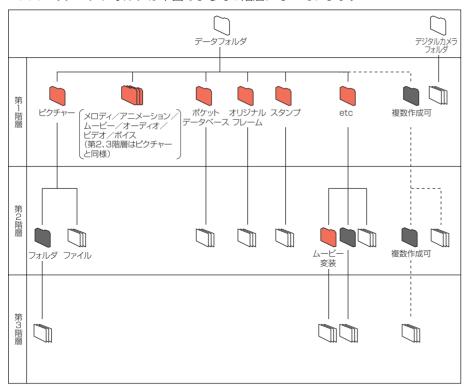
- F23「禁止設定」の「メモリ使用禁止設定」（☞13-5ページ）が「ON」の場合でも引っ越しすることができます。
- 操作*1*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、引っ越ししたファイルの編集（**名称編集**／**1件消去**／**プロパティ**）の操作を行うことができます。

データ管理

データフォルダ/デジタルカメラフォルダについて

V603Tには、ファイルを登録するフォルダがデータフォルダとデジタルカメラフォルダの2種類あります。データフォルダには、12種類のフォルダがあり、その他にお客様が作成したフォルダ(自作フォルダ)を登録することもできます。データフォルダには画像やメロディ、V603T専用のウェブサイト(☞Vodafone live!編)やウェブからダウンロードしたファイルなどを登録でき、デジタルカメラフォルダには、デジタルカメラモード(☞7-7ページ)で撮影した画像を登録することができます。2種類のフォルダとVアプリライブラリを合計して、最大約10Mバイトまたは最大1,000件(あらかじめ登録されているVアプリを含む)まで登録できます。
また、スーパーメールにファイルを添付することもできます(☞11-23ページ)。

■データフォルダの構成

V603Tのデータフォルダは下図のような3階層になっています。

- フォルダとは、ファイルを種類別や目的別に管理しておくためのものです。
- (赤色フォルダ)はあらかじめ登録されているフォルダです。
- (灰色フォルダ)はお客様が作成、登録できるフォルダです(☞11-18ページ)。
- データフォルダの場合は、フォルダは第1階層と第2階層で、ファイルは第2階層と第3階層で管理します。デジタルカメラフォルダの場合は、ファイルのみを第1階層で管理します。
- ファイルは、現在登録しているフォルダから他のフォルダへ移動することもできます(☞11-22ページ)。

■データフォルダに登録できるファイル

データフォルダには、フォルダ別に以下のファイルを登録することができます。

データフォルダ

フォルダ名(第1階層)	登録可能なファイル形式	アイコン	拡張子	表示/再生	メール添付	赤外線通信
ピクチャー※6	JPEGファイル		.jpg、.jpe、.jpeg	○	○	○
			.jpz	○	○	○
	テレビキャプチャファイル		.jpg	○	×	×
	PNGファイル		.png	○	○	○
			.pnz	○	○	○
メロディ※6	オリジナル着信音※1		—	○	○	×
	SMDファイル		.smd	○	○	○
			.smz	○	○	○
	SMAFファイル		.mmf	○	○	○
	40和音SMAFファイル					
	64和音SMAFファイル					
アニメーション※6	JPEGアニメ		—	○	○※2	×
	PNGアニメ		—			
	PNG/JPEGアニメ		—			
	MNGファイル		.mng			○
ムービー※6	ビデオファイル		.3gp	○	○	○
オーディオ※6	オーディオファイル		.mp4	○	×	×
ビデオ	ビデオファイル		—	○	×	×
	テレビ録画ファイル		—	○	×	×
ボイス	ボイスファイル		.tvv、.tvs	○	×	○
ポケットデータベース	データベースファイル		—	○	×	×
オリジナルフレーム※3	フレームファイル		—	○	×	×
スタンプ※3	スタンプファイル		—	○	×	×
etc/お客様の作成したフォルダ(自作フォルダ)※4、※6	テキストファイル		.txt	○	○	○
	vCard		.vcf	○	○	○
	vCalendar		.vcs	○	○	○
	vMessage		.vmg	○	○	○
	vBookmark		.vbm、.url	○	○	○
	vNote		.vnt	○	○	○
	不明ファイル		.bmp、.mp4、.noa、その他	×※5	○	○
ムービー変装※6(etcの第2階層)	変装アイテムファイル		.msk	○	○	○

※1 オリジナル着信音は、メール添付(☞11-23ページ)を行うと、SMAFファイル「(SMAF)」になります。
※2 テレビ映像を連続キャプチャして作成したアニメーションファイルは、メール添付をすることはできません。
※3 「**オリジナルフレーム**」フォルダにはバーチャルウィッグやピクチャーつく~るで作成したフレームを登録することができます。「**スタンプ**」フォルダにはピクチャーつく~るで作成したスタンプを登録することができます。ウェブからダウンロードしたフレーム、スタンプは「**ピクチャー**」、「**etc**」と自作フォルダに登録することができます。
※4 「**etc**」と第1階層の自作フォルダには、「**ピクチャー**」、「**メロディ**」、「**アニメーション**」、「**ムービー**」、「**ボイス**」に登録可能なファイルも登録することができます。ただし、第2階層に作成した自作フォルダの場合は、第1階層と同じ形式のファイルのみの登録となります。つまり、「**ピクチャー**」の第2階層に作成した自作フォルダの場合は、JPEGファイル「(JPEG)」とPNGファイル「(PNG)」のみの登録となります。
※5 V603Tでは表示/再生することはできません。
※6 メール添付、赤外線通信の可・不可は、プロパティ(☞11-11ページ)のコピー/転送(赤外線送信は外部転送)の可・不可により変わる場合があります。

デジタルカメラフォルダ

ファイル名（第1階層）	登録可能なファイル形式	アイコン	拡張子	表示	メール添付	赤外線通信
デジタルカメラ画像ファイル	JPEGファイル	JPEG	.jpg	○※1	○	○

※1　DCF規格に準拠しないファイルは表示することはできません。

補足

DCF規格について
DCFはJEIDA（日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。デジタルカメラ画像をさまざまな機器とやりとりできることを目的としています。

保存されているファイルの確認

1 Menu 〔○〕の順に押す

2 〔◎〕で「データ閲覧」を選択し、〔■〕を押す

▶データ閲覧先選択画面が表示されます。

● 待受画面で〔○〕を長く（約1秒以上）押しても、同様の操作が行えます。

3 〔◎〕で「データフォルダ」を選択し、〔■〕を押す

● デジタルカメラの画像ファイルを確認する場合は、「**デジタルカメラフォルダ**」を選択します。

フォルダ選択画面

4 〔◎〕でフォルダを選択し、〔■〕を押す

ファイル選択画面

5 〔◎〕で確認したいファイルを選択し、〔■〕を押す

▶ファイルを確認できます。

● 〔*〕、〔#〕で他のファイルに切り替え表示します。

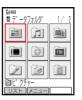
■各種ファイルの確認／編集について

データフォルダに登録されているフォルダやファイルを編集することができます。
各操作について、詳しくは11-18ページ以降を参照してください。

● **ディスプレイ表示は、サムネイル表示の例です。表示はリスト表示に変更することもできます（☞11-11ページ）。**

フォルダを選択した場合

左の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

フォルダ消去：選択しているフォルダ内にあるフォルダとファイルをすべて消去します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去されません。

左の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

名称編集：選択しているフォルダの名称を編集します（※）。
アイコン変更：フォルダのアイコンを変更します（※）。
貼付け：クリップボード（☞4-19ページ）に記憶されているファイルを、選択しているフォルダ内に貼り付けます。
セキュリティ設定：データの確認時に操作用暗証番号の入力が必要になります。
赤外線フォルダ送信：選択しているフォルダとフォルダ内のすべてのデータを赤外線通信によって送信します。
フォルダ作成：新しいフォルダを作成します。
SDへ切替：メモリカード内のデータフォルダに切り替えます。
※の操作は自作フォルダでのみ選択できます。

「**フォルダ消去**」については上記を参照してください。
保護されているファイルがある場合は、消去を行うか行わないかを選択します。

ピクチャー／テレビキャプチャファイルを選択した場合

左上の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

名称編集：選択しているファイルの名称を編集します。
1件消去：選択しているファイルを消去します（保護されているファイル以外）。
プロパティ：ファイル名、ファイル形式、画像サイズ、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送・デジタルカメラ登録の可・不可を表示します。
メール添付：選択しているファイルをスーパーメールに添付します。
各種設定へ：選択しているファイルを以下の項目に設定することができます。
メインディスプレイ：通常壁紙、発信イラスト、通話中イラスト、設定イラスト、ウェイクアップ画面、パワーオフ画面、電話着信画像
サブディスプレイ：通常壁紙、目覚まし、スケジュール、アクションアイテム、電話着信画像
画像編集：「**画像サイズ変更**」、「**フレーム合成**」、「**スタンプ貼付**」、「**テキスト貼付**」、「**マーカースタンプ**」、「**画像アレンジ**」を行うことができます（各種設定されているファイルを除く）。

保護／解除：選択しているファイルを保護または解除します。
コピー：選択しているファイルを本体やメモリカードのフォルダ内にコピーします。
移動：選択しているファイルを本体やメモリカードの別のフォルダに移動します。
並び替え：ファイルや自作フォルダの一覧をさまざまな順序に並び替えます。
JPEG/PNG変換：ファイル形式を「**JPEG形式**（**ファイン**、**ノーマル**、**エコノミー**）」と「**PNG形式**」から選択し変換します（各種設定されているファイルを除く）。
4分割画像結合：命名規約（☞11-26ページ下段の補足）で保存されている4つの画像を検索し、結合します。
アニメつく～る：選択しているファイルを「**アニメつく～る**」の1コマ目に設定します。
連続表示：フォルダ内にあるすべてのピクチャーファイルを切り替えて表示します。
デジタルカメラフォルダへ：DCF規格に準拠したファイルを本体やメモリカードのデジタルカメラフォルダに登録します。
赤外線1件送信：選択しているファイルを赤外線通信によって送信します。
フォルダ作成：新しいフォルダを作成します。
SDへ切替：メモリカード内のデータフォルダに切り替えます。

- テレビ映像やテレビ録画をキャプチャして作成したピクチャーファイルは、「**メール添付**」、「**各種設定へ**」、「**画像編集**」、「**4分割画像結合**」、「**アニメつく～る**」を選択することはできません。
- 「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときはを押します）。

メロディファイルを選択した場合

左上の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送の可・不可、タイトルを表示します。
各種設定へ：「**電話着信**」、「**（普）着信**」、「**（高）着信**」、「**速達着信**」、「**レポート着信**」、「**スーパーメール着信**」、「**ウェブ着信**」、「**ステーション着信**」、「**ウェイクアップ音**」、「**ボタン確認音**」（オリジナル着信音、SMDファイルを除く）、「**オープン音**」、「**クローズ音**」に設定します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**SDへ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

- メロディを再生する場合は、（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、■を押してください。
  停止する場合は、（停止）を押します。
- メロディ確認時の音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）が設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量の設定に従います。
- メロディを再生中に で音量を調節することができます。

アニメーションファイルを選択した場合

左上の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送の可・不可を表示します。
MNG変換：PNGアニメ、JPEGアニメ、PNG／JPEGアニメファイルをMNG形式に変換します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**各種設定へ**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**SDへ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

- アニメーションファイルは、通話中イラスト、設定イラストに設定することはできません。
- テレビ映像を連続キャプチャして作成したアニメーションファイルは、「**メール添付**」、「**各種設定へ**」を選択することはできません。

ムービーファイルを選択した場合

左上の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

各種設定へ：「**電話着信画像**」（サブディスプレイ）に設定します。
サムネイル作成：ムービーファイル選択画面にサムネイル画像が表示されない場合に使用します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**SDへ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。
「**プロパティ**」については、アニメーションファイルを選択した場合（☞上記）を参照してください。

- ムービーを確認する場合は、（▶再生）を押します。

オーディオファイル（着うた®プレイヤー）を選択した場合

左上の画面で Menu （メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送の可・不可、再生時間、タイトル、アーティスト、権利情報、説明を表示します。
各種設定へ：「**電話着信**」、「**（普）着信**」、「**（高）着信**」、「**速達着信**」、「**レポート着信**」、「**スーパーメール着信**」、「**ウェブ着信**」、「**ステーション着信**」に設定します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**SDへ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

- 再生する場合は、（再生）を押します。
  停止する場合は、（停止）を押します。

ビデオ／テレビ録画ファイルを選択した場合

左上の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

ムービー写メール変換：選択しているファイル（W320×H240）をメール添付可能なムービーファイルに変換します。

切　出　し：選択しているファイルの一部分を、区間を指定して切り出します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

「**プロパティ**」については、アニメーションファイルを選択した場合（☞11-7ページ）を参照してください。

- ビデオ／テレビ録画を確認する場合は、（▶再生）を押します。
- テレビ録画ファイルは、「**ムービー写メール変換**」、「**切出し**」を選択することはできません。

ボイスファイルを選択した場合

左上の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

各種設定へ：「**電話着信**」、「**（普）着信**」、「**（高）着信**」、「**速達着信**」、「**レポート着信**」、「**スーパーメール着信**」、「**ウェブ着信**」、「**ステーション着信**」に設定します（着信用ボイスで録音したもののみ）。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

「**プロパティ**」については、アニメーションファイルを選択した場合（☞11-7ページ）を参照してください。

- 音声を確認する場合は、（▶再生）を押します。

ポケットデータベースファイルを選択した場合

左上の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可・不可、登録カード件数を表示します。

「**セキュリティ設定**」については、フォルダを選択した場合（☞11-5ページ）または14-51ページを参照してください。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**並び替え**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

- （追加）を押すとカードを新規に追加することができます。
- （検索）を押して指定した検索条件に該当するカードを表示させることができます。

フレームファイルを選択した場合

左上の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイルサイズ、画像サイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送の可・不可を表示します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**並び替え**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

- 「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときはを押します）。

スタンプファイルを選択した場合

左上の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイルサイズ、画像サイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送の可・不可を表示します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**並び替え**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

- 「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときはを押します）。

変装アイテムファイルを選択した場合

左上の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送・保存・外部転送の可·不可、アクセサリ名称、著作権者情報、バージョンを表示します。

ウェブへ：選択しているファイルにURL情報がある場合、ネットワークに接続します。

へコピー：選択しているファイルをメモリカードのムービー変装フォルダ内にコピーします。

へ移動：選択しているファイルをメモリカードのムービー変装フォルダ内に移動します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。

テキストファイルを選択した場合

左上の画面でMenu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

メモ帳へ登録：選択しているファイルの内容をメモ帳に登録します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。
「**プロパティ**」については、アニメーションファイルを選択した場合（☞11-7ページ）を参照してください。

- （内容コピー）を押すとテキストファイルの内容をクリップボード（☞4-19ページ）にコピーします。

vファイルを選択した場合

フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、で「etc」を選択し、を押します。でvファイルを選択し、Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**並び替え**」、「**赤外線1件送信**」、「**フォルダ作成**」、「**へ切替**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞11-5ページ）を参照してください。
「**プロパティ**」については、アニメーションファイルを選択した場合（☞11-7ページ）を参照してください。
ファイルの種類によって以下の項目が表示されます。
vCardを選択した場合：　「**アドレス帳へ登録**」
vCalendarを選択した場合：「**スケジュール アクションアイテムへ登録**」
vBookmarkを選択した場合：「**ブックマークへ登録**」
vMessageを選択した場合：「**メールへ登録**」
vNoteを選択した場合：　「**メモ帳へ登録**」

チェックされているファイルを選択した場合

左の画面でMenu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

一括消去：チェックしたファイルを一括で、消去します（保護されたファイルがある場合は、消去を行うか行わないかを選択します）。
保護／解除：チェックしたファイルを一括で、保護または解除します。
コピー：チェックしたファイルを一括で、本体やメモリカードのフォルダ内にコピーします（変装アイテムファイルを除く）。
移動：チェックしたファイルを一括で、本体やメモリカードの別のフォルダに移動します（※）。
チェックリセット：ファイルのチェックを一括で、解除します。
※変装アイテムファイルの場合は、メモリカードのムービー変装フォルダにのみ移動が可能です。

重要
ファイルを複数チェックして「**一括消去**」を行った場合、数分かかる場合があります。

■データフォルダの表示方法を切り替える

データフォルダのフォルダ選択画面やファイル選択画面をサムネイル表示（アイコンや画像）とリスト表示（文字やガイド）に切り替えることができます。

1 フォルダ選択画面を呼び出す

- フォルダ選択画面の呼び出しかたについては11-4ページを参照してください。

2 でフォルダを選択し、を押す

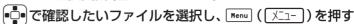
▶ファイル選択画面がサムネイル表示されます。

3 （リスト）を押す

▶ファイル選択画面がリスト表示に切り替わります。

補足
データフォルダ以外にも画面下にサムネイルまたはリストが表示されている場合は、表示を切り替えることができます。

■プロパティを確認する

1 ファイル選択画面（☞11-4ページ）より、で確認したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 で「プロパティ」を選択し、を押す

▶ファイルの詳細情報が表示されます。

11 データ管理

3 を押す

▶詳細情報が確認できます。
- プロパティの内容はファイルの種類によって異なります（☞11-5ページ）。

■メモリの使用状況を確認する

データフォルダ、メール、ウェブ、ステーションなどで使用しているメモリの使用状況を確認することができます。[メモリ状況確認]

1 Menu の順に押す

2 で「メモリ使用状況」を選択し、を押す

3 で確認したい項目を選択し、を押す

▶メモリ使用率が確認できます。
- を押すと、他のメモリ使用率を見ることができます。
- （件数）を押すと、表示中の項目の登録件数を確認することができます。

補 足

- メモリ使用状況の一覧は以下のとおりです。
  - ・**共有メモリ**　：データフォルダ／デジタルカメラフォルダ／Vアプリライブラリ
  - ・**メール**　　　：受信メール／送信メール／送信トレイ
  - ・**ウェブ**　　　：メッセージフォルダ／ブックマーク
  - ・**ステーション**：マイリスト／保存情報
  - ・**アドレス帳**　：アドレス帳
- 共有メモリの最大登録件数1,000件には、あらかじめ登録されているVアプリ「TVnano」（電子番組表）と「V-kara player 2」が含まれます。

画像やアニメーションファイルの利用

壁紙に設定する

データフォルダに登録している画像を壁紙に設定できます。また、設定サイズに対して表示したい部分を移動させたり（トリミング）、拡大縮小（リサイズ）することができます。

例「**通話中イラスト**」に設定する場合

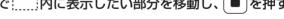
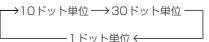
1 次の操作で各種設定画面を呼び出す

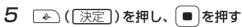
① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する
② で設定したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す
③ で「**各種設定へ**」を選択し、を押す

2 で「メインディスプレイ」を選択し、を押す

▶メインディスプレイ設定画面が表示されます。

3 で「通話中イラスト」を選択し、を押す

4 で内に表示したい部分を移動し、を押す

▶トリミングされた画像が表示されます。
- を押すたびに、画像の移動単位は次のように切り替わります。

- （拡大縮小）を押すと、リサイズの操作を行うことができます。リサイズの方法については7-37ページの表を参照してください。

5 （決定）を押し、を押す

▶ファイル名の入力画面が表示されます。

6 ファイル名を入力し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

7 で登録したいフォルダを選択し、(決定)を押す

▶トリミングした画像が別ファイルとして登録され、通話中イラストに設定されます。

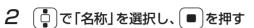
データフォルダに登録している画像で最大9コマのアニメーションを作成することができます。作成したアニメーションはデータフォルダに登録することができます。
[アニメつく～る]

1 次の操作でアニメつく～る画面を呼び出す

① ファイル選択画面(☞11-4ページ)を表示する

② で1コマ目に設定したいファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す

③ で「**アニメつく～る**」を選択し、を押す

2 で「名称」を選択し、を押す

▶ファイル名の入力画面が表示されます。

3 名称を入力し、を押す

▶ファイル名が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

4 で「画像設定」を選択し、を押す

▶1コマ目の画像が設定されます。

5 で2コマ目を選択し、を押す

▶画像選択先画面が表示されます。

6 で「本体」を選択し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには選択可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードの画像を登録する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

7 で「ピクチャー」を選択し、を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。
- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。
- (確認)を押すと、選択しているファイルが確認できます。

8 で設定したい画像を選択し、を押す

▶2コマ目の画像が設定されます。
- アニメーションは2コマ以上設定しないと登録できません。
- (再生)を押すとアニメーションが再生されます。
  (停止)を押すと再生が終了します。

9 3コマ目以降を設定する

操作*5*～*8*を繰り返します。

10 (完了)を2回押す

▶保存先選択画面が表示されます。

11 で「本体」を選択し、を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

12 で登録したいフォルダを選択し、(決定)を押す

▶データフォルダに登録されます。

重 要

データフォルダに登録したアニメーションは1コマごとに個別に消去することはできません。登録したアニメーションを消去する場合は、ファイルを消去する(☞11-20ページ)を参照してください。

補 足

- データフォルダが一杯の場合は、設定した画像を登録できません。登録する場合は、操作*11*のあと「**YES**」を選択し、不要なファイルを消去してください。
- 操作*4*、*8*の画面でMenu(メニュー)を押して、設定した画像の消去(**1件消去**／**全件消去**)の操作を行うことができます。
- Menuの順に押したあと「**ピクチャーつく～る**」を選択し、を押してアニメつく～るの操作を行うこともできます。

メロディファイルの利用

着信音に設定する

データフォルダに登録しているメロディを着信音に設定できます。

1 次の操作でサブメニュー画面を呼び出す

① フォルダ選択画面（☞11-4ページ）を表示する
② 十字キーで「**メロディ**」を選択し、■を押す
③ 十字キーで設定したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

2 ↕で「各種設定へ」を選択し、■を押す

3 ↕で設定したい項目を選択し、■を押す

▶着信音が設定されます。

音量を調節する

例 電話着信の着信音量を設定する場合

1 □● 1 0 の順に押す

2 ↕で「電話着信」を選択し、■を押す

3 ↕で「着信音量」を選択し、■を押す

▶着信音量設定画面が表示されます。

- ◈（確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く（☞9-2ページ））。

4 ↕で音量を調節し、■を押す

▶着信音量が設定されます。

vファイルの利用

■vファイルについて

vファイルは、V603Tのアドレス帳やスケジュールを他のvファイル対応ボーダフォン携帯電話やパソコンなどとやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル形式の総称です。
vファイルは、メールに添付（☞11-23ページ、Vodafone live!編）したり、赤外線通信（☞12-2ページ）を利用して送受信することができます。また、vファイルをメモリカードに保存すれば、他のメモリカード対応ボーダフォン携帯電話やパソコンなどに取り付けて利用できます。
さらに、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどから受信したvファイルをデータフォルダに保存して各機能に取り込むと、V603Tで利用することができます。

- **別途「miniSD™アダプタ（市販）」や「SD™メモリカードアダプタ（市販）」が必要になる場合があります。**
- **パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応するソフトウェアが必要となります。**
- **vファイルの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりできない場合があります。**

■vファイルを作成／保存する

1 vファイルで保存するデータを表示する

- **アドレス帳を呼び出す**（☞5-18ページ）
  ・オーナー登録を保存する場合は□● 4 6 の順に押します。
- **スケジュール／アクションアイテムを呼び出す**（☞14-9ページ）
- **メールを呼び出す**（☞Vodafone live!編）
- **メモ帳を呼び出す**（☞14-30ページ）

2 Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 ↕で保存ファイル形式を選択し、■を押す

▶保存先選択画面が表示されます。

- アドレス帳の場合は「**vCardで保存**」を選択します。
- スケジュール／アクションアイテムの場合は「**vCalendarで保存**」を選択します。
- メールの場合は「**vMessageで保存**」を選択します。
- メモ帳の場合は「**データフォルダに保存**」を選択し、続けて「**vNote形式**」を選択します。

4 ↕で「本体」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。

- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

5 [◎]で保存したいフォルダを選択し、[決定]（[決定]）を押す

▶vファイルがデータフォルダに登録されます。

重要

繰返し設定（☞14-6ページ）されているスケジュールをvファイルに変換すると、繰返し設定は破棄されます。

■vファイルを各機能に取り込む

1 次の操作でサブメニュー画面を呼び出す

① フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、[◎]で「etc」を選択し、[■]を押す

② [◎]で登録したいvファイルを選択し、[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押す

2 [◎]で登録先の各機能を選択し、[■]を押す

▶vMessageがメールボックスへ登録されます。

- vCardの場合は「**アドレス帳へ登録**」を選択します。
- vCalendarの場合は「**スケジュール アクションアイテムへ登録**」を選択します。
- vBookmarkの場合は「**ブックマークへ登録**」を選択します。
- vMessageの場合は「**メールへ登録**」を選択します。
- vNoteの場合は「**メモ帳へ登録**」を選択します。

vMessage以外はこのあと、操作*3*を行います。

3 [◎]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶vCardはアドレス帳へ、vCalendarはスケジュール／アクションアイテムへ、vBookmarkはブックマークへ、vNoteはメモ帳へ登録されます。

- vBookmarkの場合は「**YES**」の替わりに「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

フォルダ／ファイルの編集

■新しいフォルダを作成する

データフォルダの第1階層と第2階層にフォルダを作成することができます（ポケットデータベース、オリジナルフレーム、スタンプを除く）。

1 フォルダ／ファイル選択画面（☞11-4ページ）より、[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [◎]で「フォルダ作成」を選択し、[■]を押す

3 [◎]で「名称」を選択し、[■]を押す

▶フォルダ名の入力画面が表示されます。

4 名称を入力し、[■]を押す

▶フォルダ名が設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- すでに登録している名称と同じ名称は登録できません。

5 [◎]で「カテゴリアイコン」を選択し、[■]を押す

▶アイコン選択画面が表示されます。

6 [◎]で設定したいアイコンを選択し、[■]を押す

▶アイコンが設定されます。

- [Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して入力データを消去することができます。

7 [決定]（[決定]）を押す

▶フォルダが追加されます。

補足

- **フォルダのアイコンを変更する場合は…**
  操作*7*の画面で[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押したあと「**アイコン変更**」を選択し、[■]を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダのアイコンは変更できません。
- **フォルダを消去する場合は…**
  操作*7*の画面で消去したいフォルダを選択し、[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押したあと「**フォルダ消去**」を選択し、[■]を押します。続いて操作用暗証番号を入力したあと「**YES**」を選択し、[■]を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去されず、フォルダ内にあるフォルダとファイルのみが消去されます。
- **データフォルダのデータをすべて消去する場合は…**
  待受画面で[Menu][◎]の順に押したあと「**データ閲覧**」を選択し、[■]を押します。「**データフォルダ**」を選択し、[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して[■]を押します。続いて操作用暗証番号を入力したあと「**YES**」を選択し、[■]を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去できません。

■フォルダ名やファイル名を変更する

例 ファイルの名称を変更する場合

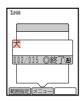
1 フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、でフォルダを選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

2 で名称編集したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 で「名称編集」を選択し、■を押す

▶現在のファイル名が表示されます。

4 名称を修正し、■を押す

▶名称が変更されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。
  フォルダ名の登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- 以下の半角記号や絵文字、「↵」は、ファイル名に使用できません。

/ ￥ : ; ＊ ? " < >	.

- すでに登録している名称と同じ名称は登録できません。

補足

フォルダ名を変更する場合は…
フォルダ選択画面（☞11-4ページ）で名称編集したい自作フォルダを選択し、Menu（メニュー）を押して、操作*3*以降を行ってください。

■ファイルを消去する

1 次の操作で消去確認画面を呼び出す

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② で消去したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

③ で「**1件消去**」を選択し、■を押す

2 で「YES」を選択し、■を押す

▶ファイルが消去されます。

補足

- 複数のファイルを消去する場合は、操作*1*の②でファイルを選択し、（チェック）を押す操作を繰り返したあとMenu（メニュー）を押します。
- 保護設定されているファイルは消去することができません。保護を解除（☞下記）したあと、消去の操作を行ってください。
- 通常壁紙に設定されている画像ファイルや着信音に設定されているメロディファイルなどを消去しようとすると、操作*1*のあと「**各種設定で設定されています消去しますか？**」と表示されます。消去する場合は「**YES**」を選択し、■を押します。また、消去した場合は、ファイルが設定されていた機能の画像やメロディなどはお買い上げ時の設定に戻ります。

■ファイルを保護する

ファイルを誤操作などで消去するのを防ぐことができます。

1 次の操作で保護／解除を行う

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② で保護したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

③ で「**保護／解除**」を選択し、■を押す

▶選択しているファイルが保護されます。

重要

保護設定はファイルの消去を防止するためのものであり、上書き保存を防止することはできません。

補足

- 保護設定されているファイルを解除する場合も、同様の操作を行ってください。
- 複数のファイルを保護する場合は、操作*1*の②でファイルを選択し、（チェック）を押す操作を繰り返したあとMenu（メニュー）を押します。
- データフォルダをリスト表示にしている場合、ファイルの保護状態は右の画面のようにガイド表示されます。

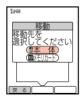
■ファイルを移動する

ファイルを登録しているフォルダから、他のフォルダやメモリカードのフォルダに移動することができます。

例 本体からメモリカードにファイルを移動する場合

1 次の操作で移動先選択画面を呼び出す

① ファイル選択画面(☞11-4ページ)を表示する

② でファイルを移動したいファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す

③ で「**移動**」を選択し、を押す

2 で「メモリカード」を選択し、を押す

▶メモリカードのフォルダ選択画面が表示されます。

● ファイル形式(☞11-3ページ)によって、移動先として表示されるフォルダは異なります。

3 で移動先のフォルダを選択し、(決定)を押す

▶選択したフォルダにファイルが移動されます。

重 要

プロパティ(☞11-11ページ)で外部転送が「**不可**」と表示されているファイルは、メモリカードに移動できません。

補 足

● データベースファイルの移動については14-48ページの補足を参照してください。
● 複数のファイルを移動する場合は、操作*1*の②でファイルを選択し、(チェック)を押す操作を繰り返したあとMenu(メニュー)を押します。
● 壁紙に設定されている画像ファイルや、着信音に設定されているメロディファイルなどをメモリカードに移動しようとすると、操作*2*のあと「**各種設定で設定されています移動しますか?**」と表示されます。移動する場合は「**YES**」を選択し、を押します。また、移動した場合は、ファイルが設定されていた機能の画像やメロディなどはお買い上げ時の設定に戻ります。

■ファイルをスーパーメールに添付する

1 次の操作でスーパーメール作成画面を呼び出す

① ファイル選択画面(☞11-4ページ)を表示する

② でメールに添付したいファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す

③ で「**メール添付**」を選択し、を押す

▶ファイルが添付され、スーパーメールの作成画面が表示されます。
添付済みを示す「」のアイコンが表示されます。

● スーパーメールの操作についてはVodafone live!編を参照してください。

重 要

プロパティ(☞11-11ページ)でコピー/転送が「**不可**」と表示されているファイルはメールに添付できません。

補 足

添付する画像サイズがW240×H320を超えたり、ファイルサイズが約6Kバイトを超える場合は、操作*1*のあと添付方法を選択して送信することができます(☞Vodafone live!編)。

■その他の編集機能

ファイル形式を変更する

画像のファイル形式を変更することができます。

1 次の操作でJPEG/PNG変換画面を呼び出す

① ファイル選択画面(☞11-4ページ)を表示する

② でファイル形式を変更したいファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す

③ で「**JPEG/PNG変換**」を選択し、を押す

2 でファイル形式を選択し、を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

3 で「上書き保存」を選択し、を押す

▶ファイル形式を変更した画像が上書き登録されます。

重 要

- ファイル形式を変更すると、画質やファイルサイズが変化する場合があります。
- 縦320ドットまたは横240ドットを超える画像や各種設定で設定済みの画像の場合、ファイル形式は変更できません。

ファイルをコピーする

データフォルダに登録しているファイルを本体やメモリカードのデータフォルダにコピーすることができます。

例 本体からメモリカードにファイルをコピーする場合

1 次の操作でコピー先選択画面を呼び出す

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② [◆]でコピーしたいファイルを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

③ [◆]で「**コピー**」を選択し、[■]を押す

2 [◆]で「メモリカード」を選択し、[■]を押す

▶メモリカードのフォルダ選択画面が表示されます。
- ファイル形式（☞11-3ページ）によって、コピー先として表示されるフォルダは異なります。

3 [◆]でコピー先のフォルダを選択し、[✉]（[決定]）を押す

▶選択したフォルダにファイルがコピーされます。

重 要

プロパティ（☞11-11ページ）でコピー／転送が「**不可**」と表示されているファイルはコピーできません。

補 足

複数のファイルをコピーする場合は、操作*1*の②でファイルを選択し、[✉]（[チェック]）を押す操作を繰り返したあとチェックしたファイルのひとつを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押します。

ファイルをチェックをする

フォルダ内のファイルにチェックを入れることができます。チェックを入れたファイルは、ファイル移動（☞11-22ページ）やファイル消去（☞11-20ページ）などの操作を一度に行うことができます。

1 ファイル選択画面（☞11-4ページ）より、[◆]でチェックを入れたいファイルを選択する

2 [✉]（[チェック]）を押す

▶ファイルがチェックされ、「☑」のアイコンが表示されます。
- すべてのチェックを解除する場合は、チェックしたファイルのひとつを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押したあと「**チェックリセット**」を選択し、[■]を押します。
- 続けてチェックを設定（解除）する場合は、[◆]を押してファイルを選択し、[✉]（[チェック]）を押します。

連続表示を行う

ピクチャーファイルを、自動的に切り替えて表示させることができます。

1 次の操作で連続表示を行う

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② [◆]で先頭のファイルを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

③ [◆]で「**連続表示**」を選択し、[■]を押す

▶ピクチャーファイルが約2秒ごとに切り替わって表示されます。
- [○]（[停止]）を押すと、ファイル選択画面に戻ります。

ファイルを貼り付ける

選択したフォルダにクリップボード（☞4-19ページ）に記憶されているファイルを貼り付けて、データフォルダのファイルとして登録することができます。

1 フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、[◆]で貼り付け先のフォルダを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [◆]で「貼付け」を選択し、[■]を押す

- 選択しているフォルダに貼り付けることができるファイルのみが表示されます。
- [Menu]（[メニュー]）を押すと「**プロパティ**」を選択できます。
- テキストファイルの場合は、[■]を押すとファイルの内容を確認することができます。

3 [◆]で貼り付けたいファイルを選択し、[○]（[チェック]）を押す

▶ファイルの前に「☑」のアイコンが表示されます。

4 [✉]（[完了]）を押す

▶選択したフォルダにファイルが登録されます。

補 足

画像やメロディをクリップボードに記憶するには、ウェブやステーションの情報の中から画像やメロディをコピーします（☞Vodafone live!編）。

4分割画像を結合する

所定の命名規約に従ったファイル名で保存されていて、W320×H320以内のJPEG形式画像が4つある場合、自動的に結合することができます。

1 次の操作で4分割画像結合を行う

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② [十字キー]で結合したいファイルを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

③ [上下キー]で「**4分割画像結合**」を選択し、[■]を押す

▶画像が結合され、元の画像と同じフォルダに登録されます。

● ファイル名は「○○.jpg」となります。

補 足

命名規約ファイルについて

命名規約ファイルは、以下の操作で作成されます。

・スーパーメールのファイル添付方法で4分割された画像をデータフォルダに登録した場合（☞Vodafone live!編）

・「**名称編集**」（☞11-20ページ）で命名規約に従ったファイル名に変更した場合

「○○_1-1-04.jpg」、「○○_2-1-04.jpg」、
「○○_1-2-04.jpg」、「○○_2-2-04.jpg」

画像の配置

デジタルカメラフォルダに登録する

データフォルダに登録しているDCF規格（☞11-4ページ補足）に準拠したファイルを、本体やメモリカードのデジタルカメラフォルダに登録することができます。

1 次の操作でデジタルカメラ登録先選択画面を呼び出す

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② [十字キー]で登録したいファイルを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

③ [上下キー]で「**デジタルカメラフォルダへ**」を選択し、[■]を押す

2 [上下キー]で「本体」を選択し、[■]を押す

▶デジタルカメラフォルダにファイルが登録されます。

● メモリカードに登録する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

重 要

プロパティ（☞11-11ページ）でデジタルカメラ登録が「**不可**」と表示されているファイルはデジタルカメラフォルダに登録できません。

ファイルを並び替える

データフォルダに登録しているファイルの一覧をさまざまな順序に並び替えて閲覧することができます。
並び替えは以下の種類から選択することができます。

項 目	内 容
日付	登録の日付によって並び替えます：古→新／新→古
ファイル名	ファイルの名前によって並び替えます： 昇順（半角数字→半角英字→全角記号→全角数字→全角英字→ひらがな→カタカナ→漢字→半角カナ） 降順（上記の逆順）
ファイルサイズ	ファイルの大きさによって並び替えます：大→小／小→大

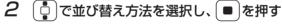
1 次の操作で並び替え選択画面を呼び出す

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② [Menu]（[メニュー]）を押す

③ [上下キー]で「**並び替え**」を選択し、[■]を押す

並び替え
並び替えなし
日付
ファイル名
ファイルサイズ
閉じる

2 [上下キー]で並び替え方法を選択し、[■]を押す

▶並び替え方法の順序選択画面が表示されます。

3 [上下キー]で順序を選択し、[■]を押す

▶ファイルが並び替えられます。

赤外線を利用して送信する

データフォルダに登録しているファイルを赤外線通信（☞12-2ページ）によってボーダフォン携帯電話やパソコンに送信します。

1 次の操作でファイル名の入力画面を呼び出す

① ファイル選択画面（☞11-4ページ）を表示する

② [十字キー]で送信したいファイルを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

③ [上下キー]で「**赤外線1件送信**」を選択し、[■]を押す

2 ファイル名を入力し、[■]を押す

▶赤外線1件送信の確認画面が表示されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

3 [◎]で「YES」を選択し、[■]を2回押す

▶選択したファイルが送信されます。

補足

赤外線通信でフォルダを送信する場合は…
フォルダ選択画面（☞11-4ページ）で送信したいフォルダを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押したあと「**赤外線フォルダ送信**」を選択し、[■]を押します。このあと操作用暗証番号を入力し、操作*2*以降を行ってください。

MNG形式に変換する

PNGアニメ、JPEGアニメ、PNG／JPEGアニメファイルをMNG形式に変換することができます。MNG再生可能なパソコンなどとやりとりすることができます。

1 次の操作でファイル名の入力画面を呼び出す

① フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、
[◎]で「**アニメーション**」を選択し、[■]を押す
② [◎]で変換したいファイルを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す
③ [◎]で「**MNG変換**」を選択し、[■]を押す

2 ファイル名を入力し、[■]を押す

▶選択したファイルがMNG形式に変換されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

ファイルを切り出す

ビデオファイルの一部分を、区間を指定して切り出すことができます。
- 切り出し方法については7-48ページを参照してください。

ムービー写メールに変換する

画像サイズがW320×H240のビデオファイルをメール添付可能なムービーファイルに変換し、スーパーメールに添付することができます。
- 変換方法については7-50ページを参照してください。

変装アイテムファイルからウェブへ接続する

変装アイテムファイルにURL情報がある場合、ネットワークに接続することができます。

1 次の操作でウェブ接続画面を呼び出す

① フォルダ選択画面（☞11-4ページ）より、
[◎]で「**etc**」を選択し、[■]を押す
② [◎]で「**ムービー変装**」を選択し、[■]を押す
③ [◎]で接続したいデータを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す
④ [◎]で「**ウェブへ**」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶情報画面が表示されます。

11 データ管理

赤外線通信

赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信を利用して、アドレス帳やスケジュール、撮影した写真、データフォルダなどを赤外線通信に対応したボーダフォン携帯電話やパソコンなどと送受信したり、V603Tをテレビなど家電製品のリモコンとして利用することができます。
赤外線通信を利用して、以下のデータを送受信できます。

- **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞1-19ページ）の操作を行ってください。**

機　能	1件送信	全件送信	1件受信	全件受信	備　考
アドレス帳	○	○	○	○	全件送信では、オーナー情報も送信されます。全件受信では、1件目のアドレス情報がオーナー情報として登録される場合があります。
オーナー情報	○	－	－	－	－
スケジュール	○	○	○	○	－
アクションアイテム	○	－	○	－	－
メモ帳	○	○	○	○	－
データフォルダ（本体）	○	○	○	○	フォルダ送信、フォルダ受信も可能です（☞12-5ページ）。
メモリカード	○	－	－	－	ファイルを送信できます。V603Tで受信した場合はデータフォルダ（本体）に受信します。
デジタルカメラフォルダ	○	－	○	－	受信したJPEGファイルがDCF規格に準拠している場合は、デジタルカメラフォルダに登録されます。
メール	○	○	○	○	受信メール、送信メール、送信トレイに保存されているメールのみ送信できます。
ブックマーク	－	－	○	○	－

・1件送信は、データを1件選択して送信する方法で、各機能の画面から行います（☞12-4ページ）。
・フォルダ送信は、データフォルダのフォルダを選択して、フォルダ内のデータを全件送信する方法で、データフォルダを起動して行います（☞12-5ページ）。
・全件送信は、機能を選択してデータを全件送信する方法で、マルチメニューより「**赤外線通信**」を起動して行います（☞12-6ページ）。
・1件受信、フォルダ受信、全件受信は、マルチメニューより「**赤外線通信**」を起動して行います（☞12-7ページ）。

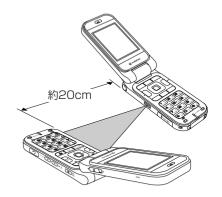
重要

赤外線通信機能を利用しているときは、自動的にオフラインモード（☞3-6ページ）に設定されます。送受信が完了すると、オフラインモードは解除されます。

補足

V603Tの赤外線通信機能は、IrMC 1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC 1.1に準拠していても、送受信できない場合があります。

■赤外線通信利用時のご注意

- **V603Tと送受信するボーダフォン携帯電話などを約20cmに近づけ、両方の赤外線ポートをまっすぐに向き合うようにしてください。また、間に物を置かないでください。**
- **データの送受信が終わるまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。**
- **直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。**
- **赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。**

認証パスワード設定

赤外線通信を利用してデータの全件送受信を行う場合、あらかじめ受信側に設定しておいた認証パスワードを、送信側で入力する必要があります。
ここでは、受信側に認証パスワードを設定する操作を説明します。
設定した認証パスワードは変更することができます。

1 **Menu ［□］の順に押す**

2 **［◎］で「赤外線通信」を選択し、［■］を押す**

▶赤外線通信画面が表示されます。

赤外線通信画面

3 **［◎］で「認証パスワード」を選択し、［■］を押す**

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

4 操作用暗証番号を入力する

▶認証パスワードの入力画面になります。
● 間違った操作用暗証番号を入力すると赤外線通信画面に戻ります。

5 新しい認証パスワードを入力する

▶認証パスワードが設定されます。
● 入力した認証パスワードは「*」で表示されます。

赤外線通信の利用

■データを送信する

データを送信する方法には、1件送信（☞下記）、フォルダ送信（☞12-5ページ）、全件送信（☞12-6ページ）があります。

データを1件ずつ送信する

1件送信は、各機能の画面から行います。

例 アドレス帳を1件送信する場合

1 1件送信するアドレス帳を呼び出す

● アドレス帳の呼び出しかたについては5-18ページを参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 [方向キー]で「赤外線1件送信」を選択し、[■]を押す

▶ファイル名入力画面が表示されます。

4 ファイル名を入力し、[■]を押す

▶確認画面が表示されます。
● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● 登録可能文字数は、送信するデータにより異なります。

5 受信側の機器を受信待機状態にする

6 [方向キー]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶確認画面が表示されます。

7 [■]を押す

▶自動的にオフラインモードに設定され、1件送信が始まります。

重要

● データフォルダに保存されている以下のファイルは送信できません。
・転送不可に設定されているファイル
・赤外線送信できない種類のファイル（☞11-3ページ）
・500Kバイトを超えるファイル
● メモリカードのファイルを送信しているときにメモリカードを抜くと、データの消失やカードの破損の原因となります。

補足

デジタルカメラフォルダのデータを送信する場合は、操作*3*で確認画面が表示されます。操作*5*から操作を続けてください。

データをフォルダ単位で送信する

データフォルダの送信可能なファイルは、フォルダ単位でまとめて送信することができます。

1 フォルダ／ファイル選択画面（☞11-4ページ）より、[方向キー]で送信したいフォルダを選択し、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。
● 以下のフォルダを選択した場合は、「**赤外線フォルダ送信**」を選択できません。
・**オーディオ／ビデオ／ポケットデータベース／オリジナルフレーム／スタンプ**

2 [方向キー]で「赤外線フォルダ送信」を選択し、[■]を押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号を入力する

▶フォルダ名入力画面が表示されます。
● 間違った操作用暗証番号を入力するとサブメニューに戻ります。

4 フォルダ名を入力し、[■]を押す

▶確認画面が表示されます。
● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。

5 受信側の機器を受信待機状態にする

6 で「YES」を選択し、を押す

▶確認画面が表示されます。

7 を押す

▶自動的にオフラインモードに設定され、フォルダ送信が始まります。

補 足

選択したフォルダ内にあるフォルダ／ファイルも送信されます。

データを全件送信する

全件送信は、マルチメニューより「**赤外線通信**」を起動して行います。

例 スケジュール／アクションアイテムを全件送信する場合

1 **赤外線通信画面（☞12-3ページ）より、で「赤外線一括送信」を選択し、を押す**

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 **操作用暗証番号を入力する**

▶赤外線一括送信データ選択画面が表示されます。

● 間違った操作用暗証番号を入力すると赤外線通信画面に戻ります。

3 で「**スケジュール／アクション**」を選択し、を押す

▶認証パスワードの入力画面になります。

●「**データフォルダ**」を選択した場合は、確認画面が表示されます。このあと操作***6***以降を行ってください。

4 **受信側の機器に設定されている認証パスワードを入力する**

5 で転送したいデータの範囲を選択し、を押す

▶確認画面が表示されます。

6 **受信側の機器を受信待機状態にする**

7 で「YES」を選択し、を押す

▶確認画面が表示されます。

8 を押す

▶自動的にオフラインモードに設定され、全件送信が始まります。

重 要

パソコンへの全件送信は行えません。

■データを受信する

1件受信、フォルダ受信、全件受信は、マルチメニューより「**赤外線通信**」を起動して行います。

例 アドレス帳を全件受信する場合

1 **赤外線通信画面（☞12-3ページ）より、で「赤外線受信」を選択し、を押す**

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 **操作用暗証番号を入力する**

▶確認画面が表示されます。

● 間違った操作用暗証番号を入力すると赤外線通信画面に戻ります。

● 認証パスワードを設定していない場合は、認証パスワードの入力画面になります。認証パスワード設定（☞12-3ページ）の操作***4***～***5***を行って認証パスワードを設定してください。

3 を押す

▶受信待機状態になります。

4 **送信側の機器でアドレス帳全件送信の操作をする**

▶受信が完了すると、登録方法選択画面が表示されます。

● 送信側の機器では、受信側に設定した認証パスワードを入力する必要があります。

5 で登録方法を選択し、を押す

▶受信が始まります。

●「**追加して登録**」を選択した場合は、それまでに登録されていたアドレス帳が残ります。

●「**全て削除して登録**」を選択した場合は、確認画面が表示されます。「**YES**」を選択し、を押すとそれまでに登録されていたアドレス帳がすべて消去されます。

補足

- 1件受信、フォルダ受信の場合に、操作4のあとで受信確認画面が表示されたときは、「YES」を選択し、[■]を押すと受信が始まります。
- 他の機器からファイルを受信した場合、受信したファイルの種類によって登録される機能が異なります。

ファイル形式	機能	備考
vCard※	アドレス帳	・データフォルダの空き容量によっては、顔写真設定などが削除される場合があります。 ・受信したファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。
vCalendar※	スケジュールまたはアクションアイテム	受信したファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。
vNote※	メモ帳	最大で半角512文字、全角256文字を超えた文字は削除されます。
vMessage※	メール	30Kバイトを超えた添付ファイルは削除されます。
vBookmark※	ブックマーク	−
その他	データフォルダ	・拡張子によって保存されるフォルダが異なります（☞11-3ページ）。 ・500Kバイトを超えるファイルは受信できません。また、最大登録可能件数／容量を超えたファイルは受信できません。 ・受信したデータのファイル名の文字数は、最大で半角35文字、全角17文字、拡張子の文字数は、最大で半角5文字です。この文字数を超えた文字は削除されます。 ・受信したフォルダのフォルダ名の文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。この文字数を超えた文字は削除されます。 ・データフォルダに登録されているファイルと同じ名前のファイルを受信した場合、受信したファイルの名前が変更される場合があります。

※ 1件受信の場合、300Kバイトを超えるファイルは受信できません。

赤外線リモコン機能

V603Tをテレビなど家電製品のリモコンとして利用することができます。

- **この機能をご利用になるには、別途、赤外線リモコン機能に対応したVアプリ（☞Vodafone live!編）が必要です。※**
- **V603Tの赤外線ポート（☞1-7ページ）とテレビなど家電製品との間は、約5mに近づけてください。また、間に物を置かないでください。**
- **電池残量が少ない場合、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。**
- **直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に操作できない場合があります。**
- **赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。正常に操作できない場合があります。**

※V603Tにあらかじめ登録されているVアプリ「TVnano」（電子番組表）は、テレビの赤外線リモコン機能に対応しています。

セキュリティ機能

操作用暗証番号の変更

操作用暗証番号を変更することができます（お買い上げ時は、「9999」またはご契約時にお決めいただいた4桁の番号が設定されています）。

1 [メニュー] [2] [8] の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 現在の操作用暗証番号を入力する

▶現在の操作用暗証番号が表示されます。
● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 新しい操作用暗証番号を入力する

▶新しい操作用暗証番号が表示されます。

4 [■] を押す

▶操作用暗証番号が変更されます。

補 足

● オプションサービスの遠隔操作時に必要な交換機用暗証番号は、この操作では変更できません（☞1-24ページ）。
● 暗証番号の入力が必要な機能については、1-24ページを参照してください。

無断で利用されたくないとき

正しい操作用暗証番号を入力しない限り、ダイヤル操作を禁止することができます。[ダイヤル操作禁止]

■ダイヤル操作禁止を設定する

1 [メニュー] [2] [0] の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

▶ダイヤル操作禁止が設定され、待受画面に「**ダイヤル操作禁止**」と表示されます。
● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

重 要

ダイヤル操作禁止中は、サブディスプレイでメールを確認（☞Vodafone live!編）することはできません。

補 足

● ダイヤル操作禁止中でも、以下の操作は行えます。
　・電源ON/OFF
　・ダイヤル操作禁止の解除
　・110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）へ電話をかける
　・電話を受ける
　・応答保留（☞2-7ページ）
　・着信拒否（☞2-11ページ）
　・着信中の着信音量（☞9-2ページ補足）、通話中の受話音量（☞2-12ページ）、スピーカー音量（☞9-18ページ補足）の調節
　・フロントスピーカーへの切り替え（☞9-18ページ）
　・音声メモ（☞2-13ページ）
　・簡易留守録で電話を受ける（☞2-8ページ）
　・かかってきた電話を留守番電話センターに転送する（☞16-5ページ）
● ダイヤル操作禁止中でも、以下の機能は自動的に起動します。
　・スケジュールのアラーム設定（☞14-5ページ）
　・お知らせ君（☞14-13ページ）
　・アクションアイテムのアラーム設定（☞14-20ページ）
　・F52「目覚まし」（☞14-52ページ）
● ダイヤル操作禁止中に電源を切っても、ダイヤル操作禁止は解除されません。

ダイヤル操作禁止を解除する

1 ダイヤル操作禁止設定中に操作用暗証番号を入力する

▶ダイヤル操作禁止が解除されます。

■V603Tを閉じるだけでダイヤル操作禁止を設定する

待受画面で、V603Tを閉じたときやメインディスプレイの表示が消えたとき、また、電源を入れたときに自動的にダイヤル操作を禁止することができます。[簡易ロック]
お買い上げ時はすべて「**OFF**」に設定されています。

項目	内容
本体クローズ※	待受画面でV603Tを閉じたときに、自動的にダイヤル操作が禁止されます。
ディスプレイ省電力※	待受画面でメインディスプレイの表示が消えたときに、自動的にダイヤル操作が禁止されます。
パワーオフ	電源を入れたときに、自動的にダイヤル操作が禁止されます。

※お知らせ一発メニューの表示中、待受Vアプリの起動中（一時停止中も含む）でも、ダイヤル操作は禁止されます。

1 [□■][2][1]**の順に押す**

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **操作用暗証番号を入力する**

- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 [◎]**で禁止するときの動作を選択し、**[■]**を押す**

▶簡易ロック設定画面が表示されます。

4 [◎]**で「ON」を選択し、**[■]**を押す**

▶簡易ロックが設定されます。

重要

「**パワーオフ**」に設定した場合は、一度電源を切り、もう一度電源を入れる操作をしないと、ダイヤル操作は禁止されません。また、簡易ロックの設定を解除するまで、電源を入れるたびにダイヤル操作が禁止されます。

補足

簡易ロックを解除するには、ダイヤル操作禁止を解除（☞13-3ページ）してから、それぞれの簡易ロックの設定を「**OFF**」にしてください。

■アドレス帳の使用／ダイヤル発信／着信を禁止する

アドレス帳の使用を禁止したり、電話をかけることや受けることを禁止することができます。[禁止設定]
お買い上げ時はすべて「**OFF**」に設定されています。

項目	内容
メモリ使用禁止	アドレス帳やリダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリなどを使って電話をかけることを禁止します。ただし、ダイヤルボタンを使って電話をかけることはできます。
ダイヤル禁止	ダイヤルボタンを使って電話をかけることを禁止します。ただし、本体のアドレス帳やリダイヤル、着信履歴から電話をかけることはできます。また、メモリカード内にあるアドレス帳を本体にコピーしたり移動したりすることはできません。
着信禁止	緊急呼び出しの着信を除き電話を受けることを禁止します。ただし、電話をかけることはできます。

1 [□■][2][3]**の順に押す**

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **操作用暗証番号を入力する**

- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 [◎]**で禁止したい機能を選択し、**[■]**を押す**

▶禁止機能設定画面が表示されます。

4 [◎]**で「ON」を選択し、**[■]**を押す**

▶禁止機能が設定されます。

重要

メモリ使用禁止中、ダイヤル禁止中はアドレス帳の登録、消去ができません。

補足

- 110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）については、ダイヤル禁止中でも電話をかけることはできます。また、着信禁止中でも着信します。
- 着信禁止を設定すると、待受画面に「**着信禁止**」と表示されます。また、電話をかけてきた相手には、話中音（プープー…）を返します。

13 セキュリティ機能

電話の着信制限

■迷惑電話拒否を設定する

受けたくない電話番号を拒否電話リストに登録し、着信を拒否することができます（最大20件）。
電話番号は直接入力したり、アドレス帳や着信履歴から選択することができます。

例 着信履歴から登録する場合

1 Menu ▢の順に押す

2 ◈で「迷惑リスト」を選択し、■を押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

3 操作用暗証番号を入力する

▶迷惑リスト設定画面が表示されます。
- 間違った暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

4 ◈で「電話」を選択し、■を押す

- 「**メール**」（拒否アドレスリスト）についてはVodafone live!編を参照してください。
- 「**ワンコール無音設定**」については2-10ページを参照してください。

5 ◈で「拒否電話リスト」を選択し、■を押す

▶拒否電話リストが表示されます。

6 ◯（追加）を押す

▶入力モード選択画面が表示されます。

7 ◈で「着信履歴」を選択し、■を押す

▶着信履歴画面が表示されます。
- 電話番号を入力する場合は「**直接入力**」、アドレス帳から選択して入力する場合は「**アドレス帳**」を選択します。

8 ◈で拒否したい電話番号を選択し、■を押す

▶拒否電話リストに表示されます。
- 引き続き登録する場合は、操作*6*～*8*を繰り返します。

9 ◇（完了）を押す

▶拒否電話リストに登録されます。

10 ◈で「電話番号指定」を選択し、■を押す

▶電話番号指定設定画面が表示されます。

11 ◈で「拒否」を選択し、■を押す

▶迷惑電話拒否が設定されます。

重 要
- 拒否電話リストに110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）は登録できません。
- 拒否電話リストに登録がない場合、「**電話番号指定**」は設定できません。

補 足
操作*8*の画面で Menu （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**編集／1件消去／全件消去**

■特定の着信を拒否する

非通知でかけてきた電話や、公衆電話からかけてきた電話をそれぞれ受けないようにすることができます。また、受けたくない電話番号を拒否電話リスト（☞13-6ページ）に登録し、登録した電話番号からの電話を受けないようにすることもできます。
［指定着信拒否］
お買い上げ時はすべて「**許可**」に設定されています。

項　目	内　容
非通知	非通知でかけてきた電話を受けないようにします。
公衆電話	公衆電話からかけてきた電話を受けないようにします。
通知不可	通知が不可能な電話を受けないようにします。
アドレス帳以外	アドレス帳に登録されていない相手からの電話を受けないようにします。
電話番号指定	**拒否電話リスト**（☞13-6ページ）に登録している相手からの電話を受けないようにします。

1 □● 2 6 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 で拒否したい着信の種類を選択し、■を押す

▶指定着信拒否設定画面が表示されます。

4 で「拒否」を選択し、■を押す

▶指定着信拒否が設定されます。

重 要

● 拒否電話リスト（☞13-6ページ）に登録がない場合、「**電話番号指定**」は設定できません。
● 「**電話番号指定**」を選択し、（リスト）を押して、拒否電話リストを編集することもできます。

補 足

● 非通知拒否を設定すると、相手には「おそれいりますがあなたの電話番号を通知しておかけ直しください」というアナウンスが流れます。
● 指定着信拒否と着信禁止（☞13-5ページ）が設定されている場合は、着信禁止が優先されます。

秘密にしたい電話番号の登録

他人に知られたくないアドレス帳は、シークレットメモリとして登録することができます（最大500件）。シークレットメモリを呼び出す場合は、シークレットモードを「ON」に設定してください。

■シークレットメモリを登録する

通常のアドレス帳をシークレットメモリとして登録します。

1 シークレットメモリにするアドレス帳を検索する

● アドレス帳の検索方法については5-18ページを参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 で「シークレット登録」を選択し、■を押す

▶シークレット登録設定画面が表示されます。

4 で「ON」を選択し、■を押す

▶シークレットメモリとして登録されます。

補 足

● シークレット登録されているアドレス帳は、シークレットモードを「ON」に設定する（☞下記）と表示されます。
● シークレット登録されているアドレス帳には、名前の横に「」が表示されます。
● シークレット登録されている相手へ電話をかけた場合、リダイヤルには記憶されません。
● シークレット登録されている相手から電話がかかってきても、シークレットモードが「OFF」の場合は名前やグループアイコンなどは表示されず電話番号のみ表示されます。

■シークレットモードを設定する

1 □● 2 2 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

▶シークレットモード設定画面が表示されます。
● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 ［上下キー］で「ON」を選択し、［決定キー］を押す

▶シークレットモードが設定され、待受画面に「［アイコン］」が表示されます。

重 要

シークレットモード中に電源を切ると、シークレットモードは解除されます。

補 足

シークレットモード中に着信履歴（☞2-17ページ）などからアドレス帳の登録操作を行った場合も、シークレットメモリとして登録されます。

シークレットメモリを検索する

1 シークレットモードを「ON」に設定し（☞13-9ページ）、アドレス帳を検索する

- アドレス帳の検索方法については5-18ページを参照してください。
- シークレットメモリとして登録されているアドレス帳には、名前の横に「［アイコン］」が表示されます。

補 足

- シークレットメモリの編集や消去なども、通常のアドレス帳と同様の操作で行えます。
- シークレットモードが「**OFF**」の場合は、ヨミガナ検索またはメモリ番号検索でシークレットメモリを呼び出すと、「**登録はありません**」または「**アドレス帳登録はありません**」と表示されます。

通常のアドレス帳に戻す

シークレットメモリを通常のアドレス帳として再登録します。

1 シークレットモードを「ON」に設定し（☞13-9ページ）、アドレス帳を検索する

- アドレス帳の検索方法については5-18ページを参照してください。
- シークレットメモリとして登録されているアドレス帳には、名前の横に「［アイコン］」が表示されます。

2 Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 ［上下キー］で「シークレット登録」を選択し、［決定キー］を押す

▶シークレット登録設定画面が表示されます。

4 ［上下キー］で「OFF」を選択し、［決定キー］を押す

▶シークレットメモリが解除されます。

- 解除すると名前の横の「［アイコン］」はなくなります。

サイドキー誤動作防止設定

V603Tを閉じた状態でのサイドキーの操作を無効にし、カバンやポケットの中での誤動作を防ぐことができます。

サイドキー誤動作防止を設定する

1 ［サイドキー］を押す（約1秒以上）

▶V603Tを閉じた状態でのサイドキー誤動作防止が設定されます。また、待受画面に「［アイコン］」が表示されます。

補 足

- サイドキー誤動作防止中でも、上サイドキーを押してサブディスプレイの照明を点灯（☞8-14ページ）することができます。
- サイドキー誤動作防止を設定して電源を入れ直しても解除されません。

サイドキー誤動作防止を解除する

1 サイドキー誤動作防止設定中に、［サイドキー］を押す（約1秒以上）

▶サイドキー誤動作防止が解除され、待受画面の「［アイコン］」が消えます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

■各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

V603Tの各機能の設定をお買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。[設定リセット]

1 ［□●］［2］［9］の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 ［◇］で「YES」を選択し、［■］を押す

▶各機能の設定が初期状態に戻ります。

● リセットおよび初期状態になる項目については18-2ページを参照してください。

■アドレス帳などの登録内容を消去する

V603Tに登録した以下の内容をすべて消去します。[メモリオールクリア]

登録内容が消去される項目

・アドレス帳
・リダイヤル
・着信履歴
・ノートパッドメモリ
・入力中に中断したオリジナル着信音
・アドレス帳のグループ設定（F37）
・メモ帳
・定型文
・顔文字（ユーザー作成）
・ユーザー辞書（F43）
・学習辞書（予測辞書、パーソナル辞書）
・クリップボード
・スケジュール
・アクションアイテム
・ショートカットメニュー
・簡易留守録
・音声メモ
・時間割
・QRコードデータ
・くーまんの部屋（マイデータ登録は除く）

1 ［□●］［2］［7］の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 ［◇］で「YES」を選択し、［■］を押す

▶メモリ内容が消去されます。

■すべての登録内容を消去する

V603Tの登録内容を消去し、各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[オールリセット]

1 ［□●］［2］［5］の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 ［◇］で「YES」を選択し、［■］を押す

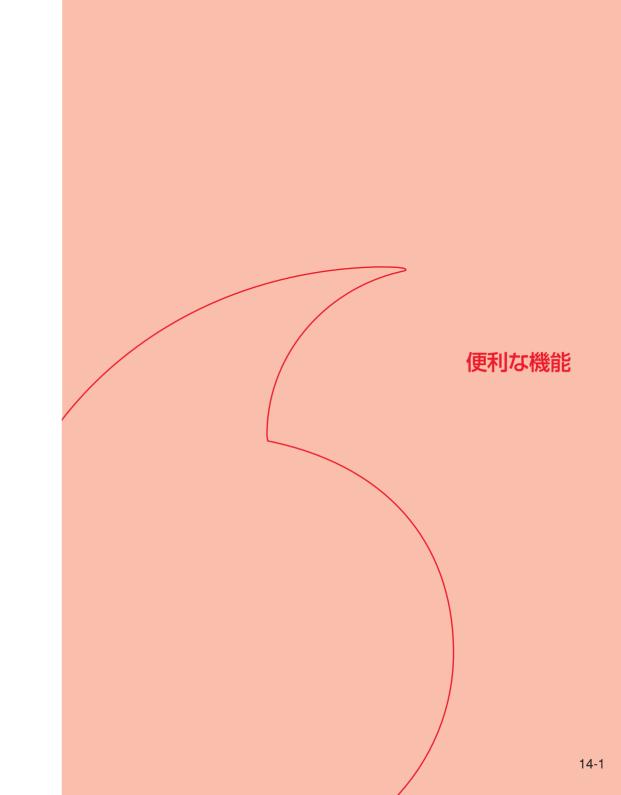
▶「**オールリセット中です**」と表示され、自動的に電源を入れ直します。

リセットおよび初期状態になる項目

機　能	項　目	参照ページ
F27	メモリオールクリア項目	☞13-12ページ
F29	設定リセット項目	☞18-2ページ
F49	自作マルチメニュー登録内容	☞8-4ページ
F59	時計設定	☞1-19ページ
データフォルダ	登録内容	☞11-4ページ
赤外線通信	認証パスワード	☞12-3ページ
辞書	辞書ゲーム内のしりとりランキング	☞14-34ページ
着うた®プレイヤー	再生モード／参照先フォルダ／再生ファイル	☞14-70ページ
メール	設定リセット項目	☞Vodafone live!編
	メッセージオールクリア項目	
	受信メール／送信メールのセキュリティ設定	
ウェブ／ステーション	設定リセット項目	
	メモリオールクリア項目	
Vアプリ	設定クリア項目	
	メモリオールクリア項目	
F9✱（禁止設定）	メール／ウェブ／ステーション／Vアプリ	

重要

● 一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。
● 操作用暗証番号はリセットされません。

便利な機能

スケジュール機能

V603Tをスケジュール帳として利用することができます。スケジュールは、当日(V603Tで設定している日付)から1年後までの間で登録することができます(1日最大5件)。また、登録したスケジュールは、当日の翌日から1年前までと当日から1年後までを確認できます。

- **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定(☞1-19ページ)の操作を行ってください。**

■登録できる項目について

スケジュールには、以下の内容を登録することができます。

項　目	内　容	登録方法
スタンプ	用件にあわせて、120種類のアイコンから選択できます。	☞14-4ページ
用件	用件を登録できます。	☞14-3ページ
開始時刻	開始時刻を登録できます。	☞14-3ページ
終了時刻	終了時刻を登録できます。	☞14-3ページ
内容	スケジュールの内容や電話番号(テレフォンリンク)を登録できます。	☞14-4ページ
メール呼出	メールで送受信したメッセージの内容が簡単に参照できます。	☞14-8ページ
アラーム設定	指定した時刻になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面とスケジュールの用件を表示してお知らせします。また、指定した時刻を音声でお知らせすることもできます。アラーム音は、固定パターン、固定メロディ、本体(データフォルダ)、メモリカードから選択することができます。	☞14-5ページ
オプション	スケジュールごとに指定できるオプション機能です。	☞14-6ページ

・メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。

■スケジュールの登録のしかた

スケジュール作成画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 Menu [■] の順に押す

2 [◎]で「スケジュール」を選択し、[■]を押す

▶スケジュール表示画面が表示されます。

- 待受画面で、[スケジュール/文字A/a]を押しても、スケジュール表示画面が表示されます。

スケジュール表示画面

3 [◎]でスケジュールを登録したい日付を選択し、[○]([追加])を押す

▶スケジュール作成画面が表示されます。

- スケジュールは、当日より前の日付に登録することはできません。当日、または当日から1年後までの日付を選択してください。

スケジュール作成画面

4 [◎]で設定したい項目を選択し、[■]を押す

▶各項目の設定画面が表示されます。

- 登録できる項目については14-2ページを参照してください。

5 [✎]([完了])を押す

▶スケジュールが登録されます。

用件/開始時刻/終了時刻を設定する

1 **スケジュール作成画面(☞上記)より、[◎]で「用件」を選択し、[■]を押す**

▶用件入力画面が表示されます。

2 **用件を入力し、[■]を押す**

▶用件が設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

3 [◎]で「開始時刻」を選択し、[■]を押す

▶開始時刻設定画面が表示されます。

- 「**終了時刻**」も開始時刻と同様の手順で設定することができます。終了時刻を設定する場合は「**終了時刻**」を選択してください。

4 **開始時刻を入力し、[■]を押す**

▶開始時刻が設定されます。

- 時刻は24時間制で入力します。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと[✎]([完了])を押してください。

重 要

登録したスケジュールは、1年後自動的に消去されます。また、時計設定(☞1-19ページ)を変更すると、消去される場合があります。

補 足

スケジュールを設定している日になると、待受画面に「」が表示されます。

スタンプを設定する

1 スケジュール作成画面（☞14-3ページ）より、で「スタンプ」を選択し、■を押す

▶スタンプ一覧画面が表示されます。
- （前ページ）、（次ページ）でスタンプの種類（4種類）を切り替えることができます。

2 で設定したいスタンプを選択し、■を押す

▶スタンプが設定されます。
- 用件の項目が未入力の場合は、指定したスタンプの名称が用件の項目に自動的に入力されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

内容を設定する

1 スケジュール作成画面（☞14-3ページ）より、で「内容」を選択し、■を押す

▶内容入力画面が表示されます。

2 内容を入力し、■を押す

▶内容が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角32文字、全角16文字です。
- 内容にはテレフォンリンクを設定することができます。設定する場合は、14-7ページを参照してください。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、（完了）を押してください。

アラームを設定する

1 スケジュール作成画面（☞14-3ページ）より、で「アラーム設定」を選択し、■を押す

▶アラーム設定画面が表示されます。

2 で「ON」を選択し、■を押す

▶アラーム詳細設定画面が表示されます。

3 で「アラーム時刻」を選択し、■を押す

▶アラーム時刻設定画面が表示されます。

4 アラーム時刻を入力し、■を押す

▶アラーム時刻が設定されます。
- 時刻は24時間制で入力します。
- アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」、時刻読上げ「**ON**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあとアラーム音／バイブレータ／時刻読上げを設定する（☞14-54ページ）の操作*2*～*10*を行ってください。

5 （完了）を押す

▶アラームが設定され、画面に「」が表示されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、（完了）を押してください。

補 足

- アラームの設定時刻になったとき（タイムアップ）の動作については、14-11ページを参照してください。
- マナーモード設定中にアラームが起動した場合の音量などは、マナーモード（☞3-2ページ）の設定に従います。

オプションを設定する

スケジュールごとに以下のオプションを設定することができます。

項　目	内　容
シークレット	操作用暗証番号を入力しない限り、スケジュールの内容を確認できないようにします（スケジュール一覧画面（☞14-9ページ）では、「🔒」のみ表示されます）。
繰返し	スケジュールを繰り返し設定することができます。繰り返しの間隔は5種類から選択できます（「毎年」、「毎日（期間）」以外は、当日から1年後まで）。
カテゴリ	スケジュールの種類を6種類から選択できます。
優先度	スケジュールの優先度を3種類から選択できます。
状態	スケジュールの状態を2種類から選択できます。

・設定した内容は、スケジュールを確認するときにスケジュールの詳細画面で確認できます（☞14-9ページ）。

例　スケジュールの繰り返しを、「**毎日（期間）**」に設定する場合

1　スケジュール作成画面（☞14-3ページ）より、
で「オプション」を選択し、■を押す

2　で「繰返し」を選択し、■を押す

3　で「毎日（期間）」を選択し、■を押す

4　日数を入力し、■を押す

▶オプションが設定されます。
- 日数は02～99の範囲で、2桁で入力してください。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、（完了）を押してください。

テレフォンリンクを設定する

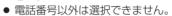
アドレス帳に登録されている電話番号を、「内容」の項目に設定することができます。
[テレフォンリンク]
テレフォンリンクを設定すると、スケジュールを確認したときに、その電話番号へ簡単に電話をかけることができます。

1　スケジュール作成画面（☞14-3ページ）より、
で「内容」を選択し、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2　で「テレフォンリンク」を選択し、■を押す

▶アドレス帳の検索画面が表示されます。

3　設定したい電話番号が登録されたアドレス帳を呼び出し、■を押す

- アドレス帳の呼び出しかたについては5-18ページを参照してください。
- 電話番号以外は選択できません。
- アドレス帳に電話番号が2件以上登録されている場合は、テレフォンリンクに登録したい電話番号を選択してから、■を押してください。

4　■を押す

▶「**内容**」にテレフォンリンクが設定されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、（完了）を押してください。

補　足
- テレフォンリンクを登録している場合は、14-9ページの操作*3*、*4*の画面で を押すと、登録した番号へ電話をかけることができます。
- 操作*4*の画面でMenu（メニュー）を押して、テレフォンリンクの消去（**内容消去**）の操作を行うことができます。

メール呼出を設定する

メール呼出を設定すると、スケジュール確認をしたときに、メール（☞Vodafone live!編）の内容を簡単に確認することができます。

1 スケジュール作成画面（☞14-3ページ）より、[上下]で「メール呼出」を選択し、[●]を押す

2 [上下]でメールボックスを選択し、[●]を押す

▶メール一覧画面が表示されます。

- メールボックスの操作については、Vodafone live!編を参照してください。
- [✉]（[表示]）を押すと、メールの内容を確認することができます。

3 [上下]で登録したいメールを選択し、[●]を押す

▶メール呼出が設定され、「**メール呼出あり**」と表示されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、[✉]（[完了]）を押してください。

重 要

シークレットボックスのメール、セキュリティ設定されているフォルダ内のメール、プライバシーレベル3、4のメールを設定する場合は、操作用暗証番号を入力しないと設定できません（☞Vodafone live!編）。

補 足

- メール呼出を設定している場合は、14-9ページの操作*3*、*4*の画面で[✉]（[メール呼出]）を押すと、設定したメールを表示することができます。
- 操作*3*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、メール呼出の解除（**メール呼出解除**）の操作を行うことができます。

■登録したスケジュールを確認する

1 [Menu][●□]の順に押す

2 [上下左右]で「スケジュール」を選択し、[●]を押す

▶スケジュール表示画面が表示されます。

- 待受画面で、[スケジュール]を押しても、スケジュール表示画面が表示されます。

3 [上下左右]で確認したい日付を選択し、[●]を押す

▶スケジュール一覧画面が表示されます。

4 [上下]で確認したいスケジュールを選択し、[●]を押す

▶スケジュールの詳細画面が表示されます。

- 「🔑」のみ表示されているスケジュールは、シークレット設定されています。確認方法については、下記の補足を参照してください。
- [下]を押すと、詳細画面の続きを見ることができます。

重 要

登録したスケジュールは、1年後自動的に消去されます。また、時計設定（☞1-19ページ）を変更すると、消去される場合があります。

補 足

- スケジュールは当日の翌日から1年前までと当日から1年後までを確認できます。
- 未消化のアクションアイテム（☞14-18ページ）がある場合、当日のスケジュール一覧画面に「**未消化アクションアイテムあり**」と表示されます。「**未消化アクションアイテムあり**」を選択して[●]を押すと、未消化のアクションアイテム一覧を確認することができます。
- 操作*3*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**編集**／**1件消去**※1／**当日分全消去**※2／**vCalendarで保存**※1（☞11-17ページ）／**赤外線1件送信**※1（☞12-4ページ）

  ※1 シークレットを「ON」に設定しているスケジュールを選択しているときは利用できません。
  ※2 当日のスケジュールにシークレットを「ON」に設定しているスケジュールがひとつでもある場合は、利用できません。

- オプションを設定する（☞14-6ページ）で繰返しを「**なし**」以外に設定した場合は、編集または消去の操作のあとで右のように表示されます。ただし、「**毎年**」を設定した場合、消去の操作で「**当日のみ変更**」は選択できません。
  当日のみ変更：選択したスケジュールのみ編集（消去）します。
  当日以降変更：選択したスケジュールと、その日以降に繰り返されているスケジュールをすべて編集（消去）します。
- **シークレット設定されたスケジュールを確認する場合は…**
  操作*4*のあと、操作用暗証番号を入力します。

登録したスケジュールをコピー／移動する

登録したスケジュールを別の日にコピーしたり、移動することができます。

1 **スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、**
[十字キー]でコピー／移動元の日付を選択し、[■]を押す

▶スケジュール一覧画面が表示されます。

2 **[上下キー]でコピー／移動したいスケジュールを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す**

▶サブメニューが表示されます。

3 **[上下キー]で「コピー」または「移動」を選択し、[■]を2回押す**

4 **[十字キー]でコピー／移動先の日付を選択し、[■]を押す**

▶スケジュールがコピー／移動されます。移動の場合は、ここで操作が終了します。

- コピー元が同じ日のスケジュールを続けてコピーする場合は、操作**4**を繰り返します。
- [Menu]（[メニュー]）を押して、コピーしたスケジュールの消去（**直前アンドゥ**）の操作を行うことができます。

5 **[ソフトキー]（[完了]）を押す**

▶コピーモードが終了します。

重 要

シークレットを「ON」に設定しているスケジュールをコピー／移動することはできません。

補 足

繰返し設定（☞14-6ページ）されているスケジュールをコピー／移動した場合は、コピー／移動先では繰返し「**なし**」で登録されます。

14
便利な機能

アラームの設定時刻になると

スケジュールのアラーム時刻（☞14-5ページ）、お知らせ君の起動時刻（☞14-13ページ）、アクションアイテムのアラーム日時（☞14-20ページ）になると、タイムアップ画面が表示されます。

1 **タイムアップ画面が表示される**

▶スケジュールの用件またはアクションアイテムの用件が表示されます。

- アラーム音の設定に従って、アラーム音、バイブレータでお知らせします。
- 時刻読上げを「ON」に設定している場合は、設定した時刻を音声でお知らせします。

2 **[ソフトキー]（[停止]）、[Power]、[Clear/メモ]、[0]～[9]、[*]、[#]、上下サイドキーのいずれかを押す、または約1分経過後**

▶アラーム音が停止します。

重 要

電源が切れているときでも、自動的に電源が入り、アラームが起動します。
［自動電源ON］

補 足

- テレフォンリンクが設定されている場合は、操作**2**のあとで[発信キー]（[発信]）を押して、電話をかけることができます。
- タイムアップ画面に表示する画像は変更することができます（☞14-16、8-9ページ）。

■スケジュールの表示スタイルを切り替える

スケジュール表示画面を月間、4ヶ月、本日、週間に切り替えることができます。

月間画面

4ヶ月画面

本日画面

週間画面

14
便利な機能

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、[スケジュール 文字 A/a]を押す

▶表示スタイルが切り替わります。
- [スケジュール 文字 A/a]を押すごとに、画面の表示は以下のように切り替わります。

→月間画面→4ヶ月画面→本日画面→週間画面

- スケジュール画面では、以下の操作が行えます。
  - [＊] ：先月／前4ヶ月／前日／先週が表示されます。
  - [＃] ：翌月／翌4ヶ月／翌日／翌週が表示されます。
  - [◎] ：週や月を切り替えたり、日付、スケジュールを選択します。
  - [■] ：選択した日付のスケジュールやスケジュールの詳細画面が表示されます。

補足
- スケジュールが登録されている場合、日付の横に「・」が表示されます。
- 月間画面では、スケジュールにスタンプが設定されている場合、その日付を選択すると、画面下段にスケジュールで設定されているスタンプが表示されます。

■日付や曜日の表示色を変更する

スケジュール表示画面での日付と曜日の表示色を変更できます。[休日設定]

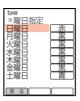
例 特定の曜日の表示色を変更する場合

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [◎]で「休日設定」を選択し、[■]を押す

3 [◎]で「曜日」を選択し、[■]を押す

▶曜日指定画面が表示されます。

4 [◎]で設定したい曜日を選択し、[■]を押す

▶表示色指定画面が表示されます。

5 [◎]で設定したい表示色を選択し、[■]を押す

▶曜日指定画面に戻ります。

6 [✎]（[決定]）を押す

▶表示色が設定され、スケジュール表示画面の日付と曜日の文字が変更されます。

補足

ある日付の表示色だけを変更したい場合は、操作*1*で、表示色を変更したい日付にカーソルを合わせます。続いて、操作*3*で「当日」を選択し、操作*5*を行います。

■お知らせ君を利用する

お知らせ君は、指定した時刻にアラームが鳴動し、当日または翌日のスケジュールを表示してお知らせする機能です。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。
- スケジュールオプションは、本日、週間、月間、4ヶ月のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

2 [◎]で「スケジュールオプション」を選択し、[■]を押す

▶スケジュールオプション設定画面が表示されます。

3 [◎]で「お知らせ君」を選択し、[■]を押す

▶お知らせ君設定画面が表示されます。

4 [◎]で「ON」を選択し、[■]を押す

▶お知らせ君詳細設定画面が表示されます。

5 [◎]で「当日の予定」を選択し、[■]を押す

▶表示内容設定画面が表示されます。

6 [◎]で表示したい予定を選択し、[■]を押す

▶表示内容が設定されます。

7 [◎]で「時刻」を選択し、[■]を押す

▶起動時刻設定画面が表示されます。

8 起動時刻を入力し、[■]を押す

▶起動時刻が設定されます。
● 時刻は24時間制で入力します。

9 [◎]で「1回のみ起動」を選択し、[■]を押す

▶起動設定画面が表示されます。

10 [◎]で起動したい回数を選択し、[■]を押す

▶起動設定が設定されます。

11 [◎]で「アラーム設定」を選択し、[■]を押す

● アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあとアラーム音／バイブレータ／時刻読上げを設定する（☞14-54ページ）の操作*2*～*8*を行ってください。

12 [✉]（[完了]）を押す

▶アラームの種類と音量が設定されます。

13 [✉]（[完了]）を押す

▶お知らせ君が設定されます。

重要

電源が切れているときでも、自動的に電源が入り、お知らせ君が起動します。
［自動電源ON］

補足

● お知らせ君の起動時刻になったとき（タイムアップ）の動作については、14-11ページを参照してください。
● 通話中に指定した時刻になった場合、通話終了後にお知らせ君が起動します。
● マナーモード設定中にお知らせ君が起動した場合の音量などは、マナーモード（☞3-2ページ）の設定に従います。

■スケジュールロックを設定する

操作用暗証番号を入力しない限りスケジュールを確認できないようにします。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [◎]で「スケジュールオプション」を選択し、[■]を押す

▶スケジュールオプション設定画面が表示されます。

3 [◎]で「スケジュールロック」を選択し、[■]を押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

4 操作用暗証番号を入力する

▶スケジュールロック設定画面が表示されます。
● 間違った操作用暗証番号を入力するとスケジュールオプション設定画面に戻ります。

5 [◎]で「ON」を選択し、[■]を押す

▶スケジュールロックが設定されます。

■スタート表示を設定する

スケジュール起動時のスケジュール表示画面を本日、週間、月間、4ヶ月から選択することができます。
お買い上げ時は「**月間スケジュール**」に設定されています。

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [◎]で「スケジュールオプション」を選択し、[■]を押す

▶スケジュールオプション設定画面が表示されます。

3 [◎]で「スタート表示」を選択し、[■]を押す

4 [◎]で起動時に表示したいスタイルを選択し、[■]を押す

▶スタート表示が設定されます。

■タイムアップ画面を設定する

スケジュールにアラームを設定している場合、アラーム起動時に表示される画面をオリジナル、本体（データフォルダ）、メモリカードから選択することができます。
お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。

- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

例 データフォルダにあるファイルを設定する場合

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 ◎で「スケジュールオプション」を選択し、■を押す

▶スケジュールオプション設定画面が表示されます。

3 ◎で「タイムアップ画面」を選択し、■を押す

4 ◎で「本体」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。

- タイムアップ画面をデータフォルダ（本体）に設定している場合は、「**本体**」を選択し ✎（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。
- メモリカードの画像を選択する場合は、「**メモリカード**」を選択します。
- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

5 ◎でフォルダを選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

6 ◎で設定したいファイルを選択し、■を押す

▶画像が表示されます。

- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

7 ✎（決定）を押す

▶タイムアップ画面が設定されます。

重要

- 操作*4*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- タイムアップ画面で表示される画像のサイズは横240×縦174ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作*6*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。
- サブディスプレイに表示されるタイムアップ画面の設定については、8-9ページを参照してください。
- メインディスプレイに表示されるアクションアイテムのタイムアップ画面は変更できません。

■スタンプの種類を設定する

スケジュールやアクションアイテム（☞14-18ページ）の作成で、スタンプを選択する際に最初に表示されるスタンプの種類を変更することができます。
お買い上げ時は「**ノーマル1**」に設定されています。

1 スケジュール表示画面（☞14-2ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 ◎で「スケジュールオプション」を選択し、■を押す

▶スケジュールオプション設定画面が表示されます。

3 ◎で「スタンプ」を選択し、■を押す

4 ◎で最初に表示したいスタンプの種類を選択し、■を押す

▶スタンプの種類が設定されます。

アクションアイテム機能

V603Tに予定（アクションアイテム）を登録し、忘れてはいけないことや、やらなければいけないことを管理できます（最大150件）。登録したアクションアイテムは、一覧で表示したり、未消化、消化済みに分けて確認することができます。また、優先度やカテゴリを設定することもできます。

- **この機能をご利用になるにはあらかじめ時計設定（☞1-19ページ）の操作を行ってください。**

■登録できる項目について

アクションアイテムには、以下の内容を登録することができます。

項　目	内　容	登録方法
スタンプ	用件にあわせて、120種類のアイコンから選択できます。	☞14-20ページ
用件	用件を登録できます。	☞14-19ページ
開始日時	開始日時を登録できます。	☞14-19ページ
終了日時	終了日時を登録できます。	☞14-19ページ
内容	予定の内容や電話番号（テレフォンリンク）を登録できます。	☞14-20ページ
アラーム設定	指定した時刻になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面とアクションアイテムの用件を表示してお知らせします。また、指定した時刻を音声でお知らせすることもできます。アラーム音は、固定パターン、固定メロディ、本体（データフォルダ）、メモリカードから選択することができます。	☞14-20ページ
オプション	アクションアイテムごとに指定できるオプション機能です。	☞14-21ページ

■アクションアイテムの登録のしかた

アクションアイテム作成画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 **Menu ■□ の順に押す**

2 **◎で「アクションアイテム」を選択し、■を押す**

▶アクションアイテム一覧画面が表示されます。

3 **○（追加）を押す**

▶アクションアイテム作成画面が表示されます。

アクションアイテム作成画面

4 **◎で設定したい項目を選択し、■を押す**

▶各項目の設定画面が表示されます。

- 登録できる項目については14-18ページを参照してください。

5 **✉（完了）を押す**

▶アクションアイテムが登録されます。

用件／開始日時／終了日時を設定する

1 **アクションアイテム作成画面（☞上記）より、◎で「用件」を選択し、■を押す**

▶用件入力画面が表示されます。

2 **用件を入力し、■を押す**

▶用件が設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

3 **◎で「開始日時」を選択し、■を押す**

▶開始日時設定画面が表示されます。

- 「**終了日時**」も開始日時と同様の手順で設定することができます。終了日時を設定する場合は、「**終了日時**」を選択してください。

4 **開始日時を入力し、■を押す**

▶開始日時が設定されます。

- 年は西暦の下2桁、月、日は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は24時間制で入力します。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと✉（完了）を押してください。

スタンプを設定する

1 アクションアイテム作成画面(☞14-19ページ)より、[◇]で「スタンプ」を選択し、[■]を押す

▶スタンプ一覧画面が表示されます。
- [○]([前ページ])、[✎]([次ページ])でスタンプの種類(4種類)を切り替えることができます。

2 [◇]で設定したいスタンプを選択し、[■]を押す

▶スタンプが設定されます。
- 用件が未入力の場合は、選択したスタンプの名称が用件の項目に自動的に入力されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと[✎]([完了])を押してください。

内容を設定する

1 アクションアイテム作成画面(☞14-19ページ)より、[◇]で「内容」を選択し、[■]を押す

▶内容入力画面が表示されます。

2 内容を入力し、[■]を押す

▶内容が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角128文字、全角64文字です。
- 内容にはテレフォンリンクを設定することができます。設定する場合は、14-7ページを参照してください。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始日時、終了日時のいずれかの設定を行ってから、[✎]([完了])を押してください。

アラームを設定する

1 アクションアイテム作成画面(☞14-19ページ)より、[◇]で「アラーム設定」を選択し、[■]を押す

▶アラーム設定画面が表示されます。

2 [◇]で「ON」を選択し、[■]を押す

▶アラーム詳細設定画面が表示されます。

3 [◇]で「アラーム日時」を選択し、[■]を押す

▶アラーム日時設定画面が表示されます。

4 アラーム日時を入力し、[■]を押す

▶アラーム日時が設定されます。
- 年は西暦の下2桁、月、日はそれぞれ2桁で入力してください。時刻は24時間制で入力します。
- アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」、時刻読上げ「**ON**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあとアラーム音/バイブレータ/時刻読上げを設定する(☞14-54ページ)の操作*2*〜*10*を行ってください。

5 [✎]([完了])を押す

▶アラームが設定され、画面に「🔊」が表示されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始日時、終了日時のいずれかの設定を行ってから、[✎]([完了])を押してください。

補 足
- アラームの設定時刻になったとき(タイムアップ)の動作については、14-11ページを参照してください。
- マナーモード設定中にアラームが起動した場合の音量などは、マナーモード(☞3-2ページ)の設定に従います。

オプションを設定する

アクションアイテムごとに以下のオプションを設定することができます。

項 目	内 容
シークレット	操作用暗証番号を入力しない限り、アクションアイテムの内容を確認できないようにします(アクションアイテム一覧画面では「🔒」のみ表示されます)。
カテゴリ	アクションアイテムの種類を6種類から選択できます。
優先度	アクションアイテムの優先度を以下から選択できます。 ・低い( )　・普通( )　・高い( )
状態	アクションアイテムの状態を以下から選択できます。 ・未消化(スタンプが表示されます)　・消化(☑)

・カテゴリは、アクションアイテムの詳細画面(☞14-22ページ)で確認できます。
・優先度と状態は、アクションアイテム一覧画面で( )内のアイコンで表示されます。ただし、状態が「**未消化**」の場合、スタンプが設定されていないときは■が表示されます。
なお、アクションアイテム新規登録時は、優先度「**普通**」、状態「**未消化**」に設定されています。

例 シークレットを設定する場合

1 アクションアイテム作成画面(☞14-19ページ)より、[◇]で「オプション」を選択し、[■]を押す

14 便利な機能

2 で「シークレット」を選択し、■を押す

▶シークレット設定画面が表示されます。

3 で「ON」を選択し、■を押す

▶オプションが設定されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始日時、終了日時のいずれかの設定を行ってから、（完了）を押してください。

■登録したアクションアイテムを確認する

1 Menu の順に押す

2 で「アクションアイテム」を選択し、■を押す

▶アクションアイテム一覧画面が表示されます。
- 「」のみ表示されているアクションアイテムは、シークレット設定されています。確認方法については下記の補足を参照してください。

3 で確認したいアクションアイテムを選択し、■を押す

▶アクションアイテムの詳細画面が表示されます。
- を押すと、詳細画面の続きを見ることができます。

補 足

- アクションアイテム一覧画面には、アクションアイテムが終了日時の早い順に表示されます。また、終了日時が同じものは、登録した順に表示されます。
- 終了日時を過ぎたアクションアイテムは赤色で表示されます。
- 操作*2*の画面でを押すと、選択しているアクションアイテムの「**消化**」、「**未消化**」を切り替えることができます。
- 操作*2*の画面で Menu （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**編集**／**1件消去**※／**全消去**／**vCalendarで保存**※（☞11-17ページ）／**赤外線1件送信**※（☞12-4ページ）

  ※シークレットを「ON」に設定しているアクションアイテムを選択しているときは利用できません。
- **アクションアイテムの自動消去を設定する場合は…**
  アクションアイテムが最大登録数を超えたときに、消化済みのアクションアイテムを古いものから自動的に消去するように設定できます。設定する場合は、操作*2*の画面で Menu （メニュー）を押したあと「**消去設定**」を選択し、■を押します。続いて「**自動消去**」を選択し、■を2回押します。
- **シークレット設定されたアクションアイテムを確認する場合は…**
  操作*3*のあと、操作用暗証番号を入力します。

アクションアイテムの一覧表示内容を切り替える

アクションアイテム一覧画面に表示する内容を以下から選択することができます。

項 目	内 容
全件表示	すべてのアクションアイテムが表示されます。
未消化のみ	未消化のアクションアイテムのみ表示されます。
消化済みのみ	消化済みのアクションアイテムのみ表示されます。

1 次の操作でアクションアイテム一覧画面を呼び出す

① Menu の順に押す

② で「**アクションアイテム**」を選択し、■を押す

2 Menu （メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 で「表示切替」を選択し、■を押す

4 で表示したい内容を選択し、■を押す

▶アクションアイテム一覧画面の表示内容が切り替わります。

時間割機能

月曜日から土曜日までの時間割を作成することができます。1日8時限までの科目や教室、文字色などを登録することができます。

● **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定(☞1-19ページ)の操作を行ってください。**

■登録できる項目について

時間割には、以下の内容を登録することができます。

項 目	内 容	登録方法
科目	科目を登録できます。	☞14-25ページ
教室	教室名を登録できます。	☞14-25ページ
教師	先生の名前を登録できます。	☞14-25ページ
メモ	簡単なメモを登録できます。	☞14-25ページ
背景色設定	時間割の背景色をカラー7種類から選択できます。	☞14-26ページ
文字色設定	時間割の文字色を8種類から選択できます。	☞14-26ページ

■時間割の登録のしかた

時間割作成画面を表示して登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。また、各時限の時間帯を変更することもできます(☞14-28ページ)。

1 **Menu ● の順に押す**

2 **●で「時間割」を選択し、■を押す**

▶時間割画面が表示されます。

時間割画面

3 **●で登録したい時限を選択し、○(編集)を押す**

▶時間割作成画面が表示されます。

時間割作成画面

4 **●で設定したい項目を選択し、■を押す**

▶各項目の設定画面が表示されます。

● 登録できる項目については14-24ページを参照してください。

5 **✉(完了)を押す**

▶時間割が登録されます。

科目を設定する

1 **時間割作成画面(☞14-24ページ)より、●で「科目」を選択し、■を押す**

▶科目入力画面が表示されます。

2 **科目を入力し、■を押す**

▶科目が設定されます。

● 文字の入力方法については4章を参照してください。

● 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。

● 時間割の登録を完了する場合は、このあと✉(完了)を押してください。

教室/教師/メモを設定する

1 **時間割作成画面(☞14-24ページ)より、●で「教室」を選択し、■を押す**

▶教室入力画面が表示されます。

● 「**教師**」、「**メモ**」も教室と同様の手順で設定することができます。
教師を設定する場合は「**教師**」を、メモを設定する場合は「**メモ**」を選択してください。

2 **教室名を入力し、■を押す**

(月) 1時限
科目
S101
教師
メモ
背景色設定
文字色設定

▶教室が設定されます。

● 文字の入力方法については4章を参照してください。

● 「**教室**」、「**教師**」の登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。
「**メモ**」の登録可能文字数は、最大で半角128文字、全角64文字です。

● 時間割の登録を完了する場合は、このあと科目の設定を行ってから✉(完了)を押してください。

背景色／文字色を設定する

時間割の背景色をカラー7種類、文字色を8種類から選択することができます。
お買い上げ時は、背景色「OFF」、文字色「**白文字黒フチ**」に設定されています。

1 **時間割作成画面（☞14-24ページ）より、[上下]で「背景色設定」を選択し、[●]を押す**

▶背景色設定画面が表示されます。

- 「**文字色設定**」も背景色設定と同様の手順で設定することができます。文字色を設定する場合は「**文字色設定**」を選択してください。

2 **[上下]で設定したい背景色を選択し、[●]を押す**

▶背景色が設定されます。

- 時間割の登録を完了する場合は、このあと科目の設定を行ってから[✉]（[完了]）を押してください。

■登録した時間割をコピーする

登録した時間割を別の時間割にコピーすることができます。

1 **時間割画面（☞14-24ページ）より、[方向キー]でコピー元の時間割を選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す**

▶サブメニューが表示されます。

2 **[上下]で「コピー」を選択し、[●]を押す**

3 **[方向キー]でコピー先の時間割を選択する**

4 **[●]を押す**

▶選択した時間割がコピーされます。

- 操作*1*で選択した時間割を続けてコピーする場合は、操作*3*～*4*を繰り返してください。
- [Menu]（[メニュー]）を押してコピーした時間割の消去（**直前アンドゥ**）の操作を行うことができます。

5 **[✉]（[完了]）を押す**

▶コピー操作を終了します。

■登録した時間割を確認する

1 **[Menu][●□]の順に押す**

2 **[方向キー]で「時間割」を選択し、[●]を押す**

▶時間割画面が表示されます。

3 **[方向キー]で確認したい時間割を選択し、[●]を押す**

▶詳細画面が表示されます。

補足

操作*2*のあとで[Menu]（[メニュー]）を押して、消去（**1件消去**／**時間割全消去**）の操作を行うことができます。

■時間割の表示スタイルを切り替える

時間割画面を科目画面、教室画面に切り替えることができます。

科目画面

		月	火	水	木	金	土
1	8:00 8:50	国語	数学Ⅰ	理科	英文法	保健体育	
2	9:00 9:50	数学Ⅰ	国語	数学Ⅰ	理科	英文法	
3	10:00 10:50	英文解釈	保健体育	国語	数学Ⅰ	理科	
4	11:00 11:50	社会	社会	保健体育	国語	数学Ⅰ	
5	13:00 13:50	理科	理科	社会	技術家庭	国語	
6	14:00 14:50	保健体育	英文法	英文解釈	社会	英文解釈	
7	15:00 15:50						
8	16:00 16:50						

編集　メニュー　切替

教室画面

		月	火	水	木	金	土
1	8:00 8:50	国語 S101	数学 S102	理科 S101	英文 S101	保健 S101	
2	9:00 9:50	数学 S102	国語 S101	数学 S102	理科 S101	英文 S101	
3	10:00 10:50	英文 S101	保健 S101	国語 S101	数学 S102	理科 S101	
4	11:00 11:50	社会 S101	社会 S101	保健 S101	国語 S101	数学 S102	
5	13:00 13:50	理科 S101	理科 S101	社会 S101	技術 S101	国語 S101	
6	14:00 14:50	保健 S101	英文 S101	英文 S101	社会 S101	英文 S101	
7	15:00 15:50						
8	16:00 16:50						

編集　メニュー　切替

1 **時間割画面（☞14-24ページ）より、[✉]（[切替]）を押す**

▶表示スタイルが切り替わります。

- [✉]（[切替]）を押すごとに、画面の表示は以下のように切り替わります。

→科目画面→教室画面→

■時間割設定をする

各時間割の開始時刻／終了時刻を設定する

1 時間割画面（☞14-24ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 で「時間割設定」を選択し、■を押す

▶時間割設定画面が表示されます。

3 で「時刻設定」を選択し、■を押す

▶時刻設定画面が表示されます。

4 で設定したい時限を選択し、■を押す

5 で「開始時刻設定」を選択し、■を押す

▶開始時刻設定画面が表示されます。

● 「**終了時刻設定**」も開始時刻と同様の手順で設定することができます。

6 開始時刻を入力し、■を押す

▶開始時刻が設定されます。

● 時刻は24時間制で入力します。

7 （戻る）を押す

▶時刻設定画面に戻ります。

8 （完了）を押す

▶開始時刻と終了時刻が設定されます。

設定内容をお買い上げ時の状態に戻す

時刻設定をお買い上げ時（初期値）の状態に戻すことができます。

1 時間割画面（☞14-24ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 で「時間割設定」を選択し、■を押す

▶時間割設定画面が表示されます。

3 で「時刻リセット」を選択し、■を押す

4 で「YES」を選択し、■を押す

▶時刻設定が初期状態に戻ります。

メモ帳機能

V603Tをメモ帳として利用することができます（最大50件）。登録した内容は文字入力や編集時に呼び出すことができます。また、メモの内容別にアイコンを設定することもできます。

■メモ帳に登録する

1 [スケジュール/文字 A/a]を押す（約1秒以上）

▶登録メニューが表示されます。

2 [十字キー]で「メモ帳」を選択し、[■]を押す

3 [十字キー]で登録したい位置を選択し、[■]を押す

▶メモ入力画面が表示されます。

4 メモする内容を入力し、[■]を押す

▶メモが登録されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角512文字、全角256文字です。

補 足

- 登録内容を編集する場合は、操作*2*の画面で登録したメモを選択したあと[o]（[編集]）を押します。
- 操作*2*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**1件消去／全件消去／カテゴリ設定／データフォルダに保存／赤外線1件送信**
- データフォルダに保存する場合は、ファイル形式（vNote形式またはTEXT形式）と保存場所（本体またはメモリカード）を選択できます。
  - ・vNote形式 ：メモの内容とカテゴリ（アイコン）が保存されます（☞11-17ページ）。
  - ・TEXT形式 ：メモの内容のみ保存されます。

■メモの内容別にアイコンを設定する

1 次の操作でメモ帳を呼び出す

① [スケジュール/文字 A/a]を押す（約1秒以上）

② [十字キー]で「**メモ帳**」を選択し、[■]を押す

2 [十字キー]で設定したいメモを選択し、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 [十字キー]で「カテゴリ設定」を選択し、[■]を押す

4 [十字キー]で設定したいカテゴリ（アイコン）を選択し、[■]を押す

▶アイコンが設定されます。

辞書機能

V603Tには、あらかじめ国語、英和、和英の3種類の辞書データが登録されており、辞書検索や単語を入力するクイズやゲームを楽しむことができます。

■辞書を利用する

国語辞書

単語（漢字、読みがな）入力による意味検索を行います。

英和辞書

英単語入力による日本語検索を行います。

和英辞書

単語（漢字、読みがな）入力による英単語検索を行います。

1 Menu ▪□ の順に押す

2 ◎で「辞書」を選択し、■を押す

3 ◎で利用したい辞書を選択し、■を押す

▶辞書画面が表示されます。

4 検索文字を入力し、■を押す

▶候補の単語が表示されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 検索可能文字数は最大で50文字です。
- ◎（切替）を押すと他の辞書に切り替えることができます。

5 ◎で確認したい単語を選択し、✎（詳細）を押す

▶選択している単語の意味が表示されます。

補足

- 操作4の画面で Menu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - **辞書登録**（☞4-17ページ）／**コピー**
- 操作5の画面で Menu（メニュー）を押して、単語や単語の意味をクリップボード（☞4-19ページ）へコピー（**見出し語コピー**／**意味コピー**）する操作を行うことができます。
- 範囲メニュー（☞4-19ページ）から辞書を呼び出したり、エディタから文字入力変換時（☞4-5ページの操作4の変換候補選択中の画面）に◎（意味）を押すと、単語の意味を参照することができます。
- 国語、英和、和英辞書は、©株式会社学習研究社の「辞スパ」の辞書データを使用しております。

■クイズ＆ゲームで遊ぶ

英単語クイズ10

英単語の意味が出題され、英単語を入力して解答します。設問数は2,000問です。

1 次の操作で辞書ゲーム選択画面を呼び出す

① Menu ▪□ の順に押す
② ◎で「**辞書**」を選択し、■を押す
③ ◎で「**辞書ゲーム**」を選択し、■を押す

辞書ゲーム選択画面

2 ◎で「英単語クイズ10」を選択し、■を押す

▶1問目が出題されます。

3 解答を入力し、■を押す

▶解答が設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字です。

4 ✎（判定）を押す

▶○（正解）または×（不正解）が表示されます。

- 続けて、✎（次へ）を押して2問目から10問目まで解答します。
- ◎（降参）を押すと結果が表示されます。

5 ✎（終了）を押す

▶結果が表示されます。

四字熟語クイズ10

日本語の四字熟語の穴埋め問題です。設問数は500問です。

1 辞書ゲーム選択画面（☞14-33ページ）より、[上下キー]で「四字熟語クイズ10」を選択し、[■]を押す

▶1問目が出題されます。

2 1文字目を入力し、[■]を押す

▶1文字目が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。

3 2文字目を入力し、[■]を押す

▶2文字目が設定されます。
このあと、14-33ページの操作**4**以降を行います。

ひとりしりとり

辞書登録されている言葉（ひらがな）に限定して、しりとりゲームができます。

1 辞書ゲーム選択画面（☞14-33ページ）より、[上下キー]で「ひとりしりとり」を選択し、[■]を押す

▶しりとりが始まります。

2 単語を入力し、[■]を押す

▶しりとりで続く単語が表示されます。
- 勝負が決まるまで、この操作を繰り返します。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で全角50文字です。
- [Menu]（[意味]）を押すと、V603Tが表示した単語の意味が表示されます。
- [○]（[降参]）[◇]（[終了]）の順に押すと、回答数とランキングが表示されます。

補足

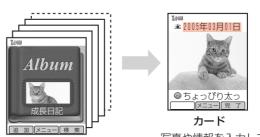
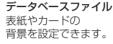
- 次の場合は勝負が決まります。
  - ・V603Tが次に表示する単語がない場合（勝ち）
  - ・回答数が500回になった場合（勝ち）
  - ・ゲーム中に[○]（[降参]）を押した場合（負け）
  - ・辞書登録以外の単語を使用した場合（負け）
  - ・1ゲーム内で同じ単語を入力した場合（負け）
  - ・語尾に「**ん**」がついた場合（負け）
  - ・V603Tが表示した単語の語尾と、先頭文字が異なる単語を入力した場合（負け）
- ひとりしりとりではお客様の回答数を記憶します。辞書ゲーム選択画面(☞14-33ページ）より、「**しりとりランキング**」を選択し、[■]を押すと10位までのランキングが表示されます。
- ランキングの画面で[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、ランキングを消去する操作を行うことができます。

ポケットデータベース

情報を書き留めたカードを、分野別のファイルに登録します。電話番号などを条件にしてカードを検索したり、日付順に並び替えたりすることができます。

- **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞1-19ページ）の操作を行ってください。**

ポケットデータベースについて

データベースファイルを作成し、データベースファイルにカード形式のデータを登録します。

データベースファイル
表紙やカードの
背景を設定できます。

カード
写真や情報を入力して、
データベースファイル
に登録します。

カード形式
（テンプレート）
こんなテンプレートを
作ることもできます。

ひとつのデータベースファイルは、ひとつのカード形式（テンプレート）を利用できます。テンプレートは、データベースファイルを作成するときに決定します。テンプレートは、あらかじめ用意されていますが、新しく作成することもできます。
データベースファイルは、本体（データフォルダ）、メモリカードそれぞれに100ファイルずつ登録できます。また、個々のデータベースファイルには、500件のカードを登録することができます。

補足
データベースファイルは、データフォルダのポケットデータベースフォルダに保存されます。

■データベースを作成する

データベースを作成するには、まず、データベースファイルを作成します。データベースファイルは、名称とテンプレートを決めると登録できる状態になります。データベースの表紙や背景は必要に応じて設定してください。

データベースファイルを作成する

例 固定テンプレートを利用してデータベースファイルを作成する場合

1 Menu ● の順に押す

2 で「ポケットデータベース」を選択し、■を押す

▶ポケットデータベース選択画面が表示されます。
- (ヘルプ)を押すと、ポケットデータベースの操作ガイドが表示されます。で操作手順が確認でき、(戻る)を押すとポケットデータベース選択画面へ戻ります。

3 で「データベース作成」を選択し、■を押す

データベース作成画面

▶データベース作成画面が表示されます。

4 で「名称」を選択し、■を押す

▶名称入力画面が表示されます。

5 名称を入力し、■を押す

▶名称が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

6 で「テンプレート」を選択し、■を押す

テンプレート選択画面

▶テンプレート選択画面が表示されます。

7 で「固定テンプレート」を選択し、■を押す

▶テンプレート選択画面が表示されます。
- テンプレートを新規に作成する場合は14-43ページを、他のデータベースファイルからテンプレートを読み込んで利用する場合は14-47ページを参照してください。

8 で設定したいテンプレートを選択し、■を押す

▶選択したテンプレートが表示されます。
- 固定テンプレートは5種類から選択できます。
- 、またはで他のテンプレートに切り替え表示します。

9 (決定)を押す

▶テンプレートが設定されます。
- 表紙を設定する場合は下記を、カードの背景を設定する場合は14-40ページを参照してください。

10 (完了)を押す

▶作成場所選択画面が表示されます。

11 でデータベースファイルを作成する場所を選択し、■を押す

▶データベースファイルが作成され、データベースの表紙が表示されます。
- カードを登録する場合は、このあと14-41ページの操作**5**以降を行ってください。

データベースの表紙を設定する

データベースファイルごとに、表紙に画像を設定することができます。また、設定した画像にフレームを合成したり、文字を貼り付けることもできます。
表紙画像は、本体(データフォルダ)、メモリカード、写真撮影から選択することができます。

例 本体(データフォルダ)にある画像を設定する場合

1 データベース作成画面(☞14-36ページ)より、で「表紙設定」を選択し、■を押す

▶画像選択画面が表示されます。

2 で「本体」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- 本体（データフォルダ）には選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。
- カメラで撮影する場合は、「**写真撮影**」を選択します。
- カメラの利用方法については7章を参照してください。
- メモリカードの画像を選択する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

3 でフォルダを選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

4 で設定したい画像を選択し、■を押す

▶画像が表示されます。

5 （決定）を押す

▶画像が設定され、表紙設定画面が表示されます。
- フレームを合成したり、文字を貼り付ける場合は、14-39ページを参照してください。

表紙設定画面

6 （完了）を押す

▶表紙が設定され、画面に「▣」が表示されます。
- データベースファイルの作成を完了する場合は、このあと名称、テンプレートの設定を行ってから（完了）を押してください。

重要
- 操作*4*で、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- データベースの表紙に設定できる画像のサイズは、横240ドット×縦260ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作*4*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。

表紙にフレームを合成し、文字を貼り付ける

フレームは、ポケットデータベース専用フレーム5種類から選択できます。また、データフォルダから選択することができます。

例 ポケットデータベース専用フレームを合成し、文字を貼り付ける場合

1 表紙設定画面（☞14-38ページ）より、で「フレーム選択」を選択し、■を押す

- フレームを利用しない場合は、操作*4*へ進んでください。

2 で設定したいフレームを選択し、（全画面）を押す

▶フレームを合成した画像を、実際のサイズで確認できます。

3 で画像の表示位置を変更し、（決定）を押す

▶フレームが設定されます。
- を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

→30ドット単位→1ドット単位→10ドット単位→（30ドット単位へ戻る）

- 横240ドット×縦260ドットの画像を設定していた場合は、表示位置を変更できません。

4 で「テキスト入力」を選択し、■を押す

5 で文字を貼り付ける先頭位置に「I」を移動し、■を押す

▶文字の入力画面が表示されます。
- を押すたびに「I」の移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位→30ドット単位→1ドット単位→（10ドット単位へ戻る）

6 文字を入力し、■を押す

▶文字が表示されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 一度に書き込める文字数は「I」の位置と文字のサイズによって変わります。
- で文字の位置を移動することができます。

7 ■を押す

▶文字が貼り付けられます。
- 続けて文字を貼り付ける場合は、操作*5*〜*7*を繰り返します。
- Menu（メニュー）を押して貼り付けた文字の消去（**直前アンドゥ／オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。

8 ✎（決定）を押す

▶表紙設定画面に戻ります。

9 ✎（完了）を押す

▶データベース作成画面に戻ります。
- データベースファイルの作成を完了する場合は、このあと名称、テンプレートの設定を行ってから✎（完了）を押してください。

重 要

フレームに設定できる画像のサイズは横240ドット×縦320ドット、または横120ドット×縦160ドットです。横120ドット×縦160ドットの場合は、横240ドット×縦320ドットに拡大されます。ただし、表示されるフレームのサイズは横240ドット×縦260ドットのため、上下30ドットは表示されません。

補 足

- 操作*4*の画面でMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**フォント選択／文字のサイズ／文字種選択**
    2種類のフォント、4種類の文字のサイズ、8種類の文字種から選択できます。

カードの背景画像を設定する

カードを表示するときの背景をデータベースファイルごとに設定できます。背景画像は、2種類から選択できます。また、本体（データフォルダ）、メモリカード、写真撮影から選択することができます。

例 ポケットデータベース専用背景から選択する場合

1 データベース作成画面（☞14-36ページ）より、◇で「背景設定」を選択し、■を押す

2 ◇で設定したい背景画像を選択し、■を押す

▶選択した画像が表示されます。
- ＊、＃または◇で他の画像に切り替え表示します。

3 ✎（決定）を押す

▶背景画像が設定されます。
- データベースファイルの作成を完了する場合は、このあと名称、テンプレートの設定を行ってから✎（完了）を押してください。

重 要

- 操作*1*の画面で「**本体**」や「**メモリカード**」を選択した場合、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- カードの背景に設定できる画像のサイズは、横240ドット×縦260ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作*2*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞11-13ページ）。

■カードを登録する

例 「メモ」のテンプレートを設定したデータベースファイルにカードを登録する場合

1 Menu ●□の順に押す

2 ◇で「ポケットデータベース」を選択し、■を押す

▶ポケットデータベース選択画面が表示されます。

3 ◇で「本体」を選択し、■を押す

▶データベースファイル選択画面が表示されます。
- メモリカードのデータベースファイルを選択したい場合は、「**メモリカード**」を選択します。

4 ◇でカードを登録したいデータベースファイルを選択し、■を押す

▶データベースファイル表紙画面が表示されます。

データベースファイル表紙画面

5 ○（追加）を押す

▶カード作成画面が表示されます。

14 便利な機能

6 で「タイトル」を選択し、■を押す

7 で「タイトル」を選択し、■を押す

▶タイトル入力画面が表示されます。

8 タイトルを入力し、■を押す

▶タイトルが設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角30文字、全角15文字です。
- ヨミガナは、タイトルを入力すると自動入力されます。修正する場合はヨミガナを選択し、■を押します。

9 で「カテゴリアイコン」を選択し、■を押す

▶カテゴリアイコン一覧画面が表示されます。

10 で設定したいアイコンを選択し、■を押す

11 (決定)を押す

▶カード作成画面に戻ります。

12 で「メモ」を選択し、■を押す

▶メモ入力画面が表示されます。

13 メモを入力し、■を押す

▶メモが設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角80文字、全角40文字です。

14 (完了)を押す

▶カードが登録されます。

- カードを追加登録する場合は、このあと操作*5*～*14*を繰り返してください。

補足

カードに登録できる項目は、データベースファイル作成時に選択したテンプレートによって異なります。

■テンプレートを作成する

カードに登録したい項目を選択し、データベースの目的に合わせて新しいテンプレートを作成することができます。すでにあるデータベースファイルからテンプレートを読み出し、項目名や項目アイコンなどを編集して利用することもできます。
ひとつのテンプレートには、以下の各テンプレート項目をひとつずつ設定することができます（日付は2つまで、テキストは3つまで）。ただし、各テンプレート項目の大きさ（表示領域の大きさ）の合計が8行（表示画面の大きさ）を超えることはできません。

テンプレート項目	登録内容	大きさ
タイトル	最大で半角30文字、全角15文字まで登録できます。絵文字も入力できます。	1行
テキスト	最大で半角80文字、全角40文字まで登録できます。絵文字も入力できます。	1行、8行
画像（※）	横240ドット×縦116ドットまで登録できます。	4行
	横240ドット×縦144ドットまで登録できます。	5行
	横240ドット×縦202ドットまで登録できます。	7行
	横240ドット×縦232ドットまで登録できます。	8行
日付	日付を登録することができます。年は西暦の4桁、月、日は、それぞれ2桁で登録できます。	1行
電話番号	最大24桁まで登録できます。	1行
Eメールアドレス	最大で半角60文字（英数字と一部の記号のみ）まで登録できます。	1行
URL	最大で半角256文字（英数字と一部の記号のみ）まで登録できます。	1行
ランク	絵文字の数を1～5より選択し、5段階評価を登録できます。動く絵文字もご利用できます。	1行
価格	￥0～999999まで値段を登録できます（単位は「￥」です）。	1行

※ 横240ドット×縦320ドット以内のサイズの画像であれば、トリミング（画像の表示する範囲を設定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行ったあと登録することができます（☞11-13ページ）。

テンプレートを新規に作成する

1 テンプレート選択画面（☞14-37ページ）より、で「新規作成」を選択し、■を押す

▶タイトル入力画面が表示されます。

2 タイトルを入力し、■を押す

テンプレートの作成画面

▶タイトルが設定され、テンプレートの作成画面が表示されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。

3 ◯（追加）を押す

▶追加項目選択画面が表示されます。

4 ◇で追加したい項目を選択し、■を押す

▶項目設定画面が表示されます。

- テキスト、日付、電話番号、Eメールアドレス、URL、価格の項目を設定する（☞下記）
- 画像の項目を設定する（☞14-45ページ）
- ランクの項目を設定する（☞14-46ページ）

5 ◇（完了）を押す

▶テンプレートが作成され、データベース作成画面（☞14-36ページ）に戻ります。「**テンプレート**」には「**自作テンプレート**」と表示されます。

補 足

操作*4*のあとでMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**1つ戻る**（最大8つ前の操作まで）／**やり直し**（設定したテンプレート項目をすべて削除）

テキスト／日付／電話番号／Eメールアドレス／URL／価格の項目を設定する

1 テンプレートの作成画面（☞上記）より、◯（追加）を押す

▶追加項目選択画面が表示されます。

2 ◇で「テキスト」を選択し、■を押す

▶表示行数設定画面が表示されます。

- 「**日付**」、「**電話番号**」、「**Eメールアドレス**」、「**URL**」、「**価格**」を選択した場合は、操作*4*へ進んでください。

3 ◇で設定したい表示行数を選択し、■を押す

4 ◇で「項目名」を選択し、■を押す

▶項目名入力画面が表示されます。

5 項目名を入力し、■を押す

▶項目名が設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。

6 ◇で「項目アイコン」を選択し、■を押す

▶項目アイコン選択画面が表示されます。

7 ◇で設定したいアイコンを選択し、■を押す

▶項目アイコンが設定されます。

8 ◇（完了）を押す

▶テンプレートに項目が設定されます。

- テンプレートの作成を完了する場合は、このあと◇（完了）を押してください。

画像の項目を設定する

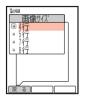
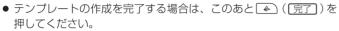
1 テンプレートの作成画面（☞14-44ページ）より、◯（追加）を押す

▶追加項目選択画面が表示されます。

2 ◇で「画像」を選択し、■を押す

3 で設定したい画像サイズを選択し、■を押す

▶テンプレートに画像の項目が設定されます。

- テンプレートの作成を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

ランクの項目を設定する

1 テンプレートの作成画面（☞14-44ページ）より、（追加）を押す

▶追加項目選択画面が表示されます。

2 で「ランク」を選択し、■を押す

3 で「項目名」を選択し、■を押す

▶項目名入力画面が表示されます。

4 項目名を入力し、■を押す

▶項目名が設定されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。

5 で「項目アイコン」を選択し、■を押す

▶項目アイコン選択画面が表示されます。

6 で設定したいアイコンを選択し、■を押す

▶項目アイコンが設定されます。

7 で「ランク絵文字」を選択し、■を押す

▶ランク絵文字選択画面が表示されます。

8 で設定したい絵文字を選択し、■を押す

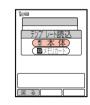
▶ランク絵文字が設定されます。

9 （完了）を押す

▶テンプレートにランクの項目が設定されます。

- テンプレートの作成を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

他のデータベースファイルからテンプレートを読み込んで利用する

1 テンプレート選択画面（☞14-37ページ）より、で「テンプレート読込」を選択し、■を押す

2 で「本体」を選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

- メモリカードのデータベースファイルを選択する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

3 でテンプレートを読み込みたいデータベースファイルを選択し、■を押す

▶選択したデータベースファイルのテンプレートが表示されます。

4 （決定）を押す

▶テンプレートが読み込まれ、テンプレートの作成画面が表示されます。

- テンプレートの項目を編集する場合は、このあとテンプレートを新規に作成する（☞14-43ページ）の操作*3*〜*4*を行ってください。

5 （完了）を押す

▶テンプレートが作成され、データベース作成画面（☞14-36ページ）に戻ります。「**テンプレート**」には「**自作テンプレート**」と表示されます。

■データベースを見る

1 Menu の順に押す

2 で「ポケットデータベース」を選択し、■を押す

▶ポケットデータベース選択画面が表示されます。

3 [上下キー]で「本体」を選択し、[■]を押す

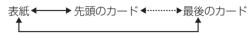
● メモリカードのデータベースファイルを選択する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

データベースファイル選択画面

4 [方向キー]でデータベースファイルを選択し、[■]を押す

5 [左右キー]で見たいカードを選択する

▶カードが表示されます。

● [左右キー]を押すごとに、画面の表示は以下のように切り替わります。

6 [上下キー]で見たい項目を選択し、[■]を押す

▶項目が表示されます。

補 足

● 操作*3*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、データベースファイルをコピーしたり、本体（データフォルダ）からメモリカードへ、メモリカードから本体（データフォルダ）へ移動（**メモリカードへ移動**／**本体へ移動**）することができます。

● 操作*4*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**名称編集**／**表紙変更**／**背景変更**／**カード並び替え**／**データベース消去**

● 操作*5*で[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**カードコピー**／**カード消去**
カードコピーを行うと、閲覧中のカードを同じデータベース内に複製することができます。

● 操作*6*で内容を変更する項目を選択した場合、[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**編集**／**入力データ消去**

● 操作*6*でテンプレート項目が「**電話番号**」、「**Eメールアドレス**」、または「**URL**」の項目を選択して[■]を押した場合は、項目の電話番号／Eメールアドレス／URLを利用することができます。
・「**電話番号**」の項目の場合、[○]（[発信]）を押して、登録されている番号に電話をかけることができます。また、[✉]（[メール]）を押して、スーパーメールまたはスカイメールを送信することができます。
・「**Eメールアドレス**」の項目の場合、[✉]（[メール]）を押して、スーパーメールまたはスカイメールを送信することができます。
・「**URL**」の項目の場合、[○]（[呼出]）を押して、登録されているURLの情報画面を表示することができます。

■カードを検索する

ポケットデータベースの検索機能を利用すると、データベースファイルから見たいカードを簡単に表示することができます。
閲覧中のデータベースファイルのテンプレートに設定された項目と「更新日」（カードの更新日）を条件に指定して、条件に合うカードを検索することができます。
複数の検索条件を指定して検索を行った場合は、指定した条件のすべてを満たすカードが検索されます。

● **データベース検索画面には、テンプレートに設定された項目の項目名と「更新日」が表示されます。**

1 データベースファイル表紙画面（☞14-41ページ）より、[✉]（[検索]）を押す

▶データベース検索条件設定画面が表示されます。

● データベース検索は、データベースの表紙または各カードの画面から行うことができます。

2 [上下キー]で条件を設定したい項目を選択し、[■]を押す

▶検索条件設定画面が表示されます。

3 検索条件を入力し、[■]を押す

▶検索条件が設定されます。

4 [✉]（[実行]）を押す

▶検索が行われ、指定した条件のすべてを満たすカードが表示されます。

● [✉]（[次へ]）を押すと次のカード（条件を満たすカード）が表示されます。条件を満たすカードがない場合は、操作*3*の画面に戻ります。

■カードを並び替える

データベース内のカードの並び順を設定することができます。並び順を決める項目を以下のうちでテンプレートに含まれるものから選択し、昇順または降順に設定することができます。

・**更新日順／タイトル順（50音、アルファベット順）／アイコン順／日付順／ランク順／価格順**

● **操作*2*の画面には、「更新日順」とテンプレートに設定された項目が表示されます。**

1 データベースファイル表紙画面(☞14-41ページ)より、Menu(メニュー)を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 〔ナビキー〕で「カード並び替え」を選択し、■を押す

3 〔ナビキー〕で並び順の基準にしたい項目を選択し、■を押す

▶並び順設定画面が表示されます。

4 〔ナビキー〕で「昇順」または「降順」を選択し、■を押す

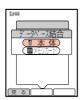
▶カードが並び替わり、データベースの表紙が表示されます。

■データベースを結合する

テンプレートが同じデータベースファイルは、ひとつに結合することができます。

1 データベースファイル選択画面(☞14-48ページ)より、〔ナビキー〕でひとつ目のデータベースファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 〔ナビキー〕で「データベース結合」を選択し、■を押す

3 〔ナビキー〕で2つ目のデータベースファイルの保存場所を選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

4 〔ナビキー〕で2つ目のデータベースファイルを選択し、■を押す

▶結合確認画面が表示されます。

5 〔ナビキー〕で「YES」を選択し、■を2回押す

▶2つのデータベースファイルが結合されます。

重要

カードの合計件数が500件を超える場合は、データベースファイルを結合することはできません。

補足

- 操作4で選択した2つ目のデータベースファイルは、結合後に自動的に消去されます。
- 結合後のデータベースファイルの設定(カードの並び順など)は、ひとつ目のデータベースファイルの設定になります。ただし、セキュリティ設定は「OFF」になります。

■データベースにセキュリティ設定を行う

他人に見られたくないデータベースファイルに「**ロックNo.**」を設定し、ロックNo.を入力しない限り、データベースの内容の確認や消去などをできないようにすることができます。セキュリティ設定は、データベースファイルごとに行うことができます。

1 データベースファイル選択画面(☞14-48ページ)より、〔ナビキー〕で設定したいデータベースファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 〔ナビキー〕で「セキュリティ設定」を選択し、■を押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

3 操作用暗証番号を入力する

▶ロックNo.の入力画面が表示されます。

- 間違った操作用暗証番号を入力するとデータベースファイル選択画面に戻ります。

4 データベースファイルのロックNo.を入力する

▶ロックNo.が設定され、画面に「🔒」が表示されます。また、データベースファイル名の表示が「**データベースファイル**」に変わります。

重要

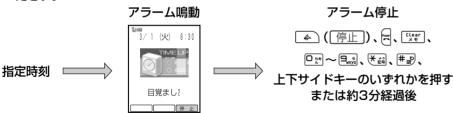
「ロックNo.」はお忘れにならないようご注意ください。また、他人に知られないようご注意ください。

補足

セキュリティ設定されたデータベースファイルは、データフォルダ内では、「データベースファイル」という名称で表示されます。また、サムネイル表示されている場合、サムネイルに表紙を表示しません。

目覚まし機能

V603Tを目覚まし時計として利用することができます（最大7件）。

● この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞1-19ページ）を行ってください。

電源が切れているときでも、自動的に電源が入り、目覚ましが起動します。[自動電源ON]

■設定できる項目について

項目	内容	設定方法
名称	名称を変更することができます。	☞14-54ページ
時刻	目覚まし時刻を登録できます。	☞14-53ページ
アラーム音	アラーム音は、固定パターン、固定メロディ、本体（データフォルダ）、メモリカードから選択することができます。	☞14-54ページ
アラーム音量	8種類から選択できます。	☞14-54ページ
バイブレータ	4種類から選択できます。	☞14-54ページ
時刻読上げ	**ON**／**OFF**から選択できます。	☞14-54ページ
起動設定	4種類から選択できます。	☞14-53ページ
繰返し通知設定	**あり**／**なし**から選択できます。	☞14-55ページ

・繰返し通知設定を「**あり**」に設定すると、5分おきにアラームが鳴り続け（待受画面には「⏰」が表示されます）、12回通知したあとに自動的に停止します。途中で停止するには、□■ スケジュール の順に押します。アラーム音を「**パターン5**」に設定した場合は、繰り返しの回数によってアラーム音が変わります。

・時刻読上げを「**ON**」に設定すると、アラームが鳴ったあとやアラームを停止したときに、設定した時刻を音声でお知らせします。

■目覚ましの設定のしかた

目覚ましは、詳細設定画面で時刻と起動設定を設定すると登録できる状態になります。それ以外の項目は必要に応じて設定してください。

1 □■ 5 2 の順に押す

▶目覚まし一覧画面が表示されます。

2 で設定したい目覚ましを選択し、■を押す

▶目覚まし設定画面が表示されます。

3 で「ON」を選択し、■を押す

▶目覚まし詳細設定画面が表示されます。

目覚まし詳細設定画面

4 で設定したい項目を選択し、■を押す

▶各項目の設定画面が表示されます。

● 登録できる項目については14-52ページを参照してください。

5 （完了）を押す

▶目覚ましが設定されます。待受画面には、「⏰」が表示されます。

時刻の設定／起動設定を行う

1 目覚まし詳細設定画面（☞上記）より、で「時刻」を選択し、■を押す

▶時刻設定画面が表示されます。

2 時刻を入力し、■を押す

▶時刻が設定されます。

● 時刻は24時間制で入力します。

3 で「起動設定」を選択し、■を押す

4 [◇]で起動したい回数を選択し、[■]を押す

▶起動設定が設定されます。
- 曜日ごとに目覚ましを設定する場合は、「**指定曜日起動**」を選択し、[■]を押します。続いて設定したい曜日を選択し、[○]（[チェック]）を押し、[✎]（[完了]）を押します。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと[✎]（[完了]）を押してください。

名称を変更する

1 目覚まし詳細設定画面（☞14-53ページ）より、[◇]で「名称」を選択し、[■]を押す

▶名称入力画面が表示されます。

2 名称を入力し、[■]を押す

▶名称が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定と起動設定を行ってから、[✎]（[完了]）を押してください。

アラーム音／バイブレータ／時刻読上げを設定する

例 アラーム音を固定メロディに設定する場合

1 目覚まし詳細設定画面（☞14-53ページ）より、[◇]で「鳴動設定」を選択し、[■]を押す

2 [◇]で「アラーム音」を選択し、[■]を押す

▶アラーム音選択画面が表示されます。

3 [◇]で「固定メロディ」を選択し、[■]を押す

▶固定メロディ選択画面が表示されます。

4 [◇]で設定したいアラーム音を選択し、[■]を押す

▶アラーム音が設定されます。
- メロディを再生する場合は、[✎]（[確認]）を押します。続いて[✎]（[再生]）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、[■]を押してください。
停止する場合は、[✎]（[停止]）を押します。
- 着うた®を再生する場合は、[✎]（[確認]）を押したあと、[○]（[再生]）を押してください。停止する場合は、[○]（[停止]）を押します。

5 [◇]で「アラーム音量」を選択し、[■]を押す

▶アラーム音量設定画面が表示されます。

6 [◇]で設定したいアラーム音量を選択し、[■]を押す

▶アラーム音量が設定されます。
- [✎]（[確認]）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

7 [◇]で「バイブレータ」を選択し、[■]を押す

▶バイブレータ選択画面が表示されます。

8 [◇]で設定したいバイブレータのパターンを選択し、[■]を押す

▶バイブレータが設定されます。
- 「**パターン1～3**」を選択したときは、選択したパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、アラーム起動時にアラーム音で設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

9 [◇]で「時刻読上げ」を選択し、[■]を押す

▶時刻読上げ設定画面が表示されます。

10 [◇]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶時刻読上げが設定されます。

11 [✎]（[完了]）を押す

▶鳴動設定が完了します。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定と起動設定を行ってから、[✎]（[完了]）を押してください。

補足

操作*4*のメロディ確認時の音量は、アラーム音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーで設定されている目覚ましの音量で確認音が鳴ります。

繰返し通知設定を設定する

1 目覚まし詳細設定画面（☞14-53ページ）より、[◇]で「繰返し通知あり」を選択し、[■]を押す

▶繰返し通知設定画面が表示されます。

2 で「あり」または「なし」を選択し、を押す

▶繰返し通知設定が設定されます。

● 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定と起動設定を行ってから、（完了）を押してください。

補足

● F機能、アドレス帳検索などの操作中でも、設定した時刻になると目覚ましが起動します。
● 通話中に設定した時刻になった場合、通話終了後に目覚ましが起動します。
● スケジュール、アクションアイテムと同じ時刻に設定されている場合は、目覚まし、スケジュール、アクションアイテムの順でお知らせします。
● マナーモード設定中に目覚ましが起動した場合の音量などは、マナーモード（☞3-2ページ）の設定に従います。
● 目覚まし起動中は、イルミネーション（お知らせランプ）（☞1-7ページ）が点滅します。

便利ツールの利用

■簡易電卓で計算する

1 Menu の順に押す

2 で「便利ツール」を選択し、を押す

便利ツール
選択画面

3 で「簡易電卓」を選択し、を押す

▶簡易電卓の画面が表示されます。

ボタン割り当て一覧表

ボタン	機能	ボタン	機能
0～9	0～9（数字を入力）		+/−切替
	＋（足し算）		%（パーセント）
	−（引き算）		＝（計算結果を表示）
	×（掛け算）	Clear（1回）	C（クリア）※1
	÷（割り算）	Clear（2回）	AC（オールクリア）※2
スケジュール 文字	.（小数点）		EXIT（簡易電卓を終了）

※1 入力した数字を消去します。
※2 計算を取り消します。

補足

● 計算結果は最大10桁まで表示されます。
● 計算エラーは「E」と表示されます。
● 計算結果によっては、最後の桁を四捨五入して表示される場合があります。

■割り勘電卓で計算する

お勘定を支払う前に各人の支払い金額を計算（未払い計算）したり、何人かで立替えてお勘定を支払ったあとに精算金額を計算（支払済み計算）したりできます。

支払い金額を計算する（未払い計算）

例 3人で2,000円のうち、支払いの割合を50%、10%、40%にする場合

1 便利ツール選択画面（☞14-56ページ）より、で「割り勘電卓」を選択し、を押す

2 で人数を設定し、（決定）を押す

● 人数を増やす場合はを押し、減らす場合はを押します。
● 最大6人設定することができます。

3 で各人の支払いの割合を変更し、（決定）を押す

▶支払い確認画面が表示されます。

● でカーソルを移動し、で割合を変更します。

14 便利な機能

4 で「未払い」を選択し、（決定）を押す

▶お勘定入力画面が表示されます。

5 総額を入力し、（決定）を押す

▶精算額が表示されます。
● 最大6桁入力することができます。
● 不足額がある場合は画面左下に表示されます。

立替え金額を精算する（支払済み計算）

例 4人で2,000円のうち、1人が1,500円、1人が500円を立替え、負担の割合を均一にする場合

1 便利ツール選択画面（☞14-56ページ）より、で「割り勘電卓」を選択し、を押す

2 で人数を設定し、（決定）を押す

● 人数を増やす場合はを押し、減らす場合はを押します。
● 最大6人設定することができます。

3 で各人の支払いの割合を変更し、（決定）を押す

▶支払い確認画面が表示されます。
● でカーソルを移動し、で割合を変更します。

4 で「支払済み」を選択し、（決定）を押す

▶立替金額入力画面が表示されます。

5 立替え金額を入力する

● でカーソルを移動し、〜で金額を入力します。
● 最大6桁入力することができます。

6 （決定）を押す

▶精算額が表示されます。
● 端数がある場合は画面左下に表示されます。

■キッチンタイマーを利用する

サブディスプレイでキッチンタイマーを利用することができます。設定時間が経過すると、アラーム音などでお知らせします。

1 便利ツール選択画面（☞14-56ページ）より、で「キッチンタイマー」を選択し、を押す

2 タイマー起動時間を入力し、（完了）を押す

▶準備完了画面が表示されます。
● 10秒から60分まで設定できます。

3 V603Tを閉じる

▶サブディスプレイにキッチンタイマーが表示されます。
● キッチンタイマーの操作方法は以下のとおりです。
・下サイドキー：スタート／ストップ／再スタート／アラーム停止
・上サイドキー：経過時間リセット

補足

● キッチンタイマーをスタートすると、設定時間経過後にアラーム音が約1分間鳴ります。アラーム音の音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
● キッチンタイマーをストップしているときにV603Tを開いて（変更）または（戻る）を押すと、設定時間を変更することができます。
● **キッチンタイマーを終了する場合は…**
V603Tを開き、（終了）の順に押します。

■ストップウォッチを利用する

サブディスプレイでストップウォッチを利用することができます。1秒モード（1秒単位で最長60分）または1／10秒モード（1／10秒単位で最長1分）で時間を計ることができます。

1 便利ツール選択画面（☞14-56ページ）より、[◎]で「ストップウォッチ」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で利用したいモードを選択し、[■]を押す

▶準備完了画面が表示されます。

3 V603Tを閉じる

▶サブディスプレイにストップウォッチが表示されます。
- ストップウォッチの操作方法は以下のとおりです。
  - ・下サイドキー：スタート／ストップ／再スタート
  - ・上サイドキー：リセット

補 足

ストップウォッチを終了する場合は…
V603Tを開き、[↩]（[終了]）[■]の順に押します。

■フォーチュンを利用する

サブディスプレイでおみくじなどを楽しむことができます。

項　目	内　容
おみくじ	おみくじの結果が表示されます。
今日の格言	格言が表示されます。
ケータイ占い	占いの結果が表示されます。
今日の運勢	運勢が表示されます。

1 便利ツール選択画面（☞14-56ページ）より、[◎]で「フォーチュン」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で利用したいフォーチューンを選択し、[■]を押す

▶準備完了画面が表示されます。

3 V603Tを閉じる

▶開始音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅してサブディスプレイに結果が表示されます。

補 足

- 開始音の音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
- **今日の運勢について…**
  - ・この占いは、（株）メディア工房が四柱推命占いを基に、V603T用に企画・制作したものです。
  - ・この占いは、運気のバロメーターをアイコンの数で表しています。
  - ・この占いは、F46「オーナー登録」（☞15-9ページ）の「誕生日」で生年月日を登録していると、登録されている生年月日にあった占い結果が表示されます。
  - ・この占いは、一般を対象にしているものであり、一個人を指しているものではありませんので占い結果に対しての責任は負いかねます。

■ミニゲームを利用する

サブディスプレイでゲームなどを楽しむことができます。

項　目	内　容
じゃんけん	じゃんけんゲームが起動します。
スロット風ゲーム	スロット風ゲームが起動します。
サイコロ（1コ）	サイコロ（1コ）が起動します。
サイコロ（丁半）	サイコロ（丁半）が起動します。

1 便利ツール選択画面（☞14-56ページ）より、[◎]で「ミニゲーム」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で利用したいゲームを選択し、[■]を押す

▶準備完了画面が表示されます。

3 V603Tを閉じる

▶サブディスプレイにゲームが表示されます。
- ゲームの操作方法は以下のとおりです。
  下サイドキー：勝負（スタート）、スロット停止※
  上サイドキー：終了
  ※スロット風ゲームの場合

補足

ゲームの音量は、F14「サウンド音量」(☞9-17ページ)の設定に従います。また、マナーモード(オリジナルマナーを除く)に設定されている場合(☞3-2ページ)は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

ボイスメモ

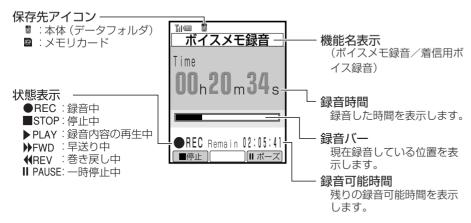
待受中に音声などを録音し、本体(データフォルダ)やメモリカードに登録することができます。数人程度の比較的近い距離での打合せや会議録音、個人による口述録音などに利用することができます。録音可能時間は、データフォルダの空き容量によります。また、音声を録音して、着信音パターン(☞9-3ページ)に設定することができます。

- **一般的なモラルやマナーをお守りのうえ、ご使用ください。**
- **メモリカードについては10章を、データフォルダについては11章を参照してください。**

■音声を録音する

マイク(☞1-6ページ)から音声を録音し、データフォルダに登録することができます。

録音画面について

録音時の画面は、以下のように表示されます。

ボイスメモを録音する

1 [Menu] [□] の順に押す

2 [◎] で「ボイスメモ」を選択し、[■] を押す

▶ボイスメモ選択画面が表示されます。

3 [◎] で「ボイスメモ録音」を選択し、[■] を押す

録音画面

▶録音画面が表示されます。

- 録音可能時間が30分未満の場合は、録音可能時間の表示が点滅します。
- 本体(データフォルダ)に録音可能な空き容量がなく、メモリカードに空き容量がある場合には、確認画面が表示されます。保存先を切り替える場合は、「YES」を選択し、[■] を押してください。メモリカードにも空き容量がない場合は、ボイスメモを起動できません。

4 [○] ([●録音]) を押す

▶録音を開始します。

- 録音画面については14-62ページを参照してください。
- 音声はスイッチ付イヤホンマイク(オプション品)の抜き差しにかかわらず、マイク(☞1-6ページ)から録音されます。
- 録音可能時間が1分以下になると、「**録音可能時間がわずかになりました**」と表示され、録音可能時間の表示が点滅します。
- [✧] ([II ポーズ]) を押すと、録音が一時停止します。
  [✧] ([再開]) を押すと、録音を再開します。

5 [○] ([■停止]) を押す、または録音可能時間を経過する

▶録音が停止します。

- [○] ([▶再生]) を押すと、録音内容が再生されます。[スケジュール 文字 A/a] を押すと、レシーバーからの再生に切り替わります。
- [◎] を押すと、巻き戻し、早送りができます。

6 [✧] ([登録]) を押す

▶ファイル名(録音開始日時)が表示されたあと、録音内容が本体(データフォルダ)のボイスフォルダに登録されます。

- 録音内容を登録するフォルダは変更することができます(☞14-66ページ)。

重要

- 実演および興行などには、個人として楽しむための録音自体が制限されている場合がありますので、ご注意ください。
- 録音中に着信があった場合は、着信を優先し、録音を停止します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定(☞Vodafone live!編)に従います。
- 録音中の着信やメールなどの受信を禁止することもできます(☞14-65ページ)。

補足

- 騒音環境下や音声が小さい場合、V603Tの配置によっては、録音内容が聞き取りにくい場合がありますので、事前に録音試験をするなど動作確認をおすすめします。
- 録音画面でV603Tを閉じると、録音画面がサブディスプレイに表示され、下サイドキーで録音、停止、登録の操作を行うことができます。V603Tを開くと、メインディスプレイでの操作に戻ります。
  サブディスプレイの録音画面は以下のように表示されます。

- 本体（データフォルダ）やメモリカードに登録した録音内容を消去する場合は、11-20ページを参照してください。

着信用ボイスを録音する

着信音パターン（☞9-3ページ）として利用できる音声を録音することができます（最長8秒）。

1 次の操作で録音時間入力画面を呼び出す

① Menu 〔□〕の順に押す
② 〔◎〕で「**ボイスメモ**」を選択し、〔■〕を押す
③ 〔◎〕で「**着信用ボイス録音**」を選択し、〔■〕を押す

2 録音時間を入力し、〔■〕を押す

▶録音画面が表示されます。
- 録音時間は1秒から8秒まで設定できます。
- 本体（データフォルダ）に録音可能な空き容量がなく、メモリカードに空き容量がある場合には、確認画面が表示されます。保存先を切り替える場合は、「YES」を選択し、〔■〕を押してください。メモリカードにも空き容量がない場合は、ボイスメモを起動できません。

3 〔o〕（●録音）を押す

▶録音を開始します。
- 録音画面については14-62ページを参照してください。
- 音声はスイッチ付イヤホンマイク（オプション品）の抜き差しにかかわらず、マイク（☞1-6ページ）から録音されます。
- 〔♤〕（‖ポーズ）を押すと、録音が一時停止します。
  〔♤〕（再開）を押すと、録音を再開します。

4 設定時間経過後

▶録音が停止します。
- 〔o〕（■停止）を押して、録音を停止することもできます。
- 〔o〕（▶再生）を押すと、録音内容が再生されます。〔スケジュール 文字〕を押すと、レシーバーからの再生に切り替わります。
- 〔•□•〕を押すと、巻き戻し、早送りができます。

5 〔♤〕（登録）を押す

▶ファイル名（録音開始日時）が表示されたあと、録音内容が本体（データフォルダ）のボイスフォルダに登録されます。
- 録音内容を登録するフォルダは変更することができます（☞14-66ページ）。

重要

録音中に着信があった場合は、着信を優先し、録音を停止します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定（☞Vodafone live!編）に従います。
録音中の着信やメールなどの受信を禁止することもできます（☞下記）。

補足

- 録音した音声を着信音パターンに設定する場合は、着信設定（☞9-3ページ）を参照してください。
- 録音画面でV603Tを閉じると、録音画面がサブディスプレイに表示され、下サイドキーで録音、停止、登録の操作を行うことができます。V603Tを開くと、メインディスプレイでの操作に戻ります。サブディスプレイの録音画面については、14-64ページの補足を参照してください。
- 本体（データフォルダ）やメモリカードに登録した録音内容を消去する場合は、11-20ページを参照してください。

録音中の割込み設定をする

録音中の着信やメールなどの受信を禁止することができます。
[オフラインモード]
また、録音中にメールなどを受信した場合の受信方法を設定することができます。
[割込み設定]
お買い上げ時は、オフラインモード「OFF」、割込み設定すべて「**バックグラウンド**」に設定されています。

例 オフラインモードを「ON」に設定する場合

1 次の操作で録音中割込み設定画面を呼び出す

① 録音画面（☞14-63ページ）より、Menu（メニュー）を押す
② 〔◎〕で「**録音中割込み**」を選択し、〔■〕を押す

14 便利な機能

2 で「オフラインモード」を選択し、■を2回押す

▶オフラインモード設定画面が表示されます。
- 割込み設定を行う場合は、「**割込み設定**」を選択します。「**割込み設定**」の内容や以降の操作については、Vodafone live!編を参照してください。

3 で「ON」を選択し、■を押す

▶オフラインモードが設定されます。

重要
- F24「オフラインモード」(☞3-6ページ)を「ON」に設定している場合は、録音中割込みの「**オフラインモード**」を設定することができません。
- 録音中割込みの「**オフラインモード**」は、「ON」に設定しても、ボイスメモ終了時に「OFF」に戻ります。

録音内容の自動登録を設定する

録音を停止すると、録音内容が自動的にデータフォルダに登録されるように設定することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 次の操作で自動登録設定画面を呼び出す

① 録音画面(☞14-63ページ)より、Menu(メニュー)を押す
② で「**自動登録設定**」を選択し、■を押す

2 で「ON」を選択し、■を押す

▶自動登録が設定されます。

録音内容の保存先を設定する

録音内容を登録する場合に、どのフォルダに登録するかを設定することができます。
お買い上げ時は本体(データフォルダ)の「**ボイス**」フォルダに設定されています。

1 次の操作で保存先設定画面を呼び出す

① 録音画面(☞14-63ページ)より、Menu(メニュー)を押す
② で「**保存先設定**」を選択し、■を押す

2 で「本体」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。
- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

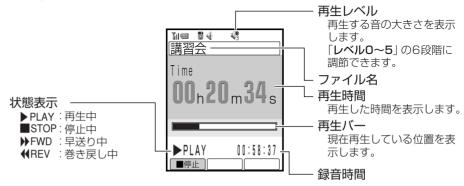
3 で設定したいフォルダを選択し、(決定)を押す

▶保存先が設定され、画面上部の保存先アイコンが変わります。

重要
保存先設定で設定したフォルダは、一時的な保存先です。ボイスメモを終了すると本体(データフォルダ)のボイスフォルダに戻ります。

■録音内容を再生する

再生画面について

再生時の画面は、以下のように表示されます。

再生のしかた

例 本体(データフォルダ)のボイスフォルダに登録した録音内容を再生する場合

1 Menu の順に押す

2 で「データ閲覧」を選択し、■を押す

▶データ閲覧先選択画面が表示されます。

3 で「データフォルダ」を選択し、■を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。

4 で「ボイス」フォルダを選択し、■を押す

▶ファイル選択画面が表示されます。

5 で再生したいファイルを選択し、■を押す

▶再生画面が表示されます。

14 便利な機能

6 ◯（▶再生）を押す

▶録音内容を再生します。

● 再生画面（☞14-67ページ）では以下の操作が行えます。
- ・◀▶ ：巻き戻し、早送りができます。
- ・▲▼ ：再生音量を6段階に調節できます。
- ・スケジュール文字A/a ：レシーバーからの再生に切り替わります。
- ・◯（■停止）：再生を停止します。

重要

ボイスメモの音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。サウンド音量がサイレント中またはマナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は、再生レベル0で再生されますが、▲▼で音量を調節することができます。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

補足

● 操作*5*の画面または再生停止中に、Menu（メニュー）を押して「**ジャンプ**」を選択し■を押すと、以下の項目にジャンプすることができます。ジャンプ先を選択し、■を押してください。「**ユーザ指定**」を選択した場合は、ジャンプ先の再生時間を入力して■を押してください。
- ・**先頭**　：録音内容の先頭にジャンプします。
- ・**終端**　：録音内容の終端にジャンプします。
- ・**ユーザ指定**　：ジャンプ先の時間を指定できます。

● 再生中にV603Tを閉じると、再生画面がサブディスプレイに表示され、下サイドキーで再生、停止の操作を行うことができます。V603Tを開くと、メインディスプレイでの操作に戻ります。サブディスプレイの再生画面は以下のように表示されます。

● 操作*4*のあとでMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
- ・**名称編集／1件消去**

ペンライト機能

V603Tのモバイルフラッシュ（☞1-7ページ）をライトとして使うことができます。

1 上サイドキー（■）をすばやく連続で2回押す

▶モバイルフラッシュが約10秒間、点灯します。

● 点灯中に下サイドキーを押すと消灯します。

重要

● モバイルフラッシュの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、発光方向を確認してから上サイドキー（■）を押してください。

● ペンライト機能は、ディスプレイが待受画面の状態で利用することができます。ただし、以下の場合、ライトは点灯しません。
- ・ダイヤル操作禁止中（☞13-3ページ）
- ・サイドキー誤動作防止中（V603Tを閉じた状態）（☞13-11ページ）
- ・サブディスプレイに「**メール未読**」、「**配信レポート**」を表示中（☞Vodafone live!編）

● Vアプリ起動中（☞Vodafone live!編）は、V603Tを閉じた状態または一時停止中のとき、ライトが点灯します。

補足

● 2回すばやく（約0.3秒以内）押さないと点灯しないことがあります。

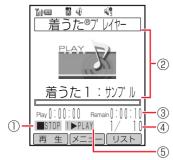
● 点灯中に上サイドキー（■）を押すたびに、約10秒ずつ点灯時間が延長されます。

● 点灯中に、着信やメール、ウェブなどの受信があった場合、消灯します。
また、スケジュール／アクションアイテム／お知らせ君／目覚ましのアラーム鳴動中と時刻読上げ中（☞14-11、14-52ページ）も消灯します。

着うた®プレイヤー

■着うた®プレイヤーについて

V603Tをオーディオプレイヤーとして利用することができます。
着うた®プレイヤーでは、オーディオフォルダに保存したMP4形式のオーディオファイルを、6つの再生モードと6段階の音量で楽しむことができます。
・着うた®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

メインディスプレイ

サブディスプレイ

① **状態表示**
▶ PLAY：再生中
■STOP：一時停止中

② **曲情報表示**
再生中の曲情報がテロップ表示されます。メインディスプレイでは、アニメーションを非表示にして、曲情報を一覧で表示することもできます(☞14-74ページ)。

③ **再生時間表示／残り時間表示** ※1

④ **曲番号表示**

⑤ **再生モード表示**(☞14-72、14-75ページ操作*4*の画面)
1▶PLAY：1曲
1 ⟲：1曲リピート
ALL▶PLAY：全曲
ALL ⟲：全曲リピート
Random：ランダム
Intro Quiz：イントロクイズ

⑥ **サイドキーガイド表示** ※2

※1 残り時間表示はメインディスプレイにのみ表示されます。
※2 サブディスプレイにのみ表示されます。

重 要

着うた®プレイヤーに対応していないファイルや約200Kバイトを超えるファイルは再生できません。

補 足

V603Tを閉じると、サブディスプレイに着うた®プレイヤーが表示されます。

■曲を再生する

1 **[Menu] [ ]の順に押す**

2 **[ ]で「着うた®プレイヤー」を選択し、[■]を押す**

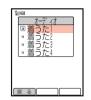
▶着うた®プレイヤーモード選択画面が表示されます。

3 **[ ]で「着うた®再生」を選択し、[■]を押す**

▶着うた®プレイヤー画面が表示されます。

着うた®プレイヤー画面

4 **[ ]([リスト])を押す**

▶オーディオフォルダに保存されているオーディオファイルの一覧が表示されます。
● 別のフォルダに保存されているオーディオファイルも選択できます(☞14-73ページ)。

5 **[ ]で再生したい曲を選択し、[■]を押す**

▶曲が設定されます。

6 **[ ]([再生])を押す**

▶再生が始まります。

7 **[ ]([停止])を押す**

▶曲が一時停止します。

8 **[Clear メモ]を押す**

▶曲が停止します。

重 要

● 着うた®プレイヤーで曲を再生中にメールを受信したときのメール着信は、着信設定(メール着信)の着信音量(☞9-2ページ)で設定している音量よりも小さく鳴ります。
● メモリカード内のオーディオファイルを再生中にメモリカードを抜いた場合、オーディオファイル消失の原因となります。

補足

- 着うた®プレイヤー利用中に電話がかかってきたときは、通話終了後、通話時間により着うた®プレイヤーまたは待受画面に戻ります。
- V603Tを閉じたときは、以下の操作で曲の再生／停止をすることができます。
  - ・下サイドキー：曲を再生する
  - ・上サイドキー：曲を停止する
- 着うた®プレイヤー起動中に無操作の状態で約1分50秒経過すると、待受画面に戻ります。

停止中／再生中の操作について

停止中／再生中は、以下の操作を行うことができます。

機　能	停止中の操作	再生中の操作
次の曲を再生する	[▢•]を押す、または下サイドキーを長く（約1秒以上）押す※	[▢•]を押す、または下サイドキーを押す※
曲の最初から再生する	[Clear/メモ]を押す	[•▢]を押す
前の曲を再生する	[•▢]を押す	[•▢]を2回押す
音量を調節する	[上下キー]を押す	[上下キー]を押す
曲を選択する	[✉]（[リスト]）を押す	[✉]（[リスト]）を押す

※V603Tを閉じたときに操作できます。

補足

着うた®プレイヤーの音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード設定中は、マナーモード（☞3-2ページ）の設定に従います。
[上下キー]で調節した再生音量は、着うた®プレイヤーを終了するとF14「サウンド音量」の設定に戻ります。

再生モードを変更する

再生モードを、5種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**全曲**」に設定されています。

再生モード	内　容
1曲	再生中のオーディオファイルを、1回再生します。
1曲リピート	再生中のオーディオファイルを、繰り返し再生します。
全曲	再生中のフォルダの全オーディオファイルを、表示順に再生します。
全曲リピート	再生中のフォルダの全オーディオファイルを、表示順に繰り返し再生します。
ランダム	再生中のフォルダの全オーディオファイルを、適当な順序で1回ずつ再生します。

1 着うた®プレイヤー画面（☞14-71ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [上下キー]で「再生モード変更」を選択し、[■]を押す

3 [上下キー]で設定したい再生モードを選択し、[■]を押す

▶再生モードが設定されます。

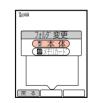
再生するフォルダを選択する

着うた®プレイヤーでは、フォルダごとに曲を再生できます。
特にお好みの曲を別のフォルダに保存したり、アーティストごとにフォルダに保存しておくと、そのフォルダの曲だけを全曲ランダム再生したり、全曲リピート再生することができます。
お買い上げ時は「**オーディオフォルダ**」に設定されています。

1 着うた®プレイヤー画面（☞14-71ページ）より、[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

2 [上下キー]で「フォルダ変更」を選択し、[■]を押す

3 [上下キー]で「本体」を選択し、[■]を押す

▶フォルダ選択画面が表示されます。
- メモリカードのフォルダを選択する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

4 [十字キー]で再生したいオーディオファイルが保存されているフォルダを選択し、[✉]（[決定]）を押す

▶フォルダが選択されます。

重要

着うた®プレイヤーでは、オーディオフォルダと、その下階層のフォルダのみ選択できます。

14 便利な機能

■再生中の動作を設定する

再生中アニメーションを表示する

着うた®プレイヤーの曲情報表示に再生中アニメーションを表示することができます。
お買い上げ時は「**表示**」に設定されています。

1 **着うた®プレイヤー画面(☞14-71ページ)より、Menu(メニュー)を押す**

▶サブメニューが表示されます。

2 **で「再生アニメ設定」を選択し、■を押す**

▶再生アニメ設定画面が表示されます。

3 **で「表示」または「非表示」を選択し、■を押す**

▶アニメーション表示が設定されます。

再生中イルミネーションを設定する

曲再生中にイルミネーション(お知らせランプ)を点滅させることができます。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

1 **着うた®プレイヤー画面(☞14-71ページ)より、Menu(メニュー)を押す**

▶サブメニューが表示されます。

2 **で「イルミネーション」を選択し、■を押す**

▶イルミネーション設定画面が表示されます。

3 **で「ON」または「OFF」を選択し、■を押す**

▶イルミネーション(お知らせランプ)が設定されます。

重 要

再生中イルミネーションは、曲が一時停止中の場合は設定できません。

■イントロクイズで遊ぶ

曲の先頭を数秒間流して、曲名を当てるクイズです。
選択したフォルダに保存されているオーディオファイルから出題されます。

1 **Menu の順に押す**

2 **で「着うた®プレイヤー」を選択し、■を押す**

▶着うた®プレイヤーモード選択画面が表示されます。

3 **で「イントロクイズ」を選択し、■を押す**

4 **で遊びたいモードを選択し、■を押す**

▶イントロクイズ画面が表示されます。
● 曲情報は表示されません。

5 **■を押す**

▶イントロクイズが出題されます。
● (イントロ)を押して、もう一度問題を確認することができます。

6 **(正解)を押す**

▶曲の再生が始まり、曲名が表示されます。
● 続けてイントロクイズで遊ぶときは、を押して操作*4*の画面を表示し、操作*5*～*6*を繰り返します。

補 足

● イントロクイズ画面を表示してからV603Tを閉じても遊べます。V603Tを閉じたときの操作は以下のとおりです。
・上サイドキーを押す:曲を再生し、正解を確認します。
・下サイドキーを押す:イントロクイズが出題されます。
・下サイドキーを長く(約1秒以上)押す:次の問題が出題されます。
● 操作*4*の画面でMenu(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
・**モード選択/フォルダ変更**

動画や静止画のテレビ表示機能

V603Tとテレビを接続すると、動画撮影時（☞7-13ページ）にテレビに表示したり、データフォルダに保存されている静止画や動画をテレビに表示することができます。

■テレビ表示に対応した機能について

機　能	説　明
内蔵のモバイルカメラでの動画撮影	テレビに表示しながら動画を撮影することができます。
データフォルダからの動画／静止画再生	データフォルダの動画と静止画をテレビで再生することができます。
カラオケ機能（V-kara）	カラオケを利用することができます（☞14-77ページ）。
テレビ表示に対応したVアプリ	Vアプリの画面をテレビに表示することができます。

補 足

テレビ表示に対応したVアプリ（☞Vodafone live!編）の操作は、Vアプリによって異なります。

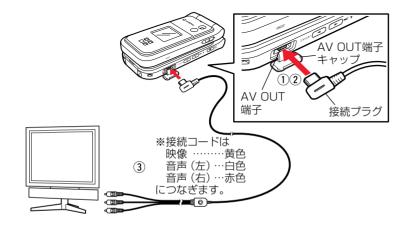
■テレビ表示機能を利用する

例 データフォルダの動画を再生する場合

1 次の操作でV603Tとテレビを接続する

① ボーダフォン携帯電話のAV OUT端子キャップを開ける

② ビデオ出力ケーブルの接続プラグをAV OUT端子に差し込む

③ ビデオ出力ケーブルをテレビのビデオ入力端子（映像・音声）に接続する

2 データフォルダの動画ファイルを表示する（☞11-4ページ）

3 [スケジュール/文字 A/a]を押す

▶メインディスプレイに確認画面が表示されます。

4 [■]を押す

▶ディスプレイが非表示になり、テレビに表示されます。

5 [■]を押す

▶動画がテレビで再生されます。

重 要

- データフォルダの動画と静止画は、ファイルによってはテレビ表示ができない場合があります。
- 付属のテレビ出力ケーブル以外のケーブルを接続すると、テレビ表示ができない場合があります。

補 足

- 動画の再生中は、テレビ表示に変更できません。一度停止してから、テレビ表示に変更してください。
- テレビ表示を終了する場合は、[スケジュール/文字 A/a]を押すかV603Tを閉じてください。
- 操作によっては、自動的にテレビ表示が終了する場合があります。
- 内蔵のモバイルカメラでの動画撮影でテレビ表示に変更したい場合は、7-13ページの操作2のあとで[スケジュール/文字 A/a]を押します。
  なお、動画撮影中はテレビ表示に変更できません。撮影を終了してから変更してください。

カラオケ機能（V-kara）

1 V603Tとテレビを接続する（☞14-76ページ）

2 [Menu][○]を押す

3 [◎]で「Vアプリ」を選択し、[■]を押す

▶Vアプリメニューが表示されます。

4 [◎]で「Vアプリライブラリ」を選択し、[■]を押す

▶Vアプリライブラリ画面が表示されます。

5 [キー]で「V-kara player 2」を選択し、[■]を押す

▶使用上の注意画面が表示されます。

● VアプリVアプリの起動方法についてはVodafone live!編を参照してください。

6 [キー]（[OK]）を押す

▶ネットワーク接続の確認画面が表示されます。

7 [キー]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶V-kara画面が表示されます。

● [キー]（[説明]）を押すと、V-karaの説明が表示されます。[キー]（[戻る]）を押すと、V-kara画面に戻ります。

8 [スケジュール 文字 A/a]を押す

▶メインディスプレイに確認画面が表示されます。

9 [■]を押す

▶ディスプレイが非表示になり、テレビに表示されます。

重 要

テレビから「キー」という音（ハウリング）が出た場合は、テレビの音量を下げるか、V603Tをテレビから離してください。

補 足

● V-kara利用中に電話がかかってきたときは、通話終了後、V-karaに戻ります。また、割込フレーム（☞Vodafone live!編）が表示されたときは、操作終了後、V-karaに戻ります。
● Vアプリの再生音量の調節（☞Vodafone live!編）で音量を低く設定していると、カラオケ楽曲の再生音量とマイクからの音のバランスがとれない場合があります。
● カラオケVアプリによっては、SMAF形式のファイルを再生するときに、テレビに表示してマイク（☞1-6ページ）を使って、歌声にエコーをかけることができます。

その他の機能

お知らせ一発メニューの利用

かかってきた電話に出られなかった場合や、未読メールがあったときなど未確認の情報をお知らせする機能です。未確認の情報があると待受画面にお知らせ一発メニューが表示されます。

例 未確認の着信履歴を確認する場合

1 着信が停止

▶お知らせ一発メニューが表示されます。

● お知らせ設定(☞15-3ページ)を「OFF」に設定している場合は、■を押してください。

2 で「着信あり」を選択し、■を押す

▶着信履歴の画面が表示され、電話をかけてきた相手を確認することができます。

補 足

● 待受画面に戻っても未確認の内容がある場合は■を押してお知らせ一発メニューを表示させることができます。
● 複数の未確認項目があるときは確認したい項目を選択し、■を押してください。
● お知らせ一発メニューの表示内容については、以下のようになります。

表 示	内 容	参照ページ
メール未読	未読のメールがあることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
配信レポート	未読の配信レポートがあることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
ウェブ未読	未読のメッセージ(自動配信)があることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
ステーション新着	新着の情報があることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
センター留守録あり	留守番電話センターに未確認のメッセージがあることをお知らせします。	☞16-5ページ
簡易留守録	簡易留守録に未確認のメッセージがあることをお知らせします。	☞2-14ページ
着信あり	電話がかかってきていたことをお知らせします。	☞2-17ページ
サーバー未読あり	メールリストに取得したメッセージがあることをお知らせします。	☞Vodafone live!編

お知らせ設定

お知らせ一発メニュー(☞15-2ページ)を自動で表示させることができます。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 Menu の順に押す

2 で「表示設定」を選択し、■を押す

▶表示設定画面が表示されます。

3 で「メインディスプレイ」を選択し、■を押す

▶メインディスプレイ設定画面が表示されます。

4 で「画面設定」を選択し、■を押す

▶画面設定画面が表示されます。

5 で「お知らせ設定」を選択し、■を押す

▶お知らせ設定画面が表示されます。

6 で「ON」または「OFF」を選択し、■を押す

▶お知らせ設定が設定されます。

補 足

「OFF」に設定した場合でも、未確認の内容がある場合は、待受画面で■を押すと、お知らせ一発メニューが表示されます。

イルミネーション(お知らせランプ)設定

■お知らせカラーを設定する

未確認の情報(下表)がある場合に点滅するイルミネーション(お知らせランプ)の色をカラー7種類から選択することができます。
お買い上げ時は、電話が「**カラー1**(赤)」、メールが「**カラー2**(緑)」、ウェブ/ステーションが「**カラー3**(青)」に設定されています。

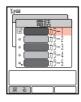
項 目	内 容
電話	かかってきた電話に出られなかった場合や、未確認のセンター留守録、簡易留守録があるときにイルミネーションが点滅します。
メール	未読のメールがあるときにイルミネーションが点滅します。
ウェブ/ステーション	未読のウェブやステーションの新着情報があるときにイルミネーションが点滅します。

1 [Menu][□●]の順に押す

2 [◀▲▼▶]で「イルミネーション」を選択し、[■]を押す

▶イルミネーション設定画面が表示されます。

3 [▲▼]で「お知らせカラー」を選択し、[■]を押す

4 [▲▼]で着信の種類を選択し、[■]を押す

5 [▲▼]で設定したいお知らせカラーを選択し、[■]を押す

▶お知らせカラーが設定されます。

- カラーを選択すると、イルミネーション（お知らせランプ）が、選択している色で点灯します。

重要

イルミネーションを点滅させている場合、電池の消費は大きくなり、通話時間、待受時間が短くなります。

補足

- 未確認の内容を確認すると、イルミネーションの点滅は終了します。
- イルミネーションの点滅間隔は約3秒ですが、点滅開始から約6時間経過すると約10秒になります。
- カメラを使用している場合、お知らせカラーは動作しません。

■着信イルミネーションを設定する

着信時に点滅するイルミネーション（お知らせランプ）の点滅パターンを8種類から選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時は、電話が「**パターン1**（赤）」、メールが「**パターン2**（緑）」、ウェブ／ステーションが「**パターン3**（青）」に設定されています。

項　目	内　容
電話	電話がかかってきたときのパターンを選択します。
メール	メールを受信したときのパターンを選択します。
ウェブ／ステーション	ウェブやステーションを受信したときのパターンを選択します。

1 次の操作で着信イルミネーション選択画面を呼び出す

① [Menu][□●]の順に押す
② [◀▲▼▶]で「**イルミネーション**」を選択し、[■]を押す
③ [▲▼]で「**着信イルミ**」を選択し、[■]を押す

2 [▲▼]で着信の種類を選択し、[■]を押す

3 [▲▼]で設定したいパターンを選択し、[■]を押す

▶パターンが設定されます。

- パターンを選択すると、イルミネーション（お知らせランプ）が、選択しているパターンで点滅します。

補足

- 着信イルミネーションを設定しても、アドレス帳のオプション設定（☞5-7ページ）で着信イルミネーションを設定している場合は、アドレス帳の設定が優先されます。
- 着信イルミネーションを設定しても、F37「グループ設定」（☞5-13ページ）で着信イルミネーションを設定している場合は、グループ設定の設定が優先されます。
- 「**電話**」を「**OFF**」に設定すると、アドレス帳のオプション設定やF37「グループ設定」の設定は無効となり、電話着信時にイルミネーションは点滅しません。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時や受信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でイルミネーションが点滅するメロディファイルのみ）に連動してイルミネーションが点滅します。

■通話中イルミネーションを設定する

通話中に点滅するイルミネーション（お知らせランプ）の点滅パターンを7種類から選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時は「**パターン1**（赤）」に設定されています。

1 次の操作で通話中イルミネーション設定画面を呼び出す

① [Menu][□●]の順に押す
② [◀▲▼▶]で「**イルミネーション**」を選択し、[■]を押す
③ [▲▼]で「**通話中イルミ**」を選択し、[■]を押す

2 [▲▼]で設定したいパターンを選択し、[■]を押す

▶パターンが設定されます。

- パターンを選択すると、イルミネーション（お知らせランプ）が、選択しているパターンで点滅します。

ショートカットメニュー

よく使う機能をショートカットメニューに登録して簡単な操作で呼び出すことができます。

■ショートカットメニューに登録する

V603Tの機能を最大40件登録することができます。また、登録した機能の名称やアイコンを変更することもできます。
お買い上げ時は、以下の機能が登録されています。

- スカイメール
- スーパーメール
- 受信メール
- 簡易電卓
- 国語辞書
- 英和辞書
- 和英辞書
- 着うた®プレイヤー
- スケジュール
- 時間割
- TV
- FMラジオ

1　登録する機能を呼び出す

2　[ ]を押す

▶ショートカットメニューの画面が表示されます。

3　[ ]（[登録]）を押す

▶呼び出した機能が登録されます。

- 呼び出した機能が登録できない場合、「[登録]」は表示されません。
- 登録される名称とアイコンは、以下のようになります。

登録する機能	名　称	アイコン
メール作成画面	メール	
アドレス帳の検索画面 アドレス帳の確認画面	アドレス帳	
着うた®プレイヤー画面 イントロクイズ画面	着うた®プレイヤー	
ピクチャーファイル再生画面	静止画	
Vアプリ	Vアプリ	
その他の機能	名称なし	

4　[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

5　[ ]で「名称編集」を選択し、[■]を押す

▶名称入力画面が表示されます。

6　名称を修正し、[■]を押す

▶名称が修正されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

7　[Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

8　[ ]で「アイコン変更」を選択し、[■]を押す

▶アイコン一覧画面が表示されます。

9　[ ]で設定したいアイコンを選択し、[■]を押す

▶アイコンが変更されます。

補足

- すでに機能を40件登録している場合は、上書きの操作が必要です。上書きする場合は操作3のあと「YES」を選択し、[■]を押します。続いて上書きする機能を選択し、[■]を押します。
- あらかじめ登録されているアイコン（☞15-6ページ）は、名称の編集、アイコンの変更、上書きを行うことはできません。

■ダイレクトキーに登録する

ショートカットメニューに登録した機能から1件を選択して、ダイレクトキーに登録することができます。登録した機能は、待受中に[ ]を長く（約1秒以上）押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時は「**Vアプリライブラリ**」に設定されています。

1　[ ]を押す

▶ショートカットメニューの画面が表示されます。

15 その他の機能

2 でダイレクトキーに登録したい機能を選択し、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 で「ダイレクトキー登録」を選択し、を押す

▶確認画面が表示されます。

4 で「YES」を選択し、を押す

> **補足**
> ショートカットメニューの画面でダイレクトキーに登録した機能を選択しMenu（メニュー）を押して、ダイレクトキー解除の操作を行うことができます。

■ショートカットメニューから機能を呼び出す

1 を押す

▶ショートカットメニューの画面が表示されます。

2 で呼び出したい機能を選択し、を押す

▶呼び出した機能の操作画面が表示されます。

> **重要**
> すでに複数の機能を起動している状態で、さらに他の機能を呼び出そうとした場合は「**前の操作を終了してから起動してください**」と表示されます。

> **補足**
> ショートカットメニューの画面でMenu（メニュー）を押して、ショートカットメニューの消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。
> ただし、あらかじめ登録されているアイコン（☞15-6ページ）は消去できません。

■ショートカットメニューの配置を変更する

ショートカットメニュー内の機能（アイコン）の位置を移動することができます。

例 「**簡易電卓**」のアイコンの位置を移動する場合

1 を押す

▶ショートカットメニューの画面が表示されます。

2 で「」（簡易電卓）を選択し、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 で「アイコン移動」を選択し、を押す

4 で移動したい位置を選択する

5 を押す

▶「」（簡易電卓）のアイコンが、選択した位置に移動されます。

オーナー登録

自分のプロフィールを登録することができます。
名前とE-mailアドレスは、F0「自局電話番号表示」（☞2-20ページ）の操作時に表示されます。
オーナー登録では、以下の項目を登録することができます。

- **名前**（最大で半角24文字、全角12文字）
- **誕生日**
- **郵便番号**（最大7桁）
- **住所**（最大で半角128文字、全角64文字）
- **自宅電話番号**（最大24桁）
- **Eメールアドレス**（英数字と一部の記号のみ最大で半角60文字）

必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 4 6 の順に押す

▶プロフィール登録画面が表示されます。

2 で登録したい項目を選択し、を押す

▶項目の登録画面が表示されます。

15 その他の機能

3 **情報を入力し、[■]を押す**

▶情報が設定されます。
● 文字の入力方法については4章を参照してください。

4 [↩]（[完了]）

▶プロフィールが登録されます。

補足

操作**3**の画面で項目を選択して[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押すと、以下の操作を行うことができます。
・登録した項目の**消去**／**vCardで保存**（☞11-17ページ）／**赤外線1件送信**（☞12-4ページ）／**全項目消去**

定型文登録

あらかじめ、よく使う単語や文章を登録して、文字入力や編集時に定型文として利用することができます（最大20件）。

● **メールのメッセージ入力時に使用するメール定型文については、Vodafone live!編を参照してください。**

1 **[ｽｹｼﾞｭｰﾙ 文字 A/a]を押す（約1秒以上）**

▶登録メニューが表示されます。

2 **[◇]で「定型文」を選択し、[■]を押す**

3 **[◇]で登録したい位置を選択し、[■]を押す**

▶定型文入力画面が表示されます。

4 **文字を入力し、[■]を押す**

▶定型文が登録されます。
● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角64文字、全角32文字です。

補足

● 登録内容を編集する場合は、操作**2**の画面で登録した定型文を選択したあと[◉]（[編集]）を押します。
● 操作**2**の画面で[Menu]（[ﾒﾆｭｰ]）を押して、登録した定型文の消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。

簡易留守録

電話に出られない場合、V603Tに相手のメッセージを録音することができます。録音は、音声メモ（☞2-13ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

● **圏外時などに留守番電話センターがメッセージをお預かりする、留守番電話サービス（☞16-4ページ）とは異なります。**

■簡易留守録を設定する

1 **[□■][4][2]の順に押す**

▶簡易留守録画面が表示されます。

2 **[◇]で「留守録設定」を選択し、[■]を押す**

▶簡易留守録設定画面が表示されます。

3 **[◇]で「ON」を選択し、[■]を押す**

▶簡易留守録が設定され、待受画面に「[留守録アイコン]」が表示されます。
● 簡易留守録を解除する場合は、「**OFF**」を選択します。

重要

● 電源OFFの場合、圏外にいる場合、オフラインモード設定している場合、着信禁止を設定している場合は、メッセージをお預かりできません。
● マナーモード（オリジナルマナー）設定中は、オリジナルマナーの簡易留守録設定（☞3-4ページ）が優先されます。マナーモード（オリジナルマナー）設定中に簡易留守録の設定／解除を行う場合は、オリジナルマナーの簡易留守録設定を変更してください。
● 録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「[アイコン]」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「[アイコン]」の表示が消えるまで消去（☞2-15ページ補足）してください。

補足

● 簡易留守録が設定されていなくても、着信音が鳴っているときに[◉]（[留守録]）を押すと簡易留守録が設定されます。
● 簡易留守録を設定すると、着信時に電話に出られない旨の応答メッセージが流れます。F35「言語選択」（☞8-22ページ）を「**English**」に設定した場合は、英語の応答メッセージと日本語の応答メッセージが順に流れます。
● 録音された内容は、設定を解除しても記憶されています。

簡易留守録設定中に電話がかかってくると

1 着信音が鳴る

2 応答時間（☞15-13ページ）経過後、応答メッセージが流れる

3 相手のメッセージを録音

▶「ピーッ」という音のあと、相手の声を録音します。録音中は、レシーバーから相手の声が聞こえます。

4 録音終了

▶相手が電話を切るか、約90秒経過すると録音は終了し、「📼」が表示されます。
- お知らせ設定が「ON」の場合は、お知らせ一発メニュー（☞15-2ページ）が表示されます。
- 録音されたメッセージを再生するには、2-14ページを参照してください。

重 要

録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「📼」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「📼」の表示が消えるまで消去（☞2-15ページ補足）してください。

補 足

- 自動着信（☞15-17ページ）が設定されていても、簡易留守録の応答が優先されます。ただし、録音が一杯になっているときは、自動着信が起動します。
- 応答メッセージ再生中およびメッセージの録音中に［○］（［応答］）または［↑］を押すと、相手と通話することができます。この場合、録音中のメッセージは消去されます。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記憶されています。
- メッセージ録音中に［✎］（［スピーカー］）を押すと、録音中のメッセージをフロントスピーカーで聞くことができます。

■応答時間を変更する

応答メッセージが流れるまでの時間（応答時間）を、変更することができます。
お買い上げ時は「**06秒**」に設定されています。

1 ［□■］［4］［2］の順に押す

▶簡易留守録画面が表示されます。

2 ［◇］で「応答時間設定」を選択し、［■］を押す

3 応答時間を入力し、［■］を押す

▶応答時間が設定されます。
- 秒数は2桁で入力してください。

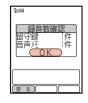
補 足

- 簡易留守録と留守番電話サービス（☞16-4ページ）の両方を設定した場合には、応答時間の短い方を優先してメッセージをお預かりします。
- 簡易留守録と留守番電話サービスの応答時間が同じに設定されている場合は、留守番電話サービスが優先してメッセージをお預かりします。

■録音件数を確認する

簡易留守録や音声メモの録音件数を確認することができます。

1 ［□■］［4］［0］の順に押す

▶現在の録音件数が表示されます。

補 足

簡易留守録や音声メモを再生するには、2-14ページを参照してください。

プッシュトーンを送る

プッシュトーンを送って自動音声応答サービスなど各種のプッシュホンサービスをご利用になれます。

■プッシュトーンをひとつずつ送る

1 通話中に[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかのボタンを押す

▶押されたボタンのプッシュトーンが送出されます。

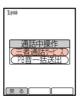
■プッシュトーンを一括して送る

プッシュトーンで送りたい内容をあらかじめアドレス帳（☞5-2ページ）に登録しておき、プッシュホンサービスなどで利用の際、一括して送ることができます。ポケットベルに送るときなどに便利です。[プッシュトーン一括送出]

1 相手とつながったあと、[□]を押して送りたいプッシュトーンが登録されたアドレス帳を呼び出す

- アドレス帳の呼び出しかたについては5-18ページを参照してください。

2 [⌒]を押す

- アドレス帳に電話番号が2件以上登録されている場合は、送りたいプッシュトーンを選択してから、[⌒]を押してください。

3 [◎]で「PB音一括送出」を選択し、[■]を押す

▶プッシュトーンが送出されます。
- 一度に送出できるプッシュトーンは、最大24桁です。

補 足

- リダイヤル（☞2-4ページ）、着信履歴（☞2-17ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-16ページ）などから番号を呼び出して送ることもできます。
- アドレス帳に登録されている「-」、「／」、「・」は送出されません。

■リンクダイヤルを使ってプッシュトーンを送る

ポーズ「・」を利用するとプッシュトーンを「・」ごとに区切って順番に送出することができます。ご自宅の電話機の遠隔操作番号など複数のプッシュトーンをまとめてアドレス帳に登録すると便利です。

アドレス帳にリンクダイヤルを登録する

例 以下の3つの番号を登録する場合

電話番号	：「03-123X-XXX3」
留守番電話の暗証番号	：「#7777」
留守番電話の再生操作番号	：「#1」

1 アドレス帳の電話番号に、「03123XXXX3・#7777・#1」を登録する

- ポーズ「・」を入力するときは電話番号入力時に[スケジュール]を3回（2つ目以降は2回）押します。
- アドレス帳の登録方法については5-3ページを参照してください。

リンクダイヤルで電話をかける

1 アドレス帳を呼び出す

- アドレス帳の呼び出しかたについては5-18ページを参照してください。
- 右の画面は、メモリ番号003にリンクダイヤルを登録した場合です。

2 [⌒]を押す

▶初めに登録されている番号にダイヤルします。
電話がつながると、画面に「[アイコン]」が表示され「・」が点滅します。
- アドレス帳に電話番号が2件以上登録されている場合は、使用したいリンクダイヤルを選択してから、[⌒]を押してください。

3 [□][⌒]の順に押す

▶次に登録されている番号が送出されます。
番号が送出されると、画面に「[アイコン]」が表示され、次の「・」が点滅します。
- すべての番号を送出するまで、この操作を繰り返します。

ガイド機能

待受中、通話中、着信中に簡単なボタン操作で起動できる機能と操作方法を確認することができます。
ガイドで確認できる機能は以下のとおりです。

- ノートパッドメモリ
- 録音メモ再生
- マナーモード設定／解除
- ウェブ
- メール
- リダイヤル
- クローズ時のサイドキー誤動作防止
- 留守番転送
- 簡易留守録設定／解除
- タイムアップ分停止
- 着信履歴
- 受話音量調節
- スピードダイヤル
- カメラ
- データフォルダ
- スケジュール
- ショートカットメニュー
- TV

1 [□■] [3] [0] の順に押す

2 [↕] を押す

▶他の機能と起動のしかたが順に表示されます。

自動応答機能

オプション品のスイッチ付イヤホンマイク接続時に、ボタン操作をせずに電話を受けることができます。電話を受けるまでの時間（応答時間）は変更することができます。[自動着信]
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 [□■] [3] [2] の順に押す

▶自動着信設定画面が表示されます。

2 [↕] で「ON」を選択し、[■] を押す

3 応答時間を入力し、[■] を押す

▶自動着信が設定されます。

- 秒数は、2桁で入力してください。

補足

- 自動着信と簡易留守録（☞15-11ページ）を設定している場合は、簡易留守録の設定が優先されます。ただし、簡易留守録や音声メモの録音が一杯の場合は、自動着信が起動します。
- 自動着信と留守番電話サービス（☞16-4ページ）を設定している場合は、応答時間の短い方が優先されます。応答時間が同じに設定されている場合には、自動着信を優先します。

バッテリーセーブ

通話中の消費電力を減らしたり、無操作の状態で一定時間を経過したときにディスプレイの表示やボタンの照明を消したりして、電池の消費を抑えることができます。バッテリーセーブでは、以下の内容を設定することができます。

項目			内容	設定方法
メインディスプレイ	ディスプレイ省電力	待受中	待受中にメインディスプレイの表示が消えるまでの時間を設定します。	☞下記
		ボタン操作中	ボタン操作後、約2分経過したときに、メインディスプレイの表示が消えます。	☞下記
	通話中節電		通話中の消費電力を減らします。	☞15-19ページ
サブディスプレイ	ディスプレイ省電力		待受中にサブディスプレイの表示が省電力表示になるまでの時間を設定します。	☞下記
	自動電源OFF		待受中、約1時間経過したときに、サブディスプレイの表示が消えます。	☞下記
キーバックライト			ボタンを操作するとボタンの照明が約5秒間点灯します。	☞15-20ページ

補足

ディスプレイの照明の点灯時間を短くして、電池の消費を抑えることもできます（☞8-14、8-21ページ）。

■ディスプレイ省電力を設定する

お買い上げ時は、メインディスプレイのディスプレイ省電力は、待受中が「**20秒**」、ボタン操作中が「**ON**」、サブディスプレイのディスプレイ省電力が「**15秒**」、自動電源OFFが「**ON**」に設定されています。

例 待受中にメインディスプレイの表示が消えるまでの時間を設定する場合

1 [□●] [3] [3] の順に押す

▶ディスプレイ選択画面が表示されます。

2 [◇]で「メインディスプレイ」を選択し、[■]を押す

▶省電力項目選択画面が表示されます。

● サブディスプレイの各設定を行う場合は、「**サブディスプレイ**」を選択します。

3 [◇]で「ディスプレイ省電力」を選択し、[■]を押す

▶ディスプレイ省電力項目選択画面が表示されます。

4 [◇]で「待受中」を選択し、[■]を押す

● 操作中の省電力を設定する場合は、「**ボタン操作中**」を選択します。

5 [◇]で設定したい時間を選択し、[■]を押す

▶ディスプレイ省電力が設定されます。

補足

お知らせ一発メニュー（☞15-2ページ）表示中は、ボタン操作中の設定に従います。

■通話中節電を設定する

お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

1 次の操作で通話中節電設定画面を呼び出す

① [□●] [3] [3] の順に押す

② [◇]で「**メインディスプレイ**」を選択し、[■]を押す

③ [◇]で「**通話中節電**」を選択し、[■]を押す

2 [◇]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶通話中節電が設定されます。

補足

通話中節電を「**ON**」に設定すると、こちらの話し始めの声が相手に聞こえにくくなることがあります。

■キーバックライトを設定する

お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 次の操作でキーバックライト設定画面を呼び出す

① [□•][3][3]の順に押す

② [◇]で「**キーバックライト**」を選択し、[■]を押す

2 [◇]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶キーバックライトが設定されます。

応答方法設定

■オープン通話を設定する

電話がかかってきたときにV603Tを開くだけで応答することができます。
お買い上げ時は「**応答しない**」に設定されています。

1 [□•][3][6]の順に押す

▶応答方法設定画面が表示されます。

2 [◇]で「オープン通話」を選択し、[■]を押す

3 [◇]で「応答する」または「応答しない」を選択し、[■]を押す

▶オープン通話が設定されます。

■応答キーを設定する

電話がかかってきたとき、[↗]の他、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかのボタンを押しても電話を受けられるように設定できます。[エニーキーアンサー]
お買い上げ時は「**キーのみ**」に設定されています。

1 次の操作で応答キー設定画面を呼び出す

① [□•][3][6]の順に押す

② [◇]で「**応答キー設定**」を選択し、[■]を押す

2 [◇]で「キーのみ」または「エニーキーアンサー」を選択し、[■]を押す

▶応答キーが設定されます。

通話品質アラーム設定

通話中に電波状態が悪くなった場合、通話が切れる前にアラーム音でお知らせします。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 [□•][3][8]の順に押す

▶通話品質アラーム設定画面が表示されます。

2 [◇]で「ON」または「OFF」を選択し、[■]を押す

▶通話品質アラームが設定されます。

補足

- アラーム音は相手には聞こえません。
- 通話中に電波状態が急激に悪くなると、アラーム音が鳴らずに通話が切れる場合があります。

184／186付加設定

電話をかけるとき、自動的に184または186を付加して番号をダイヤルし、自分の電話番号を相手に通知しない、または通知するように設定することができます。

■184／186を自動的に付加する

お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

1 [□•][7][9]の順に押す

▶184／186付加機能選択画面が表示されます。

2 [◇]で「184／186付加」を選択し、[■]を押す

3 [◇]で付加したい番号を選択し、[■]を押す

▶184／186付加が設定されます。

15 その他の機能

重 要

- 186を付加すると、発信者番号通知サービスのお申し込みに関係なく、相手に自分の電話番号が常に通知されます。
  また、184を付加すると、お申し込みに関係なく、相手には自分の電話番号が一切通知されません。「OFF」に設定するとお申し込みいただいた設定になります。
- 184または186を付けて電話をかけたり、登録したアドレス帳で電話をかけた場合は、その184または186を優先します。
  例えば「18403123XXXX1」を登録したアドレス帳で電話をかけると、本機能を「186」に設定しても、相手には自分の電話番号が通知されません。
- 「184」に設定しても、メール送信時（☞Vodafone live!編）は無効となり、相手には自分の電話番号が通知されます。

補 足

リダイヤルや着信履歴などから呼び出してかけた場合も、184または186が付加されます。

■不在着信履歴へ184を付加する

不在着信履歴（☞2-17ページ）から、アドレス帳に登録されていない電話番号を選択して電話をかける場合、自分の電話番号を相手に通知しないように設定（184付加）することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 次の操作で不在184付加設定画面を呼び出す

① [□●][7][9]の順に押す
② [◎]で「不在184付加」を選択し、[■]を押す

2 [◎]で「ON」を選択し、[■]を押す

▶不在184付加が設定されます。

重 要

不在184付加を「ON」に設定した場合は、184／186付加（☞15-21ページ）を「186」や「OFF」に設定していても、アドレス帳に登録のない不在着信履歴への発信時に184が付加されます。

国際電話サービスの利用

国際電話をかけるとき、相手先の国番号＋市外局番＋電話番号を入力したあとで、国際ショートコード（ボーダフォンの国際電話専用ダイヤル「0046」＋「010」）を付加して簡単に電話をかけることができます。この機能は、アドレス帳から電話をかけるときにも利用できます。また、付加する国際ショートコードを変更することもできます。
お買い上げ時は「0046010」に設定されています。

- **国際電話サービスをご利用になるには、あらかじめお申し込みが必要となります。国際電話サービスについて、詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。**

■電話番号に国際ショートコードを付加する

- **国際電話をかける場合の国番号や市外局番などのダイヤルのしかたについては、ボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。**

例 直接入力した電話番号に付加する場合

1 電話番号を入力する

2 [Menu]（[メニュー]）を押す

▶サブメニューが表示されます。

3 [◎]で「国際発信」を選択し、[■]を押す

▶確認画面が表示されます。

4 [◎]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶電話番号の先頭に「0046010」が付加され、電話がかかります。
相手につながると通話ができます。

重 要

アドレス帳から国際ショートコードを利用して国際電話をかける場合、相手先の国番号、市外局番、電話番号がアドレス帳に登録されている必要があります。詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。

■国際ショートコードを変更する

1 [□●] [7] [7] の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 操作用暗証番号を入力する

- 間違った操作用暗証番号を入力すると待受画面に戻ります。

3 [o]（[編集]）を押す

▶国際ショートコード入力画面が表示されます。

4 新しい国際ショートコードを入力し、[■]を押す

▶国際ショートコードが変更されます。

- 登録可能桁数は最大10桁です。

補 足

操作*2*の画面で[Menu]（[メニュー]）を押して、国際ショートコードをお買い上げ時の設定に戻す（**初期化**）操作を行うことができます。

FAX／パソコン通信の利用

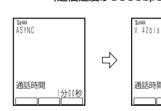
モデムカード（オプション品）を接続して、FAX／パソコン通信を行うことができます。

FAX／パソコン通信の方法、モデムカードの接続方法については、モデムカードの取扱説明書を参照してください。

通信中の画面は以下のようになります。

FAX通信中

パソコン通信中（通信速度が2400bps）

パソコン通信中（通信速度が9600bps）

V.42bis
通話時間
1分00秒

（V.42bisの場合）

重 要

電波の状態が悪い場所や、移動しながらFAX通信やパソコン通信を行うと、データが途中で切れたり、データが正常に送れない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの利用

オプション品のスイッチ付イヤホンマイク接続時に、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話をかけたり、受けたりすることができます。

■ワンタッチで電話をかける

スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、アドレス帳（☞5-2ページ）のメモリ番号000に登録されている電話番号に電話をかけることができます。
また、V603Tを閉じたままでも電話をかけることができます。

- **あらかじめ、イヤホン端子（☞1-7ページ）にスイッチ付イヤホンマイクを接続してください。**

1 イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、メモリ番号000に登録されている番号に電話がかかります。
相手につながると通話できます。

- 発信中にスイッチを長く（約1秒以上）押すと、イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

2 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

- [終話]を押しても電話が切れます。

補 足

- メモリ使用禁止（☞13-5ページ）が設定されている場合は、操作*1*のあとでイヤホンから「ピピピッ」と音が鳴り、待受画面に戻ります。設定を解除してから操作を行ってください。
- アドレス帳のメモリ番号000に電話番号が登録されていない場合は、操作*1*のあとでイヤホンから「ピピピッ」と音が鳴り、待受画面に戻ります。
- メモリ番号000をシークレットメモリに登録している場合は、シークレットモードを「ON」にしてから（☞13-9ページ）操作を行ってください。
- 割込通話中（☞16-7ページ）、切替通話中（☞16-8ページ）は、スイッチを長く（約1秒以上）押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ワンタッチで電話を受ける

スイッチ付イヤホンマイクを接続中に電話がかかってきた場合、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話を受けることができます。
また、V603Tを閉じたままでも電話を受けることができます。

- **あらかじめ、イヤホン端子（☞1-7ページ）にスイッチ付イヤホンマイクを接続してください。**

1 電話がかかってくる

▶着信音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。
- イヤホンからも着信音が鳴ります。

2 イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、電話がつながります。

3 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。
- を押しても電話が切れます。

補足
- 応答保留中（☞2-7ページ）、簡易留守録で応答中（☞2-8、15-12ページ）にスイッチを長く（約1秒以上）押すと、相手と通話することができます。
- 通話中に割込通話（☞16-7ページ）がかかってきた場合は、スイッチを長く（約1秒以上）押すと応答することができます。通話中は、スイッチを長く（約1秒以上）押すたびに通話の相手が切り替わります。
- 自動着信を「ON」に設定すると、ボタン操作をせずに電話を受けることができます（☞15-17ページ）。

イヤホンアンテナのマイク設定

V603TにTVアンテナ付ステレオイヤホンマイク（V401T付属品）を接続する場合、イヤホンアンテナの設定を「**マイク有**」に設定してください。
お買い上げ時は「**マイク無**」に設定されています。

1 の順に押す

▶イヤホンアンテナ設定画面が表示されます。

2 で「マイク有」を選択し、を押す

重要
- 「**マイク有**」の設定でリール式イヤホンアンテナを接続した場合、通話時に自分の声を相手に送ることができません。
- 「**マイク無**」の設定でTVアンテナ付ステレオイヤホンマイク（V401T付属品）を接続した場合、通話時に自分の声は本体のマイクから送られ、イヤホンマイクからは送られません。相手の声やテレビ／FMラジオの音声も片方のイヤホンからしか聞こえません。

補足
リール式イヤホンアンテナとTVアンテナ付ステレオイヤホンマイク（V401T付属品）を接続するたびに、必ずイヤホンアンテナのマイク設定を切り替えてください。

サイドキーの設定

上下サイドキーの機能をそれぞれ変更することができます。設定した機能は、待受中に上下サイドキーを長く（約1秒以上）押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時は上サイドキー「**FMラジオ**」、下サイドキー「**マナーモード**」に設定されています。

設定できる機能	内　容	参照ページ
FMラジオ	FMラジオを起動します。	☞6-20ページ
マナーモード	マナーモードを設定／解除します。	☞3-2ページ
簡易留守録	簡易留守録を設定／解除します。	☞15-11ページ
オフラインモード	オフラインモードを設定／解除します。	☞3-6ページ
写メールモード	写メールモードでカメラを起動します。	☞7-7ページ
デジタルカメラモード	デジタルカメラモードでカメラを起動します。	☞7-7ページ
ムービー写メールモード	ムービー写メールモードでカメラを起動します。	☞7-13ページ
ハンディビデオ(MPEG)	ハンディビデオモードでカメラを起動します。	☞7-13ページ
ボイスメモ	ボイスメモを起動します。	☞14-62ページ
時刻読上げ	現在の時刻を音声でお知らせします。	☞15-28ページ
着うた®プレイヤー	着うた®プレイヤーを起動します。	☞14-70ページ
ミニゲーム	ミニゲームを起動します。	☞14-61ページ
フォーチュン	フォーチュンを起動します。	☞14-60ページ

1 Menu の順に押す

2 で「サイドキー設定」を選択し、を押す

▶サイドキー選択画面が表示されます。

3 [◇]で設定したいサイドキーを選択し、[■]を押す

4 [◇]で設定したい機能を選択し、[■]を押す

▶サイドキーの機能が設定されます。

■時刻読上げ機能

サイドキーの設定（☞15-27ページ）で、「**時刻読上げ**」を選択した場合は、設定したサイドキーを長く（約1秒以上）押すと、現在の時刻を音声でお知らせします。

補足

時刻読上げの音量は、F14「サウンド音量」（☞9-17ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞3-2ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

QRコード読み取り

内蔵のモバイルカメラでQRコードを読み取り、V603TにQRコードデータとして保存することができます（最大10件）。
QRコード読み取り専用モードを呼び出す方法と、文字の入力画面からQRコード読み取り機能を呼び出す方法があります。
・QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

QRコード

重要

QRコードが汚れていたり影がかかっていたりすると、読み取れないことがあります。

補足

- 読み取ったQRコードが分割データだった場合は、連続して読み取ることができます（最大16分割）。
- 分割データを読み取った場合、1件のQRコードデータとして保存されます。

■QRコードを読み取る

QRコード読み取り専用モードは、マルチメニューから呼び出したり、カメラの撮影モードを「**QRコード読取り**」に変更して呼び出します。
読み取ったデータは、読取りデータ詳細画面（☞15-30ページ）で確認できます。

例 マルチメニューから呼び出す場合

1 [Menu][◇]の順に押す

2 [◇]で「QRコード」を選択し、[■]を押す

▶QRコード機能選択画面が表示されます。

3 [◇]で「QRコード読取り」を選択し、[■]を押す

▶QRコード読取りの確認画面が表示されたあと、ファインダー画面が表示されます。

4 接写スイッチ（☞1-7ページ）を接写（🌷）に切り替える

▶接写モードに切り替わります。

5 撮影したいQRコードをメインディスプレイのガイドにあわせる

- [◇]で画像の明るさを調節することができます（☞7-4ページ）。
- [◇]でズームを利用することができます（☞7-5ページ）。

6 [✉]（読取）を押す

▶読み取ったデータが表示されます。
- 読み取ったQRコードが分割データの場合は、「**YES**」を選択し[■]を押します。続けて操作*5*～*6*を繰り返し、すべてのQRコードを読み取ると表示／保存ができます（最大16分割）。

7 [✉]（登録）を押す

▶QRコードデータが保存されます。
- 保存されたデータを確認する場合は、15-30ページを参照してください。

補足

- 操作*6*で読み取ったデータが「**MAILTO:**」または「**MEMORY:**」で始まる場合は、読み取り後にメニューが表示され、それぞれ以下の操作を行うことができます。
  ・MAILTO：**スーパーメール作成／スカイメール作成／コピー／メール本文へ挿入**
  ・MEMORY：**アドレス帳登録／コピー／メール本文へ挿入**
- 操作*6*の画面で、QRコードデータ中の電話番号／E-mailアドレス／URLを選択し[■]を押すと、リンクメニュー（☞Vodafone live!編）が表示されます。
  また、画像やメロディを選択し[■]を押すと、以下の操作を行うことができます。
  ・**表示／再生／登録／プロパティ／コピー**
- 操作*6*の画面で[Menu]（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。
  ・**コピー／メール本文へ挿入**

■文字入力中に読み取る

読み取ったデータは、文字の入力画面に挿入されます。

1 **文字の入力画面より、Menu（メニュー）を押す**

▶エディタメニューが表示されます。

2 **で「挿入」を選択し、■を押す**

▶挿入メニューが表示されます。

3 **で「QRコード読取り」を選択し、■を押す**

▶ファインダー画面が表示されます。
このあと、15-29ページの操作*4*～*6*を行ってください。文字の入力画面に読み取ったデータが挿入されます。

補足

以下の文字の入力画面のみ「**QRコード読取り**」を選択できます。
・ウェブ（☞Vodafone live!編）の文字の入力画面
・メール（☞Vodafone live!編）の件名の入力画面、メッセージの入力画面

■QRコードデータを確認する

1 **Menu の順に押す**

2 **で「QRコード」を選択し、■を押す**

▶QRコード機能選択画面が表示されます。

3 **で「QRコードデータ確認」を選択し、■を押す**

4 **で確認したいQRコードデータを選択し、■を押す**

▶読取りデータ詳細画面が表示されます。

補足

● 操作*3*の画面でMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
　・**名称編集／1件消去／全件消去**
● 操作*4*の画面で、QRコードデータ中の電話番号／E-mailアドレス／URLを選択し■を押すと、リンクメニュー（☞Vodafone live!編）が表示されます。
　また、画像やメロディを選択し■を押すと、以下の操作を行うことができます。
　・**表示／再生／登録／プロパティ／コピー**
● 操作*4*の画面でMenu（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。
　・**コピー／メール本文へ挿入**

くーまんの部屋

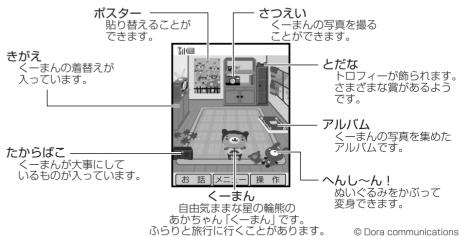
自由気ままな星の輪熊のあかちゃん「くーまん」の部屋を起動すると、くーまんを変身させたり、くーまんとお話ししたりできます。

● **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞1-19ページ）の操作を行ってください。**

重要

F35「言語選択」（☞8-22ページ）を「**English**」に設定した場合は、くーまんの部屋を起動できません。「**日本語**」に設定してください。

■くーまんの部屋について

補足

くーまんの秘密は、V603T専用のウェブサイトTOSHIBA User Club Site（☞Vodafone live!編）で一部公開されています。

■くーまんの部屋を起動する

1 **Menu の順に押す**

2 [キー]で「くーまんの部屋」を選択し、[■]を押す

▶くーまんの部屋が起動します。
- くーまんの部屋起動確認画面が表示されたときは、「**起動する**」を選択し、[■]を押します。
- 待受くーまん（☞8-19ページ）の設定確認画面が表示されたときは、「**YES**」または「**NO**」を選択し、[■]を押します。

くーまんの部屋

補 足

- くーまんの部屋で[Menu]（[メニュー]）を押して、以下の操作を行うことができます。

メニュー	内　容
部屋の模様がえ	くーまんの部屋を模様替えすることができます。くーまんデータ内の「**お部屋データ**」に保存されている部屋に変更できます。
くーまんメール	くーまんからのメール（くーまんメールボックス）を確認することができます（☞15-34ページ）。
くーまんデータ	くーまんデータ内のファイルの表示、消去、メール添付などを行うことができます。
マイデータ登録	自分の名前を設定すると、くーまんが名前を覚えてくれます。また、誕生日、記念日（アニバーサリー）を設定すると、くーまんがお祝いしてくれます。
UserClubSite	V603T専用のウェブサイトTOSHIBA User Club Site（☞Vodafone live!編）に接続して、くーまんデータをダウンロードすることができます。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。くーまんの部屋の操作方法などを確認することができます。
メモリ使用状況	くーまんデータで使用しているメモリの使用状況を確認することができます。
くーまんOFF	くーまん機能（くーまんメール、待受くーまん、くーまんの部屋）を終了します。 ただし、未読のくーまんメールがあると、くーまん機能を終了できません。

- くーまんデータは、くーまんの部屋メニューから「**UserClubSite**」を選択したときのみダウンロードできます。
- くーまんは、ふらりと旅行に行くことがあります。旅行中は会うことができませんが、旅行先からメール（☞15-34ページ）を送ってくれることがあります。しばらくすると部屋に戻ってきますので、時間をおいて何度かくーまんの部屋を起動してみてください。

■くーまんと遊ぶ

くーまんが大事にしている宝箱をのぞいたり、待受くーまん（☞8-19ページ）を変身させたり、記念撮影したりできます。

例 待受くーまんを変身させる場合

1 くーまんの部屋（☞上記）より、[✎]（[操作]）を押す

▶くーまんの部屋が操作できるようになります。

2 [●]（[前へ]）、[✎]（[次へ]）で「へんし〜ん！」を選択し、[■]を押す

3 [キー]で変身用キャラクターを選択し、[✎]（[完了]）を押す

▶待受くーまんが変身します。くーまんの部屋では変身前の洋服を着ています。

補 足

- 「**たからばこ**」を選択した場合は、くーまんの「**たからもの**」が表示されます。「**たからもの**」を選択し、[Menu]（[メニュー]）を押して、メールに添付することができます。添付した「**たからもの**」は「**たからばこ**」からなくなります。
- 「**きがえ**」を選択した場合は、くーまんを着替えさせることができます。くーまんは、日中と夜で別の洋服を着ていますので、新しい洋服は、着替えた時間帯（日中または夜）にだけ着るようになります。
  たとえば、以下の表のように、日中に洋服Bに着替えた場合は、日中だけ洋服Bを着るようになります。夜になると、夜の洋服Cに着替えます。続いて夜に洋服Cから洋服Dに着替えると、次の日は、日中は洋服Bを着て、夜は洋服Dを着るようになります。

例	日　中	夜
ある日の洋服	洋服Aを着る	洋服Cを着る
日中（洋服Aを着ているとき）に洋服Bに着替えると	洋服Bを着る	洋服Cを着る
続いて、夜（洋服Cを着ているとき）に洋服Dに着替えると	洋服Bを着る	洋服Dを着る
次の日になると	洋服Bを着る	洋服Dを着る

  また、季節ごとにも別の洋服を着ますので、時間帯と同様に季節ごとに着替えることができます。
- くーまんの部屋で[●]（[お話]）を押すと、「🎤」が表示され、くーまんとお話しできるようになります。
  くーまんは、「おはよう」などの簡単な言葉に応えてくれます（音声認識）。ただし、以下のような場合は、くーまんが誤認識してしまうことがあります。
  ①くーまんが想像していない声のトーン（高い、低い）、イントネーション、発音でお話しした場合
  ②雑音の多い場所でお話しした場合
  ③くーまんが認識できない言葉でお話しした場合
- お話しするときは本体のマイク（☞1-6ページ）を使います。マイクとの距離を20cm程度とって、話しかけてください。

■くーまんからのメールを確認する

初めてくーまんの部屋を起動したあとや、くーまんが旅行に出かけているときなどに、メールを送ってくれることがあります。
くーまんからのメールには、プレゼントが添付されていることがあります。

例 くーまんメールを確認する

1 **くーまんの部屋(☞15-32ページ)より、Menu(メニュー)を押す**

▶サブメニューが表示されます。

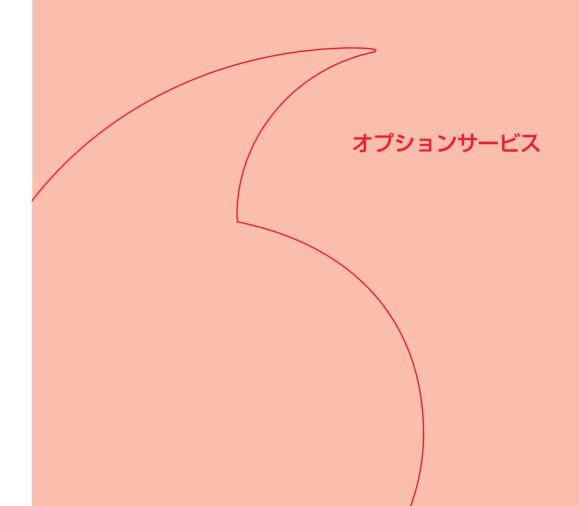
2 **[ナビ]で「くーまんメール」を選択し、[■]を押す**

3 **[ナビ]で確認したいメールを選択し、[■]を押す**

重 要

未読のくーまんメールがある場合、次の機能は利用できません。
・待受くーまん(☞8-19ページ)
・ディスプレイの表示を英語表示に切り替える(☞8-22ページ)
・F29「設定リセット」(☞13-12ページ)

補 足

- くーまんからメールが送られてこないようにするには、くーまんの部屋でMenu(メニュー)を押して、「**くーまんOFF**」(☞15-32ページ)の操作を行います。
- くーまんメールは、メールボックス(☞Vodafone live!編)と同様の操作で確認、保護、消去が行えます。
- くーまんメールは、メールボックス内の「受信メール」(☞Vodafone live!編)とメモリを共有しています。受信メールのフォルダから全件消去の操作を行ったり、受信メールの自動消去設定を「**ON**」に設定してメールフォルダが一杯になると(☞Vodafone live!編)、くーまんメールも消去の対象となります。
- 添付されていたデータは、データフォルダまたはくーまんデータフォルダに保存できます。
- くーまんメールは、メールボックスからは確認できません。
- くーまんメールは、ボーダフォンライブ!サービスセンター(☞Vodafone live!編)を利用しない疑似メールです。通信料はかかりません。

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します(☞16-3ページ)。
留守番電話サービス※	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき(割込通話サービスを設定しているときは除く)などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします(☞16-4ページ)。
割込通話サービス※	今までお話ししていた相手の方との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます(☞16-7ページ)。
三者通話サービス※	2人での通話中に、もう1人に電話をかけ、3人同時に通話することができます。また、相手の方を切り替えながらの通話もできます(☞16-8ページ)。
発信者番号通知サービス※	お客様の電話番号を相手の方に通知したり、かけてきた相手の方の電話番号を確認することができます。

※別途、お申し込みが必要です。

- **電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V603Tからは操作できません。**
- **ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。**
- **ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。**
- **オプションサービスの詳細については「サービスガイドブック」をご覧ください。**

転送電話サービス

■転送先の電話番号を登録する

1 **[メニュー][7][1]の順に押す**

2 **[上下キー]で「転送先番号」選択し、[■]を押す**

▶転送先電話番号の入力画面が表示されます。

3 **転送先の電話番号を入力し、[■]を押す**

- 登録先が一般電話のときは、市内であっても市外局番から、また携帯電話のときは相手の電話番号(全桁)を入力してください。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、登録された転送先電話番号が表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

補足

以下の電話番号は転送先として登録できません。
・「1」から始まる電話番号(例:110、119、118など)
・「0120」から始まる電話番号(フリーダイヤル)
・「0990」から始まる電話番号(ダイヤルQ2など)

■転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

1 **次の操作で転送条件設定画面を呼び出す**

① [メニュー][7][1]の順に押す

② [上下キー]で「**転送条件**」を選択し、[■]を押す

2 **[上下キー]で「呼出あり」(着信音を鳴らす)または「呼出なし」(着信音を鳴らさない)を選択し、[■]を押す**

- 「**呼出なし**」は、関東・甲信/東海/関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、「**テンソウサービスON**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

重要

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

■転送電話サービスを停止する

1 [□•][7][3]の順に押す

2 [◇]で「YES」を選択し、[■]を押す

● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

転送電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に[↗]を押すとそのまま通話できます。

● 転送時の着信音を「**呼出なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

転送電話サービスの設定状況の確認

1 [□•][7][4]の順に押す

2 [◇]で「YES」を選択し、[■]を押す

▶転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況が表示されます。

補足

秘書サービスとは…
転送電話サービスと留守番電話サービスのことを秘書サービスと呼びます。

留守番電話サービス
（別途、お申し込みが必要です）

■留守番電話サービスを開始する

1 [□•][7][2]の順に押す

2 [◇]で「呼出あり」（着信音を鳴らす）または「呼出なし」（着信音を鳴らさない）を選択し、[■]を押す

● 「**呼出なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

重要

● 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
● すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に[↗]を押すとそのまま通話できます。

● 転送時の着信音を「**呼出なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

留守番電話サービスの機能

■留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります（詳しくは、「サービスガイドブック」をご覧ください）。

留守番電話サービス停止時

■着信中に、[□•][留]の順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます（留守番電話サービスは停止のままです）。

■留守番電話サービスを停止する

1 [□•][7][3]の順に押す

2 [◇]で「YES」を選択し、[■]を押す

● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■伝言メッセージを聞く

留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「[1416]」が表示されます。
・電源をONにしたとき
・発信、着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km～数十km、郊外では数十kmが目安です）

1 [1][4][1][6][↗]の順に押す

以降は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

補足

「[1416]」はV603Tで新しいメッセージを聞いたときに消えます（一般電話からメッセージを聞いたときは消えません）。

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 □■ 7 4 の順に押す
2 [上下] で「YES」を選択し、■ を押す
▶留守番電話サービスまたは転送電話サービスの設定状況が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼び出し時間設定

● **東北・新潟／中国／四国地域では、現在このサービスはご利用になれません。**

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V603Tにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V603Tの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。
お買い上げ時は「**20秒**」に設定されています。

● **電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。**
● **着信音を鳴らさない設定にしているときは、ここでの設定は無効になります（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。**

1 □■ 7 0 の順に押す
▶設定できる呼び出し時間が表示されます。

2 [上下] で呼び出し時間を選択し、■ を押す
● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**トウロク**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

補足

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV603Tの簡易留守録機能（☞15-11ページ）とあわせてご利用になる場合は、呼び出し時間の短い方が優先されます。
例：サービスの呼び出し時間 ……10秒
簡易留守録の呼び出し時間 …6秒
と設定すると、簡易留守録が優先されます（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります）。
また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

割込通話サービス（別途、お申し込みが必要です）

■割込通話サービスを設定／解除する

● **北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。**

1 □■ 7 5 の順に押す

2 [上下] で「ON」または「OFF」を選択し、■ を押す
● 「**ネットワーク接続中**」と表示されたあと、「**ワリコミコールON**」または「**ワリコミコールOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■割込通話サービスの設定を確認する

● **北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、ご確認はできません。**

1 □■ 7 6 の順に押す

2 [上下] で「YES」を選択し、■ を押す
● 「**ネットワーク接続中**」と表示されたあと、設定状況に応じて、「**ワリコミコールON**」または「**ワリコミコールOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■割込通話を受ける

1 通話中に「プープー」と割込通話音が聞こえる

2 [通話] を押す
▶最初に話していた相手を保留にして、割込みしてきた相手の着信に応答します。

3 [通話] を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わる

重要

割込通話サービスは、国際電話ではご利用になれません。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**呼出なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に を押すか、通話中の相手の方が電話を切ると

■呼び出し音が鳴ってディスプレイに「**保留中**」と表示されます。
を押すと、保留中の相手の方との通話になります。

三者通話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です）

■通話中にもう1人へ電話をかける

1 通話中に電話番号をダイヤルし、を押す

- アドレス帳（☞5-18ページ）、リダイヤル／着信履歴（☞2-4、2-17ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-16ページ）から相手を呼び出すこともできます。

2 で「三者通話サービス」を選択し、を押す

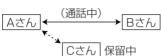
▶通話していた相手の方を保留にし、もう一方の相手の方と通話できます。

■相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 通話中にもう1人の相手の方を呼び出す（☞上記）

2 通話中にを押す

▶通話していた相手の方を保留にし、もう一方の相手の方と通話できます。

- を押すたびに、通話する相手の方を切り替えることができます。

切替通話中に を押すか、通話中の相手の方が電話を切ると

■呼び出し音が鳴ってディスプレイに「**保留中**」と表示されます。
を押すと、保留中の相手の方との通話になります。

切替通話中に、他の2人だけの通話にする（通話中転送）（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

1 の順に押す

2 で「通話中転送」を選択し、を押す

▶「**テンソウカンリョウ**」と表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手の方と、保留中の相手の方の通話になります（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます）。

■3人で同時に通話する（三者通話）

1 切替通話中に、の順に押す

▶「**三者通話**」が選択され、通話を開始します。

- 三者通話にすると、切替通話に戻すことはできません。

三者通話中に を押すかV603Tを閉じると

■2人の相手の方との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手の方のどちらかが電話を切ると

■残された相手の方との通話になります。

三者通話中に、他の2人だけの通話にする（通話中転送）（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

1 の順に押す

2 で「通話中転送」を選択し、を押す

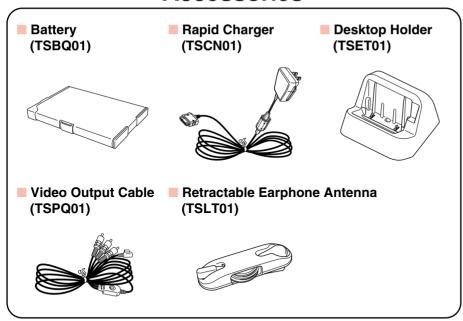
▶「**テンソウカンリョウ**」と表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手の方と、もう1人の相手の方の通話になります（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます）。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please access the Vodafone K.K. Website (www.vodafone. jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

* Please note that the full manual in English may not be available at the time of purchase.

Accessories

- Other optional items, such as a soft case, earphone microphone and indoor antenna are sold separately. For details on other optional items, contact the nearest Vodafone Shop or Customer Service (☞page 17-34).
- The handset is equipped with a miniSD™ memory card slot. Separately purchase a miniSD™ memory card (hereafter referred to as the memory card) to use memory card functions.
  The handset supports memory cards with a storage capacity of up to 512 MB (as of December 2004). There is no guarantee that all memory cards will work with the handset.

Safety Precautions

- To ensure proper usage, be sure to read the Safety Precautions thoroughly before using your handset. Always keep this manual conveniently available for future reference.
- Be sure to follow the safety information contained in the instruction manuals and indicated on the product to prevent injury to the user and other persons as well as damage to property.
- When a child uses the handset, it is recommended that a parent or guardian reads the instruction manuals thoroughly and provides proper instructions to the child.
- The following describes the meaning of safety symbols and signal words. Be sure to understand their meanings before proceeding to read this manual.

Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ Danger	Indicates an imminently hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Warning	Indicates a potentially hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Caution	Indicates a potentially hazardous operation that could result in minor or moderate injury[2] to the user or damage to property[3].

1 Serious injury includes loss of sight, wounds, high temperature burns, low temperature burns (prolonged skin contact with an object generating heat at a temperature exceeding body temperature causes burns that produce reddening, blistering and other symptoms), electric shock, fractures and poisoning requiring hospitalization or long-term medical treatment.
2 Injury includes wounds, burns and electric shock not requiring hospitalization or long-term medical treatment.
3 Damage to property includes extensive damage to homes and household property, as well as livestock and pets.

Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
Prohibited	⃠ indicates a prohibited action. The prohibited action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.
Compulsory	❗ indicates a compulsory action that must be carried out. The compulsory action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.

Limitation of Liability

- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from natural disasters such as earthquakes, lightning, storms and floods, as well as fires through no fault of Vodafone and Toshiba, acts by third parties, other accidents, improper use by the user, whether intentionally or negligently, or use under other abnormal conditions.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for incidental damages arising out of the use or inability to use the product, including, but not limited to, corruption or loss of data, lost business revenue or suspension of business operations.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from improper use not conforming to the instructions in the instruction manuals.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from malfunctions caused by use in combination with connection equipment or software that is not authorized for use by Vodafone and Toshiba.
- Image data captured by the camera or data downloaded can be corrupted or lost due to malfunction, repair or other improper handling of the product. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for the restoration of corrupted or lost data, as well as any damages or lost revenue and profits.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages or loss of data stored by yourself resulting from failures or malfunctions of the product, regardless of the cause. Be sure to write down and keep the important data to minimize damage caused by data loss or alteration.

⚠ Danger

Do not disassemble, modify or repair the handset, battery, charger, Retractable Earphone Antenna or TV Antenna Cable (option ZTPH03)
Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock, injury or malfunction. Modification of the handset is prohibited by Japanese Radio Law. For repair, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (☞page 17-34).

Do not dispose of the handset or battery in a fire or expose it to heat
If the handset or battery is exposed to water, do not dry it artificially in heating equipment (microwave oven, etc.)
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Do not charge, use or leave the handset or battery in hot places such as near a fire or heater
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Do not expose the handset, charger or battery to fluids such as water, perspiration or seawater
Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or malfunction. If the handset is dropped accidentally in water or any other fluid, immediately turn off the handset and contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (☞page 17-34).

Do not leave the handset, charger or battery outdoors, in a bathroom or wherever water or any other fluid is used
Do not place the handset, charger or battery near cups, vases or other containers of fluids
Exposure to water or other fluids may cause electric shock, overheating, rupturing or fire.

Do not drop the handset or battery or subject it to excessive shock
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Do not use excessive force when inserting the battery into the handset or inserting the handset into the charger
Do not connect any cords with reverse polarity
Doing so may cause the battery to leak, rupture, overheat or catch fire, as well as cause electric shock or malfunction.

Do not short circuit the battery connectors (metal parts) with any metal object such as a necklace or hairpin
Doing so may cause the battery to overheat, rupture or catch fire, as well as the metal object to overheat.

Do not use a battery other than one supplied with or designated for the handset
Do not use the battery for any other handset
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

Do not use a charger other than one supplied with or designated for the handset to charge the battery
Do not use the charger for any other handset
Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

⚠ Warning

Do not charge the battery while it is wet or damp
Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or short circuit. If the battery is exposed to fluids such as water, unplug the charger immediately.

Do not use the handset while driving
Do not make or receive a call and do not use other functions (mail, game, camera, video, TV, etc.)
Doing so may cause a traffic accident. Use of the handset while driving is prohibited by law. Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking or stopping is permitted.

Do not use the handset wherever combustible gases may be present
Doing so may ignite the gases and start a fire. Turn off the handset and do not charge it wherever gases may be present (gas station, etc.).

Do not swing the handset by its strap
Doing so may cause an injury, accident or damage.

Compulsory

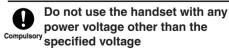
Turn off the handset while you are near any precision electronic equipment
Radio waves may adversely affect the operation of electronic equipment. Examples of such equipment: medical electronic equipment such as cardiac pacemakers and hearing aids or fire alarms and automatic doors. If you use medical electronic equipment, consult with the equipment manufacturer or distributor about the influence of radio waves.

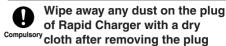
Remove the power plug from the outlet if Rapid Charger is not to be used for a long period of time or before cleaning
Failing to do so may cause an electric shock, fire or malfunction.

Turn off the handset wherever its use is prohibited such as on an aircraft
Turn off the handset after canceling any Schedule, Action Item, Reminder and Alarm settings
Failing to do so may adversely affect the operation of electronic equipment and cause an accident.
Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Compulsory

Check your surroundings to confirm that it is safe to make/receive calls, send/receive messages, capture images, watch the TV, etc.
Failing to do so may cause you to trip over or cause a traffic accident.

Compulsory

Do not use the handset with any power voltage other than the specified voltage
Doing so may cause a fire. The power voltages are 100V AC for Rapid Charger and 12 or 24V DC (for a negative ground car only) for In-Car Charger (option).

Compulsory

Wipe away any dust on the plug of Rapid Charger with a dry cloth after removing the plug from the outlet
Dust on the plug or outlet may cause a fire.

⚠ Warning

Follow the instructions below when installing and wiring in-vehicle devices

- **Make sure that devices do not interfere with driving and safety equipment such as airbags**
- **Make sure that wires are not caught in seatbelt buckles, doors or other moving parts**
  Any wire caught around a foot, brake pedal, accelerator pedal, etc. may interfere with driving and cause a traffic accident. If any part of an in-vehicle device drops onto the floor, it may startle you into abrupt braking or steering, leading to a traffic accident.

If electrolyte fluid leaking from the battery gets into your eyes, wash your eyes immediately with clean water and have your eyes treated by an ophthalmologist

Failing to receive treatment for your eyes may result in eye injury.

When thunder is heard outside, stop using the handset immediately

Failing to do so may attract lightning and cause electric shock. When thunder is heard, stop using the handset and move to an indoor safe place.

If the battery fails to charge in the specified time, stop charging immediately

Failing to do so may cause overheating, rupturing or fire. Contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (☞page 17-34).

When inserting the Rapid Charger plug into a standard 100V AC household outlet, make sure that a metal strap or any other metal object does not touch the plug

Failing to do so may cause electric shock, short circuit or fire.

If something unusual happens to the handset, battery or charger; for example, it emits smoke or an unusual odor or is damaged, perform the following steps immediately

1. If the battery is charging, unplug Rapid Charger from the standard 100V AC household outlet or unplug the In-Car Charger (option) from the cigarette lighter socket.
2. Make sure that the handset is not hot, then turn it off and remove the battery.
   Failing to do so and continuing use (charging) may cause the battery to overheat, rupture or catch fire or the handset to overheat. If something unusual happens, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (☞page 17-34).

⚠ Warning

If the handset is used near an implanted cardiac pacemaker, defibrillator or other electronic medical equipment, radio waves may interfere with such a device or equipment. Observe the following guidelines:

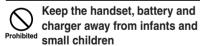
1. If you have an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, carry and use the handset at a distance of at least 22 cm away from the implanted device.
2. Turn off the handset in crowded places such as packed trains because a person with an implanted cardiac pacemaker or defibrillator may be nearby. Radio waves can interfere with the operation of a cardiac pacemaker or other medical device.
3. Follow the precautions below in medical institutions.
   - Do not bring the handset into an operating room, intensive care unit or coronary care unit.
   - Turn off the handset in a hospital ward.
   - Turn off the handset in a lobby or other location close to medical equipment.
   - Observe the instructions of individual medical institutions and do not use the handset in or bring it into prohibited areas.
   - Turn off the handset after canceling any Schedule, Action Item, Reminder and Alarm settings.
4. When using electronic medical devices other than an implanted cardinal pacemaker or defibrillator outside of medical institutions (such as at home), consult with the individual medical device manufacturer about the possible influence of radio waves.

The above information conforms to “The Guidelines on Use of Mobile Phones and Other Devices to Prevent Electromagnetic Wave Interference with Electronic Medical Equipment” (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), as well as refers to “The Investigative Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment” (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ Caution

Prohibited **Do not use or leave the handset or battery in places where it will be exposed to direct sunlight or in hot places such as inside a car in the sun**

Doing so may cause overheating, fire or malfunction.

Prohibited **Keep the handset, battery and charger away from infants and small children**

Failing to do so may result in the battery or memory card (commercially available) being accidentally swallowed or cause an injury.

Prohibited **Make sure that the charger connectors (metal parts) do not come into contact with wires or other metal objects**

Failing to do so may cause overheating or burns.

Prohibited **Do not pull the cord when unplugging Rapid Charger or In-Car Charger (option) from a standard 100V AC household outlet or cigarette lighter socket**

Damage to the cord may cause electric shock, overheating or fire.
Hold the plug when unplugging Rapid Charger or In-Car Charger (option).

Prohibited **Do not pull, bend with excessive force or twist the cords of Rapid Charger and In-Car Charger (option)**
Do not damage or modify them
Do not place objects on them
Do not apply heat and keep them away from heaters

Damage to a cord may cause electric shock, overheating or fire.

No wet hands **Do not plug or unplug Rapid Charger with wet hands**

Doing so may cause electric shock or malfunction.

Prohibited **Keep magnetic cards away from the handset and make sure that a magnetic card is not trapped when closing the handset**

Failing to do so may cause the magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.

Prohibited **Do not use the handset in a vehicle if it affects in-vehicle electronic devices**

Use of the handset in some types of vehicles may, in some rare cases, affect in-vehicle electronic devices and interfere with safe driving.

Prohibited **Do not place the handset on an unstable or unlevel surface**

Doing so may result in the handset falling and causing injury or malfunction. Be particularly careful when vibration is set.

Prohibited **Do not dispose of the used battery with ordinary garbage**

Insulate the connectors with tape and then dispose of the used battery separately from ordinary garbage or take it to your nearest Vodafone Shop. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Prohibited **Do not touch the handset with sweaty hands or place it into a pocket of sweaty clothes**

Sweat and humidity may erode the internal components of the handset and cause overheating or malfunction.

Prohibited **Do not use In-Car Charger (option) when the car engine is not running**

Doing so may result in a flat battery.

Compulsory **If the fuse for In-Car Charger (option) blows, replace it with a designated fuse**

Replacing the fuse with other than a designated fuse may cause overheating and fire.
For details on replacing the fuse, refer to the instruction manual of In-Car Charger (option).

⚠ Caution

Compulsory **If fluid leaking from the battery comes into contact with skin or clothing, wash it away immediately with clean water**

Failing to do so may cause skin irritation.

Compulsory **If your skin becomes irritated, immediately stop using the handset and consult a dermatologist**

The following materials and surface treatments have been used for the handset. Some of these materials may cause itching, irritation, eczema, etc. in some rare cases depending on the individual's constitution and physical condition.

Part	Material (Surface Treatment)
Outer housing (keypad, Main Display)	PC resin (UV cured acrylic coating)
Outer housing (battery, Sub Display)	PPE resin (UV cured acrylic coating)
Outer cover (Sub Display, battery)	ABS resin (UV cured acrylic coating)
Keys	PC resin (UV cured acrylic coating)
Display panel, Sub Display cover, Mobile Camera panel	Acrylic resin (UV cured acrylic ink)
Illumination LED lamp, battery charger lamp	Acrylic resin
Mobile Flash panel	Acrylic resin
External interface connector cap	Polyester elastomer resin (UV cured acrylic coating)
Earphone jack cap	Polyester elastomer resin (UV cured acrylic coating)
Memory card slot cap	PC/ABS resin (UV cured acrylic coating, polyester elastomer resin)
Battery charger connector	Stainless-steel (gold coating, nickel undercoat)
Screws	Steel (nickel coating, copper undercoat)
Screw covers (earpiece)	Acrylic resin (UV cured acrylic coating)
Screw covers (Main Display below)	Acrylic resin (UV cured acrylic ink)
Screw covers (keypad)	Polyurethane resin
IrDA port	Acrylic resin
Strap plate	Stainless-steel (chromium coating)
Screw caps (battery)	Polyurethane resin
Hinge housing	PPE resin (UV cured acrylic coating)
Lock release button	ABS resin (UV cured acrylic coating)

Compulsory **Before using the handset, make sure that no metal objects (such as pins) are stuck to the speaker**

Failing to do so may cause injury (your ear may be hurt by a metal object).

Compulsory **If you have a weak heart, be careful with the call vibration and ringer volume settings**

Failing to do so may startle you and may be harmful to the heart.

Compulsory **Be careful not to trap your fingers or objects when closing the handset and not to trap your fingers in the hinge when opening the handset**

Failing to do so may cause injury or damage to the LCD display.

Prohibited **Do not use Mobile Flash and Penlight for purposes other than capturing images or lighting**

Doing so may dazzle the eyes and cause impaired vision or other injury.

Safety Precautions 17

⚠ Caution

Prohibited

While charging the battery or using the TV or FM radio, make sure that the handset does not come into direct contact with the skin for long periods of time and things like paper, cloth or bed linen/blankets are not placed on the handset
Failing to do so may cause burns or malfunction.

Compulsory

Do not turn the volume up too high while using Retractable Earphone Antenna or the earphone microphone (option)
Prolonged exposure to high sound levels may impair hearing or sound leakage may annoy other people around you. Surrounding sounds may not be heard clearly resulting in an accident.

Prohibited

Do not insert objects other than the memory card (commercially available) into the memory card slot
Doing so may cause electric shock or malfunction.
Cover the slot with the cap when using the handset.

Prohibited

Keep your face away when inserting or removing the memory card (commercially available)
Keep the memory card out of the reach of small children
If the memory card is let go of suddenly, the card may fly out and hit your face resulting in injury.

Prohibited

Do not subject the memory card (commercially available) to vibration or shock or remove it from the slot or turn off the handset while data is being written to or read from the memory card
Doing so may cause data loss or malfunction.

Prohibited

Use only a memory card (commercially available) designated for the handset
Failing to do so may cause data loss or malfunction.
The handset supports memory cards with a storage capacity of up to 512 MB (as of December 2004).

Prohibited

Do not let children use Video Output Cable and Retractable Earphone Antenna unsupervised. And keep them out of reach of infants
If infants play with the long cord, it may cause an accident.

Prohibited

Do not point the IrDA port towards eyes when performing infrared communication or using the remote controller function
Doing so may cause eye damage.

Prohibited

Do not use Mobile Flash close to eyes
Doing so may cause eye damage. Be especially careful not to capture images with Mobile Flash too close to the eyes of infants.

General Notes for Handling

Using Your Handset

- The handset employs radio waves. Signals may be disrupted even within service regions if you are indoors, underground, inside a tunnel or inside a vehicle. Moving into an area with poor reception may cause a call to cut off or the TV image/sound to be lost suddenly.
- When using the handset in public places, take care not to annoy other people around you. Use of the handset is prohibited in some public places such as in theaters or on buses and trains.
- The handset is a radio transceiver under Japanese Radio Law. You may be requested to submit the handset for inspection based on this law.
- Use of the handset near a landline phone, TV or radio may affect the image and sound quality of the equipment.
- The handset employs a digital system to maintain a high level of communication quality even at very low signal levels. However, calls may be suddenly cut off when the signal strength becomes too weak.
- The digital system provides a high level of privacy protection. However, the possibility of someone eavesdropping on your conversation cannot be ruled out as long as radio waves are used.
- The handset is exclusively for use in Japan. It cannot be used outside Japan.
- Data (Phone Book entries, messages or images) stored on the handset may be corrupted or lost on the following occasions. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for the corruption or loss of data. Be sure to write down and keep the important data to minimize damage caused by data loss or alteration.
  - The handset is used improperly.
  - The handset is exposed to static electricity or electric noise.
  - The handset is turned off during operation.
  - The battery is completely discharged.
  - The handset fails or is sent for repair.
- Be sure to charge the battery before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long time. When the battery is stored for a long time, it discharges over time even if it is not used.
- Before using a memory card (commercially available), read the instruction manual of the memory card thoroughly to ensure safe and proper operation.

Inside Vehicles

- Do not use the handset while driving. Use of the handset while driving is prohibited by law.
- Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking or stopping is permitted.

Aboard Aircraft

Do not use the handset on an aircraft. Turn off the handset after canceling any Schedule, Action Item, Reminder and Alarm settings and do not turn it back on while you are on the aircraft. Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Handset Basics

- Do not use the handset in extreme temperatures, direct sunlight and humid or dusty places.
  (Use the handset within the ambient temperature range of 5°C to 35°C and humidity range below 85%.)
- Do not drop the handset or subject it to shock.
- To clean the handset, wipe it with a dry soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents. Doing so may cause discoloration and remove the printed logo.

- Take care not to expose the handset to rain, snow or high humidity. The handset, battery, charger, Retractable Earphone Antenna, Video Output Cable, TV Antenna Cable (option ZTPH03), earphone microphone (option) and other optional accessories are not waterproof.
- Do not sit down with the handset in your trousers pocket. Excess weight may damage the LCD display or internal PCB resulting in overheating, fire or malfunction.
- Do not remove the battery when the handset power is on. Doing so may cause malfunction.
- If the battery has been removed from the handset or the handset has not been charged for a long time, stored data and settings may be lost or altered. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damage or loss resulting from such negligence.
- The battery is a consumable item employing lithium ions. Replace the battery with a new one if the operation time becomes extremely short after it is fully charged. Buy a new battery designated for the handset.
- Do not dispose of a used battery with ordinary garbage. Insulate the connectors with tape or place the battery into a plastic bag and then take it to your nearest Vodafone Shop or cooperative stores. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Li-ion

- Some handset display pixels may be missing or remain lit. This is not a defect or malfunction. If the display is left on for a long period of time, images may be permanently burned into it.
- Make sure the earphone microphone (option) is securely plugged into the earphone jack. Failing to do so may generate noise on the recipient side during calls.
- Do not turn the volume up too high when using Retractable Earphone Antenna or the earphone microphone (option). Prolonged exposure to high sound levels may impair hearing and sound leakage may annoy other people.
- When not using the earphone jack and external connector, make sure they are covered with the caps. Otherwise, dust and water may find their way into the handset, resulting in malfunction.
- Do not pull the cable when unplugging Retractable Earphone Antenna or Video Output Cable. Pulling the cable may cause damage or malfunction.
- Do not close the handset with the strap, Retractable Earphone Antenna, Video Output Cable or another item inside. Doing so may cause damage or malfunction.
- The communication antenna of the handset is embedded in the body and does not protrude. Sensitivity may be reduced if you touch or cover the place where the antenna is embedded (☞page 17-15). In particular, do not affix things like stickers on the place where the antenna is embedded.
- When you replace the handset or send it for repair, messages and other data stored in the handset cannot be transferred to another handset.

Mobile Camera

- Do not expose the camera lens to direct sunlight. Concentrated sunlight through the lens may cause the handset to malfunction.
- Be sure to try capturing and previewing images before using the camera on important occasions like wedding ceremonies.
- Do not commercially use or transfer images captured with the camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.
- Do not use the camera to record information in places like bookstores where capturing images is prohibited.

Mobile Flash & Illumination

- Do not use Mobile Flash in hot, cold or humid places. Doing so may shorten its life.
- Mobile Flash and Illumination have a limited life. Repeated use will decrease the light intensity.

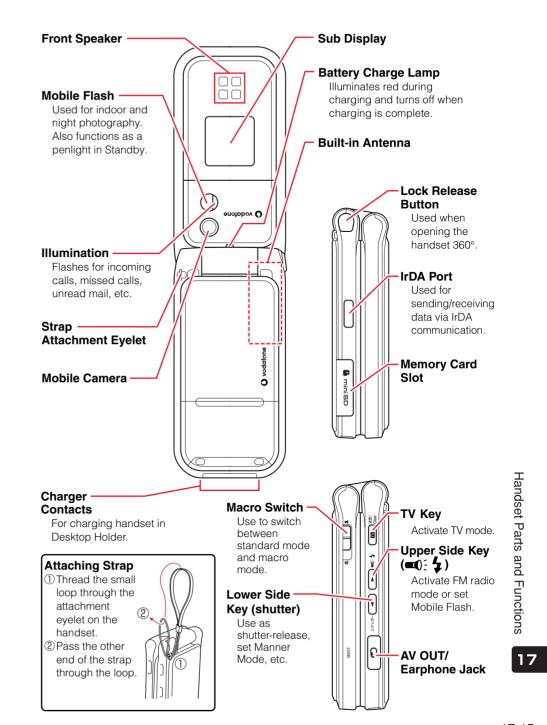
Remote Controller

- Operation is not possible if a curtain, sliding door or other object blocks the signal between the IrDA port of the handset and the remote controller reception part of the device (TV, video, etc.) to be operated.
- Transmission from the handset may not be able to be received if sunlight or fluorescent light shines directly on the remote controller reception part of the device (TV, video, etc.) to be operated.
- Point the IrDA port of the handset at the remote controller reception part of the device (TV, video, etc.) to be operated when transmitting a signal. The handset can transmit a signal up to a distance of approximately 5 m. However, the distance varies depending on factors such as the device to be operated and the amount of light.
- Communication may not be possible even if the device to be operated is equipped with an infrared communication function.

Copyrights

Copyrighted materials, such as music, images, computer programs and databases, and their respective holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted materials is permitted only for individual or home use. Making copies (including data conversion), modifications, transfers or network distributions of copies for purposes other than stated above without proper authorization constitutes an infringement of copyrights and moral rights, potentially resulting in claims for reparations or criminal punishment. If you use the handset to make copies, observe the copyright laws. Furthermore, recording materials using the camera is also subject to the same laws.

Right of Portrait

Portrait right is the right of an individual to refuse to be photographed by others and protects from the unauthorized publication or use of an individual's photograph by others. Right of personality is a portrait right applicable to all citizens and right of publicity is a portrait right (property right) designed to protect celebrities' interests. Be careful when capturing images with the handset camera. Photographing, publicizing and distributing photographs of citizens and celebrities without permission are illegal.

Handset Parts and Functions

Main Display and Sub Display are covered with a protective film at the time of purchase. Be sure to remove this film before using your new handset.

Earpiece

Menu Key
Open Multi Menu, etc.

Multi Selector
Open Function menu and Phone Book. Also, acts as a camera shutter-release, etc.

/ Key
Access Web, Camera, Video, etc.

Start Key
Initiate/answer calls.

Schedule/Text/ A/a Key
Open Entry Menu. Use to change text input mode, check Schedule, etc.

⚹/Symbol/ Key
Enter ⚹ and access symbols in text entry mode. Toggle between Main Display and Sub Display for camera image, etc.

Microphone

External Connector
Insert Rapid Charger and other equipment.

Main Display

/ Key
Access mail, Data Folder, etc.

Power/End Key
Turn the handset power on/off, end calls, end operations, return to Standby, and place a call on hold.

Clear/Memo Key
Delete phone numbers, text, etc., return to the previous screen and set Message Recorder.

Direct Key
Access Shortcut Menu.

Key Pad

#/↻// Manner Mode Key
Enter #, set Manner Mode, etc.

Main Display Indicators

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ ⑩

⑪ ⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱ ⑲

① **Signal Strength**
Strong Moderate
Weak Faint
Off-Line Mode On
Out-of-Range
IrDA Transfer in Progress

② **Battery Level**
Full Moderate
Low Very Low
Charge Immediately.
Flashes during charging.

③ **Call-in-Progress**
V-appli Activated
appears when V-appli is paused.

④ **Memory Card**
Appears when a memory card is inserted.

⑤ **Secret Mode On**

⑥ **Super Mail**
Unread Super Mail message(s)

⑦ **Mail/Delivery Report**
Unread Sky Mail or Greeting message(s)
Unread Delivery Report(s)
Unread Sky Mail/Greeting message(s) and unread Delivery Report(s)
Insufficient memory to receive messages

⑧ **Station**
Unread Station information or Main List is being updated.

⑨ **Web**
Unread Web information

⑩ **Mini Clock**
AM or PM appears when the 12-hour system is set.

⑪ **Manner Mode**
Silent Mode On
Alarm Clock Mode On
Original Manner Mode On

⑫ **Vibration/Ringer Volume**
Vibration On
Ringer Volume Off
Vibration On and Ringer Volume Off

⑬ **Alarm On**
appears when snooze is set.

⑭ **Voice Mail**
Unchecked Voice Mail at Voice Mail Center

⑮ **Message Recorder On**
Unchecked message(s)
Insufficient memory to record a message

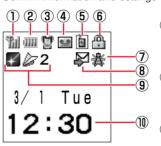
⑯ **Missed Call(s)**

⑰ **Schedule**
Indicates a scheduled event.

⑱ **Side Key Lock On**

⑲ ▷ **Weather**
Sunny Clear (night)
Cloudy Snow
Rain Lightning
／ Occasionally ▷ Later
Appear if Weather is set for Standby.
Separate fee required.

Sub Display Indicators

Confirm information and settings on the Sub Display without opening the handset.

① **Signal Strength**
Off-Line Mode On
Out-of-Range
IrDA Transfer in Progress

② **Battery Level**

③ **Memory Card Inserted**
Manner Mode On

④ **Message Recorder On**
V-appli Activated

⑤ **Missed Call(s)**
Alarm Clock is set
Unchecked Voice Mail Message

⑥ **Number of Missed Calls**
Keypad Lock is set
Side Key Lock is set

⑦ **Station**
Unread Station information or Main List is being updated.

⑧ **Delivery Report**
Unchecked Delivery Report(s)

⑨ ▷ **Weather**
Appear if Weather is set for Sub LCD.

Unread Message(s)
Super Mail
Sky Mail and Greeting message(s)
Number of Unread Message(s)

⑩ **Time**
AM or PM appears when the 12-hour system is set.

In Standby

No new information

2
3/ 1 12:30
Unread Mail
Indicators appear to notify of new information.

Turnover Style

Open the handset 360° to watch TV.
Press down the lock release button to open the handset 360° as pictured below.

Note:

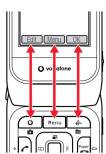
- Do not force the handset open to Turnover Style or apply any force to the handset during a call without pressing the lock release button.
- Close the handset when not watching TV. Carrying the handset in Turnover Style may damage the display.

Multi Selector

Use Multi Selector to perform various tasks.

Function		Notation used in this manual		
	● Open Functions menu ● Scroll or move cursor right ● Select and implement selected operations	Press right	Press left or right	Press up, down, left, or right
	● Open Phone Book ● Scroll or move cursor left ● Redisplay the previous screen	Press left		
	● Display Received Calls ● Scroll or move cursor up ● Increase volume	Press up	Press up or down	
	● Display Redial List ● Scroll or move cursor down ● Decrease volume	Press down		
	● Select and implement selected operations ● Capture images (operate shutter release)	Press center		

Soft Keys

A Soft Key's function varies by the task being performed. The corresponding indicator at the bottom of the display shows the Soft Key's current function (see diagram below).

· Press [O] [Edit] to perform editing.

· Press [Menu] [Menu] to open a menu.

· Press [key] [OK] to complete the current task.

Note: "Press [key] [OK]" is instructing you to press the [key] key corresponding to the [OK] indicator.

Codes

Security Code or Center Access Code must be entered to access some functions.

Security Code

Security Code is either 9999 or the four-digit number you selected when you signed your contract.

Tip: Do not forget or reveal your Security Code to others.

Note: Security Code can be changed on your handset.

Center Access Code

Center Access Code is the four-digit number that you wrote on your subscription form.

Tip:

- Do not forget your Center Access Code. If you do forget your Center Access Code, contact Customer Service (☞page 17-34).
- Do not reveal your Center Access Code to others. Vodafone will not in any way be held responsible for any damage caused as a result of a third party's knowledge of your Center Access Code.

Charging Battery

1 Connect Rapid Charger to the handset

Make certain the print on Rapid Charger connector is facing upwards.

2 Insert Rapid Charger plug into a 100V AC outlet

Illumination lights for 2 seconds after the plug is inserted.

Battery Level indicator flashes and Battery Charge Lamp lights red during charging.

3 After Battery Charge Lamp goes out, remove Rapid Charger plug from the outlet

Charging takes approximately 120 minutes.

4 Remove Rapid Charger connector from the handset

Press the release tabs on both sides of the connector when removing it.

Basic Handset Operations

Turning Power On

Press [End] for 2+ seconds

▶ Standby Display appears.

Turning Power Off

Press [End] for 1+ seconds in Standby

Changing Display Language

ex. Changing to English

1 **Press [•][3][5]**
2 **Use [↕] to select *English* and press [•]**
▶ The display language is set to English and the handset returns to Standby.

Note: Select *日本語* in Step 2 to return the display language to Japanese.

Displaying Handset Number

Press [•][0]

Setting Time & Date

1 **Press [•][5][9]**
2 **Press [•]**
3 **Enter the year, month, day and time, and press [•]**
Enter just the last two digits for the year.

Making a Call

1 **Confirm that the power is on**
2 **Enter a phone number**
3 **Press [Send]**
4 **To end the call, press [End]**

Making an International Call

ex. Calling Britain

1 **Press [4][4] (country code)**
2 **Enter a phone number**
3 **Press [Menu] [Menu]**
4 **Use [↕] to select *Int'l Code* and press [•]**
5 **Use [↕] to select *Yes* and press [•]**
▶ International Code (0046010) is added automatically.
6 **To end the call, press [End]**

Note:

- Prior subscription is required to make international calls.
- If the area code begins with 0, omit the 0 when dialing (except when calling non-mobile phones in Italy).
- Contact Customer Service (☞page 17-34) for more information.

Redialing a Number

1 **Press [↓] and use [↕] to select the number**
2 **Press [Send]**
3 **To end the call, press [End]**

Answering a Call

1 **A call arrives**
▶ The handset rings/vibrates and Illumination flashes.
2 **Press [Send] to answer the call**
3 **To end the call, press [End]**

Confirming Total Call Charge

Press [•][6][0]

Note: The displayed charge serves as a reference and may differ from the actual charge billed.

Confirming Total Call Time

Press [•][6][2]

Note: The displayed time serves as a reference and may differ from the actual talk time.

Placing a Call on Hold

1 **A call arrives**
▶ The handset rings/vibrates and Illumination flashes.
2 **Press [End] to place the call on hold**
▶ A message announces in Japanese that you are unable to answer the call.
3 **Press [Send] to establish a connection**
4 **To end the call, press [End]**

Message Recorder & Voice Mail

When a call cannot be answered, the caller can leave a message on the handset (Message Recorder) or the call can be forwarded to Voice Mail Center (Voice Mail).

	To Set	To Cancel
Message Recorder	Press [Clear] for 1+ seconds.	Press [Clear] for 1+ seconds.
Voice Mail	Press [•][7][2][•].	Press [•][7][3][•].

Note:

- By default, Message Recorder's outgoing message is in Japanese. If handset's display language is set to English ([•][3][5]), the outgoing message plays in English.
- If Voice Mail is not set, press [•][End] to transfer an incoming call to Voice Mail Center while the handset is ringing/vibrating.

Forwarding Calls

When a call cannot be answered, the call can be forwarded to a specified phone number.

	To Set	To Cancel
Call Forwarding	Press [•][7][1][•], enter a phone number, and press [•].	Press [•][7][3][•].

Confirming Received Calls

1 **Press [↑] to display the phone numbers of the last two calls**
2 **Use [↕] to search for a past call**

Calling a Number from Received Calls

1 **Press [↑] and use [↕] to select a phone number**
2 **Press [Send]**

Manner Mode

Select from the following three types of Manner Mode:

- Silent mode
  All sounds except shutter release sound are off.
- Alarm mode
  All sounds except Alarm Clock and shutter release sounds are off.
- Original Manner mode
  Customize your own Manner Mode.

Selecting Manner Mode

ex. Setting to Alarm mode

1 **Press [□•] [1] [6]**
2 **Use [↕] to select *Alarm* and press [■]**

Setting/Canceling Manner Mode

Press [#] for 1+ seconds

Entering Characters

From a text entry window, perform the following steps to enter characters.

Changing to English Input Mode

1 **Press [スケジュール 文字 A/a]**
2 **Use [✣] to select [ab] for lowercase letters and [AB] for uppercase letters and press [■]**

Entering Text

ex. Entering *"dog"*

1 **Select Lowercase mode**
See "Changing to English Input Mode" (☞above).
2 **Press [3] to enter *"d"***
3 **Press [6] three times to enter *"o"***
4 **Press [4] to enter *"g"***

Note: To enter a symbol, press [*]. Use [✣] to select a symbol and press [■].

Key Assignment

Key	Press once	Press twice	Press three times	Press four times	Press five times
1	.	@	–	_	1
2	a	b	c	2	
3	d	e	f	3	
4	g	h	i	4	
5	j	k	l	5	
6	m	n	o	6	
7	p	q	r	s	7
8	t	u	v	8	
9	w	x	y	z	9
0	~	/	?	!	0

Phone Book

Each Phone Book entry allows you to enter:

- Name
- Reading
- Three phone numbers
- Three e-mail addresses
- Memo
- Street address
- Birthday

Customize entries by setting a picture, group and various options.

Creating & Editing Entries

Creating an Entry from a Name

1 **Press [スケジュール 文字 A/a] for 1 + seconds**
▶ *Ph Book (Name)* is highlighted.
2 **Press [■]**
3 **Enter a name and press [■]**
See "Entering Characters" (☞page 17-22).
4 **Use [↕] to select *Phone No.* and press [o] [Edit]**
5 **Enter a phone number and press [■]**
6 **Use [↕] to select *E-mail Address* and press [o] [Edit]**
7 **Enter an address and press [■]**
8 **Press [✎] [OK]**

Editing an Entry

1 **Press [•□] [✎] [Mode]**
2 **Use [↕] to select *Alphabet* and press [■]**
3 **Use [✣] to select an entry and press [■]**
4 **Use [↕] to select a field and press [o] [Edit]**
5 **Edit the field and press [■]**
6 **Press [✎] [OK]**

Creating an Entry from Received Calls

1 **Press [↑]**
2 **Use [↕] to select a phone number and press [Menu] [Menu] to open Sub Menu**
▶ *Save Ph Book* is highlighted.
3 **Press [■]**
4 **Press [o] [Edit]**
5 **Enter a name and press [■]**
See "Entering Characters" (☞page 17-22).
6 **Use [↕] to select *E-mail Address* and press [o] [Edit]**
7 **Enter an address and press [■]**
8 **Press [✎] [OK]**

Calling from Phone Book

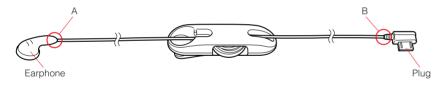
Searching from List

1 **Press [•□] [✎] [Mode]**
2 **Use [↕] to select *Alphabet* and press [■]**
3 **Use [✣] to select an entry and press [↗]**

Searching by Name (Japanese Only)

1 **Press [•□] [✎] [Mode]**
2 **Use [↕] to select *Reading* and press [■]**
3 **Enter a name and press [■] to search for a matching entry**
See "Entering Characters" (☞page 17-22).
4 **Press [↗]**

TV

Retractable Earphone Antenna

Extending

Remove the earphone and plug from the case. Hold the base of the earphone and the plug (portion A and B in the illustration) and simultaneously pull left and right to extend the cords.
Before using the retractable earphone antenna, make sure the cords are fully extended until they lock into position.

Retracting

Holding the base of the earphone and the plug, gently pull. The locks release and the cords retract.
If you let go of portion A and B after pulling them to release the locks, the cords may retract at extremely high speed.

If only one cord is extended, the cords may become tangled. Perform the following operation to untangle cords.

1 Rotate the reel clockwise several times by hand

While rotating the reel, do not pull on the cord that was not extended.

2 Extend the cords from both sides gently

▶If both cords can be fully extended, they have returned to their normal state. If they cannot be fully extended, repeat Steps 1 and 2.

Do not use excessive force when pulling the cords.

Tip:

- If only one cord is pulled, the cords may become entangled and the retractable earphone antenna may be damaged.
- If the cords are not fully extended, reception of a sufficiently strong TV and FM radio signal may not be possible.

Watching TV

Connect Retractable Earphone Antenna and pull the cord out completely to obtain sufficient signal reception.

1 Press Menu
2 Use to select *TV/FM Radio* and press
3 Use to select *TV* and press
4 Press
5 Use to select a region, and press
6 Use to select a prefecture, and press
7 Use to select an area, and press

▶Setting is completed.

8 Use to , , , or to select a channel
9 Use to adjust the volume
10 Press to end TV

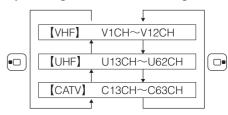
Switching to Full Screen

Press

▶Alternatively, open the handset to Turnover Style.

Searching for a Channel

Press for 1+ seconds

When an active channel is found, the channel changes automatically.
Cycle through channels in the following order:

Camera/Movie

Before Using Camera/Movie

- To avoid blurred images, hold the handset steady or place it on a firm surface and use the timer.
- Fingerprints, smudges, dust, etc. on the lens will affect focusing. Wipe the glass with a soft cloth before use.
- Make certain your finger, strap or antenna is not blocking the lens.
- Under certain conditions, the captured images may be too bright or dark.
- Use Mobile Flash when capturing images in dark locations.
- If camera image is blurred, check Macro Switch to confirm that camera is not in macro mode.

Capturing Still Images

Capture and save still images with the built-in camera. Images are saved in JPEG format. The following modes are available:

- Sha-mail Mode
  Use the captured image as wallpaper or attachments to Super Mail.
- Camera Mode
  Use this high-resolution mode to output images to external devices such as computers.
- Trick Shooting Mode
  - Virtual Wig Mode
    Use this mode to create your own frames and superimpose with other images.
  - Virtual Trip Mode
    Use this mode to superimpose image cutouts on backgrounds.

ex. Shooting in Sha-mail Mode

1 Press Menu

2 Use **to select** ***Camera/Movie*** **and press**

3 Use **to select** ***Sha-mail*** **and press**

Frame the subject.

4 Press

▶ The shutter clicks and the image is captured.

5 Press

▶ The image is saved to the Picture folder in Data Folder.

The date and time of recording are entered as the file name. (ex. A picture taken at 15:30 on March 1st, 2005, is saved as "05-03-01_15-30".)

Recording Moving Images

The following three modes are available for recording and saving movies/videos using the built-in Video camera.

- Movie Sha-mail Mode
  Use this mode to record a movie in MPEG format for attaching to messages. Record up to 10 seconds at W80 × H60, and up to 5 seconds at W128 × H96.
- MPEG Video Mode
  Use this mode to record up to 3 minutes of video.
- Sub LCD Movie Mode
  Record a movie up to 5 seconds long. Set the movie as the incoming-call image on Sub Display.

ex. Shooting in MPEG Video Mode

1 Press Menu

2 Use **to select** ***Camera/Movie*** **and press**

3 Use **to select** ***MPEG Video*** **and press**

Frame the subject.

4 Press

▶ A tone plays and recording starts.

5 Press (Stop)

▶ A tone plays and recording stops. The video is saved to the Video folder in Data Folder.

The date and time of recording are entered as the file name.

Using Memory Card

Save images, movies/videos, downloaded information, Data Folder files and other data to a memory card.

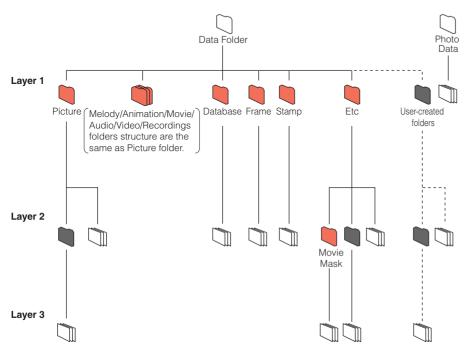
The following can be saved to memory cards.

Data	Description	File Format	Extension
Phone Book	Phone Book entries	vCard file	.vcf
Schedule	Schedule entries	vCalendar file	.vcs
Memo	Short Memo entries	vNote file	.vnt
		Text file	.txt
Inbox	Received messages	vMessage file	.vmg
Sentbox	Sent messages		
Outbox	Messages in Outbox		
Photo Data	Images captured in Camera Mode. Files are saved to Photo Data.	JPEG file	.jpg
Data Folder	Images and videos captured with the handset, downloaded information, Data Folder files and other data. By default, the following folders are created when the memory card is inserted: Picture, Melody, Animation, Movie, Audio, Video, Recordings, Database and Etc.	JPEG file	.jpg, .jpe, .jpz, .jpeg
		PNG file	.png, .pnz
		Melody file	.smd, .smz
		SMAF file/ 40-chord SMAF file 64-chord SMAF file	.mmf
		MNG file	.mng
		PNG/JPEG Animation file	.mtn
		Voice file	.tvv, .tvs
		MP4 file	.3gp
		Audio file	.mp4
		Video file	—
		Database file	.bin, .ctl
		Text file	.txt
V-appli Library	V-appli Library files. Files are saved to the Java folder.	Java file	.jav
Web Data	Information in Web Data. Files are saved to the Web folder.	HTML file	.html
Bookmarks	Bookmarks. Files are saved to the Web folder.	vBookmark file	.vbm
Saved Info	Saved Info files. Files are saved to the Station folder.	CBC file	.cbc

Tip:

- The handset may not be able to write or read files when the battery level is low.
- Do not remove the memory card or battery while writing files.
- The handset cannot make/receive calls or send/receive messages while writing or reading files.
- Data in the memory card may be lost or damaged due to misuse, accidents or malfunction. Backing up important data is recommended.

Data Folder/Photo Data

Data Folder and Photo Data are available for saving files to your handset. By default, there are twelve folders inside Data Folder. Save image/melody files downloaded from "Toshiba User Club Site for V603T" (☞Vodafone live! Manual) and Web information to Data Folder. Save images captured in Camera Mode (☞page 17-26) to Photo Data. The two folders and V-appli Library combined have a capacity to save up to 10 MB or 1,000 files.

- are default folders.
- are new folders.
- Use folders to organize files by type and purpose.
- Folders are stored in layers 1 and 2 and files are stored in layers 2 and 3 for Data Folder. New folders cannot be created in Photo Data.
- Files can be moved from one folder to another.

Movie Mask uses N-Vision's Virtual Accessory Engine.

Files Storable in Data Folder/Photo Data

The following shows the types of files that can be stored in each folder.

Data Folder

Folder	File Format	Icon	Filename Extension	Display/ Playback	Mail Attachment	Infrared Transfer
Picture[5]	JPEG file		.jpg, .jpe, .jpeg	✓	✓	✓
			.jpz	✓	✓	✓
	TV image file		.jpg	✓		
	PNG file		.png	✓	✓	✓
			.pnz	✓	✓	✓
Melody[5]	Original Incoming ring tone[1]		—	✓	✓	
			.smd	✓	✓	✓
			.smz	✓	✓	✓
	SMAF file		.mmf	✓	✓	✓
	40-chord SMAF file					
	64-chord SMAF file					
Animation[5]	JPEG animation file		—	✓	✓[2]	
	PNG animation file		—			
	PNG/JPEG animation file		—			
	MNG file		.mng			✓
Movie[5]	Video file		.3gp	✓	✓	✓
Audio[5]	Audio file		.mp4	✓		
Video	Video file		—	✓		
	TV recording file		—	✓		
Recordings	Recording file		.tvv, .tvs	✓		✓
Pocket DB	Database file		—	✓		
Original Frame[3]	Frame file		—	✓		
Stamp[3]	Stamp file		—	✓		
Etc and user-created folders[4, 5]	Text file		.txt	✓	✓	✓
	vCard		.vcf	✓	✓	✓
	vCalendar		.vcs	✓	✓	✓
	vMessage		.vmg	✓	✓	✓
	vBookmark		.vbm, .url	✓	✓	✓
	vNote		.vnt	✓	✓	✓
	Files of unknown types		.bmp, .mp4, .noa, etc.		✓	✓
Movie Mask[5]	Movie Mask data		.msk	✓	✓	✓

1 An original ring tone attached to a message is converted to a SMAF file ( ).
2 Animation files created from TV images captured in succession cannot be attached to messages.
3 Save frames created in the Virtual-wig Mode and with Edit Image to the Original Frame folder. Save stamps created with Edit Image to the Stamp folder. Save frames and stamps downloaded from the Web to the Picture folder, Etc folder and user-created folders.
4 Files that can be stored in the Picture, Melody, Animation, Movie and Recordings folders can also be stored in the Etc folder and user-created folders in layer 1. However, a new layer-2 folder created within a layer-1 folder can only contain the same types of data as the layer-1 folder in which it was created. For example, only JPEG ( ) and PNG ( ) files can be stored in a folder created in the Picture folder.
5 Whether a file can be attached to mail depends on the Copy/Forward permission of Property. If External Transfer under the file's Property is ***No***, the file is not IrDA transferable.

Photo Data

File	File Format	Icon	Filename Extension	Display/ Playback	Mail Attachment	Infrared Transfer
Camera Mode image file	JPEG file	JPEG	.jpg	✓*	✓	✓

* Only DCF format files appear.

Optional Services

Call Forwarding

Use this service to forward calls to another phone number. This service is convenient when the handset is out-of-range, Off-Line Mode is set, you do not have the handset with you, etc. Set the forwarding number before activating service.

Voice Mail

Activate this service to forward calls to Voice Mail Center. Callers can leave messages when the handset is out-of-range, Off-Line Mode is set or you are unable to answer a call. (Call charges apply for checking messages.)

Call Waiting

Receive incoming calls during a call. A monthly subscription fee is required.

3 Way Calling

This service allows you to talk to two parties simultaneously or switch the connection between two parties. A monthly subscription fee is required.

Caller ID

Caller ID displays the caller's phone number on the receiver's handset. Your handset is set to send Caller ID unless you requested otherwise at the time of subscription. For further details, contact Customer Service (☞page 17-34).

Functions Shortcuts

Press [key] and the following Shorcut Number to access Functions:

Sounds

No.	Function Name	Description
F10	Incoming	Set Ring Tone, Ringer Volume and Vibration
F13	Effects	Set Power On/Power Off tone, Keypad tone and Opening/Closing tone
F14	Volume	Adjust volume
F15	Create Tone	Compose original ring tones
F16	Manner Mode	Select from three different types of Manner Mode

Security

No.	Function Name	Description
F20	Keypad Lock	Lock keypad to restrict handset use by others
F21	Auto Lock	Lock the keypad automatically when the handset power is turned on. The keypad can also be locked automatically when the handset is closed in Standby or the display backlight goes out
F22	Secret Mode	Set/cancel Secret Mode
F23	Restrictions	Restrict dialing from Phone Book/Keypad and/or reject all incoming calls
F24	Off-Line Mode	Suspend signal reception and transmission
F25	Reset All	Reset all settings and delete all entries
F26	Reject	Reject specific incoming calls
F27	Clear Memory	Clear Phone Book entries, Redial history, Received Calls history, etc.
F28	Change Code	Change Security Code
F29	Reset	Reset all functions to default settings

Settings

No.	Function Name	Description
F30	Guide	Access function guide
F31	Memory Usage	Confirm memory status
F32	Auto Answer	Automatically answer calls when using the earphones
F33	Power Save	Set power saving
F34	Backlight	Adjust display contrast and set backlight illumination time
F35	言語選択 (Language)	Change display language
F36	Answer Type	Set the handset to answer calls by opening the handset
F37	Group	Change group settings
F38	Signal Alert	Set Quality Alarm to alert of weak signal
F39	Earphone Antenna	Set the Earphone setting to ***with MIC*** if a Stereo Earphone/Microphone with TV Antenna (V401T accessory) is connected to the handset

Settings 2

No.	Function Name	Description
F40	Recordings	Confirm number of Message Recorder and Voice Memo recordings
F41	Delete	Delete Message Recorder and Voice Memo recordings
F42	Message Recorder	Set/cancel Message Recorder and set ring time
F43	Words List	Save/edit often used words in Words List
F46	Owner Information	Enter personal data
F49	Images	Select Wallpaper and other images

Clock and Alarm

No.	Function Name	Description
F52	Alarm Clock	Set Alarm Clock
F59	Set Clock	Set Clock

Call Times and Charges

No.	Function Name	Description
F60	Total Charge	View total call charge
F61	Call Charge	View call charge for last call
F62	Total Time	View total call time
F63	Call Time	View call time for last call

Optional Services

No.	Function Name	Description
F70	Ring Time	Set ring time before calls are transferred to Voice Mail Center or forwarded [3]
F71	Call Forwarding	Activate Call Forwarding and set forwarding number
F72	Voice Mail	Activate Voice Mail
F73	Services Off	Cancel Call Forwarding and Voice Mail
F74	Status	Confirm On/Off status of Call Forwarding and Voice Mail
F75	Call Waiting	Activate/cancel Call Waiting [2, 3]
F76	Call Wait Status	Confirm On/Off status of Call Waiting [2, 3]
F77	International Code	Change International Code
F78	3 Way Calling	Start 3 Way Calling[1]
	Break Away	Break off your connection from a 3 Way Call [1, 2, 3]
F79	Show/Hide Caller ID	Set your Caller ID settings for outgoing calls

Vodafone live!

No.	Function Name	Description
F81	Mail	Access Mail functions
F82	Web	Access Web services and settings
F83	Station	Access Station services and settings
F84	V-appli	Access V-appli Library and settings
F85	Data Folder	Open Data Folder
F86	Network Auto Adjust	Automatic network setup

Others

Operation	Function Name	Description
F0	My Number	Display handset number
Press and hold F	Side Key Lock	Set/cancel Side Key Lock
F + Clear Key	Call Limited	Reject incoming call [4]
F + Power/End Key	Forward to Voice Mail	Transfer a call to Voice Mail Center [2, 3, 4]
F + Schedule/Text/Lowercase Key	Stop Snooze	Cancel Snooze

1 If pressed during a call.
2 Currently unavailable in Hokkaido, Hokuriku and Kyushu/Okinawa subscription areas.
3 Currently unavailable in Tohoku/Niigata, Chugoku, and Shikoku subscription areas.
4 If pressed during incoming call.

Specifications

V603T

Weight	Approx. 142 g
Continuous talk time	Approx. 120 minutes
Continuous standby time	Approx. 380 hours (when the handset is closed)
Charge Time	Approx. 120 minutes
Dimensions (W×H×D)	Approx. 50 mm × 103 mm × 25 mm (when the handset is closed)
Maximum output	0.8 W

Mobile Camera

F-stop	2.8
Focal distance	4.4 mm
Shutter speed	1/7.5 to 1/2,000 seconds (electronic shutter)
Lens	Fixed focus Standard mode: Over 50 cm Macro mode: 10 cm

- The above values were calculated when the battery was attached.
- The continuous talk time refers to the average length of time a signal can be received normally when the handset is in a stationary state, a new fully charged battery is attached and Power Save (during call) is set to Off.
- The continuous standby time refers to the average length of time a signal can be received normally when the handset is closed and in a stationary state, a new fully charged battery is attached and there are no calls made/received or operations performed. If the handset is in a location outside the service region or where it is difficult to receive a signal (in a building, vehicle, bag, etc.), this time may be reduced by up to half. This time may also be affected by other factors such as the operating environment (battery state, temperature, etc.).
- The operating time of the battery was calculated when a stable signal was received constantly. However, this time is reduced by up to half if the handset is used in a location where the signal is weak or the handset is left in Standby when it is outside the service region. Repeated charging and discharging a battery shortens the operating time. The battery's lifespan is approximately one year, after which time a new battery should be purchased because the operating time becomes too short for practical use.
- If Mobile Flash is used frequently for camera shooting or Penlight, the continuous talk time and continuous standby time will become shorter.
- When V-appli is activated, the continuous talk time and continuous standby time may shorten significantly.
- If the handset is used with Display and Sub Display illuminated frequently (for Vodafone live! use, etc.) or an animation selected for Wallpaper, the continuous talk time and continuous standby time will become shorter.
- Due to the special features of Station Service, in which information is automatically received, more battery power is consumed than usual when using this service.

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or service, please call General Information. For handset repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones

Subscription areas:

Area	Service	Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

メニュー一覧

- 機能番号の「F10」などの表記は、[□●]（F）とダイヤルボタンでその機能を呼び出せることを意味します。
- ▭の機能は、F29「設定リセット」（☞13-12ページ）でお買い上げ時の状態に戻ります。

■音

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F10	着信設定	着信音パターン：パターン1、着信音量：レベル3 バイブレータ：OFF、鳴動時間（電話着信を除く）：4秒	9-2
F13	効果音設定	ウェイクアップ音（音選択：オリジナル1、音量：レベル1） パワーオフ音／ボタン確認音（音選択：オリジナル、音量：レベル1） オープン／クローズ音（音選択：オリジナル、音量：OFF）	9-6
F14	サウンド音量	レベル3	9-17
F15	オリジナル着信音	―	9-10
F16	マナーモード選択	サイレントモード	3-2

■管理

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F20	ダイヤル操作禁止	―	13-3
F21	簡易ロック	すべてOFF	13-4
F22	シークレットモード	OFF	13-9
F23	禁止設定	すべてOFF	13-5
F24	オフラインモード	OFF	3-6
F25	オールリセット	―	13-13
F26	指定着信拒否	すべて許可	13-7
F27	メモリオールクリア	―	13-12
F28	暗証番号変更	―	13-2
F29	設定リセット	―	13-12

■設定

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F30	ガイド機能	―	15-16
F31	メモリ確認	―	5-6、11-12
F32	自動着信	OFF（呼出秒数6秒）	15-17
F33	バッテリーセーブ	メインディスプレイ ディスプレイ省電力（待受中：20秒、ボタン操作中：ON） 通話中節電：ON サブディスプレイ ディスプレイ省電力：15秒、自動電源OFF：ON キーバックライト：ON	15-18
F34	パネル照明	メイン点灯時間：10秒、サブ点灯時間：5秒、明るさ調整：明るさ3	8-20
F35	言語選択（Language）	日本語	8-22
F36	応答方法設定	オープン通話：応答しない、応答キー設定：[通話]キーのみ	15-20
F37	アドレス帳グループ設定	アイコン：未設定、名称：未設定 着信イルミ／着信音パターン／バイブレータ／ 電話着信画像（メイン／サブ）：個別設定なし メールフォルダ：一般フォルダ	5-13
F38	通話品質アラーム	OFF	15-21
F39	イヤホンアンテナ設定	マイク無	15-26

■録音／設定

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F40	簡易留守録・音声メモの録音件数確認	留守録：0件、音声メモ：0件	15-13
F41	簡易留守録・音声メモの録音内容消去	―	2-15
F42	簡易留守録	留守録設定：OFF、応答時間設定：6秒	15-11
F43	ユーザー辞書	未登録	4-17
F46	オーナー登録	未登録	15-9
F49	壁紙／マイキャラクタ	メインディスプレイ 通常壁紙：OFF、発信イラスト／通話中イラスト／ 電話着信画像／設定イラスト／マルチメニューイラスト／ 待受アイコン／割込みフレーム（イラスト／語尾替え）： ノーマル、ウェイクアップ／パワーオフ：オリジナル 待受くーまん：OFF サブディスプレイ 通常壁紙／シーズン壁紙：OFF 電話着信画像：ノーマル 目覚まし／スケジュール／アクションアイテム：オリジナル	8章

■時計／アラーム

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F52	目覚まし機能設定	目覚まし：OFF、タイトル／時刻：未設定 アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル5 バイブレータ：OFF、時刻読上げ：ON、起動設定：未設定 繰返し通知設定：あり	14-52
F59	時計設定	日時設定：未設定 ミニ時計：ON、12h/24h設定：24h メイン待受時計：オリジナル、サブ液晶時計：ゴシック	1-19 8-7、8-14

■時間／料金

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F60	累積通話料金	----円	2-19
F61	通話料金表示	----円	2-19
F62	累積通話時間	0秒	2-18
F63	通話時間表示	0秒	2-18

■付加サービス

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F70	転送電話サービス・留守番電話サービスの呼び出し時間設定（※3）	―	16-6
F71	転送電話サービス	―	16-3
F72	留守番電話サービス	―	16-4
F73	転送電話サービス・留守番電話サービスの設定解除	―	16-4、16-5
F74	転送電話サービス・留守番電話サービスの設定状況確認	―	16-4、16-6
F75	割込通話サービスの設定／解除（※2、3）	―	16-7
F76	割込通話サービスの設定状況確認（※2、3）	―	16-7
F77	国際ショートコード	0046010	15-24
F78	三者通話サービス（※1）	―	16-9
	通話中転送（※1、2、3）	―	16-9
F79	184／186付加	すべてOFF	15-21

※1 通話中に押した場合
※2 北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※3 東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。

■Vodafone live!

機能番号	機能名	初期値	参照ページ
F81	メール	—	Vodafone live!編
F82	ウェブ		
F83	ステーション		
F84	Vアプリ		
F85	データフォルダ		
F86	ネットワーク自動調整		

■その他

操作	機能名	初期値	参照ページ
F0	自局電話番号表示	—	2-20
F長押し	サイドキー誤動作防止	設定なし	13-11
F[Clear/メモ]	着信拒否（※3）	—	2-11
F[Power]	かかってきた電話を留守番電話センターに転送（※1、2、3）	—	16-5
F[スケジュール/文字 A/a]	目覚ましの繰返しを停止	—	14-52
[Clear/メモ]長押し	簡易留守録機能	設定なし	2-8
[#]長押し	マナーモード	設定なし	3-2
[V]	ショートカットメニュー	12件（スカイメール／スーパーメール／受信メール／簡易電卓／国語辞書／英和辞書／和英辞書／着うた®プレイヤー／スケジュール／時間割／TV／FMラジオ）	15-6
[サイドキー]長押し	受話音量設定	レベル5	2-12
[サイドキー]	スピーカー音量設定（※4）	レベル5	9-18

※1 北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※2 東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※3 着信中に押した場合
※4 通話中に押した場合

■マルチメニュー（☞1-20ページ）／エディタメニュー（☞4-19ページ）の機能

機能内容	初期値	参照ページ
イルミネーション	お知らせカラー 電話：カラー1、メール：カラー2、ウェブ／ステーション：カラー3 着信イルミ 電話：パターン1、メール：パターン2、ウェブ／ステーション：パターン3 通話中イルミ：パターン1	15-3
サイドキー設定	上サイドキー：FMラジオ起動 下サイドキー：マナーモード設定／解除	15-27
表示設定	メインディスプレイ 通常壁紙：OFF 発信イラスト／通話中イラスト／電話着信画像／設定イラスト／マルチメニューイラスト／待受アイコン／ 割込みフレーム（イラスト／語尾替え）：ノーマル ウェイクアップ／パワーオフ：オリジナル、待受くーまん：OFF お知らせ設定：ON、表示文字設定：すべて太文字、でか文字設定：OFF サブディスプレイ 通常壁紙／シーズン壁紙：OFF 電話着信画像：ノーマル 目覚まし／スケジュール／アクションアイテム：オリジナル 着信表示設定：ON、メール閲覧設定：ON、配色設定：ノーマル コントラスト調整：標準濃度、表示反転設定：正方向	8章、15-3
時間割	表示設定：科目名のみ 背景色：OFF、文字色：白文字黒フチ	14-24

機能内容	初期値	参照ページ
アクションアイテム	表示切替：全件表示、消去設定：手動消去	14-18
くーまんの部屋	くーまんデータ：サムネイル表示、マイデータ（名前：あのね、誕生日／アニバーサリー：未登録）、くーまんの部屋：OFF	15-31
スケジュール	休日設定（日曜：赤、平日：黒、土曜：青）	14-12
スケジュールオプション	スタンプ：ノーマル1、お知らせ君：OFF、スケジュールロック：OFF スタート表示：月間スケジュール、タイムアップ画面：オリジナル	14-13
テレビ	チャンネル：最初の電波受信チャンネル チャンネル設定（表示チャンネル：1～12、受信チャンネル：V1～V12） 音量：レベル1、音声出力切替：スピーカー、割込み設定：すべてバックグラウンド、キャプチャ枚数：1枚、キャプチャ保存先：ピクチャーフォルダ（本体） 録画保存先：ビデオフォルダ（本体）、バックライト設定：レベル3 オート起動設定：ターンオーバーに連動、オートオフ設定：30分 アンプ設定：ON	6-7
FMラジオ	プリセット登録：未登録、音量：レベル1、音声出力切替：スピーカー 割込み設定：すべてバックグラウンド、オートオフ設定：30分 受信エリア設定：未設定 アンプ設定：ON	6-20
スカイメロディ接続番号	＊1790	Vodafone live!編
割込み設定	操作中（メール着信／レポート着信：割込（表示有）、ウェブ着信：割込） カメラ連写中／ムービー録画中／ボイスメモ録音中／TV起動中／FMラジオ起動中：すべてバックグラウンド、ウェブ／接続中：電話着信優先 Vアプリ（電話／メール／ウェブ／ステーション着信：着信優先、アラーム通知：アラーム優先）	Vodafone live!編
カメラ	JPEG設定：ノーマル、シャッター音：カシャ！、自動登録設定：OFF 保存先設定：ピクチャーフォルダ（本体） 連写中割込み：すべてバックグラウンド、警告表示設定：ON	7-6
デジタルカメラ	JPEG設定：ノーマル、シャッター音：カシャ！、自動登録設定：OFF 保存先設定：デジタルカメラ（本体）、警告表示設定：ON	7-6
ムービー・ビデオ	録画設定：音あり、自動登録設定：OFF、保存先設定(ムービー)：ムービーフォルダ（本体）、保存先設定(ビデオ)：ビデオフォルダ(本体) 録画中割込み：すべてバックグラウンド、警告表示設定：ON	7-12
迷惑リスト	拒否電話リスト：0件、電話番号指定：許可、ワンコール無音設定：OFF	2-10、13-6
データフォルダ	サムネイル表示 ※登録したデータは消去されません。	10-6、11-11
メモリカード	データ一括転送 暗号化設定（アドレス帳、メール、スケジュール）：OFF	10-10
エディタメニュー	入力予測：すべてON、パーソナル辞書名称：辞書1～辞書5 かな入力方式：標準方式、文字のサイズ：小さい文字、改行制御：ON	4-21

故障かな？と思ったら

症　状	確認すること	処　置
電源が入らない	電池パックは正しく取り付けられていますか？ 電池切れになっていませんか？	電池パックを正しく取り付けてください(☞1-14ページ)。 電池パックを充電してください(☞1-15ページ)。
「**電池パックの装着状態を確認してください**」や「**充電器との接続を確認してください**」と表示され、充電ができない	充電端子または電池パックのコネクターが汚れていませんか？	乾いた綿棒などで汚れを拭きとってください(☞1-13ページ)。それでも表示が消えない場合には、「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。
ダイヤルしても話中音(プープー…)が聞こえる	「圏外」または「オフライン」が表示されていませんか？	「圏外」が表示されている場合は、電波の届く場所に移動してかけ直してください。「オフライン」が表示されている場合には、オフラインモードを解除してください(☞3-6ページ)。
「**充電してください**」と表示され、「ピッピッピッ」と鳴る	電池がほとんどありません。	電池パックを充電してください(☞1-15ページ)。
「圏外(圏外)」が表示され、電話がかけられない	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。それでも「圏外(圏外)」が消えない場合には、「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。
	内蔵アンテナ部分を手などで覆っていませんか？	内蔵アンテナ部分(☞1-7ページ)を手やシールで覆ったり、触れないようにしてください。
「**ダイヤル操作禁止**」と表示され、電話がかけられない	ダイヤル操作禁止がかかっています。	ダイヤル操作禁止を解除してください(☞13-3ページ)。
カメラモードにすると「**前の操作を終了してから起動してください**」と表示され撮影できない	すでにカメラモードに入っていませんか？	先に入っていたカメラモードを終了させてください。
着信、メール拒否設定したのに、着信(受信)してしまう	「**電話番号指定**」が「**許可**」、または「**アドレスフィルター**」が「**OFF**」になっていませんか？	「**電話番号指定**」を「**拒否**」、または「**アドレスフィルター**」を「**ON**」にしてください(☞13-6ページ、Vodafone live!編)。

補 足

メール、ウェブ、Vアプリ、ステーションについては、Vodafone live!編の「こんなときは」を参照してください。

■故障の場合

ディスプレイに故障に関するメッセージが表示されたときは、すぐに電源を切って、「**お問い合わせ先**」(☞18-18ページ)までご連絡ください。

■こんなときはご利用になれません

● **「圏外(圏外)」の表示が出ているとき**

サービスエリア外か電波の届かない場所にいます。「圏外」の表示が消える場所へ移動してください。

● **「オフライン」の表示が出ているとき**

オフラインモードが設定されています。オフラインモードを解除してください(☞3-6ページ)。

● **「充電してください」のメッセージが出ているとき**

電池がほとんどありません。電池パックを充電するか予備の電池パックと交換してください(☞1-15ページ)。

● **「ダイヤル操作禁止」のメッセージが出ているとき**

ダイヤル操作禁止がかかっています。操作用暗証番号を入力して、ダイヤル操作禁止を解除してください(☞13-3ページ)。

● **「着信禁止」のメッセージが出ているとき**

着信禁止が設定されています。着信禁止を解除してください(☞13-5ページ)。

● **発信時に「ダイヤル禁止が設定されています」のメッセージが出るとき**

ダイヤル禁止が設定されています。ダイヤル禁止を解除してください(☞13-5ページ)。

● **発信時に「現在電話がかかりにくくなっております」のメッセージが出るとき**

しばらくたってから、もう一度かけ直してください。

主な仕様

V603T

質量	約142g
連続通話時間	約120分
連続待受時間	約380時間（折りたたみ時）
充電時間	約120分
サイズ（W×H×D）	約50×約103×約25mm（折りたたみ時）
最大出力	0.8W

モバイルカメラ

F値	2.8
焦点距離	4.4mm
シャッタースピード	1/7.5(s)～1/2,000(s)（電子シャッター）
レンズ	固定焦点　通常撮影位置（50cm以遠） 接写撮影位置（10cm）

- **上記は、電池パック装着時の数値です。**
- **連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信および通話中節電「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。**
- **連続待受時間とは、V603Tを折りたたんだ状態で充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。**
- **電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。**
  なお、使用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。電池パックの寿命は約1年程度ですので、使用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- **モバイルフラッシュを使用した撮影やペンライト機能のご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。**
- **Vアプリを起動させた状態では、著しく通話時間および待受時間が短くなる場合があります。**
- **メインディスプレイやサブディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多い場合や壁紙（☞8-2、8-8ページ）にアニメーションを選択した場合などは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。**
- **ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。**

用語集

用　語	説　明
JPEG	静止画像を効率良く圧縮する画像圧縮方式で、写真などの圧縮に適しています。
PNG	画像フォーマットのひとつで、フルカラーの画像を圧縮することができます。
SMD	スカイメロディ（☞Vodafone live!編）で取得したメロディで使用されるデータフォーマットです。
SMAF	携帯電話端末用の音楽データフォーマットです。音声を記録したファイルをSMAFファイルに取り込んで再生することができます。画像の再生にも対応しており、音楽と歌詞や画像を同時に表示することもできます。
MP4	動画データ圧縮方式のひとつMPEG4の略で、携帯電話の通信スピードにあわせて低画質、高圧縮率の画像配信を目的とし、動画と音声をやりとりすることができます。
vCard	アドレス帳のデータを他の機器とやりとりするデータフォーマットです。
vCalendar	スケジュール情報を他の機器とやりとりするデータフォーマットです。
vMessage	メールの情報を他の機器とやりとりするデータフォーマットです。
vBookmark	ブックマークの情報を他の機器とやりとりするデータフォーマットです。
vNote	メモ帳の情報を他の機器とやりとりするデータフォーマットです。
SXGA	1280×1024ピクセルのディスプレイ解像度のことです。※
VGA	640×480ピクセルのディスプレイ解像度のことです。
HTML	インターネットのウェブサーバーで表示されるウェブページを記述する書式です。
CBC	保存情報をメモリカードに保存する際のファイルフォーマットです。

※V603Tでは、1280×960ピクセルの解像度になります。

索引

アルファベット・数字

あ

か

さ

た

保証書とアフターサービスについて

■保証

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。
保証書に「お買上げ日」および「取扱店」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。
保証期間は、保証書に記載しています。

重 要

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■修理

「故障かな？と思ったら」（☞18-6ページ）をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。

- **保証期間中の修理**
  保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- **保証期間経過後の修理**
  修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

※修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

重 要

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にV603Tに登録したデータ（アドレス帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

■アフターサービスについてご不明な場合は

最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞18-18ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内	**ボーダフォン携帯電話から157(無料)**
紛失・故障受付	**ボーダフォン携帯電話から113(無料)**

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

ご契約地域		
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-259-113(無料)
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-247-113(無料)
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

MEMO

MEMO

V603T　取扱説明書
基本操作編

2005年1月　第1版発行

ボーダフォン株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
　ボーダフォン取扱店にご相談ください。

機種名：V603T
製造元：株式会社 東芝

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。